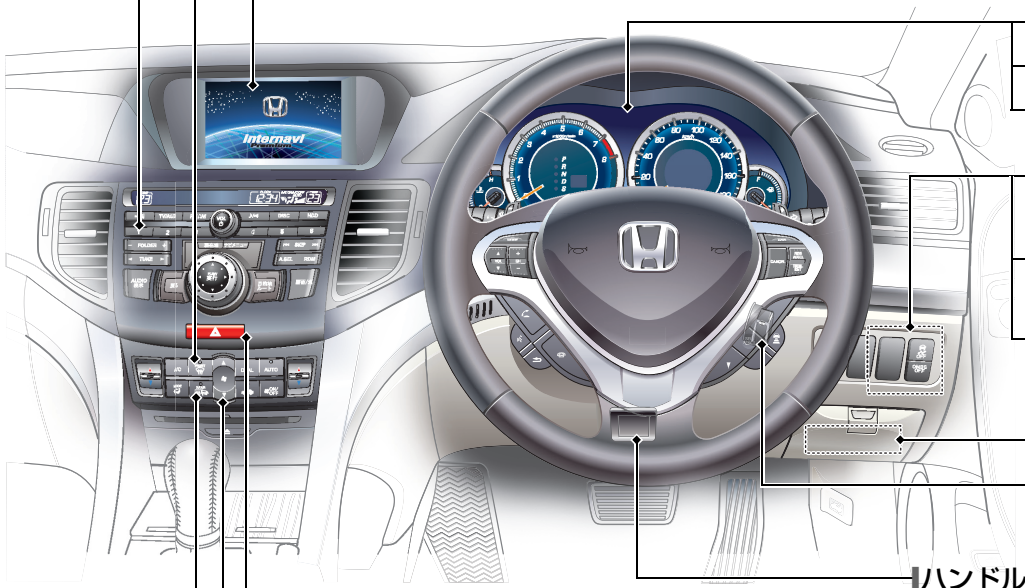
HONDA

# Accord

オーナーズマニュアル

クイックガイド
安全なドライブ
計器の見かた
各部の操作
オーディオ
運転
メンテナンス
万一の場合には
資料
索引

# ビジュアル目次



オーディオ* P. 142

デフロスタースイッチ P. 138

Honda インターナビシステム*※

メーター P. 66

警告灯 P. 53

表示灯 P. 58

VSA OFF スイッチ P. 180

ヘッドライトレベリングダイヤル* P. 109

CMBS OFF スイッチ* P. 186

ETC*※

エンジンスイッチ P. 98, 99

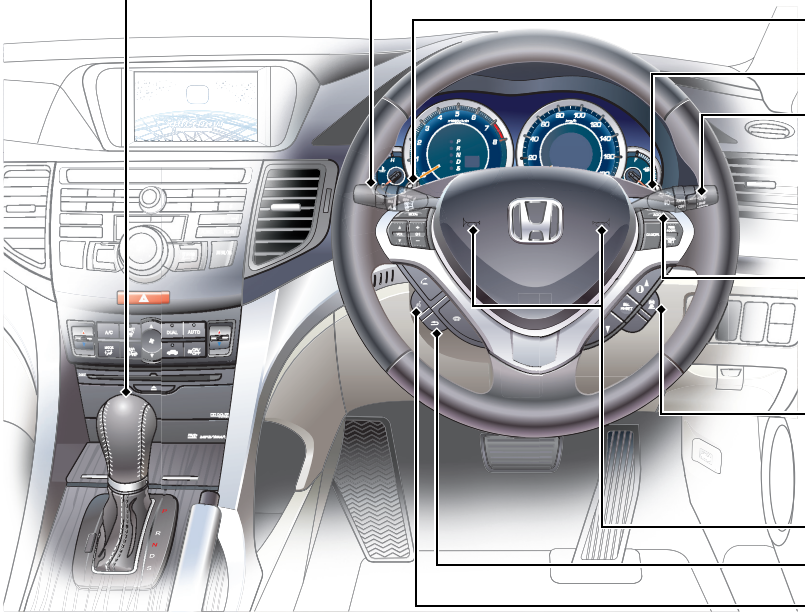
ハンドル位置調節レバー P. 114

非常点滅表示灯（ハザードスイッチ）

オートエアコン P. 137

リヤデフロスター/ ヒーテッドドアミラースイッチ P. 113

※：別冊「Honda インターナビシステム」を参照してください。



セレクトレバー P. 172

ワイパー/ ウォッシャースイッチ P. 110

シフトスイッチ(シフトダウン) P. 175

シフトスイッチ(シフトアップ) P. 175

ライト / 方向指示器(ウィンカー)スイッチ P. 102, 104

フォグライトスイッチ✤ P. 105

クルーズコントロールスイッチ✤ P. 176

ACC スイッチ✤※1

ディスタンススイッチ✤※1

ホーンスイッチ( 周辺)

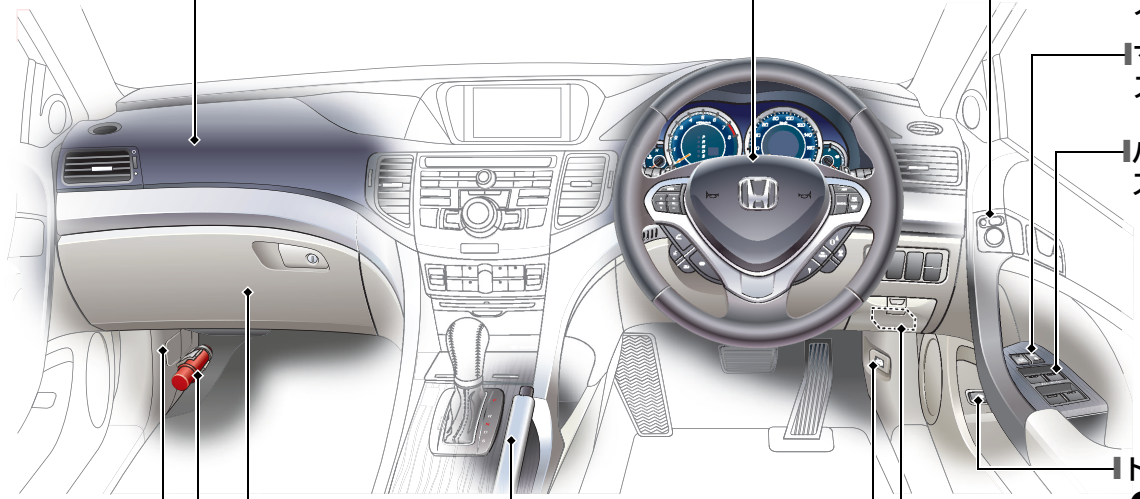
取り消しスイッチ✤※2

発話スイッチ✤※2

※1：別冊「ACC」を参照してください。
※2：別冊「Honda インターナビシステム」を参照してください。

**この「✤」はタイプやオプションなどにより、装備が異なる場合に付きます。**

# ビジュアル目次



SRS エアバッグシステム（助手席用） P. 28

SRS エアバッグシステム（運転席用） P. 28

ドアミラー調節スイッチ P. 116

マスタードアロックスイッチ P. 87

パワーウィンドースイッチ P. 95

トランクオープナー P. 91

パーキングブレーキ P. 181

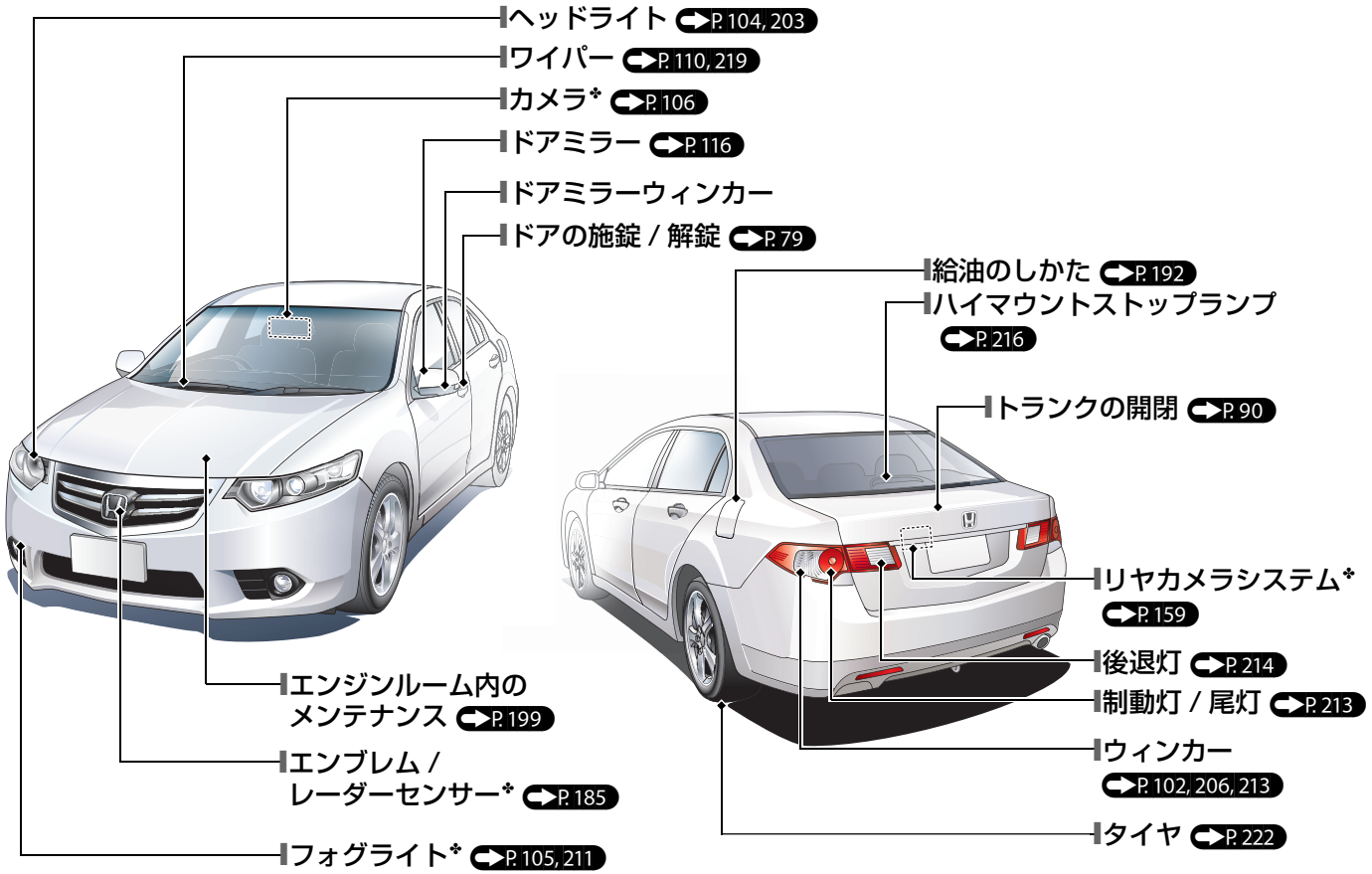
運転席側ヒューズボックス P. 259

グローブボックス P. 128

ボンネット解除ノブ P. 201

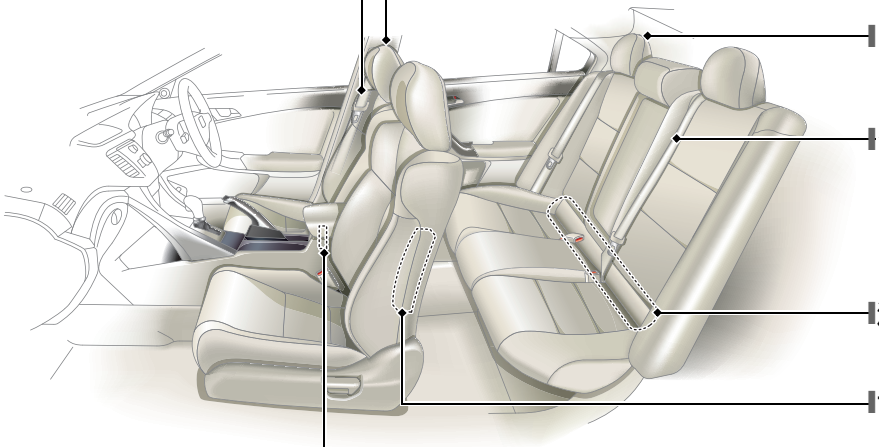
発炎筒 P. 235

助手席側ヒューズボックス P. 259




この「*」はタイプやオプションなどにより、装備が異なる場合に付きます。

# ビジュアル目次



シートベルト P. 22

フロントシート P. 118, 119

リヤシート P. 122

シートベルト P. 22

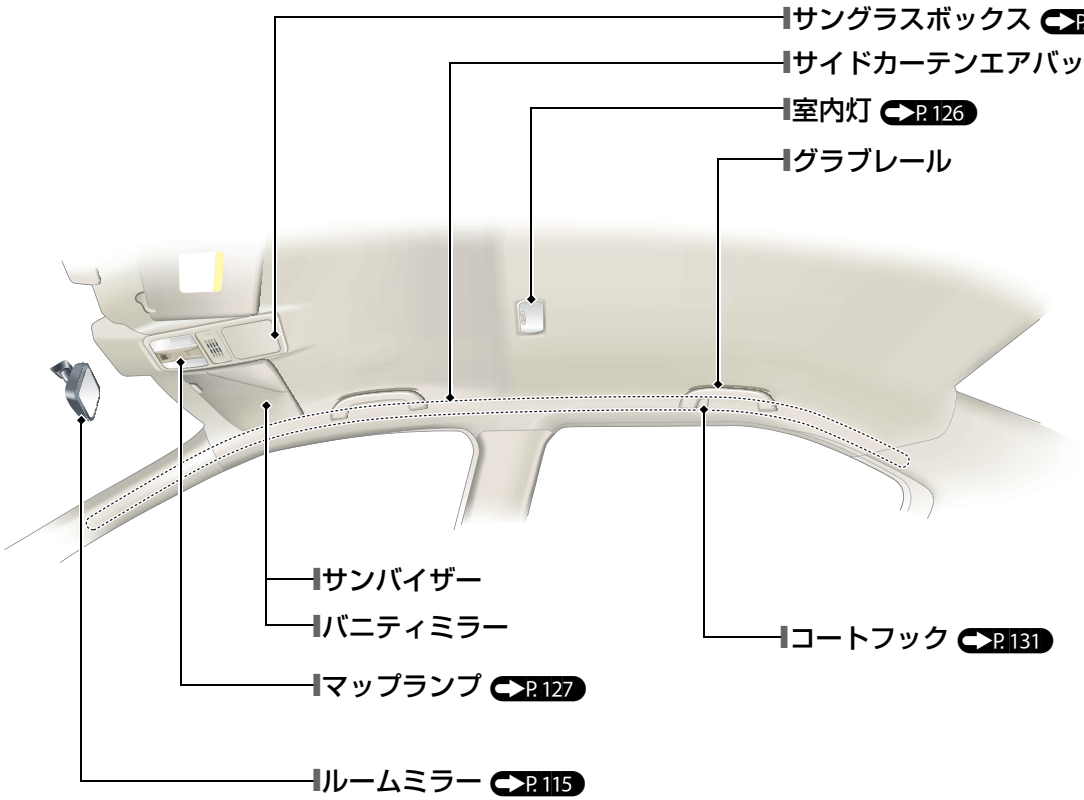
汎用型 ISOFIX 取付装置 P. 47

サイドエアバッグシステム P. 31

AV 入力端子* P. 132

USB ジャック* P. 132

アクセサリーソケット P. 131


サングラスボックス P. 135
サイドカーテンエアバッグシステム P. 34
室内灯 P. 126
グラブレール
サンバイザー
バニティミラー
マップランプ P. 127
ルームミラー P. 115
コートフック P. 131

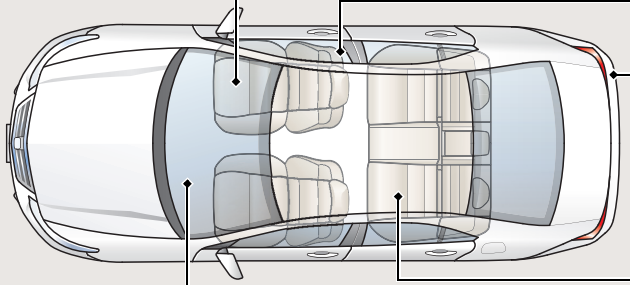
# 安全なドライブ P. 20



●正しい運転姿勢でシートベルトを着用してください。
●同乗者にも必ずシートベルトを着用させます。
●妊娠中のかたは腹部を圧迫しないようにシートベルトを着用してください。

## 運転を始める前の確認 P. 21

●運転前にフロントシートの位置、ヘッドレスト、ハンドルの位置、ミラー類の角度を調節します。



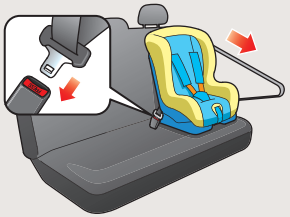
## シートベルト P. 22

## 排気ガスについて P. 51

●車の排気ガスには有害な一酸化炭素が含まれているため、ガレージなどの密閉された場所ではエンジンをかけないでください。

## お子さまの安全 P. 39

●シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、チャイルドシートをお使いください。お子さまの安全のために、チャイルドシートはリヤシートに取り付けてください。



## エアバッグ P. 28

●万一の衝突の際に、乗員への衝撃を緩和するために、エアバッグが装備されています。

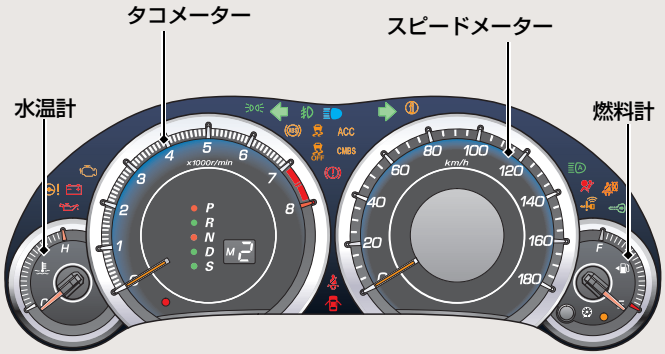
# 計器の見かた P. 52

## 警告灯 P. 53/ 表示灯 P. 58/ メーター P. 66



警告灯 / 表示灯

- ライト点灯表示灯
- 方向指示器表示灯
- フォグライト点灯表示灯
- ハイビーム表示灯
- ABS 警告灯
- VSA 警告灯
- VSA OFF 警告灯
- ブレーキ警告灯
- PGM-FI 警告灯
- EPS 警告灯
- 充電警告灯
- 油圧警告灯
- セキュリティアラーム システム作動表示灯




- P R N D S セレクトポジション表示灯(トランスミッション警告灯)
- M シフトインジケーター/ M (シーケンシャルモード)表示灯

警告灯 / 表示灯

- インフォメーション 表示灯
- CRUISE MAIN クルーズメイン表示灯
- CRUISE CONTROL クルーズコントロール 表示灯
- ACC ACC 警告灯 / 表示灯
- CMBS CMBS 警告灯
- ハイビームサポート システム表示灯
- エアバッグシステム 警告灯
- サイドエアバッグ 自動停止表示灯
- Honda スマートキー システム警告灯
- イモビライザー システム表示灯
- シートベルト 非着用警告灯
- ドア / トランク 開閉警告灯
- 燃料残量警告灯

# 各部の操作 P.77

## 時刻を合わせる P.78

AM/FM ラジオ一体式 CD ステレオ装備車

❶ オーディオの CLOCK を時間表示が点滅するまで押す。




❷ 時刻を調節する。




時報合わせの場合は



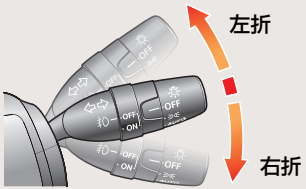

時報と同時に押す

❸ CLOCK をもう一度押す。




## ウィンカー P.102

方向指示器(ウィンカー)スイッチ



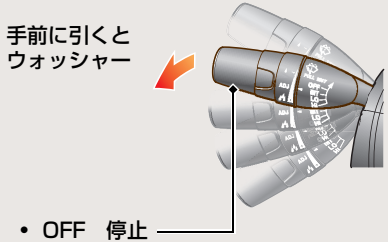

## ライト P.104

ライトスイッチ




## ワイパー P.110

ワイパー/ ウォッシャースイッチ




- OFF 停止
- INT 間欠
- LO 低速
- HI 高速

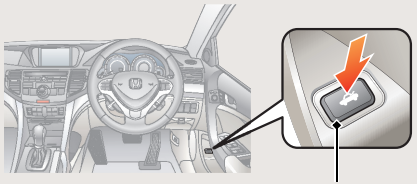
## ハンドル位置の調節 P.114

●ハンドル位置調節レバーを引き上げ、ハンドルの位置を調節します。



## トランク P. 90

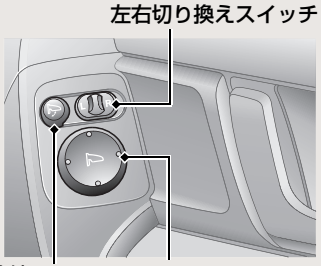
●トランクは、運転席右下にあるトランクオープナーやキーレスエントリーのトランク解錠ボタン、トランクオープンスイッチを押して開きます。



トランクオープナー

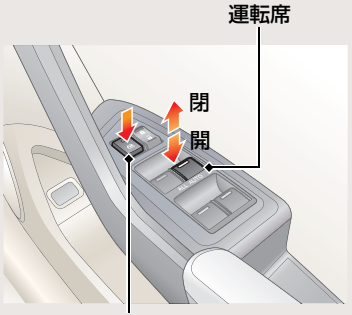
## ドアミラー P. 116

●エンジンスイッチが II のとき、左右のドアミラーの格納または角度の調節ができます。




## パワーウィンドー P. 95

●エンジンスイッチが II のとき、ウィンドーの開閉ができます。



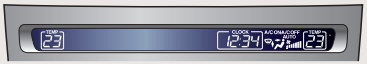

パワーウィンドーロックボタン

- ON　運転席以外のウィンドーが非作動
- OFF　全てのウィンドーが作動

# エアコン P.136

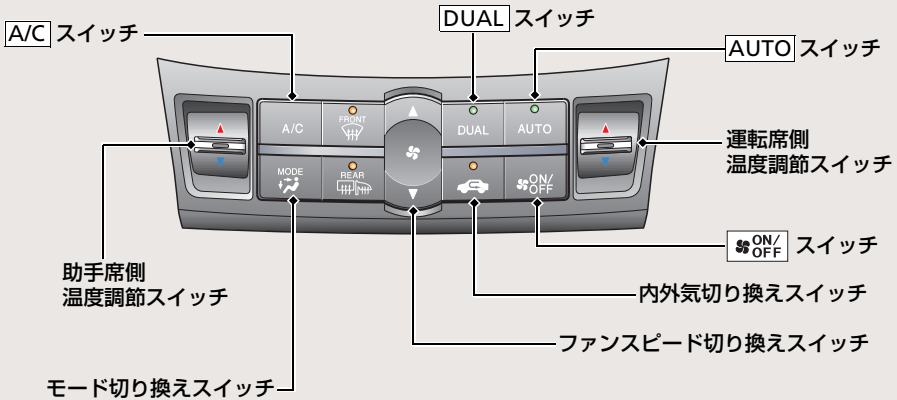
●AUTO を押すと、オートエアコンが作動します。
● ON/OFF を押すと、止まります。
●前面ガラスの曇りを取るには、FRONT を押します。

Honda インターナビシステム装備車



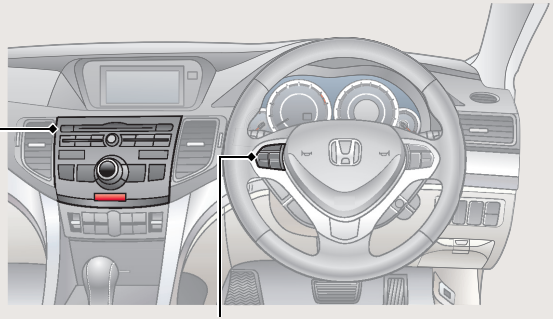
Honda インターナビシステム非装備車






# オーディオ P. 141



AM/FM ラジオ一体式 CD ステレオ*

オーディオリモートコントロールスイッチ*

画面

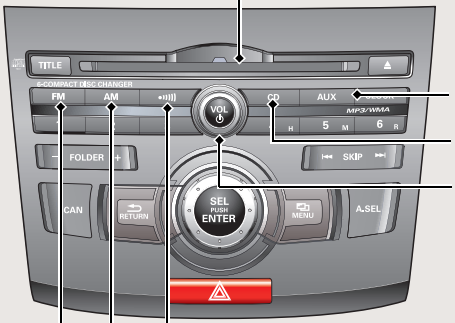



CD 挿入口

AUX スイッチ

CD スイッチ

⏻/VOL ツマミ

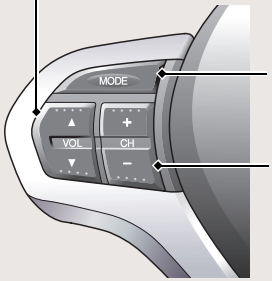



スイッチ

AM スイッチ

FM スイッチ

VOL スイッチ
- ▲ を押す … 音量が大きくなる
- ▼ を押す … 音量が小さくなる




MODE スイッチ
- 押すごとにモードが切り換わる

CH スイッチ
- ラジオ / テレビ使用時：チャンネルの切り換え
- CD/USB デバイス*/HDD*/DVD* 使用時：

＋を押す … スキップ
－を押す … リプレイ、フォルダーの選択

この「✤」はタイプやオプションなどにより、装備が異なる場合に付きます。

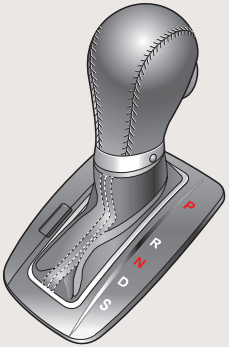
# 運転 P.164

## オートマチック車 P.171

●セレクトレバーを P に入れ、ブレーキを踏みながらエンジンを始動します。
●シーケンシャルモードのときは、手動で 1 ～ 5 速の変速が可能です。

## セレクトレバー

### セレクトレバーの操作




**P** パーキング
駐車またはエンジンの始動

**R** リバース
車を後退

**N** ニュートラル
アイドリング状態

**D** ドライブ
• 通常走行(1 速～ 5 速まで自動変速)
• 一時的にシーケンシャルモードにするとき

**S** ドライブ(S)
• 1 速～ 4 速の間で自動変速
(4 速は過回転時のみ)
• シーケンシャルモードにするとき

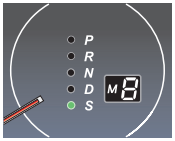



ブレーキペダルを右足で踏み、ボタンを押して操作

ボタンを押さずそのまま操作

ボタンを押して操作

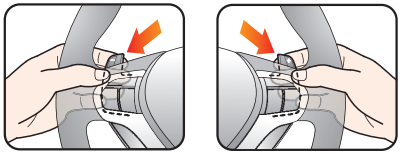
### シーケンシャルモード

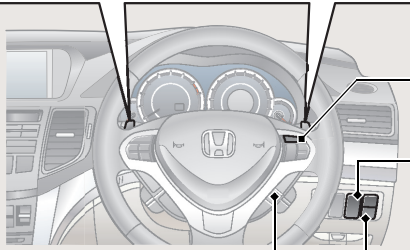



●シーケンシャルモードを選択すると、メーター内にあるシフトインジケーター/ M (シーケンシャルモード)表示灯にギヤ位置が表示されます。
●ハンドルにあるシフトスイッチを使って手動で変速(1 ～ 5 速 )できます。

－シフトスイッチ
(シフトダウン)

＋シフトスイッチ
(シフトアップ)





CRUISE スイッチ
(装備車)

VSA OFF スイッチ

CMBS OFF スイッチ
(装備車)

エンジンスイッチ




Honda スマートキーシステム
(装備車)

## CMBS OFF スイッチ*

P. 186

- CMBS は、運転者のブレーキ操作を支援し追突の衝撃を軽減する装置です。
- CMBS を停止(OFF)状態にするには、CMBS OFF を「ピーッ」とブザーが鳴るまで押します。再度、使用(ON)するには CMBS OFF を「ピーッ」とブザーが鳴るまで押します。

## VSA OFF スイッチ

P. 180

- VSA とは、急激な車両の挙動変化を抑制しようとする装置です。
- エンジンを始動すると自動的に VSA は ON になります。
- VSA を停止(OFF)状態にするには、VSA OFF を「ピッ」とブザーが鳴るまで押します。再度、使用(ON)するには VSA OFF を「ピッ」とブザーが鳴るまで押します。

## CRUISE スイッチ*

P. 176

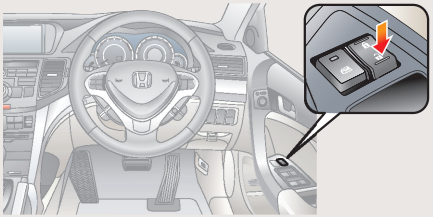
- クルーズコントロールは、高速道路などを定速で運転するとき、アクセルペダルを踏まなくても車速を一定に保つ装置です。
- クルーズコントロールを使用しないときは、安全のために CRUISE を押して OFF にしてください。

## ガソリンを入れる

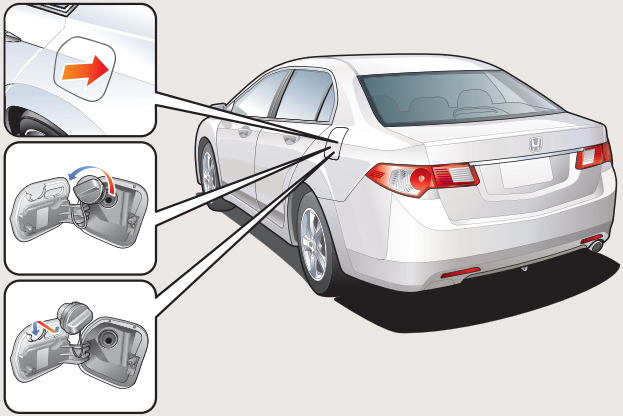
P. 191

**指定燃料：**
2.0L 車 無鉛レギュラーガソリン
2.4L 車 無鉛プレミアムガソリン
**タンク容量：65 リットル**

1. 運転席のマスタードアロックスイッチを押して解錠する。



2. フューエルリッドの右端を「カチッ」と音がするまで押して離し、リッドを浮かせる。
3. ツマミをゆっくり回してキャップを開ける。
4. キャップをホルダーにかける。



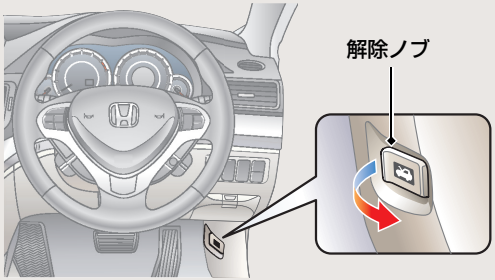
**この「*」はタイプやオプションなどにより、装備が異なる場合に付きます。**

# メンテナンス P. 196

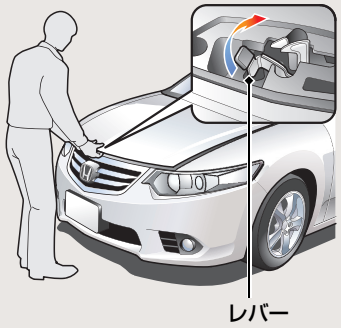
## エンジンルーム P. 199, 200

●冷却水、ウォッシャー液の補給を行います。
●バッテリーを点検します。

❶ 運転席足元のボンネット解除ノブを引く。

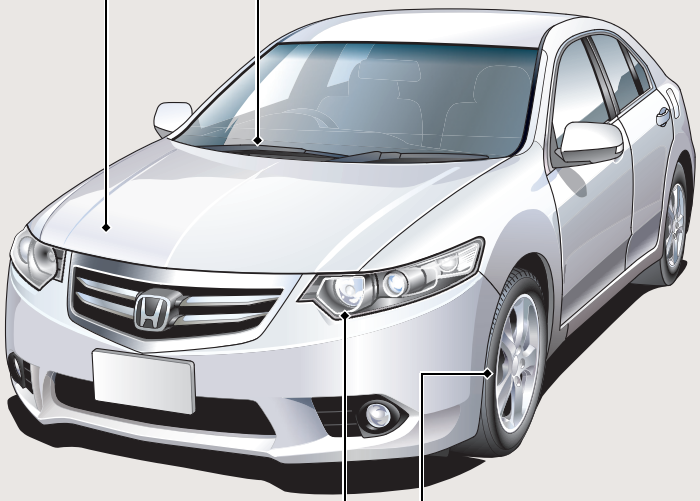



❷ レバーを上げボンネットを開ける。




## ワイパーブレード P. 219

●拭きムラがある場合は、ワイパーブレードラバーを交換します。



## ライト P. 203

●ヘッドライト、フォグライト電球*、テールライト電球などの点検または交換を行います。
●電球の交換については、「メンテナンス」を参照してください。
●ヒューズの交換については、「万一の場合には」を参照してください。

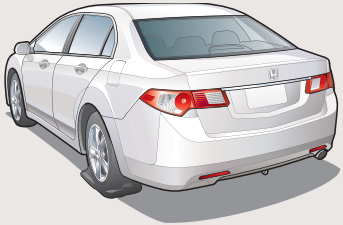
## タイヤ P. 222

●タイヤ、ホイールを点検します。
●降雪地域では、スノータイヤ、タイヤチェーンが必要です。

# 万一の場合には P. 234

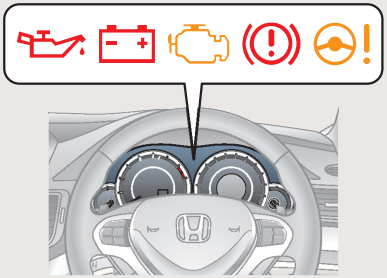
## パンクした P. 236

●安全な場所に停車し、パンク修理キットで応急修理します。



## 警告灯が点灯した P. 253

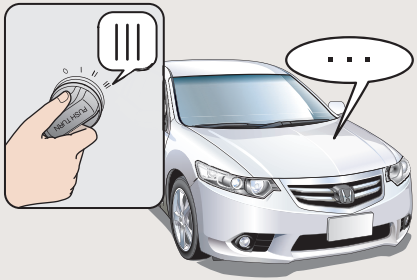
●詳細を確認し、取扱説明書にしたがってください。



## エンジンが始動しない

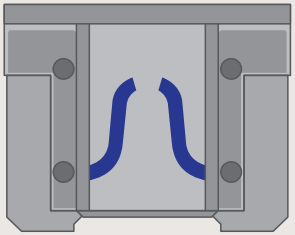
P. 246

●バッテリーあがりが考えられます。救援車のバッテリーを利用してエンジンを始動します。



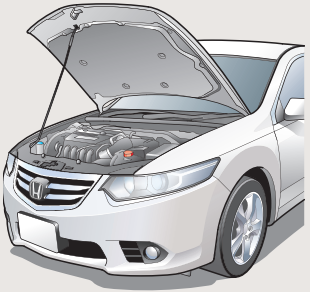
## ヒューズが切れた P. 256

●運転席、助手席の足元とエンジンルーム内にヒューズボックスがあります。切れているヒューズを取り換えます。



## オーバーヒートした P. 251

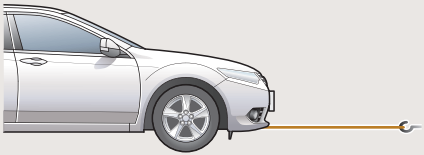
●安全な場所に停車し、蒸気が出ていなければボンネットを開けてください。



## けん引してもらいたい

P. 263

●必ず専門業者に依頼してください。やむをえず 4 輪を接地したままけん引される場合は、取扱説明書にしたがってください。

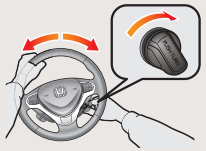


この「✤」はタイプやオプションなどにより、装備が異なる場合に付きます。

# こんなときは

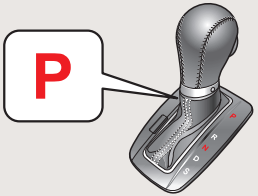
**Q キーが 0 から I に回らない**

**A**
- ハンドルがロックされていませんか？
- ハンドルを左右に回しながら、キーを回してください。Honda スマートキー * を使用しているときは、エンジンスイッチノブを回してください。



**Q キーが I から 0 に回らない（キーが抜けない）**

**A**
- セレクトレバーが P 以外の位置になっていませんか？

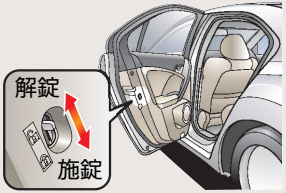



**Q ブレーキペダルを踏んだらガタガタと振動した**

**A**
- ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが小刻みに動くことがあります。これは ABS が作動しているときの現象で異常ではありません。そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。

**Q 後席ドアが車内から開けられない**

**A**
- チャイルドプルーフが施錠の位置になっていませんか？
後席ドアを外から開け、チャイルドプルーフのツマミを解錠の位置にしてください。



**Q キーレスエントリーでドアを解錠したはずなのに施錠されている**

**A**

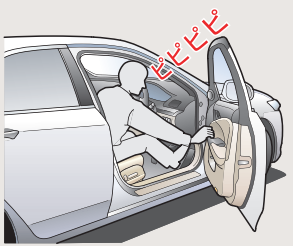
- キーレスエントリー、Honda スマートキー* で解錠してから、約 30 秒以内にドアを開けなかった場合は、自動的に再度施錠されます。



**Q 運転席ドアを開けるとブザーが鳴る**

**A**

- 「ピピピピ」と鳴るときはキーをエンジンスイッチに差し込んでいませんか？ Honda スマートキー* を使用しているときは、エンジンスイッチノブを 0 (プッシュオフ)以外にしていませんか？
- 「ピー」と鳴るときはライトを消し忘れていませんか？




**Q 走行するとブザーが鳴る**

**A**

- 運転席シートベルトを着用していますか？
- パーキングブレーキを完全に戻していますか？

**Q 走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音がする**

**A**

- ブレーキパッドが摩耗して使用限界になっているおそれがあります。Honda 販売店で点検を受けてください。

**Q プレミアム(ハイオク)ガソリン仕様車にレギュラーガソリンを使用しても大丈夫ですか？**

**A**

- プレミアムガソリンが入手できない場合には、一時的にレギュラーガソリンをお使いになることもできますが、この場合エンジン性能を十分に発揮できません。無鉛レギュラーガソリンの長期使用はエンジン破損に結びつく場合があります。

**Q レギュラーガソリン仕様車にプレミアム(ハイオク)ガソリンを使用しても大丈夫ですか？**

**A**

- プレミアムガソリンをお使いになることもできますが、この場合、本来のエンジン性能が大きく変わることはありません。

この「✤」はタイプやオプションなどにより、装備が異なる場合に付きます。

## 安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠危険 | 指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至るもの |
| ⚠警告 | 指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの |
| ⚠注意 | 指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があるもの |

## その他の表示

下記の表示を使って記載しています。

アドバイス
お車が故障や破損することを防ぐためのアドバイスや、環境への配慮のために守っていただきたいこと。

❖：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

## サービス診断記録装置について

この車には、システムを制御するためのコンピューターが搭載されており、次の内容をデータとして記録します。

- エアバッグシステムの故障診断情報
- エアバッグの作動に関する情報
- 運転席および助手席のシートベルト着用の有無
- 動力伝達機構の状態
- 運転状態

HondaおよびHondaが委託した第三者は、記録されたデータを技術的な診断や Honda の車両の研究開発のために、取得、利用することがあります。
なお、会話等の音声や映像は記録されません。

## データの開示について

HondaおよびHondaが委託した第三者は、取得したデータを以下の場合を除き、第三者へ開示、提供することはありません。

- お車の所有者または使用者の同意がある場合
- 裁判所命令等、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行う等、使用者や車が特定できないように加工したデータを、研究機関等に提供する場合

# 目次


**安全なドライブ** P.20

安全なドライブのために 21　シートベルト 22　エアバッグ 28　お子さまの安全 39
排気ガスの危険性 51

**計器の見かた** P.52

警告灯と表示灯 53　メーターとマルチインフォメーションディスプレイ 66

**各部の操作** P.77

時刻の設定 78　ドアロック 79　トランク 90　セキュリティシステム 93
ウィンドー 95　ハンドルまわりのスイッチ 98　ミラー類 115　シート 118
室内灯 / 室内装備品 126　エアコン 136

**オーディオ** P.141

オーディオ装置 142　オーディオリモートコントロールスイッチ 158　リヤカメラシステム 159

**運転** P.164

運転の前に 165　運転 167　ブレーキ 181　駐停車 189
給油 191　アクセサリーと改造 195

**メンテナンス** P.196

メンテナンスの前に 197　エンジンルーム内 199　電球 203　ワイパー 219
タイヤ 222　リトラクタブルキー/Honda スマートキー 226　エアコンのお手入れ 228
清掃 230

**万一の場合には** P.234

工具、発炎筒 235　パンク 236　ジャッキ 244　エンジンが始動しない 246
ジャンプスタート 248　セレクトレバーが動かない 250　オーバーヒート 251
警告灯が点灯 / 点滅した 253　ヒューズ 256　けん引 263
フューエルリッドが解錠できない 266　トランクが開かないとき 267

**資料** P.268

仕様：2.0L 車 269　仕様：2.4L 車 271




車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。



# 安全なドライブ

この章には、安全運転のために必要な重要情報が記載されています。
運転を始める前によくお読みいただき、運転者と同乗者の安全を
確保してください。


**安全なドライブのために** ..... 21
**シートベルト**
シートベルトについて ..... 22
シートベルトの着用 ..... 24
シートベルトの点検 ..... 27
**エアバッグ**
エアバッグの種類 ..... 28
SRS エアバッグ ..... 28
サイドエアバッグ ..... 31
サイドカーテンエアバッグ ..... 34
エアバッグシステム警告灯 / 表示灯 ..... 36
エアバッグのお手入れ ..... 38
**お子さまの安全** ..... 39
乳幼児の安全 ..... 40
大きなお子さまの安全 ..... 49
**排気ガスの危険性**
一酸化炭素について ..... 51

## 安全のための確認事項

安全なドライブのために、走行前に下記の項目を確認してください。

- ドア、トランクは完全に閉まっているか？
  ▶すべてのドア、トランクが完全に閉まり、正しく施錠されていることを確認してください。
  **車内での施錠 / 解錠** P.87
- 運転しやすい姿勢にシート位置を調節しているか？
  ▶正しい運転姿勢がとれるよう、シート位置やヘッドレストの調節をしてください。
  **フロントシート** P.118
- 同乗者のシートも、安全が保たれるよう調節しているか？
  ▶ダッシュボードからできるだけ離れた位置までシートを下げてください。
  **フロントシート** P.118
- 乗員全員が正しくシートベルトを着用しているか？
  ▶運転者と乗員全員が正しくシートベルトを着用していることを確認してください。
  **シートベルトの着用** P.24
- エアバッグシステム警告灯などが点灯していないか？
  ▶エアバッグに関する説明をあらかじめお読みいただき、シートの位置などを調節してください。
  **エアバッグ** P.28
- お子さまの安全を守るために、チャイルドシートやシートベルトを着用しているか？
  ▶お子さまが同乗する場合は、お子さまの年齢や身長・体重に応じてチャイルドシートやシートベルトなどで安全を確保するようにしてください。
  **お子さまの安全** P.39
- 坂道で駐車するときは、パーキングブレーキをかけ、セレクトレバーを P にしているか？
  ▶さらにタイヤに輪止めをすると効果があります。
  **シフト操作** P.172

安全のための確認事項

**ドア / トランク開閉警告灯が点灯している場合は、完全に閉まっていないドア、トランクがあります。**

ドア、トランクをもう一度正しく閉め直してください。「ドア / トランク開閉警告灯」は消灯し、正常な状態に戻ります。

**ドア / トランク開閉警告灯** P.57

# シートベルトについて



シートベルトは、シートに体を固定することで安全を確保するための安全装置です。

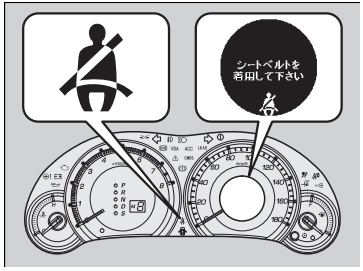
## ■三点式シートベルト

体の動きに合わせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。すべての席に三点式シートベルトが装備されています。

## ■シートベルトの着用

- 運転者は正しい運転姿勢で、シートベルトを必ず着用
- 同乗者にも必ずシートベルトを着用
- シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、必ずチャイルドシートを使用
- 1本のシートベルトを2人以上で使用しない
- ベルトにはクリップや洗たくばさみなどでたるみをつけない

## ■シートベルトリマインダー




エンジンスイッチを II にしたときや走行したとき、運転席のシートベルトを着用するまでシートベルトリマインダーが作動し、ブザーと警告灯でお知らせします。

シートベルトについて

**⚠警告**

**シートベルトは乗員全員が必ず正しく着用する。**
シートベルトを正しく着用しないと、エアバッグが装備されていても、衝突したときに重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**乗車中は正しい姿勢を保つ。**
正しい姿勢ですわらないと、衝突したときに傷害を受ける危険性が高くなります。

**リヤシート外側2座席にチャイルドシートを取り付けて使用してください。**

シートベルトリマインダー

- 運転席シートベルトを着用せずに走行した場合、停車するとブザーは止まります。また、走行している場合でも一定時間を超えるとブザーは止まります。
- セレクトレバーを R に入れたときは後退位置警報装置のチャイムが鳴るため、シートベルト非着用の警告ブザーは鳴りません。

## ■シートベルトプリテンショナー

安全性をより高めるために、フロントシートにはシートベルトプリテンショナーを装備しています。
シートベルトプリテンショナーは、一定以上の前方向からの衝撃を受けると自動的にシートベルトを引き込み、拘束効果を高めるための装置です。




シートベルトプリテンショナー

**⚠注意**

**シートベルト引き込み装置の取り外し、分解などはしない。**
誤作動や故障の原因となります。

**シートベルトプリテンショナーは、一度作動すると使用できません。**
衝突によりシートベルトプリテンショナーが作動するとエアバックシステム警告灯が点灯します。
衝突したときは、Honda 販売店で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

側面からの衝突により、シートベルトプリテンショナーが作動します。

SRS エアバッグとシートベルトプリテンショナーはかならずしも同時に作動しません。

次ページに続く

### ■ E- プリテンショナー*

前方の車両に追突するおそれがあるときに、CMBS と連動して作動しシートベルトを巻き取ります。電子制御ブレーキアシストとも連動して作動します。作動後は、巻き取ったシートベルトを元の状態に戻します。




▶E- プリテンショナー

E-プリテンショナーのみが作動したときは、交換する必要はありません。

**VSA 警告灯が点灯しているときは、E- プリテンショナーは作動しません。**

## シートベルトの着用

### ■三点式シートベルト




**1.** 正しい姿勢でシートにすわる。
**2.** シートベルトをゆっくり引き出す。

▶シートベルトの着用

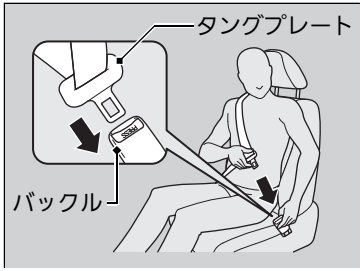
**⚠注意**

**肩ベルトは腕の下に通したり、首の後ろに回さない。**
シートベルトを正しく着用しないと、本来の機能を果たさず衝突時などに、けがをするおそれがあります。

**ベルトが肩に十分かかるよう、ショルダーアンカーの高さを調節してください。**
ベルトがくび、あご、顔などに当たる場合は、ショルダーアンカーの高さを調節します。
**➡ ショルダーアンカーの高さ調節** P.26



**✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。**




**3.** タングプレートをバックルに差し込む。
▶このとき、ベルトにねじれや引っかかりがないように注意します。




**4.** ベルトを、腰骨のできるだけ低い位置にかかるように合わせる。
**5.** ベルトを引っ張り、バックルが固定されていることを確認する。

シートベルトの着用

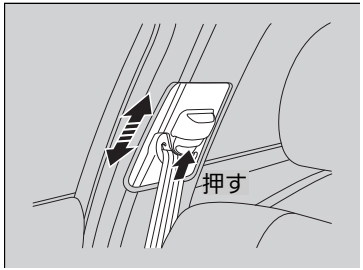
**シートベルトを外すには、バックルの赤色の PRESS を押してください。**
そのとき、ベルトが完全に収納されるようベルトに手を添えてください。

**シートベルトを十分に機能させるため、バックルおよび自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。**



次ページに続く

## ■ショルダーアンカーの高さ調節

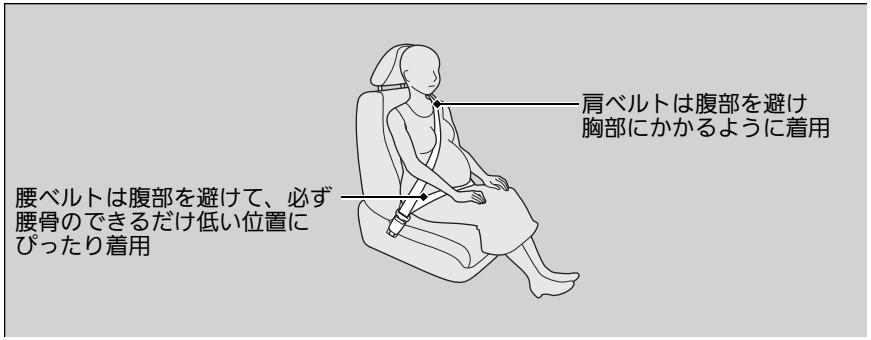



フロントシートのシートベルトは、座高に合わせて、ショルダーアンカーの高さを調節してください。

1. ショルダーアンカーの解除ボタンを押しながら、アンカーを上下に動かす。
2. ちょうどよい高さで解除ボタンを離し、ショルダーアンカーを固定する。

## ■妊娠中のかたのシートベルト着用のしかた

妊娠中のかたが運転または同乗するときは、ご自身と赤ちゃんを守るために、常に三点式シートベルトを着用してください。




≫ショルダーアンカーの高さ調節

**⚠注意**

**調節後は、ショルダーアンカーが確実に固定されているか確認する。**

**安全性を高めるため、肩ベルトが肩から胸にかかっていることを確認してください。**

ベルトが首に当たるときは、下げて調節してください。

≫妊娠中のかたのシートベルト着用のしかた

**⚠注意**

**妊娠中のシートベルト着用は、医師に確認する。**

万一のとき、腹部、胸部、肩部などに圧迫を受けることがあります。

妊娠中のかたは以下の点を注意してください。万一の衝突時にフロントエアバッグによって、ご自身と赤ちゃんが傷害を受ける危険性が軽減されます。

- 運転するときは上体を起こして、運転に支障のない範囲でシートをなるべく後ろに下げる
- 助手席にすわる場合も、シートはできるだけ後ろに下げる

# シートベルトの点検

シートベルトを安全にお使いいただくために、定期的な点検を行ってください。
点検の確認ポイントは下記のとおりです。

- すべてのベルトをいっぱいまで引き出し、ほつれ、破れ、焼けこげ、すり切れがないか？
- バックルが確実に固定されるか？
- ベルトがスムーズに巻き取られるか？

シートベルトの点検

**ベルトがスムーズに巻き取られない場合、ベルトが汚れていないことを確認してください。**
ベルトが汚れているとスムーズに巻き取られない場合があります。まず、ベルトに汚れがないか確認してください。汚れを落とすと動きが元に戻ることがあります。

**ベルトが破損していたり、正しく作動しない場合は、ベルトを交換してください。**

## エアバッグの種類

エアバッグは、エンジンスイッチが II のときに車体が衝突による衝撃を受けると膨らみ、運転者および同乗者の受ける衝撃を緩和させます。
エアバッグには下記の種類があり、衝突の方向や条件などにより作動が異なります。

- **SRS エアバッグ**：フロントシートの前方向エアバッグ
- **サイドエアバッグ**：フロントシートの横方向エアバッグ
- **サイドカーテンエアバッグ**：窓側の天井部両側についたエアバッグ

## SRS エアバッグ

運転席と助手席についています。前方向からの衝突により、SRS エアバッグが膨らんで運転者と助手席の同乗者の頭と胸部への衝撃を緩和します。

**SRS**：サプリメンタルレストレイントシステム(Supplemental Restraint System)の略で、シートベルトの補助拘束の意味。

### ■格納場所

運転席側はハンドルの中央、助手席側はダッシュボードに SRS エアバッグが格納されています。どちらも「SRS AIRBAG」と表示されています。

### ■作動のしくみ

SRS エアバッグが作動するのは、一定以上の衝撃で前方向から衝突したときです。このとき、センサーが衝突による急激な減速を検知し、コントロールユニットのはたらきにより運転席と助手席の SRS エアバッグが膨らみます。

≫エアバッグの種類

**⚠警告**

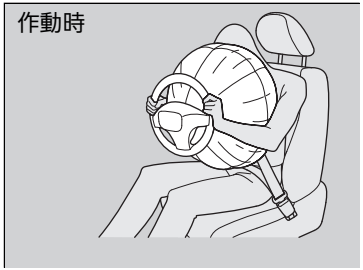
**エアバッグ装備車でもシートベルトは必ず使用する。**
エアバッグは、衝撃を緩和するためのシステムで、シートベルトの補助拘束具です。エアバッグ装備車であっても、必ず正しくシートベルトを着用してください。シートベルトを着用しないと、衝突時にエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

**⚠注意**

**エアバッグが膨らんだ直後は、構成部品に触れない。**
エアバッグの構成部品が熱くなっているため、やけどなどの思わぬけがをすることがあります。

**エアバッグは非常に速い速度で膨らみます。**
エアバッグとの接触により、すり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。

## ■ SRS エアバッグの作動




前方向から衝突すると、シートベルトが乗員の下半身と胴体を拘束し、SRSエアバッグが頭と胸部を保護します。

運転者の視界を妨げたり、ハンドル操作の邪魔にならないように、SRSエアバッグは膨らんだあとすぐにしぼみます。

SRS エアバッグは、次のような場合に作動します。

- 20～30km/h 以上の速度で、きわめて厚い固定されたコンクリートの壁に真正面から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたとき
- 車両の前方左右約 30 度以内の方向から強い衝撃を受けたとき

衝撃を吸収できるもの(車やガードレールのように変形するもの)に衝突した場合、作動するときの車速は高くなります。

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたとき作動することがあります。

- 縁石や地面の突起物に衝突したとき
- 深い溝や穴に落ちたとき
- 高いところから落ちたとき

SRS エアバッグの作動

**⚠警告**

**インストルメントパネルに手をついたり頭や胸を近づけた状態で乗車しない。**
SRS エアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け重大な傷害を受けるおそれがあります。

**⚠注意**

**ハンドルやインストルメントパネル上面に、ステッカーを貼ったり、ものを置いたりしない。**
SRSエアバッグが正常に機能しなくなったり、エアバッグが膨らんだときに置いたものが飛んで運転者や同乗者がけがをする原因になります。

**エアバッグが膨らむときに、空中に粉が舞うことがあります。**
この粉は無害ですが、場合によっては一時的に不快感をおぼえることがあります。
安全を確認後、ただちに車外に出てください。

**エアバッグの作動は、衝突状況とシートベルト着用の有無により異なります。**
そのため、運転席または助手席のエアバッグが片側のみ作動することがあります。

次ページに続く

次のような場合、SRS エアバッグが作動しないことがあります。
- 電柱、立ち木などへの衝突
- トラックなどへの潜り込み
- 部分的な衝突や斜め方向からの衝突

車体の部位によって衝撃の吸収度合いが異なりますので、損傷状態の大小とSRS エアバッグの作動は必ずしも一致しません。

シートベルトだけで乗員を保護できるような低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果がないので作動しません。
- 横方向からの衝突
- 後部からの衝突
- 横転または転覆

事故の状況、形態によっては、SRS エアバッグが作動することがあります。

SRS エアバッグの作動

**⚠注意**

**SRS エアバッグの分解、取り外しはしない。**
不適切な取り扱いは故障や誤作動の原因となります。

車体が衝撃を十分に吸収できた場合、システムは作動しません。

# サイドエアバッグ

フロントシートの背もたれの外側にあるエアバッグです。側面からの衝突により、エアバッグが膨らみ、運転者と助手席の同乗者の胸部への衝撃を緩和します。

## ■格納場所




運転席、助手席ともにシートの背もたれ外側に格納されています。
どちらも「SIDE AIRBAG」と表示されています。

## ■作動のしくみ




サイドエアバッグは、約 30km/h 以上の速度で自車と同等の車が真横から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたときに運転席または助手席のサイドエアバッグが膨らみます。

車両側面に斜めから衝突された場合、サイドエアバッグが作動するときの車速は高くなります。

次ページに続く

▨サイドエアバッグ

**⚠注意**

**ドアやその周辺にアクセサリーなどを取り付けたり、ものを置いたりしない。**
正常に作動しなかったり、作動時にこれらのものが飛ぶことがあります。

**サイドエアバッグ収納部に衝撃や無理な力を加えない。**

**サイドエアバッグは衝撃を受けた側のみ作動します。**
サイドエアバッグは側面からの衝突に対して作動するため、衝撃を受けた側のみ作動します。また、助手席側が衝撃を受けた場合は、助手席側に乗員がいないときでもサイドエアバッグが作動します。

**サイドエアバッグは、シートベルトを着用し上体を起こしてシートに深く腰かけているときに保護効果を発揮します。**
サイドエアバッグの保護効果を維持するために、シートベルトは正しく着用してください。

**サイドエアバッグがシートカバーによっては、正常に機能できなくなります。**
フロントシートへのシートカバー装着にあたっては Honda 販売店にご相談ください。

### ■作動条件

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたとき作動することがあります。

- 縁石や地面の突起物に衝突したとき
- 深い溝や穴に落ちたとき
- 高いところから落ちたとき

次のような場合、サイドエアバッグが作動しないことがあります。

- 乗員付近以外の側面への衝突

サイドエアバッグは乗員の受ける衝撃の大きさによって作動するようになっていますので、車両の損傷状態の大小とサイドエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果がないので作動しません。

- 正面衝突
- 後部からの衝突
- 横転または転覆

事故の状況、形態によっては、サイドエアバッグが作動することがあります。

≫サイドエアバッグ

**⚠注意**

**ドアに寄りかからない。**
**サイドエアバッグの格納部に手や顔を必要以上に近づけない。**
**リヤシート同乗者は、フロントシートの背もたれを抱えない。**
サイドエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け傷害を受けるおそれがあります。

**サイドエアバッグの分解、取り外しはしない。**
不適切な取り扱いは故障や誤作動の原因となります。

**エアバッグが膨らむときに、空中に粉が舞うことがあります。**
この粉は無害ですが、場合によっては一時的に不快感をおぼえることがあります。
安全を確認したら、ただちに車外に出てください。

## ■サイドエアバッグ自動停止システム

助手席に乗ったお子さまなどを保護する目的で、以下のような状態ではサイドエアバッグ自動停止システムがはたらきます。

- 小さなお子さまや小柄な大人のかたがドアに寄りかかるなどで、サイドエアバッグが膨らむ付近に頭があるようなとき
- 助手席の同乗者がサイドエアバッグの作動範囲に入ったとき
- 大人のかたが前かがみになっていたり、寝そべってドアに寄りかかっているとき

こうした状態になるとセンサーが検知し、サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯します。

**サイドエアバッグ自動停止表示灯** P.37

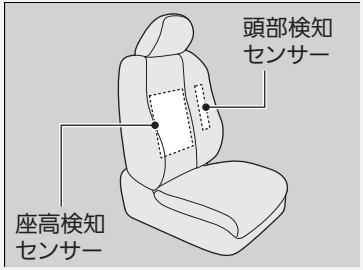
## ■サイドエアバッグ自動停止表示灯の点灯

サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯したら、同乗者に体を起こすように指示してください。また、小さなお子さまの場合は、リヤシートに乗せてください。表示灯が消灯すると、サイドエアバッグは自動停止状態を解除し、通常の状態に戻ります。

### サイドエアバッグ

**各センサーにより乗員の姿勢を検知して、サイドエアバッグの作動を制御します。**

ドアにもたれるなどしないように注意してください。



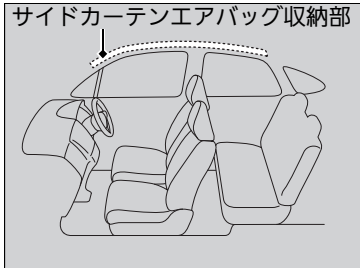

以下のような場合、センサーが正常に作動しないことがあります。

- シートの背もたれがぬれているとき
- 金属など電気を通すものが接しているとき
- シートにクッションなどを置いているとき
- ダウンジャケットなど厚い上着を着ているとき

# サイドカーテンエアバッグ

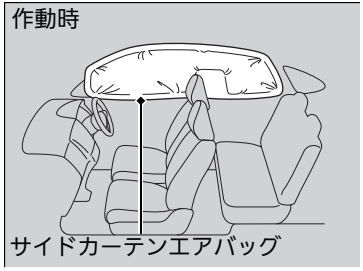
窓側の天井部にあるエアバッグです。側面からの衝突により、エアバッグが膨らみ、乗員の頭部への衝撃を緩和します。

## ■格納場所




運転席側、助手席側ともに窓側の天井部に格納されています。
どちらも「SIDE CURTAIN AIRBAG」と表示されています。

## ■作動のしくみ




サイドカーテンエアバッグが作動するのは、一定以上の衝撃で側面方向から衝突したときです。運転席側または助手席側のサイドカーテンエアバッグが膨らみます。

### ■作動条件

サイドカーテンエアバッグの作動条件は、サイドエアバッグと同じ条件です。

**作動条件** P.32

▶サイドカーテンエアバッグ

### ⚠注意

**サイドカーテンエアバッグが正常に作動しなかったり、作動時にものが飛んだりすることがあるので、以下のことに注意する。**

- フロントガラス、ドアガラス、フロント、センター、リヤの各ピラーまわりにアクセサリーなどを取り付けない
- グラブレールにものをかけない
- コートフックに重いものやとがったものをかけない

正常に作動しなかったり、作動時にこれらのものが飛ぶことがあります。

**サイドカーテンエアバッグは衝撃を受けた側のみ作動します。**
サイドカーテンエアバッグは側面からの衝突に対して作動するため、衝撃を受けた側のみ作動します。また、助手席側が衝撃を受けた場合は、助手席側に乗員がいないときでもサイドカーテンエアバッグが作動します。

**サイドカーテンエアバッグは、シートベルトを着用し上体を起こしてシートに深く腰かけているときに保護効果を発揮します。**
サイドカーテンエアバッグの保護効果を維持するために、シートベルトは正しく着用してください。

### ■前方向から衝突したときの作動

前方向からの衝突時、横方向に一定以上の力がかかると、SRS エアバッグが膨らんだあと必要な側のサイドカーテンエアバッグが膨らみます。

サイドカーテンエアバッグ

**⚠注意**

**サイドカーテンエアバッグ収納部に衝撃を加えない。**
収納部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、Honda 販売店で交換してください。

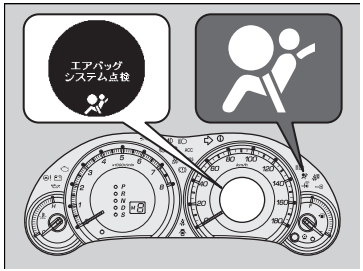
**サイドカーテンエアバッグの分解、取り外しはしない。**
不適切な取り扱いは故障や誤作動の原因となります。

# エアバッグシステム警告灯 / 表示灯

エアバッグやシートベルトプリテンショナーの異常などを、警告灯や表示灯、マルチインフォメーションディスプレイで知らせます。



## ■エアバッグシステム警告灯




### ■エンジンスイッチを II にしたとき

エンジンスイッチを II にすると、エアバッグシステム警告灯が数秒間点灯し、消灯すれば正常です。

### ■異常が発生したとき

エアバックシステムまたはプリテンショナーシステムに異常があるとき点灯します。

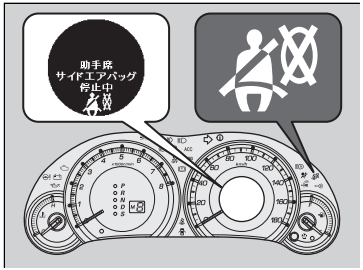
≫エアバッグシステム警告灯

**⚠警告**

**エアバッグシステム警告灯を無視しない。**
エアバッグシステム警告灯を無視すると、エアバッグシステム、プリテンショナーシステムが正しく機能せず、重大な傷害を受けたり死亡したりするおそれがあります。エアバッグシステム警告灯が点灯する場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

**エアバッグシステム警告灯が点灯状態のときは、Honda 販売店で点検を受けてください。**
エンジンスイッチを II にしたときにエアバッグシステム警告灯が点灯しない場合も、エアバッグシステムまたはプリテンショナーシステムに異常がある可能性があります。ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

## ■サイドエアバッグ自動停止表示灯




### ■エンジンスイッチを II にしたとき

エンジンスイッチを II にすると、サイドエアバッグ自動停止表示灯が数秒間点灯し、消灯すれば正常です。

### ■サイドエアバッグ自動停止システムの作動

サイドエアバッグの自動停止システムが作動して、助手席のサイドエアバッグシステムが停止状態になると、サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯します。

この表示灯が点灯していても、異常ではありません。

➲ **サイドエアバッグ自動停止システム** P.33

⩙サイドエアバッグ自動停止表示灯

アドバイス

**以下の状態で点灯する場合、Honda 販売店で点検を受けてください。**

- 走行中、助手席に誰も乗っていないとき
- 正しい乗車姿勢をとっているとき

エンジンスイッチを II にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないときも、Honda 販売店で点検を受けてください。

**助手席の同乗者が正しい乗車姿勢をとっている状態で、サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯する場合は、下記の項目を確認してください。**

- シートの背もたれがぬれていないか？
- 金属など電気を通すものが接していないか？
- シートにクッションなどを置いていないか？
- ダウンジャケットなど厚い上着を着ていないか？

原因となるものを取り除いても、サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯している場合はHonda 販売店で点検を受けてください。

# エアバッグのお手入れ

エアバッグシステムは、メンテナンスを必要とせず、部品交換の必要もありません。 ただし、以下の場合は Honda 販売店で点検を受けてください。

**■エアバッグが作動し、膨らんだとき**

一度作動したエアバッグは、コントロールユニットやその他の関連部品とともに必ず交換する必要があります。
また、シートベルトプリテンショナーも同様に、一度作動した場合は新品と交換する必要があります。

## お子さまの安全を守るために

お子さまが乗車するときは、下記の注意点を確認し、お子さまの安全を確保してください。



- お子さまはリヤシートに乗せる
  ▶お子さまを助手席に乗せると、不意の動作が気になったり、スイッチ類をいたずらしたりするなど運転の妨げになるおそれがあります。
  また、SRS エアバッグが膨らむ際、強い衝撃があるため危険です。
- お子さまにも必ずシートベルトを着用させる
  ▶お子さまを抱えていても、衝突したときに支えることができず危険です。正しい着用方法でお子さまにもシートベルトをしてください。
- 乳幼児にはチャイルドシートを使用する
  ▶乳幼児を乗せるときは、必ずチャイルドシートを使用します。
- 窓から手や顔、ものを出さない
  ▶走行中や一時停止時などに、お子さまが窓から手や顔、ものなどを出さないように注意してください。思わぬ障害物により事故のおそれがあり危険です。
- ドア、ウィンドー、シートなどの操作は必ず大人が行う
  ▶思わぬけがの原因となりますので、お子さまにはドア、ウィンドー、シートなどの操作をさせないでください。
- 車を離れるときは、お子さまを連れて出る
  ▶お子さまだけを車内に残さないでください。特に、炎天下の車内は高温になり危険です。また、お子さまのいたずらにより、車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。



**⚠警告**

**チャイルドシートはリヤシートに設置する。**
助手席に設置するとSRSエアバッグが作動したときの衝撃で、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

**⚠警告**



シート前部のエアバッグで保護されたシートには、後向きの幼児拘束装置を使わないでください。

**お子さまを助手席に乗せないほうが良い理由は下記の通りです。**

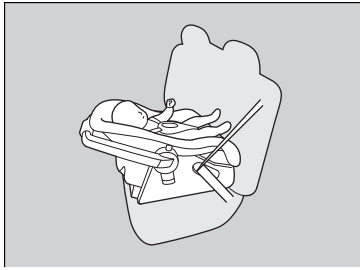
- お子さまが助手席のシートに正しく乗車できないと、SRSエアバッグが膨らんだときに重大な傷害を負うおそれがある
- お子さまの体の一部がサイドエアバッグの作動範囲に入ると、サイドエアバッグが膨らんだときに重大な傷害を負うおそれがある

# 乳幼児の安全



## ■乳児のチャイルドシート

首のすわっていない乳児は、乳児用のチャイルドシートを正しく固定し、乗せてください。



### ■後ろ向きのチャイルドシートの設置場所

リヤシートに設置することができます。
推奨するのは、助手席の真後ろの席への設置です。その場合、助手席には人を乗せず助手席のシートをできるだけ前に出してください。

▶乳児のチャイルドシート

**⚠警告**

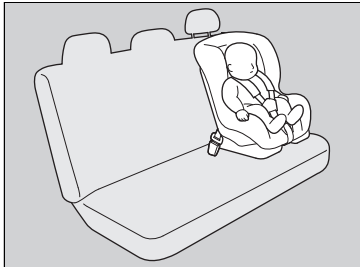
**後ろ向きのチャイルドシートを前向きにして使わない。**
前向きにして使うと前方から衝突したときに、乳児が重大な傷害を負うおそれがあります。

**後ろ向きのチャイルドシートは助手席に設置しない。**
助手席の SRS エアバッグが膨らんだときに、チャイルドシートの背面にエアバッグが当たり、乳児が重大な傷害を負ったり死亡したりするおそれがあります。

**運転席を推奨する位置まで下げられなかったり背もたれの角度を調節できなかったりした場合は、他の席に設置してください。**

## ■幼児のチャイルドシート

チャイルドシートメーカーが指定する範囲内の幼児は、前向きのチャイルドシートを正しく固定し、乗せてください。



### ■前向きのチャイルドシートの設置場所

リヤシートへの設置を推奨します。

幼児のチャイルドシート

**⚠警告**

**助手席に前向きのチャイルドシートを設置しない。**

助手席に前向きのチャイルドシートを設置すると、助手席のシートが前に出すぎていたり、衝突したときに幼児の頭が前に投げ出されるとSRSエアバッグで強い衝撃を受けるため、重大な傷害を負ったり死亡したりするおそれがあります。

やむをえず助手席に前向きのチャイルドシートを設置する場合は、助手席のシートをできるだけ後ろに下げて設置してください。

次ページに続く

## ■チャイルドシートの選びかた

チャイルドシートを購入するときは、シートベルト固定タイプチャイルドシートまたは汎用型 ISOFIX チャイルドシートをお選びください。
シートベルト固定タイプチャイルドシートは、シートベルトを用いて座席に固定します。
汎用型 ISOFIX チャイルドシートは、リヤシート外側 2 座席に付属しているロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジで固定するため取り付けが簡単です。

### ■チャイルドシート選択の条件

チャイルドシートが適切な保護効果を発揮するためには、以下の3つの条件を満たしている必要があります。

- 一覧表に案内されているチャイルドシートであること
  **選択の目安** P.43, 45
- チャイルドシートがお子さまに合ったタイプとサイズであること
- チャイルドシートが取り付ける車の座席にあったものであること

チャイルドシートの選びかた

**汎用型 ISOFIX チャイルドシートは取り付けが簡単です。**

汎用型ISOFIXチャイルドシートは取り付けを簡単にすることで、不適切な取り付けが原因で起きる傷害を減らすために開発されたものです。

## ■シートベルトで固定するチャイルドシートについて

この車には様々なタイプのチャイルドシートが利用可能ですが、すべてのタイプが適当であるというわけではありません。
次の表を参照して、それぞれの着席位置で、どのチャイルドシートが使用できるかを選択してください。

### ■選択の目安

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

| ベルト固定タイプ<br>チャイルドシート<br>重量区分 | 座席位置<br>前席<br>助手席 | 後席<br>外側席 | 後席<br>中央席 |
|---|---|---|---|
| グループ 0<br>～ 10kg | X | U | X |
| グループ 0＋<br>～ 13kg | X | U | X |
| グループ I<br>9kg ～ 18kg | L※1 | U | L※1 |
| グループ II<br>15kg ～ 25kg | L※2 | U | L※2 |
| グループ III<br>22kg ～ 36kg | L※2 | U | L※2 |

**記号の説明**

U　：汎用型チャイルドシートが取り付け可能です。
L※1：Honda Kids ISOFIX チャイルドシートが取り付け可能です。
L※2：ASIMO Junior Seat が取り付け可能です。
X　：チャイルドシートを取り付けできません。

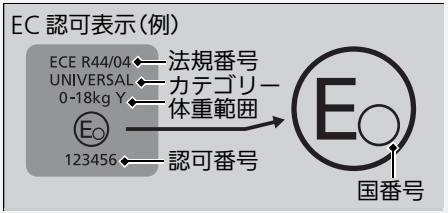
次ページに続く

シートベルトで固定するチャイルドシートについて

**チャイルドシートに関する国連の安全基準であるECE R44に適合しているチャイルドシートには、シートベルトで固定する機構が付いています。**

**チャイルドシートをご購入する際は、質量グループに一致したものをお選びください。**

**Uのチャイルドシートには、ECE R44 認可表示と取扱説明書に UNIVERSAL(汎用)と案内されているものもあります。**




**詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。**

**Honda 純正のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際しては Honda 販売店にご相談ください。**

## ■汎用型 ISOFIX チャイルドシートの案内

この車のリヤシートの外側 2 座席には汎用型 ISOFIX チャイルドシートを取付けるためのロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジを装備しています。
次ページの表を参照して、それぞれの着席位置で、どのチャイルドシートが使用できるかを選択してください。

▶▶汎用型 ISOFIX チャイルドシートの案内

**Honda 純正品のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際しては Honda 販売店にご相談ください。**

## ■選択の目安

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

| 汎用型 ISOFIX チャイルドシート 重量区分 | サイズ等級 | 固定具 | ISOFIX 位置 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 前席 | 後席 | |
| | | | 助手席 | 外側席 | 中央席 |
| キャリコット | F<br>G | ISO/L1<br>ISO/L2 | —<br>— | X<br>X | —<br>— |
| グループ 0<br>～ 10kg | E | ISO/R1 | — | IL | — |
| グループ 0＋<br>～ 13kg | E<br>D<br>C | ISO/R1<br>ISO/R2<br>ISO/R3 | —<br>—<br>— | IL<br>X<br>X | —<br>—<br>— |
| グループ I<br>9kg ～ 18kg | D<br>C<br>B<br>B1<br>A | ISO/R2<br>ISO/R3<br>ISO/F2<br>ISO/F2X<br>ISO/F3 | —<br>—<br>—<br>—<br>— | X<br>X<br>IUF<br>IUF<br>IUF | —<br>—<br>—<br>—<br>— |
| グループ II<br>15kg ～ 25kg | — | — | — | X | — |
| グループ III<br>22kg ～ 36kg | — | — | — | X | — |

**記号の説明**

IL　：国連の安全基準 ECE R44 に適合している車両限定型 ISOFIX チャイルドシートのみが取り付け可能です。

IUF　：国連の安全基準 ECE R44 に適合している汎用型 ISOFIX チャイルドシートのみが前向きに取り付け可能です。

X　：ISOFIX チャイルドシートを取り付けできません。

次ページに続く

### 汎用型 ISOFIX チャイルドシートについて

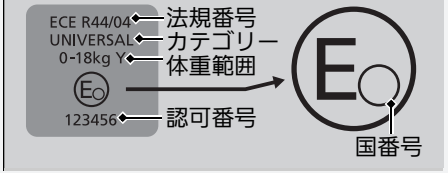
**チャイルドシートをご購入する際は、ISOFIX サイズ等級に一致したものをお選びください。**

| 固定具 | お子さまの大きさ | 使用の向き | 形状、大きさ |
|---|---|---|---|
| ISO/L1 | 乳児 | 左 | 寝台式 |
| ISO/L2 | 乳児 | 右 | 寝台式 |
| ISO/R1 | 乳児 | 後ろ | — |
| ISO/R2 | 幼児 | 後ろ | 小型 |
| ISO/R3 | 幼児 | 後ろ | 大型 |
| ISO/F2 | 幼児 | 前 | 低型 |
| ISO/F2X | 幼児 | 前 | 低型 |
| ISO/F3 | 幼児 | 前 | 全高 |

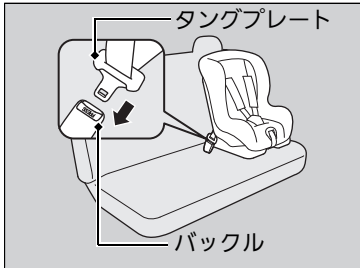
**IL は ECE R44 に適合した、Honda 純正 Honda Baby ISOFIX のみ取り付けることができます。**
**ご購入は Honda 販売店にご相談ください。**

**IUF のチャイルドシートには、ECE R44 認可表示と取扱説明書に UNIVERSAL ISOFIX（汎用）と案内があります。**

EC 認可表示（例）



## ■シートベルトでの取り付け




**1.** チャイルドシートを座席に置く。

**2.** シートベルトをチャイルドシートに通し、タングプレートをバックルに差し込む。

▶このとき、バックルが「カチッ」という音がするまできちんと差し込んでください。



**3.** チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り付ける。

**4.** チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認する。

## ■チャイルドシートの取り外し

バックルを外し、シートベルトをチャイルドシートから引き抜きます。

▶▶シートベルトでの取り付け

**⚠注意**

**チャイルドシートが確実に固定されているか確認する。**

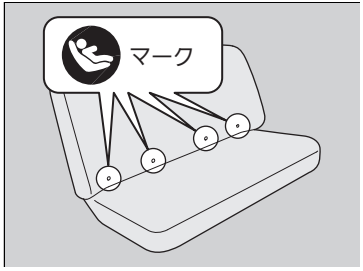
確実に固定されていないと、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

**チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読んでください。**

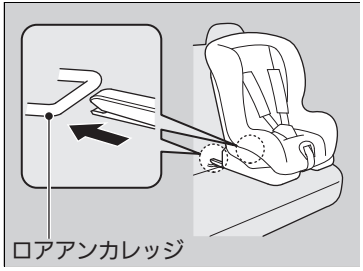
**チャイルドシートの種類によりシートベルトの固定に固定金具(ロッキングクリップ)が必要になります。**

## ■汎用型 ISOFIX チャイルドシートの取り付け

汎用型 ISOFIX チャイルドシートは、リヤシート外側 2 座席に設置できます。チャイルドシートは、ロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジで固定します。




**1.** マークの下にあるシートの切れ目からロアアンカレッジを確認する。




**2.** チャイルドシートを座席に置き、チャイルドシートの取扱説明書にしたがってロアアンカレッジに取り付ける。

▶取り付けの際に、異物やシートベルトなどがロアアンカレッジにかみ込まないようにしてください。

▩汎用型 ISOFIX チャイルドシートの取り付け

**⚠注意**

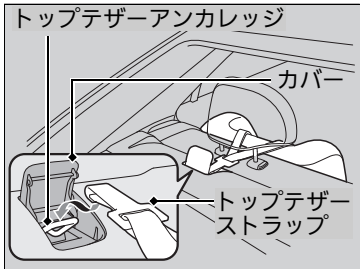
**ロアアンカレッジ周辺に、異物やシートベルトのかみ込みがないか確認する。**

異物やシートベルトをかみ込むとチャイルドシートが確実に固定されず、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

**汎用型 ISOFIX チャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。**

**チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読んでください。**

次ページに続く




**3.** ヘッドレストの後ろにあるカバーを開ける。

**4.** ヘッドレストを調節して最上段で固定し、トップテザーストラップをヘッドレストの下に通す。

▶このときトップテザーストラップがねじれないように注意してください。

**5.** トップテザーストラップをトップテザーアンカレッジに引っかけ、ストラップを締める。

**6.** チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認する。

汎用型 ISOFIX チャイルドシートの取り付け

**⚠注意**

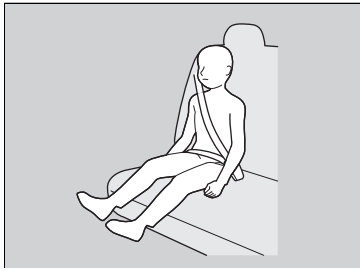
**チャイルドシートが確実に固定されているか確認する。**

確実に固定されていないと、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

# 大きなお子さまの安全

## ■シートの使用について

幼児用のチャイルドシートの使用条件を超えるお子さまは、リヤシートに乗せて三点式シートベルトを着用させてください。お子さまをシートに深くすわらせ、以下の確認項目でひとつでも適合しない場合、ジュニアシートの使用が必要です。



### ■確認項目

- お子さまのひざがシートの前端で無理なく曲がっているか？
- 肩ベルトがお子さまの首と腕の間にかかっているか？
- 腰ベルトが低い位置にあり、お子さまの太ももに触れているか？
- 乗車中、無理なくすわっていられるか？

大きなお子さまの安全

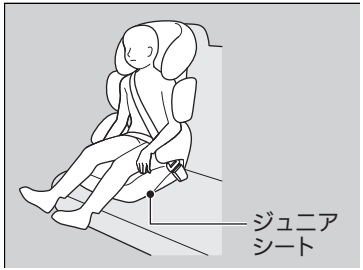
**⚠警告**

**お子さまは助手席に乗せない。**
お子さまを助手席に乗せると、SRS エアバッグが膨らんだときに、重大な傷害を負うおそれがあります。
やむをえず、助手席にお子さまを乗せる場合は、できるだけシートを後方に下げ、必要ならばジュニアシートを使用し、適切にシートベルトを着用してすわらせてください。

**やむをえずお子さまを助手席に乗せる場合は、次ページの注意事項を厳守してください。**

次ページに続く

## ■ジュニアシートについて




三点式シートベルトを使用できず、ジュニアシートを用いる必要があるお子さまは、ジュニアシートをリヤシートに設置して使用してください。
安全のため、お子さまがジュニアシートの使用に適した範囲に入っているか確認してください。

## ■やむをえず、お子さまを助手席に乗せる場合

正しい姿勢ですわる、走行中にシートベルトを着用するなどの規則をお子さまが守ることができ、お子さまを助手席に乗せても安全と判断した場合、下記の項目を守ってお子さまを乗車させてください。

- この取扱説明書をよく読み、シートベルトに関する指示と安全に関して十分に理解する
- 助手席を一番後ろまで下げる
- 上体を起こし、シートに深く腰かけ、足をフロアーにつけるよう指示する
- お子さまのシートベルトが正しい位置で、しっかり固定されているか確認する
- お子さまの行動を見守る

▶ジュニアシートについて

**ジュニアシートの取り付けについては、ジュニアシートに付属の取扱説明書をよく読み、正しく取り付けてください。**
ジュニアシートには、座高の高いものと低いものがあります。お子さまが適切にシートベルトを着用できるものを選択してください。

## 一酸化炭素について

車の排気ガスには一酸化炭素が含まれています。車をきちんと保守していれば、一酸化炭素が車内に入ることはありません。
以下の場合は、排気ガスのもれがないか Honda 販売店で点検を受けてください。

### ■点検が必要な場合

- 排気音に異常を感じたとき
- 車が衝突し、排気システムが損傷した可能性があるとき

一酸化炭素について

**⚠警告**

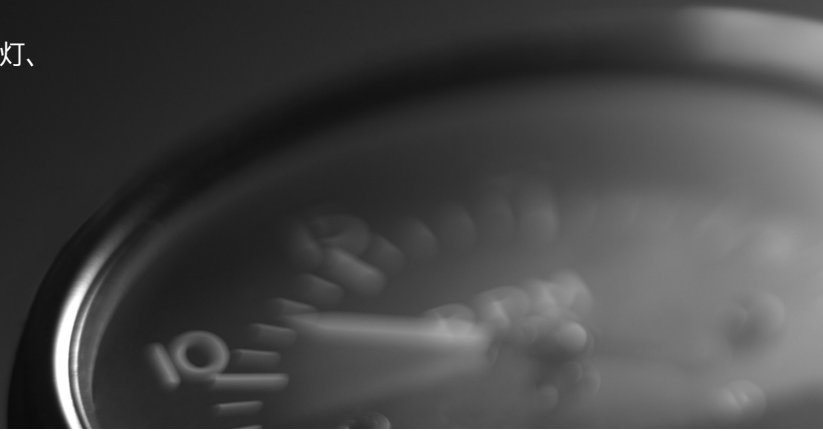
**一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業を避ける。**
一酸化炭素は有毒です。一酸化炭素を吸い込むと意識不明になったり、死亡したりするおそれがあります。
密閉された場所での作業や、一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業はしないでください。

**降雪時や積雪のある場所では、エンジンをかけたままにしない。**
周囲に積もった雪により排気ガスが滞留し車内に入ってくると、重大な傷害や死亡にいたるおそれがあります。

**ガレージなどの密閉された場所は、一酸化炭素が急に充満するおそれがあります。**
ガレージのドアを閉めたままエンジンをかけないでください。ドアが開いている場合でも、ガレージから車を出す直前にエンジンをかけるようにしてください。

# 計器の見かた

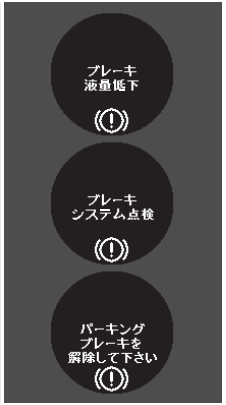
この章では、運転中に使用するスイッチや警告灯・表示灯、
メーター類に関する情報を記載しています。




**警告灯と表示灯**
- 警告灯 ..... 53
- 表示灯 ..... 58
- マルチインフォメーションディスプレイの警告メッセージ ..... 62

**メーターとマルチインフォメーションディスプレイ**
- メーター..... 66
- マルチインフォメーションディスプレイ....67

## 警告灯

| 警告灯 | 名称 | 点灯 / 点滅する状況 | 知識 | メッセージ |
|---|---|---|---|---|
|  | ブレーキ警告灯 | • エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯(パーキングブレーキをかけているときは点灯)<br>• ブレーキフルード量が低下したときに点灯 | • 走行中に点灯したりパーキングブレーキを解除しても点灯するときは、ブレーキフルードを点検し、下限より減っている場合はただちに Honda 販売店で点検を受けてください。<br>• ABS 警告灯と同時に点灯した場合も、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。<br>➡ **ブレーキ警告灯が点灯した** P.254 |  |
|  | 油圧警告灯 | • エンジンスイッチを II にすると点灯し、エンジン始動で消灯<br>• エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯 | • **走行中に点灯**=ただちに安全な場所に車を停車し、対処してください。<br>➡ **油圧警告灯が点灯した** P.253 |  |
|  | PGM-FI 警告灯 | • エンジンスイッチを II にすると点灯し、エンジン始動で消灯<br>エンジンを始動していないときは数十秒後消灯<br>• エンジンの排気ガス制御システムに異常があると点灯<br>• エンジン各気筒の失火状態を検知したときに点滅 | • **走行中に点灯**=高速走行を避けてただちに Honda 販売店で点検を受けてください。<br>• **走行中に点滅**=枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10 分以上エンジンを止めて冷えるのをお待ちください。<br>➡ **PGM-FI 警告灯が点灯 / 点滅した** P.254 |  |

次ページに続く

| 警告灯 | 名称 | 点灯 / 点滅する状況 | 知識 | メッセージ |
|---|---|---|---|---|
|  | 充電警告灯 | • エンジンスイッチを II にすると点灯し、エンジン始動で消灯<br>• バッテリーが充電されていないと点灯 | • **走行中に点灯**＝電気の消費量を減らすため、エアコンやリヤデフロスターなどを OFF にし、対処してください。<br>➡ **充電警告灯が点灯した** P.253 |  |
| ○ *D* | トランスミッション警告灯 | • エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯<br>• トランスミッションが異常のときに点滅 | • 運転中に点滅した場合は、急発進、急加速を避けて、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 |  |
|  | シートベルト非着用警告灯 | • 運転者がシートベルトをしないと点灯<br>• エンジンスイッチを II にしたときや走行中、運転者がシートベルトを着用していないとブザーが鳴り、ブザーが鳴っている間は警告灯が点滅 | • シートベルトを正しく着用するとブザーがやみ、警告灯が消灯します。<br>• シートベルトを正しく着用していても警告灯が点灯する場合は、センサーの誤検知などの要因が考えられます。<br>➡ **シートベルトリマインダー** P.22 |  |
|  | Honda スマートキーシステム警告灯✤ | • エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯<br>• Honda スマートキーシステムが異常のときに点灯 | • 下記のような場合、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。<br>• 運転中に点灯した<br>• エンジン始動後も消灯しない<br>• エンジンスイッチが 0 のときに数秒間点灯した |  |



✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

| 警告灯 | 名称 | 点灯 / 点滅する状況 | 知識 | メッセージ |
|---|---|---|---|---|
| 警告灯  | 燃料残量警告灯 | • 燃料の残量が少なくなると点灯<br>• 点灯するのは、タンクに残っている残量がおよそ 10 リットルになったときです。<br>• 燃料計に異常があるときは点滅 | • 点灯したら早めに給油してください。<br>• 点滅したときは、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 |  |
| ACC | ACC(アダプティブクルーズコントロール)警告灯 (オレンジ色)✤ | • ACC(アダプティブクルーズコントロール)システムが異常のときに点灯 | • 詳細については、別冊の「ACC」取扱説明書をご覧ください。 |  |
| (ABS) | ABS(アンチロックブレーキシステム)警告灯 | • エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯<br>• ABS が異常のときに点灯 | • 点灯したときは、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。<br>➔ **ABS(アンチロックブレーキシステム)** P.183 |  |



✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

次ページに続く

| 警告灯 | 名称 | 点灯 / 点滅する状況 | 知識 | メッセージ |
|---|---|---|---|---|
|  | エアバッグシステム警告灯 | • エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯<br>• 下記のとき点灯<br>  • エアバッグシステムの異常<br>  • プリテンショナーシステムの異常 | • 常時点灯、あるいは全く点灯しない場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。 |  |
|  | VSA(ビークルスタビリティアシスト)警告灯 | • エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯<br>• VSA が作動しているときは点滅<br>• ブレーキアシストシステム、VSA システムのいずれかが異常のときに点灯 | • 運転中に点灯したときは、ただちにHonda 販売店で点検を受けてください。なお、点灯の場合でも通常のブレーキ機能としての性能は確保されています。<br>**➔ VSA(ビークルスタビリティアシスト)** P.179 |  |
|  | VSA OFF 警告灯 | • エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯<br>• VSA を OFF にすると点灯 | **➔ VSA(ビークルスタビリティアシスト)** P.179 | — |

| 警告灯 | 名称 | 点灯 / 点滅する状況 | 知識 | メッセージ |
|---|---|---|---|---|
| CMBS | CMBS 警告灯✤ | • エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯<br>• CMBS をOFFにしているとき点灯<br>• CMBS に異常があるとき点灯 | • OFFにしていないのに点灯する場合は、いくつかの理由が考えられます。<br>➡ **CMBS(追突軽減ブレーキ)✤** P.185 |  |
| | ドア / トランク開閉警告灯 | • ドア、トランクが閉まっているときは、エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯<br>• ドア、トランクが完全に閉まっていないとき点灯 | • ドア、トランクを完全に閉めると、警告灯が消灯します。 |  |
| | EPS(エレクトリックパワーステアリング)警告灯 | • エンジンスイッチを II にすると点灯し、エンジン始動で消灯<br>• EPS(エレクトリックパワーステアリング)システムの機能に異常があると点灯 | • 常時点灯、あるいは全く点灯しない場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。<br>➡ **EPS 警告灯が点灯した** P.255 |  |



✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

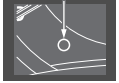
# 表示灯

| 表示灯 | 名称 | 点灯 / 点滅する状況 | 知識 | メッセージ |
|---|---|---|---|---|
|  | 方向指示器<br>表示灯 | • 方向指示器と対応し、左右どちらかが点滅<br>• 非常点滅表示灯スイッチを押すと、左右同時に点滅 | • 点滅しない / 点滅の周期が速いときは、方向指示器の電球が切れています。ただちに電球を交換してください。<br>➡ **電球の交換** P.206, 213 | — |
|  | ハイビーム表示灯 | • ヘッドライトを上向きにしたときに点灯 | — | — |
|  | ライト点灯<br>表示灯 | • ライトスイッチが OFF 以外のときに点灯(AUTO のときは車幅灯点灯時に点灯) | • ライトを点灯したままキーを抜く・プッシュオフにすると、運転席のドアを開けたときにライト消し忘れ警告ブザーが鳴ります。 | — |
|  | フォグライト<br>点灯表示灯✤ | • フォグライトを点灯させると点灯 | — | — |
|  | サイドエアバッグ<br>自動停止表示灯 | • エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯<br>• 助手席のサイドエアバッグシステムのセンサーが作動し、サイドエアバッグシステムが自動的に停止したときに点灯 | • 一瞬の点灯は異常ではありません。<br>• 点灯したときは、上体を起こしてすわってください。小さいお子さまが助手席に乗っているときは、リヤシートに乗せてください。<br>• 助手席に誰も乗っていないのに走行中点灯するときは、Honda 販売店で点検を受けてください。 |  |



✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

| 表示灯 | 名称 | 点灯 / 点滅する状況 | 知識 | メッセージ |
|---|---|---|---|---|
|  | イモビライザーシステム表示灯 | • エンジンスイッチを II にすると一瞬点灯し、すぐに消灯<br>• イモビライザーシステムがキーの情報を認識できないと点滅 | • 一瞬の点灯は異常ではありません。<br>• 点滅しているときは、エンジンを始動することはできません。エンジンスイッチをいったん 0 へ回しキーを抜いてから、もう一度エンジンスイッチに差し込み II にしてください。<br>Honda スマートキーシステム装備車は、エンジンスイッチを 0 (プッシュオフ)にしてから、もう一度 II にしてください。<br>• 頻繁に表示灯の点滅を繰り返す場合は、システムの異常が考えられますのでHonda 販売店で点検を受けてください。<br>• エンジンスイッチのそばに、別のキーや金属があるとイモビライザーシステムがキーの情報を読み取れないことがあります。 | — |
|  | インフォメーション表示灯 | • 異常を検知すると警告音が鳴り、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示され、同時に点灯 | • メッセージが表示されたときは、表示灯、警告灯の該当ページを参照して、必要な処置を行ってください。<br>• メッセージは、警告が解除されるか、インフォメーション(i)スイッチ( ▲ / ▼ )を押すまで通常表示に戻りません。<br>• 点灯しているときにインフォメーション(i)スイッチ( ▲ / ▼ )を押すと、メッセージを再表示させる事ができます。 | — |

| 表示灯 | 名称 | 点灯 / 点滅する状況 | 知識 | メッセージ |
|---|---|---|---|---|
|  | セキュリティアラームシステム作動表示灯 | • セキュリティアラームシステムがセットされているときに点滅 | ➡ **セキュリティアラームシステム** P.93 | — |
| CRUISE MAIN | クルーズメイン表示灯✤ | • クルーズスイッチを押して、クルーズコントロールをONにすると点灯 | ➡ **クルーズコントロール✤** P.176 | — |
| CRUISE CONTROL | クルーズコントロール表示灯✤ | • クルーズコントロールで自動定速走行しているときに点灯 | ➡ **クルーズコントロール✤** P.176 | — |
| ACC | ACC(アダプティブクルーズコントロール)表示灯(緑色)✤ | • ACC スイッチを押して、ACC をON にすると点灯 | • 詳細については、別冊の「ACC」取扱説明書をご覧ください。 | — |
| A | ハイビームサポートシステム表示灯✤ | • エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯<br>• ハイビームサポートシステムの作動準備が整うと点灯し、作動中も点灯 | ➡ **ハイビームサポートシステム✤** P.106 | — |



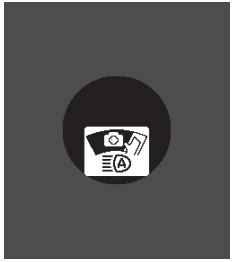
✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

| 表示灯 | 名称 | 点灯 / 点滅する状況 | 知識 | メッセージ |
|---|---|---|---|---|
| ○ P<br>○ R<br>○ N<br>○ D<br>○ S | セレクトポジション表示灯 | • 現在のポジションで点灯 | ➔ シフト操作 P.172 | — |
| M 2 | シフトインジケーター/ M (シーケンシャルモード) 表示灯 | • セレクトレバーが S で、シーケンシャルモードのときに点灯<br>• シーケンシャルモードのとき、ギヤ位置を表示 | ➔ シフト操作 P.172 | — |

# マルチインフォメーションディスプレイの警告メッセージ

下記の警告メッセージはマルチインフォメーションディスプレイにのみ表示されます。
再表示させるときはインフォメーション(ⓘ)スイッチ(▲/▼)を押してください。

| 警告メッセージ | 表示される状況 | アドバイス |
|---|---|---|
|  | • エンジンスイッチが II のときに、外気温が 3 ℃以下になると1回のみ表示 | — |
|  | • ライトを点灯したままキーを抜く・プッシュオフにして、運転席のドアを開けると表示 | • ライトスイッチをOFFにしてください。<br>➔ **ライトスイッチ** P.104 |
|  | • エンジンスイッチが I のときに運転席のドアを開けると表示 | • エンジンスイッチを 0 にして、キーをエンジンスイッチから抜いてください。<br>➔ **エンジンスイッチ** P.98<br>• Honda スマートキーを使用しているときは、エンジンスイッチノブを 0 (プッシュオフ)にしてください。<br>➔ **Honda スマートキーシステム装備車のエンジンスイッチ** P.99 |

| 警告メッセージ | 表示される状況 | アドバイス |
|---|---|---|
|  | • ハイビームサポートシステムのカメラが汚れているときに表示 | • 運転中に表示された場合は、ライトの点灯 / 消灯は手動で行ってください。<br>• 汚れているときは安全な場所に車を停めて、やわらかい布で汚れを拭き取ってください。<br>• 清掃しても表示が消えない時は Honda 販売店で点検を受けてください。<br>**ハイビームサポートシステム*** P.106 |
|  | • ハイビームサポートシステムが異常のときに表示 | • 表示された場合は手動で操作を行い、Honda 販売店で点検を受けてください。<br>• ハイビームで走行中の場合はロービームに切り換わります。<br>**ハイビームサポートシステム*** P.106 |
|  | • エンジンの冷却水の温度が異常に高いときに表示 | **オーバーヒート** P.251 |



**✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。**

次ページに続く

| 警告メッセージ | 表示される状況 | アドバイス |
|---|---|---|
|  | • エンジンスイッチが I であり、運転席のドアを開けていないときに表示 | — |
|  | • エンジンスイッチが 0 のときに運転席のドアを開けると表示 | • キーをエンジンスイッチから抜いてください。<br>➡ **エンジンスイッチ** P.98 |
|  | • エンジンスイッチが II で、Hondaスマートキーを車外に持ち出し、ドアを閉めたときに、警告音と同時に表示 | ➡ **Hondaスマートキー持ち去り警告** P.101 |
|  | • Honda スマートキーの電池残量が少なくなったときに、警告音と同時に表示 | ➡ **電池交換のしかた** P.226 |
|  | • オートライトコントロールシステムに異常があると表示 | • 運転中に表示された場合は、ライトの点灯 / 消灯は手動で行い、Honda 販売店で点検を受けてください。<br>➡ **ライトスイッチ** P.104 |

| 警告メッセージ | 表示される状況 | アドバイス |
|---|---|---|
|  | • エンブレムが汚れていたり、悪天候(雨、霧、雪など)により、レーダーセンサーが前の車両を検知しにくいときに表示 | • 汚れの場合は、安全な場所でエンブレムの汚れを拭き取ってください。<br>• エンブレムの汚れを拭き取ったあとに、エンジンを再始動しなかったときでもシステムは復帰しますが、状況により復帰に時間がかかることがあります。 |
|  | • CMBS を OFF にしているときに CMBS のカスタマイズ設定をすると表示 | • CMBS を ON にしてください。<br>➡ **CMBS(追突軽減ブレーキ)*** P.185 |
|  | • セレクトレバーが P 以外のときに、マルチインフォメーションディスプレイのカスタマイズ設定をすると表示 | ➡ **カスタマイズのしかた** P.72 |



✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

# メーター

メーターには、スピードメーター、燃料計、水温計などの種類があります。

## ■スピードメーター

走行速度を km/h で表示します。

## ■燃料計

燃料タンクに残っている、燃料の量を表示します。
エンジンスイッチが II のとき表示されます。

## ■水温計

エンジン冷却水の温度を表示します。通常は H のマークにまで上がらない状態で走行します。
エンジンスイッチが II のとき表示されます。

## ■タコメーター

1 分間あたりのエンジン回転数を表示します。

### 燃料計

**燃料計が E に近づいたら、早めに給油してください。**
燃料がなくなるとエンジンが点火しなくなり、触媒装置を損傷することがあります。

**実際の燃料残量と、メーターに表示される量は異なる場合がありますので、ご注意ください。**

### 水温計

**水温計が H のマークを示した場合、オーバーヒートのおそれがあります。**
ただちに安全な場所に停めて、エンジンを冷やしてください。
➔ **オーバーヒート** P.251

### タコメーター

アドバイス

**エンジン故障の原因となりますので限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないよう運転してください。**
特に、高速走行時にシフトダウンするときには、注意してください。

**エンジンの限界回転数は、下表の通りです。**

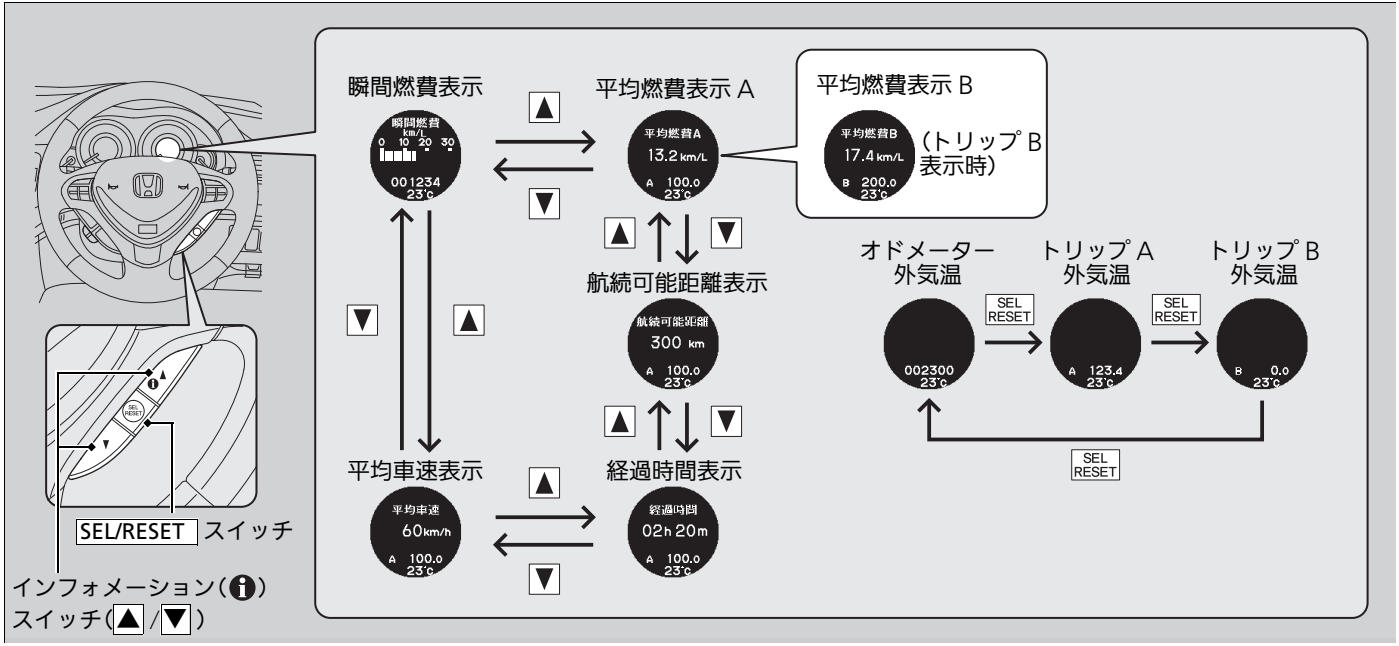
| タイプ | 限界回転数 |
|---|---|
| 2.0L 車 | 6,700rpm |
| 2.4L 車 | 7,100rpm |

# マルチインフォメーションディスプレイ

マルチインフォメーションディスプレイには、オドメーター、トリップメーター、外気温表示、燃料情報などが表示されます。
また、異常を検知すると警告メッセージが表示されます。

## ■表示の切り換えかた

インフォメーション(ⓘ)スイッチ(▲/▼)を押すと表示の上側が切り換わり、SEL/RESET を押すごとに、表示が下記のように切り換わります。




次ページに続く

## ■オドメーター

走行距離の累計を km で表示します。

## ■トリップメーター

リセットしてからの走行距離を km で表示します。
トリップ A と、トリップ B があり、それぞれ独立して計測するため 2 つの走行距離を知ることができます。

### ■トリップメーターをリセットするには

トリップメーターが表示されている状態で、 SEL/RESET を押し続けてください。トリップメーターが 0.0 にリセットされます。

▶トリップメーター

**トリップメーターは走行距離が 9999.9km を超えると、0.0km に戻ります。**

**トリップ A とトリップ B は、 SEL/RESET またはイルミネーションコントロールノブを押して切り換えられます。**

## ■外気温表示

外気温を測定し表示します。

### ■外気温表示を補正するには

外気温とメーターの表示温度に差がある場合、±3 ℃の範囲で補正することができます。

補正するには、マルチインフォメーションディスプレイのカスタマイズ機能を使用します。

➔ **カスタマイズ機能** P.71

▩外気温表示

**温度センサーはフロントバンパー付近に付いています。**

速度がおよそ30km/h以下のときは、表示される温度が、路面の熱、エンジンの熱、周囲の車の排気ガスの影響を受けることがあります。

また、温度の読み取り値が安定するまで更新されないため、温度表示の更新に数分かかることがあります。

**外気温表示の補正は、温度が安定してから行ってください。**



次ページに続く

## ■瞬間燃費表示

瞬間燃費をバーグラフに km/l で表示します。

## ■平均燃費表示

トリップメーターA、B と連動し、それぞれの平均燃費を一定時間ごとに更新して km/l で表示します。
トリップメーターをリセットすると、平均燃費表示も同時にリセットされます。

## ■航続可能距離表示

燃料残量と平均燃費をもとに推定航続可能距離を km で表示します。

## ■経過時間表示

エンジンを始動してから停止するまでの時間を表示します。

## ■平均車速表示

トリップメーターA をリセットしてからの平均車速を km/h で表示します。

平均燃費表示

**表示される平均燃費は、実際に走行した燃費とは異なる場合があります。**

**トリップメーターAと平均燃費Aを給油と連動させて自動的にリセットさせることができます。**
**カスタマイズ機能** P.71

航続可能距離表示

**表示される航続可能距離は、実際に航続可能な距離とは異なる場合があります。**

経過時間表示

**経過時間表示は 99 時間 59 分まで表示できます。**

**経過時間のリセット条件を変更することができます。**
**カスタマイズ機能** P.71

## ■カスタマイズ機能

マルチインフォメーションディスプレイを使って、下表の機能をお好みに合わせてカスタマイズ(設定変更)することができます。

| カスタマイズ機能 | | 選択できる設定内容 |
|---|---|---|
| CMBS 設定 | CMBS 警報タイミング | NEAR※、FAR |
| ACC 設定 | 先行車検知音 | 有り※、無し |
| メーター設定 | 外気温表示補正 | −3 ℃ ～ ±0 ℃※ ～ +3 ℃ |
| | トリップ A の給油連動リセット | ON、OFF※ |
| | 経過時間のリセット条件切り換え | IGN OFF※、トリップ A、トリップ B |
| Honda スマートキーシステム設定 | アンサーバックブザー音量 | 大※、小 |
| | ドアハンドル操作アンサーバックブザー | 作動※、非作動 |
| ライティング設定 | インテリアライト点灯時間 | 60 秒、30 秒※、15 秒 |
| | オートライト感度 | MAX、HIGH、MID※、LOW、MIN |
| ドア設定 | 自動ドアロック連動機能 | 非連動、車速連動※、シフト連動 |
| | 自動ドアアンロック連動機能 | 非連動、シフト連動※、IG OFF 連動 |
| | キーレスアンサーバック | 作動※、非作動 |
| | キーレスリロック時間 | 90 秒、60 秒、30 秒※ |
| | セキュリティー機能 | 作動※、非作動 |

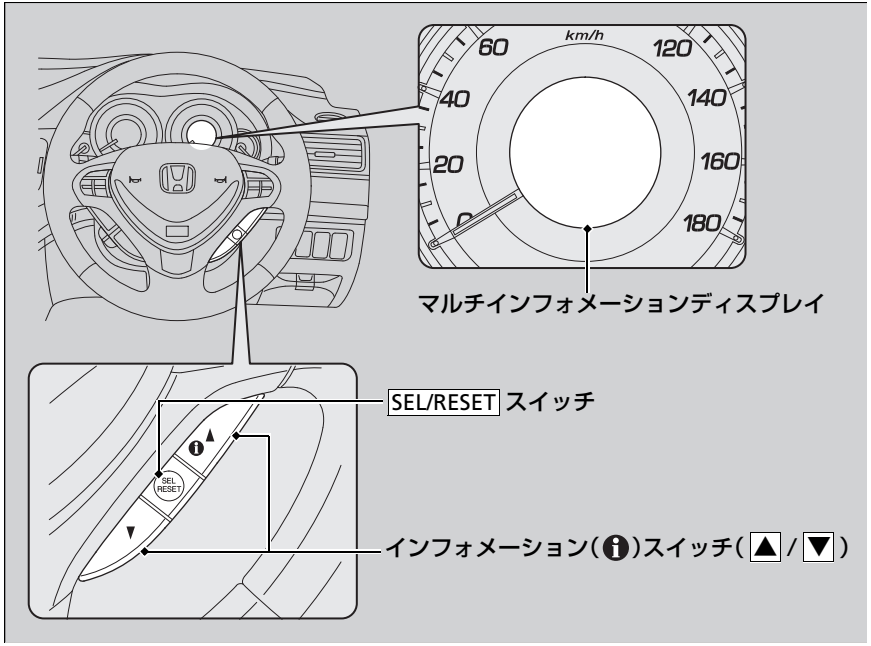
※：工場出荷値の設定



次ページに続く

## ■カスタマイズのしかた

エンジンスイッチが II でセレクトレバーが P のときに、インフォメーション(ⓘ)スイッチ(▲/▼)を数秒間押し続けるとカスタマイズを行なうことのできる「エントリー」画面に切り換わります。

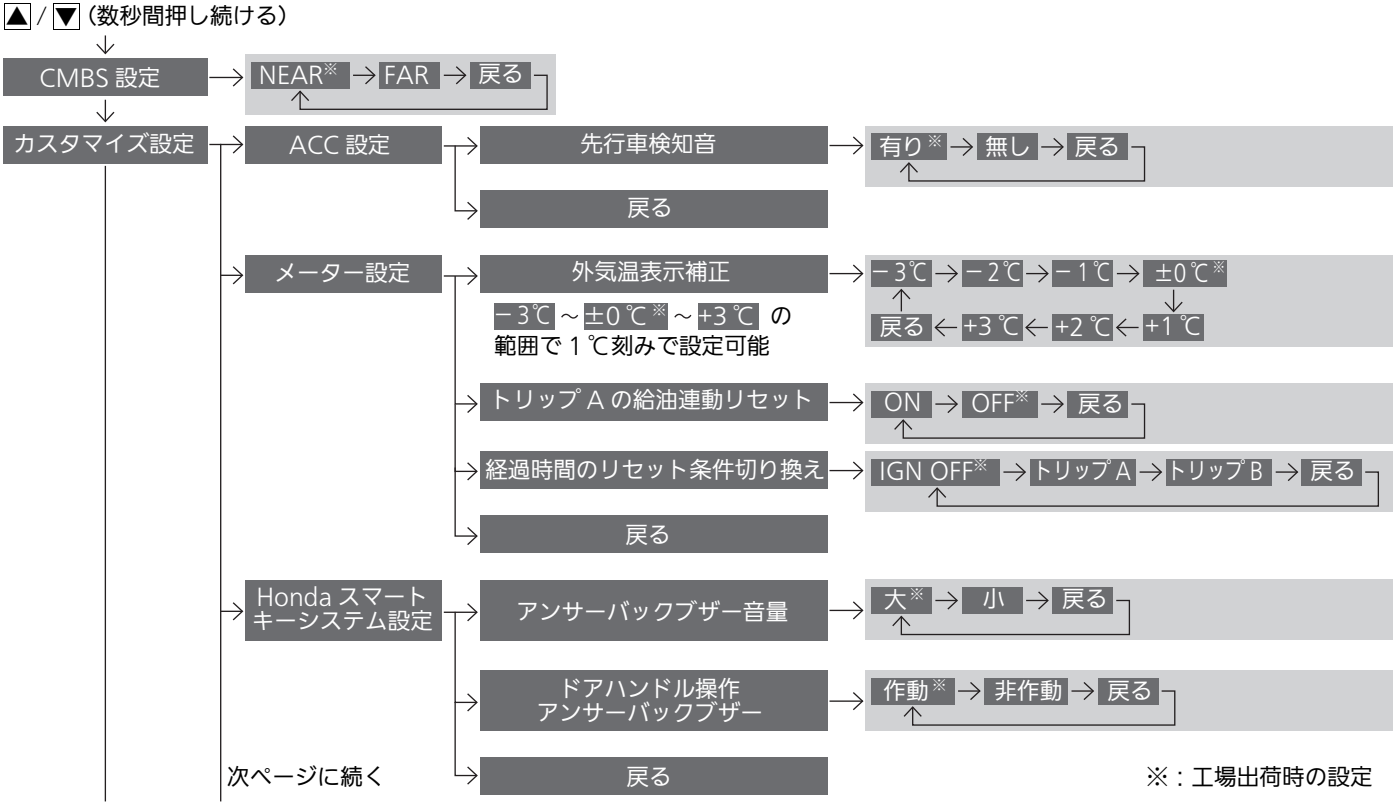


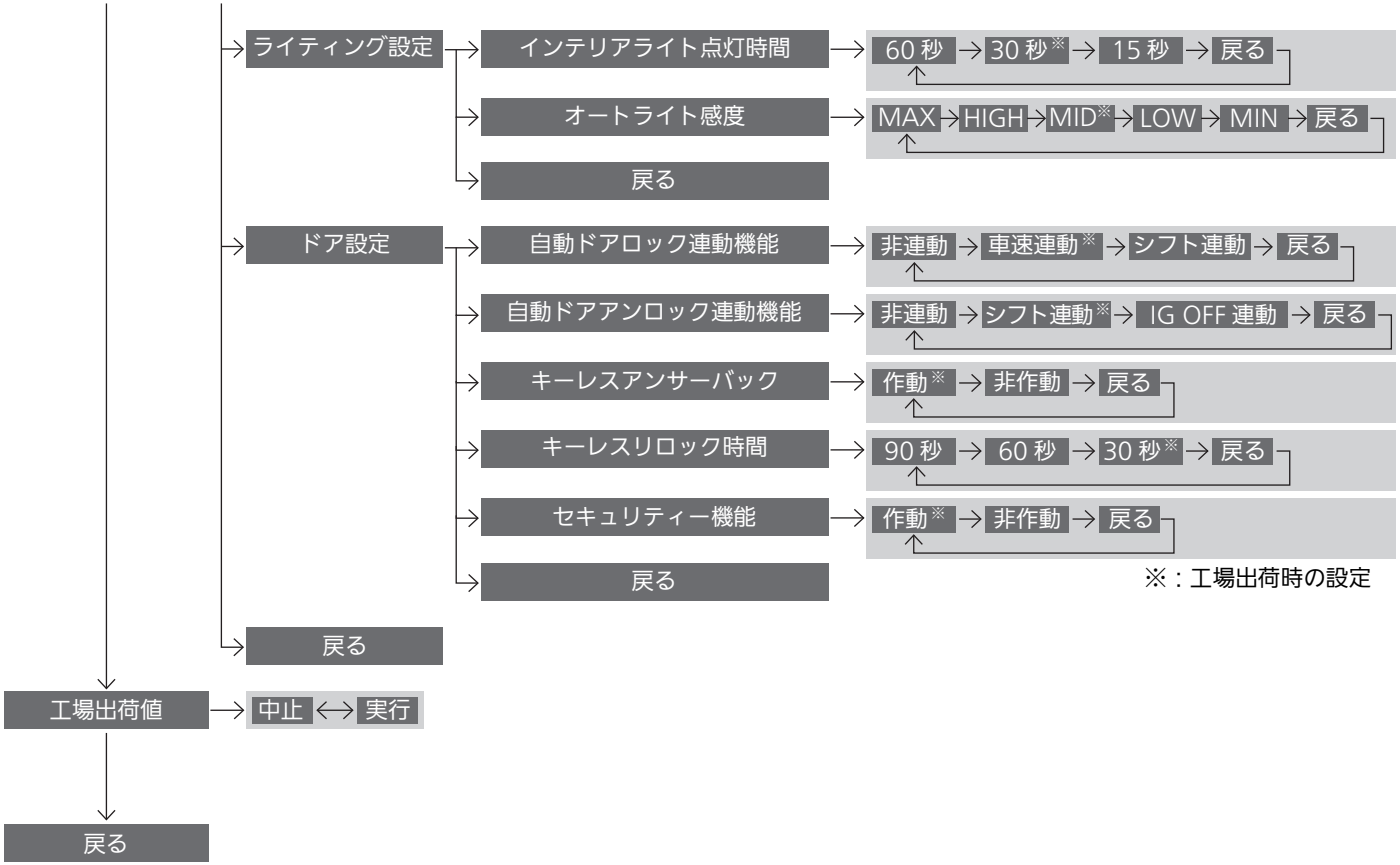

カスタマイズのしかた

**カスタマイズ操作一覧** P.73
**カスタマイズ設定の例** P.75

## ■カスタマイズ操作一覧

インフォメーション(ⓘ)スイッチ(▲/▼)でメニューを切り換え、SEL/RESETで決定します。




ライティング設定
インテリアライト点灯時間
60 秒 → 30 秒※ → 15 秒 → 戻る
オートライト感度
MAX → HIGH → MID※ → LOW → MIN → 戻る
戻る
ドア設定
自動ドアロック連動機能
非連動 → 車速連動※ → シフト連動 → 戻る
自動ドアアンロック連動機能
非連動 → シフト連動※ → IG OFF 連動 → 戻る
キーレスアンサーバック
作動※ → 非作動 → 戻る
キーレスリロック時間
90 秒 → 60 秒 → 30 秒※ → 戻る
セキュリティー機能
作動※ → 非作動 → 戻る
戻る
※：工場出荷時の設定
戻る
工場出荷値
中止 ↔ 実行
戻る

### ■カスタマイズ設定の例

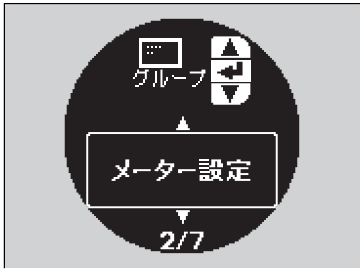
例えば「トリップ A の給油連動リセット」を「ON」にする場合、下記の手順で設定します。

「トリップ A の給油連動リセット」は工場出荷時の設定では「OFF」になっています。




**1.** インフォメーション(ⓘ)スイッチ(▲/▼)を数秒間押し続ける。
▶「エントリー」画面に切り換わり、「CMBS 設定」が表示されます。

**2.** インフォメーション(ⓘ)スイッチ(▲/▼)を押し、「カスタマイズ設定」が表示されたら、 SEL/RESET を押す。
▶「グループ」画面に切り換わり、最初に「ACC 設定」が表示されます。




**3.** インフォメーション(ⓘ)スイッチ(▲/▼)を押し、「メーター設定」が表示されたら、 SEL/RESET を押す。
▶「メニュー」画面に切り換わり、最初に「外気温表示補正」が表示されます。



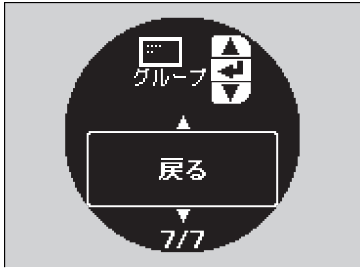
次ページに続く




**4.** インフォメーション(ⓘ)スイッチ(▲/▼)を押し、「トリップAの給油連動リセット」が表示されたら、SEL/RESETを押す。
▶「セットアップ」画面に切り換わり、「ON」、「OFF」、「戻る」が選択できます。




**5.** 「ON」が選択されていることを確認し、SEL/RESETを押す。
▶「ONセットアップ」という画面が表示された後、「メニュー」画面に戻ります。




**6.** インフォメーション(ⓘ)スイッチ(▲/▼)を押し、「戻る」が表示されたら、SEL/RESETを押す。

**7. 手順 6** の操作を通常画面に戻るまで繰り返す。

**カスタマイズのしかた**

「ON」、「OFF」、「戻る」の切り換えにはインフォメーション(ⓘ)スイッチ(▲/▼)を使用します。

**カスタマイズ操作の途中で以下の操作を行うと、設定は変更されず元の設定のままとなります。**

- エンジンスイッチをIまたは0にする
- セレクトレバーをP以外にする

# 各部の操作

この章では、運転に必要な各部の操作方法について記載しています。



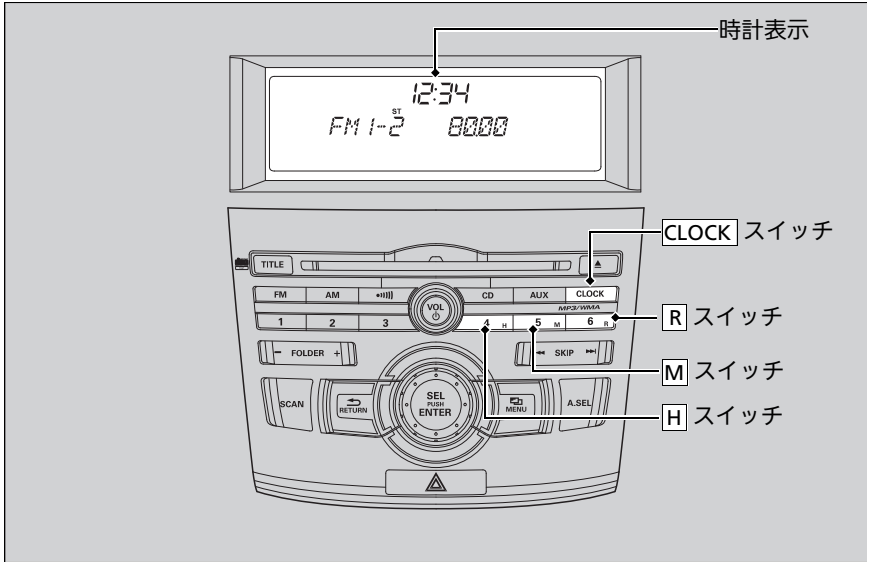

**時刻の設定✤** ..... 78
**ドアの施錠と解錠**
キーの種類と機能 ..... 79
車外でのドアの施錠 / 解錠 ..... 83
車内での施錠 / 解錠 ..... 87
チャイルドプルーフ ..... 88
**トランクの開閉** ..... 90
**セキュリティシステム**
イモビライザーシステム ..... 93
セキュリティアラームシステム ..... 93
**ウィンドーの開閉** ..... 95
**ハンドルまわりのスイッチ操作**
エンジンスイッチ ..... 98
Honda スマートキーシステム装備車の エンジンスイッチ ..... 99
方向指示器(ウィンカースイッチ) ..... 102
アクティブコーナリングライト✤ ..... 103
ライトスイッチ ..... 104
フォグライトスイッチ✤ ..... 105
ハイビームサポートシステム✤ ..... 106
ヘッドライトレベリングダイヤル✤ ..... 109
ワイパー/ ウォッシャー ..... 110
イルミネーションコントロール ..... 112
リヤデフロスター/ ヒーテッドドアミラー スイッチ ..... 113
ハンドルの調節 ..... 114
**ミラー類の調節** ..... 115
**シートの調節** ..... 118
ヘッドレスト ..... 123
アームレスト ..... 125
**室内灯 / 室内装備品** ..... 126
**エアコン**
エアコンの吹き出し口 ..... 136
オートエアコンの使いかた ..... 137


**✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。**

## 時計の時刻を合わせる

AM/FM ラジオ一体式 CD ステレオ装備車

時計はオーディオ装置の画面に表示されます。




**1.** CLOCK を押し続け、画面の時間表示が点滅したら手を離す。
**2.** H を押して、「時間」を合わせる。
**3.** M を押して、「分」を合わせる。
**4.** CLOCK をもう一度押す。

時間設定が完了しました。画面に設定した時間が表示されます。

≫時計の時刻を合わせる

**時計に合わせて正時に設定するには**

左記の操作で、時間表示が点滅しているときに、時報と同時に R を押します。

下記のように表示されている時間に応じた正時に設定されます。
1：01 ～ 1：29 の場合→ 1：00 に設定
1：30 ～ 1：59 の場合→ 2：00 に設定

Honda インターナビシステム装備車

**時計は人工衛星からの情報を利用していますので、時刻合わせは不要です。**

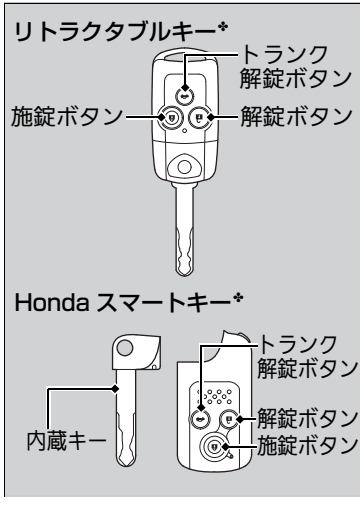




✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

## キーの種類と機能

この車には、以下のキーが付いています。キーの組み合わせは車両のタイプにより異なります。




エンジンの始動、停止のほかに、すべてのドア、トランク、フューエルリッドの施錠 / 解錠に使用できます。
また、キーについているボタンで、すべてのドア、トランク、フューエルリッドの施錠 / 解錠の操作ができます。

**✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。**

次ページに続く

» キーの種類と機能

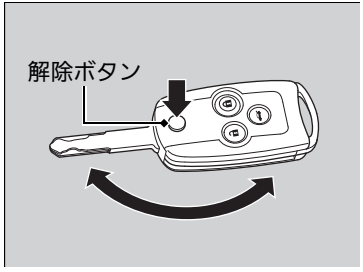
**すべてのキーには、イモビライザーシステムがついています。イモビライザーシステムは、車両を盗難から守るためのシステムです。**
➔ **イモビライザーシステム** P.93

アドバイス

**キーには、精密な電子部品が組み込まれています。**
故障を防ぐため、下記の点をお守りください。
- 直射日光が当たる場所、高温、多湿の場所に置かない
- キーを落としたり、重いものをのせない
- キーに液体をかけない
- 分解をしない
- 火であぶらない
- テレビ、オーディオなど磁気を帯びた機器の近くに置いたりしない

**キーの電子部品が故障すると、エンジンの始動やリモート発信が作動しなくなることがあります。**
キーが正常に作動しなくなった場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

## ■リトラクタブルキー*




### ■取り出しかた

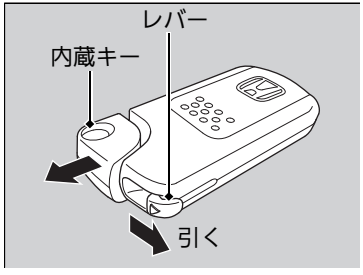
解除ボタンを押す。

▶キーが完全に取り出せていることを確認してください。

### ■折りたたみかた

解除ボタンを押してキーをたたみ、収納する。

## ■ Honda スマートキー*




Honda スマートキーの電池が切れたときや車のバッテリーがあがったときは、内蔵キーを使用してください。
内蔵キーは、レバーを引きながら取り出します。

収納するときは、「カチッ」と音がするまで差し込みます。

Honda スマートキーの電池の消耗や故障したときのことを考慮して、内蔵キーはHonda スマートキーに収納しておいてください。

### ⩙キーの種類と機能

**リトラクタブルキーおよび Honda スマートキーは、特定小電力無線設備の技術基準適合証明を受けています。以下のことをお守りください。**

- 日本国内でのみ使用する
- 電池交換時以外は分解しない
- 改造しない
- キーの内部にある技術基準適合表示を故意に消去、改ざんしない

**分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。**

### ⩙リトラクタブルキー

キーが完全に取り出せていないと、イモビライザーシステムが正しく働かない、またはエンジンの始動ができなくなることがあります。

**アドバイス**

キーを折りたたむときは、指を挟まないように注意してください。

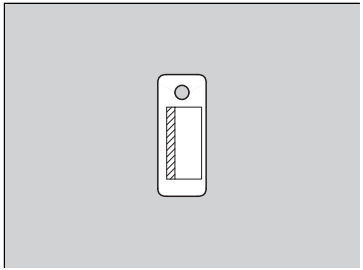
### ⩙Honda スマートキー

➡ **内蔵キーの差し込みかた** P.247



**✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。**

## ■キーナンバータグ



キーナンバータグには、キーを購入する際に必要となる番号が記載されています。

### キーナンバータグ

**キーナンバータグは、キーとは別に車両以外の場所に大切に保管してください。**

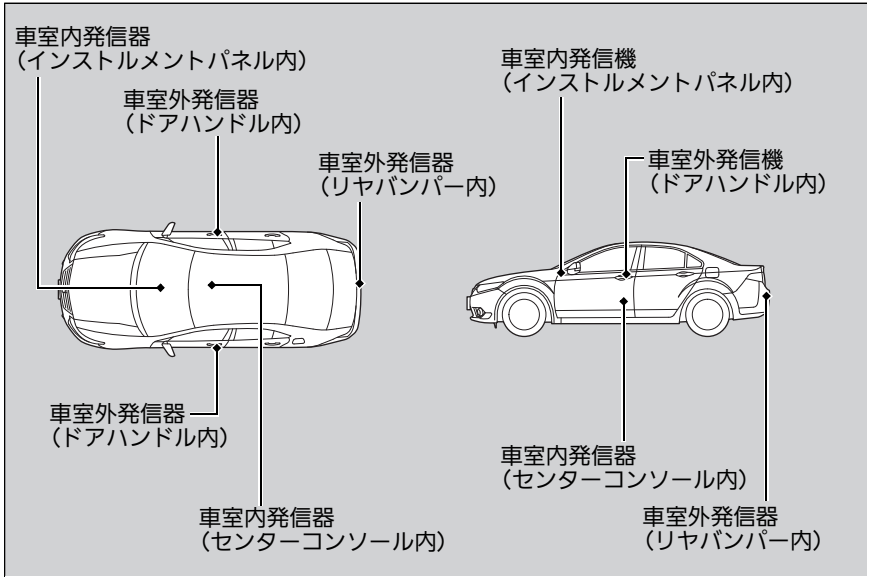
キーナンバータグには、キーを購入する際に必要となる番号が記載されています。キーと一緒に保管せず、車両以外の場所に大切に保管してください。キーを紛失したときや、追加購入したいときは、Honda 販売店に依頼してください。

# Honda スマートキーの微弱電波

Honda スマートキーを使用してドア、トランクの施錠 / 解錠操作をするときやエンジンをかけるとき、Honda スマートキーとの電子照合を行うために車両から電波が発信されます。

そのため、次のような場合正常に作動しなかったり、不安定な動作となったりすることがあります。

- 近くに強い電波を発する設備があるとき
- 携帯電話や無線機などの通信機器やノートパソコンと一緒に Honda スマートキーを携帯しているとき
- Honda スマートキーが金属物に触れていたり覆われていたりするとき




▶Honda スマートキーの微弱電波

## ⚠注意

**植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を使用しているかたは、車両に搭載されている発信機から 22cm 以内に近づかない。**

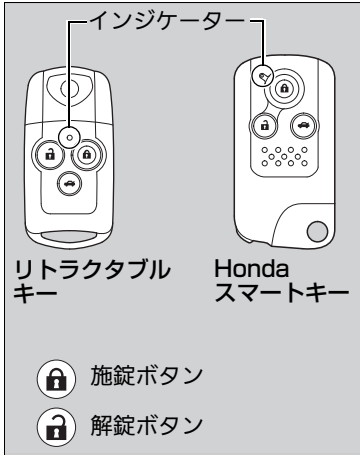
Honda スマートキーシステムで発信されている電波が、機器の作動に影響を与える可能性があります。医療用電子機器を使用しているかたは、医師や医療用機器製造者に影響を確認してからご使用ください。

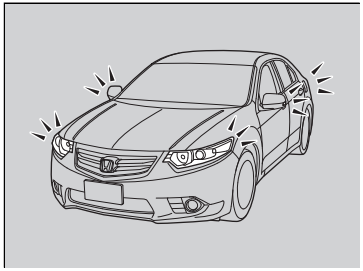
**Honda スマートキーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池寿命は、使用状況により異なりますが約 2 年間です。**

また、強い電波を受信し続けると電池を著しく消耗することがあります。テレビやパソコンなどの電化製品の近くには置かないでください。

# 車外でのドアの施錠 / 解錠

## ■キーレスエントリーでの施錠 / 解錠



### ■施錠

施錠ボタンを押します。

▶非常点滅表示灯が1回点滅し、すべてのドアとトランク、フューエルリッドが施錠されます。

### ■解錠

解錠ボタンを押します。

▶非常点滅表示灯が2回点滅し、すべてのドアとトランク、フューエルリッドが解錠されます。

**キーレスエントリーでの施錠 / 解錠**

**30 秒以内にドアを開けてください。**

キーレスエントリーで解錠操作をした場合、30 秒以内にドアを開けないと、ドアは再び自動的に施錠されます。

**解錠ボタンを押すと、室内灯が点灯します。**

室内灯のスイッチがドアと連動する位置にあるとき、解錠ボタンを押すと室内灯が点灯します。約30秒点灯し、徐々に暗くなります。30秒以内にキーレスエントリーで施錠すると、室内灯はただちに消灯します。

➔ **室内灯** P.126

キーレスエントリーは微弱電波を使用しているため、周囲の状況により作動範囲が変化することがあります。

**次の場合、キーレスエントリーは作動しません。**

- エンジンスイッチが 0 以外のとき
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているとき
- ドアが開いているときは、キーレスエントリーで施錠できません。

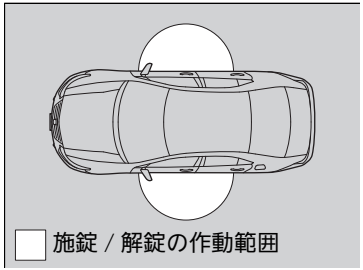
**作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられます。**

ボタンを押したときに、インジケーターが点灯しない場合は、電池切れです。

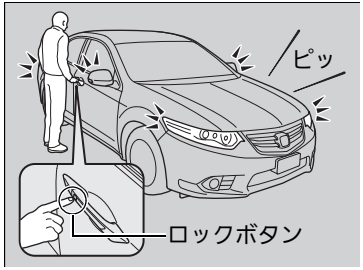
➔ **電池交換のしかた** P.226

次ページに続く

## ■ Honda スマートキーでの施錠 / 解錠




Honda スマートキーを携帯し、ロックボタン、ドアハンドルを操作することでドア、トランク、フューエルリッドの施錠や解錠を操作します。
ドア、トランク、フューエルリッドの施錠 / 解錠が作動するのは、運転席または助手席ドアハンドルから周囲約 80cm 以内です。



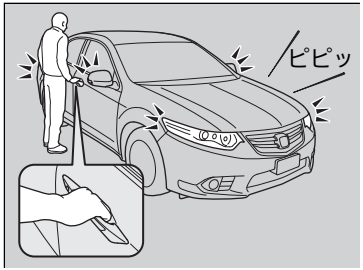

### ■施錠するには

運転席または助手席ドアハンドルのロックボタンを押します。

▶「ピッ」というアンサーバックブザーが鳴り非常点滅表示灯が1回点滅し、すべてのドアとトランク、フューエルリッドが施錠されます。

**»Honda スマートキーでの施錠 / 解錠**

- Honda スマートキーは運転者が携帯し、車内に残したまま降車しないでください。
- 同じ作動範囲に Honda スマートキーを携帯している人がいるときは、携帯していない人でもロックボタンやドアハンドルで施錠 / 解錠操作ができます。
- 革製やスキー用の手袋などを着用しているときは、ドアハンドルでの解錠操作が遅れたりできなかったりすることがあります。
- 作動範囲内に Honda スマートキーがあるときは、大雨や洗車などで大量の水がドアハンドルにかかると、解錠されることがあります。
- 施錠後約 2 秒間は、ドアハンドルを握っても解錠操作はできません。
- ドアハンドルを握った直後に引くと、ドアが開かないことがあります。ドアハンドルを握りなおし、解錠されていることを確認してから引いてください。
- ドアハンドルより約80cm以内の距離でも、Honda スマートキーが地面の近くや高い位置にあるときは作動しないことがあります。
- ドアやドアガラスに近づきすぎていると作動しないことがあります。




## ■解錠するには

運転席または助手席ドアハンドルを握ります。

▶「ピピッ」というアンサーバックブザーが鳴り非常点滅表示灯が2回点滅し、すべてのドアとトランク、フューエルリッドが解錠されます。

Honda スマートキーでの施錠 / 解錠

**30 秒以内にドアを開けてください。**

Honda スマートキーでドアの解錠操作をした場合、30 秒以内にドアを開けないと、ドアは再び自動的に施錠されます。

**カスタマイズ機能について**

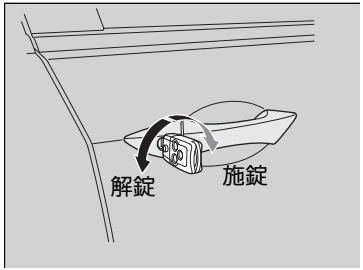
施錠 / 解錠時に鳴るアンサーバックブザーは、マルチインフォメーションディスプレイを使って音量を変えたりブザーが鳴らないようにすることができます。

➔ **カスタマイズ機能** P.71



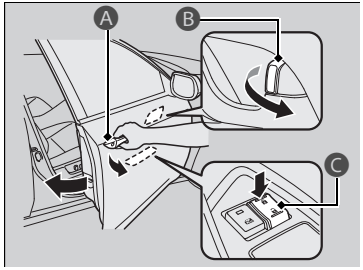
次ページに続く

## ■キーを差し込んでの施錠 / 解錠




キーを確実に差し込んで、回します。
Honda スマートキーの場合は、内蔵キーを取り出して操作してください。

## ■キーを使わないでの施錠




### ■運転席のドアの施錠

外側のドアハンドル Ⓐ を引いたまま、ノブ Ⓑ を引き出すかマスタードアロックスイッチ Ⓒ を施錠のほうに押し、ドアハンドルを離してドアを閉めます。

### ■運転席以外のドアの施錠

ノブを引き出し、ドアを閉めます。

### ■キー閉じ込み防止装置

キーがエンジンスイッチに差し込まれていると施錠できません。
Hondaスマートキーシステム装備車は、Hondaスマートキーが車内の作動範囲内に置いてあると、施錠できません。

≫キーを差し込んでの施錠 / 解錠

**運転席ドアでのキー操作**
運転席ドアにキーを差し込んで施錠 / 解錠すると、ほかのすべてのドアとトランク、フューエルリッドも同時に施錠 / 解錠されます。

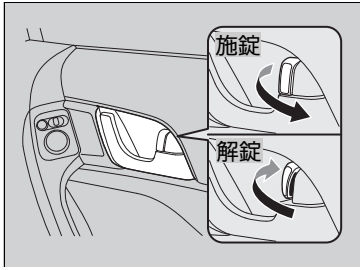
≫キーを使わないでの施錠

**運転席ドアで施錠すると、**
ほかのすべてのドアとトランク、フューエルリッドも同時に施錠されます。

**キー閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してから施錠しましょう。**

# 車内での施錠 / 解錠

## ■ノブでの施錠 / 解錠



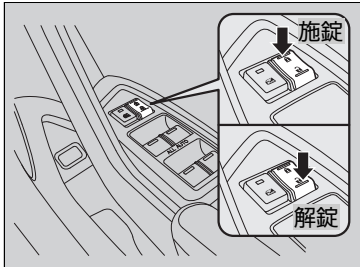

**■施錠するには**
ノブを引きます。

**■解錠するには**
ノブを押し込みます。

### ノブでの施錠 / 解錠

運転席ドアのノブで施錠すると、ほかのすべてのドア、トランク、フューエルリッドも同時に施錠されます。
運転席ドアのノブで解錠したときは、運転席ドアのみ解錠されます。

## ■マスタードアロックスイッチでの施錠 / 解錠




マスタードアロックスイッチを施錠 / 解錠のほうに押します。

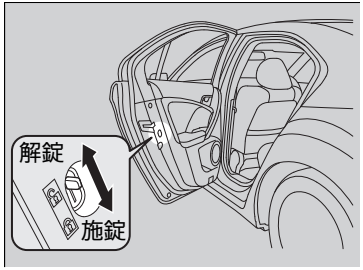
### マスタードアロックスイッチでの施錠 / 解錠

運転席ドアのマスタードアロックスイッチで施錠 / 解錠すると、ほかのすべてのドア、トランク、フューエルリッドも同時に施錠 / 解錠されます。

# チャイルドプルーフ

チャイルドプルーフとは、走行中などにお子さまが車外に放り出されることを防止するため、ノブの位置に関係なく、後席ドアを車内から開けることができないようにする機能です。
お子さまをリヤシートに乗せるときなどにお使いください。

## ■チャイルドプルーフのセット




後席ドアについているツマミを、施錠の位置にしてドアを閉めます。

### ■ドアを開ける場合

外側のハンドルで開けます。

**»チャイルドプルーフ**

チャイルドプルーフセット時に車内から開けたい場合は、ノブを解錠状態にして後席ウィンドーを下げ、窓から手を出して外側のドアハンドルを引いてください。

## 衝撃感知ドアロック解除システム

車両に衝撃が加わったときに、自動的にすべてのドア、トランク、フューエルリッドを解錠するシステムです。
作動するのは以下の場合です。

- 正面からの衝撃：SRS エアバッグが作動したとき
- 側面からの衝撃：サイドエアバッグ/サイドカーテンエアバッグが作動したとき
- 後面からの衝撃：衝撃が大きいとき

いずれの場合も、安全性を考慮して衝撃を受けてから約 10 秒後に解錠します。

## オートドアロック / オートドアアンロック

### ■オートドアロック（車速連動）

オートドアロックとは、車速が約 15km/h 以上になるとすべてのドア、トランク、フューエルリッドが自動的に施錠される機能です。

### ■オートドアアンロック（セレクトレバー連動）

セレクトレバーを P に入れると、すべてのドア、トランク、フューエルリッドが自動的に解錠される機能です。

**衝撃感知ドアロック解除システム**

衝撃の加わりかたや大きさによっては解錠しない場合があります。

**オートドアロック / オートドアアンロック**

マルチインフォメーションディスプレイを使ってオートドアロック / オートドアアンロックの条件をカスタマイズすることができます。

➔ **カスタマイズ機能** P.71

## トランク開閉時の注意

トランク開閉をするときは、下記の点に注意してください。

### ■トランクを開けているとき

- トランクは上までしっかりと開ける。
  ▶途中までしか開けていないと、自重で閉まることがあります。
- 風の強い日は、風にあおられて閉まらないように注意する。
- トランクを開けたまま走行しない。
  ▶車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。

### ■トランクを閉めるとき

- リトラクタブルキーまたはHondaスマートキーを、トランク内に置き忘れないように注意する。

トランク開閉時の注意

**⚠注意**

**トランクを閉めるときは、頭をぶつけたり手をはさまないよう注意する。**

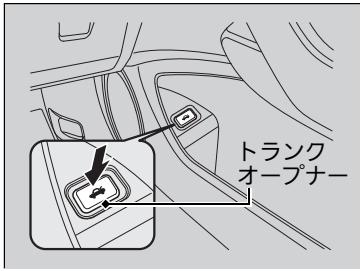
**エンジンをかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の後方に立たないようにする。**
やけどなどの思わぬけがをすることがあります。

**トランクルーム内には、人を乗せない。**
ブレーキや加速、衝突のときにけがをするおそれがあります。

**トランク内にお子さまが入らないように注意する。**
トランクは中から開けることはできません。

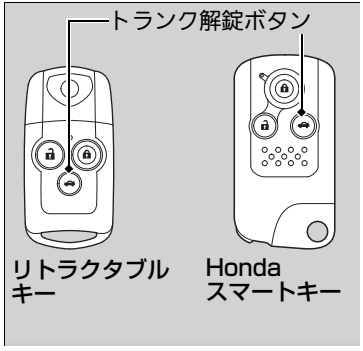
**運転席ドアが施錠されているとき：**
トランクを閉めると、トランクも施錠されます。
**運転席ドアが解錠されているとき：**
トランクを閉めても、施錠されません。

## トランクオープナーで開ける




運転席右下にあるトランクオープナーを押すとトランクが解錠され浮き上がります。

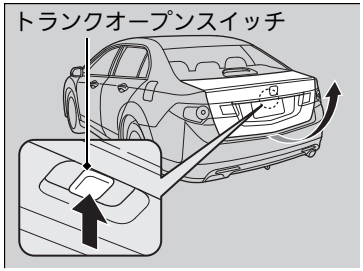
## キーレスエントリーで開ける



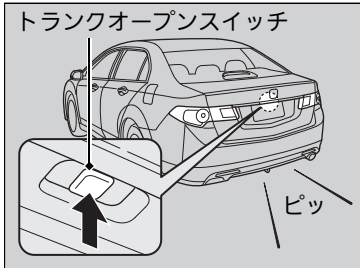

トランク解錠ボタンを約1秒押すと、トランクが解錠され浮き上がります。

エンジンスイッチが 0 以外のときは、キーレスエントリーのトランク解錠ボタンでは開けられません。

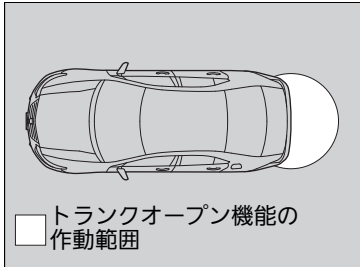
# トランクオープンスイッチで開ける




運転席ドアを解錠し、トランクオープンスイッチを押すとトランクが浮き上がります。




Honda スマートキーの場合はスマートキーを携帯して、トランクオープンスイッチを押すとトランクが解錠され浮き上がります。このときアンサーバックブザーが「ピッ」と1回鳴ります。トランクオープン機能が作動するのは、トランクオープンスイッチから周囲約 80cm 以内です。




### トランクオープンスイッチで開ける

- 作動範囲内に Honda スマートキーを携帯している人がいるときは、携帯していない人でもトランクオープンスイッチでトランクを開けることができます。
- Honda スマートキーは運転者が携帯し、車内に残したまま降車しないでください。
- トランクオープンスイッチより約80cm以内の距離でも、Honda スマートキーが地面の近くや高い位置にあるときは作動しないことがあります。
- 運転席ドアが解錠されているときは、トランクを開けてもアンサーバックブザーは鳴りません。

**カスタマイズ機能について**

施錠 / 解錠時に鳴るアンサーバックブザーは、マルチインフォメーションディスプレイを使って音量を変えたりブザーが鳴らないようにすることができます。

**カスタマイズ機能** P.71

**トランク内に Honda スマートキーを置いたままトランクを閉めると、ブザーが鳴りトランクが開きます。**

Honda スマートキーを取り出してから、再度トランクを閉めてください。

## イモビライザーシステム

イモビライザーシステムとは、キーに信号を発信する電子部品が組み込まれてあり、あらかじめ登録されたキーでないとエンジンの始動ができないようにしたシステムです。

イモビライザーシステムでは、車両とキーの電子照合を行うときに微弱な電波を使用します。エンジンスイッチにキーを差し込むときは、下記の点に注意してください。

- エンジンスイッチの近くに強い電波を発するものを近づけない
- キーを金属に触れさせたり、覆ったりしない
- ほかの車両のイモビライザーシステムのキーを近づけない
- 磁気を帯びたキーホルダーなどをキーと一緒に取り付けない

イモビライザーシステム

**システムを改造したりしないでください。**
エンジンシステムが故障するおそれがあります。

## セキュリティアラームシステム

セキュリティアラームシステムは、リトラクタブルキーあるいは Honda スマートキーを使わずにドア、トランク、ボンネットを開けると、警報装置が作動するシステムです。
また、エンジンスイッチを II にしたときにも作動します。

### ■作動すると

ホーンが断続的に鳴り、非常点滅表示灯がすべて点滅します。

### ■停止させるには

リトラクタブルキーまたは Honda スマートキーで解錠してください。システムが停止し、ホーンと点滅も停止します。

セキュリティアラームシステム

**警報装置はセキュリティアラームシステムを停止させるまで、最大５分間作動します。**
ホーンおよび非常点滅表示灯は、1 回の作動につき約30秒間作動し、その警報作動が最大10回行われます。

次ページに続く

## ■セットするには

セキュリティアラームシステムは、以下の条件が整うと自動的にセットされます。

- エンジンスイッチを 0 にして、キーを抜く（Honda スマートキーの場合はプッシュオフにする）
- ボンネットが閉まっている
- リトラクタブルキーまたは Honda スマートキーですべてのドア、トランクが施錠されている

## ■セットされると

メーター内にある作動表示灯が点滅し、約 15 秒後に点滅間隔が長くなります。

## ■セットを解除するには

リトラクタブルキーまたは Honda スマートキーで解錠します。
同時に作動表示灯が消灯します。

### セキュリティアラームシステム

車内に人が乗っているときやウィンドーが開いているときでも、セキュリティアラームシステムは作動します。警報装置の思わぬ作動を防ぐために、人が乗っていたりウィンドーが開いているときには、セキュリティアラームシステムをセットしないでください。

**セキュリティアラームシステムをセットした後にバッテリーがあがり、バッテリーの充電、交換をすると、警報装置が作動することがあります。**

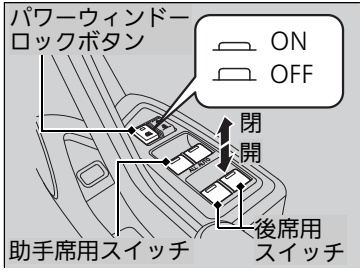
そのときは、リトラクタブルキーまたは Honda スマートキーでドアを解錠し、セキュリティアラームシステムを解除してください。

## パワーウィンドーの開閉

エンジンスイッチが II のときに、パワーウィンドーの開閉操作を行うことができます。開閉はそれぞれのドアにあるスイッチで行います。運転席のスイッチでは、すべてのウィンドーの開閉操作を行うことができます。

運転席以外のウィンドーの開閉は、運転席のパワーウィンドーロックボタンを OFF にしてから行います。パワーウィンドーロックボタンを OFF にすると、ボタンにある表示灯が消灯します。
パワーウィンドーロックボタンを ON(表示灯点灯)にしておくと、運転席以外のウィンドーは作動しません。お子さまを乗せているときなどは、パワーウィンドーロックボタンを ON にしておいてください。

### ■自動開閉機能付きのウィンドーの開閉




**■手動開閉**
**開けるとき：**スイッチを軽く押す
**閉めるとき：**スイッチを軽く引き上げる
希望の位置で手を離すことで、窓の開閉を調節します。

**■自動開閉**
**開けるとき：**スイッチを強く押す
**閉めるとき：**スイッチを強く引き上げる
自動的に全開 / 全閉します。途中で止めるには、スイッチを反対側に軽く上げ / 下げします。

パワーウィンドーの開閉

**⚠警告**

**パワーウィンドーを閉めるときは、同乗者が窓から手や顔などを出していないことを確認する。**
手や顔などをパワーウィンドーにはさむと、重大な傷害を負うおそれがあります。特にお子さまには気をつけてください。

**⚠注意**

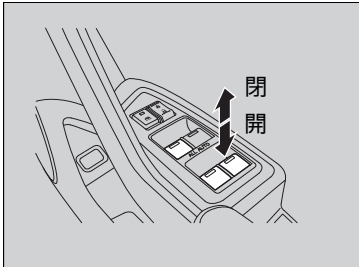
**指などをはさみ込まないように注意する。**
確実に閉めるため、閉め切る直前の部分に、はさみ込みを検知しないエリアがあります。

**エンジンスイッチをOFFにしても、約10分間はキーオフオペレーションにより自動開閉機能付きのパワーウィンドーを開閉できます。**
この場合、運転席のドアを開閉すると、ウィンドーの開閉はできなくなります。

**自動開閉機能付きのパワーウィンドーを自動で閉めているときに障害物を検知すると、はさみ込み防止機構によりウィンドーの動きが逆転し止まります。**

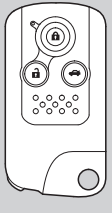
次ページに続く

## ■自動開閉機能なしのウィンドーの開閉*




**開けるとき：**スイッチを押す
**閉めるとき：**スイッチを引き上げる
希望の位置で手を離すことで、窓の開閉を調節します。

## ■キーレスエントリーでのウィンドーの開閉*



Honda スマートキー

施錠ボタン
解錠ボタン

全席自動開閉機能付きのパワーウィンドー装備車は、キーレスエントリーを使用してパワーウィンドーの開閉が行えます。

**開けるとき：**キーレスエントリーで解錠後、10 秒以内に再度、解錠ボタンを押し続ける
**閉めるとき：**キーレスエントリーで施錠後、10 秒以内に再度、施錠ボタンを押し続ける

希望の位置で手を離すことで、窓の開閉を調節します。ウィンドーの開閉中に停止したときは、再度同じ操作を繰り返してください。

パワーウィンドーの開閉

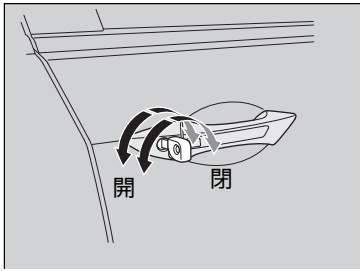
**故障などではさみ込み防止機構が作動し、自動でウィンドーを閉めることができなくなったときは、スイッチを軽く引き上げ続けると閉めることができます。**
路面や走行条件による衝撃などで、はさみ込み防止機構が作動することがあります。

**お子さまが同乗している場合、ウィンドーを開閉できないよう、パワーウィンドーロックボタンを ON にしてください。**
パワーウィンドーロックボタンを ON にすると、それぞれのウィンドーの開閉スイッチでの操作ができなくなります。



**✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。**

## ■キーシリンダーでのウィンドーの開閉*




全席自動開閉機能付きパワーウィンドー装備車は、運転席ドアのキーシリンダーを使用してパワーウィンドーの開閉が行えます。

**開けるとき：** 運転席ドアのキーシリンダーにキーを差し込んで解錠後、キーを戻してから 10 秒以内に再度、解錠側いっぱいにキーを回したままにする

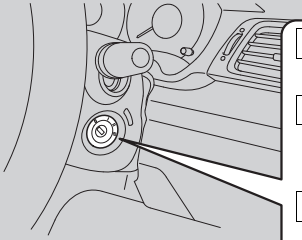
**閉めるとき：** 運転席ドアのキーシリンダーにキーを差し込んで施錠後、キーを戻してから 10 秒以内に再度、施錠側いっぱいにキーを回したままにする

希望の位置で手を離すことで、窓の開閉を調節します。
ウィンドーの開閉中に停止したときは、再度同じ操作を繰り返してください。



*：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

## エンジンスイッチ



0 **ロック**
キーを抜き差しする位置

I **アクセサリー**
エンジンをかけずに、オーディオシステムなどのアクセサリーを使用する位置

II **ON**
運転するときの位置

III **始動**
エンジン始動位置
始動したら手を離すと、自動的にIIに戻ります。

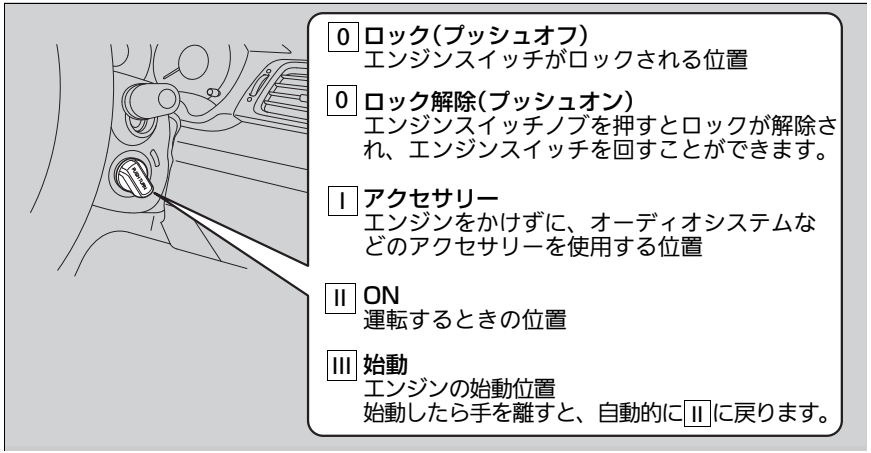
### エンジンスイッチ

**エンジンスイッチが 0 または I のときにキーを差し込んだまま運転席ドアを開けると、キー抜き忘れ警告ブザーが鳴ります。**
キーを抜いてください。ブザー音が止まります。

**エンジンスイッチが 0 から I に回らないときは、ハンドルロックを解除します。**
ハンドルを左右に回しながらキーを回してください。ハンドルロックが解除され、キーが回ります。

**セレクトレバーを P に入れないとキーを抜くことができません。**

# Honda スマートキーシステム装備車のエンジンスイッチ




## ■始動方法




Honda スマートキーの携帯を確認します。

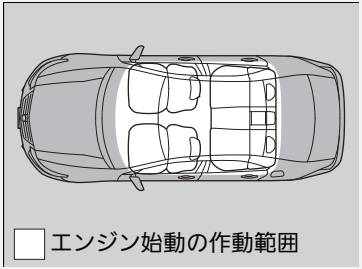
**1.** エンジンスイッチノブを押す。
▶エンジンスイッチのロックが解除されると、「ピッ」とブザーが鳴ります。

**2.** エンジンスイッチを、ゆっくりとIIIの位置まで回す。

次ページに続く

▨Honda スマートキーシステム装備車のエンジンスイッチ

**エンジン始動の機能が作動する範囲は、インストルメントパネル上、リアシェルフやグローブボックス、ドアポケットなどの各種小物入れを除く車内です。**




**Honda スマートキーが車外にあっても、ドアやドアガラスに近づきすぎていると、エンジンの始動ができることがあります。**

**エンジンスイッチが0からIに回らないときは、ハンドルロックを解除します。**
ハンドルを左右に回しながらエンジンスイッチノブを押してください。
ハンドルロックが解除され、エンジンスイッチノブが回ります。

**Honda スマートキーが作動不良の場合は、内蔵キーを使って始動します。**
➔ **内蔵キーの差し込みかた** P.247

## ■エンジン停止操作の方法

**1.** セレクトレバーを P に入れる。

**2.** エンジンスイッチノブを、ゆっくりと 0 まで回す。

▶エンジンスイッチを 0 (プッシュオフ)にすると、ハンドルがロックされます。

## ■エンジンスイッチ警告ブザー

次の状態で車を離れようとして運転席ドアを開けた場合、警告ブザーが鳴ります。

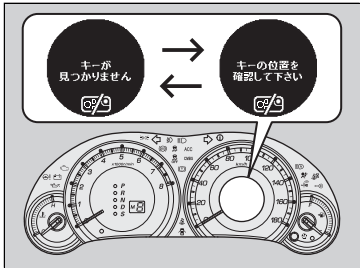
- エンジンスイッチが I のとき
- エンジンスイッチが 0 で、エンジンスイッチノブを押し込んでいるとき、または内蔵キーが差し込まれているとき

▶エンジン停止操作の方法

**車から離れるときは、エンジンスイッチを 0 にしてください。**

**エンジンスイッチが 0 以外では、Honda スマートキーで施錠できません。**

## ■ Honda スマートキー持ち去り警告




警告ブザーには、車内警告ブザー(ピーッピーッピーッピーッピーッピーッ)と車外警告ブザー(ピピピピピピ)の 2 種類があります。
警告状態が続くときは、Honda スマートキーの携帯位置を変更してください。

### ■エンジンスイッチが II のとき

Honda スマートキーを車外に持ち出しドアを閉めると、マルチインフォメーションディスプレイに警告を表示するとともに、車内警告ブザーと車外警告ブザーが鳴ります。

### ■エンジンスイッチが I または 0 (プッシュオン)のとき

Honda スマートキーを車外に持ち出しドアを閉めると、車外警告ブザーが鳴ります。

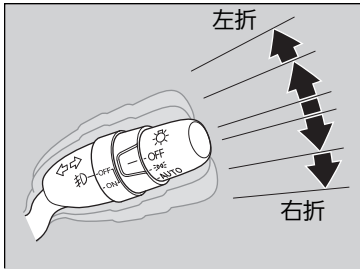
Honda スマートキー持ち去り警告

**エンジン始動の作動範囲内に Honda スマートキーを戻してドアを閉めると、警告が解除されます。警告状態が続くときは Honda スマートキーの携帯位置を変更してください。**

**Honda スマートキーを、インストルメントパネル、グローブボックスなどに置いた場合、電波状態により警告ブザーが鳴ることがあります。**
**Honda スマートキーを持ち出した状態で、エンジンスイッチを 0 にすると、エンジンスイッチの操作ができなくなります。**
エンジンスイッチを操作するときは、Honda スマートキーを持っていることを確認してください。

**窓からの受け渡しでは、Honda スマートキー持ち去り警告は作動しません。**
**Honda スマートキーがエンジン始動の作動範囲内にあっても、周囲の環境や電波状態により Honda スマートキー持ち去り警告が行われることがあります。**
故障ではありませんので、Honda スマートキーを持っていることを確認してください。

# 方向指示器(ウィンカースイッチ)

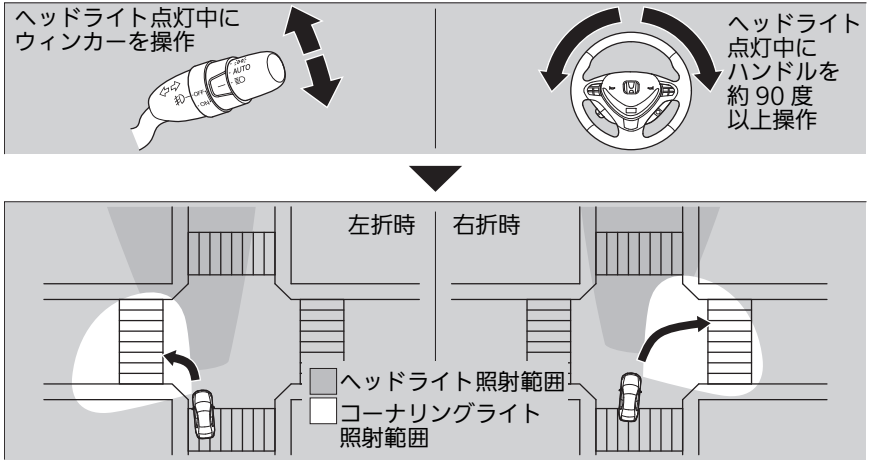


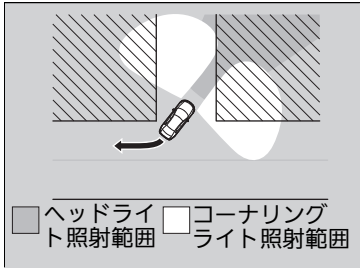

エンジンスイッチが II のときに使用できます。

# アクティブコーナリングライト*

エンジンスイッチがIIで、車速が 35 km/h 以下のときにヘッドライトが点灯していると、方向指示器やハンドル操作、セレクトレバーをRにしたとき、アクティブコーナリングライトが点灯し、夜間走行時にコーナーでの視認性を向上させることができます。

## ■方向指示器、ハンドル操作による点灯



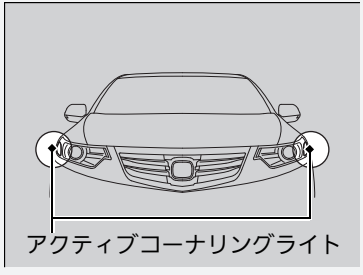

## ■セレクトレバー操作による点灯

ヘッドライトが点灯しているときにセレクトレバーをRにすると、左右のアクティブコーナリングライトが同時に点灯します。

### アクティブコーナリングライト

**アクティブコーナリングライトを5分以上連続点灯させると、自動的に消灯します。**

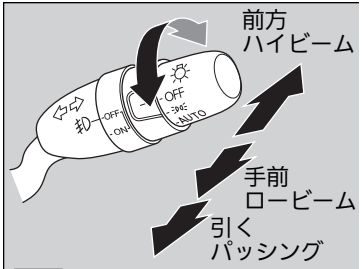
消灯後に再度、方向指示器、ハンドル操作を行うか、セレクトレバーをRに入れると点灯します。






*：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

# ライトスイッチ




車幅灯、尾灯、番号灯が点灯

ヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯

AUTO エンジンスイッチが II のとき車外の明るさに応じて車幅灯、尾灯、番号灯、ヘッドライトが自動で点灯 / 消灯

スイッチを回すとエンジンスイッチの位置に関係なく、点灯 / 消灯します。

## ■ハイビーム

「カチッ」と音がするまでレバーを前方に押します。

## ■ロービーム

ハイビームのときは、レバーを手前に引きます。

## ■追越合図(パッシング)

レバーを手前に引き、離します。

### ライトスイッチ

ライトを点灯したままキーを抜く・プッシュオフにすると、運転席のドアを開けたときにライト消し忘れ警告ブザーが鳴ります。

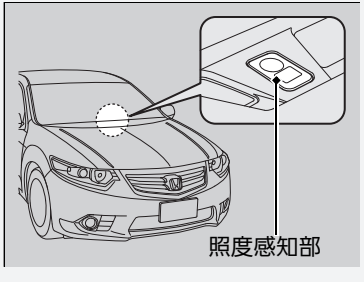
ライト類が点灯すると、メーター内の表示灯が点灯します。

**表示灯** P.58

**ディスチャージヘッドライト* の電球は、点灯 / 消灯を繰り返すと電球の寿命が短くなる特性があります。**

**エンジンが止まっているときにライト類を点灯したままにしていると、バッテリーあがりの原因となります。**

**照度感知部は、図の位置にあります。感知部の上にものを置かないでください。**

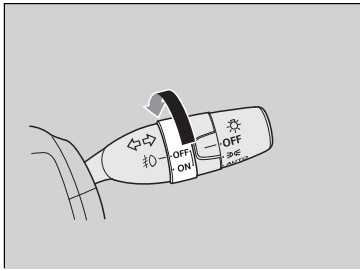







**✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。**

# フォグライトスイッチ✤




ライトスイッチが OFF 以外のとき（ AUTO のときは、車幅灯が点灯しているとき）に、フォグライトスイッチを回して点灯することができます。

**フォグライトスイッチ**

フォグライトが点灯すると、メーター内の表示灯が点灯します。

➔ **表示灯** P.58



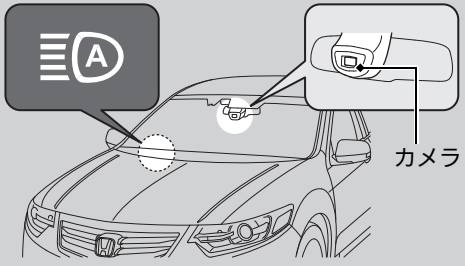
✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

# ハイビームサポートシステム*

ハイビームサポートシステムは夜間走行時に前方の状況によってヘッドライトのハイビームとロービームを自動的に切り換えるシステムです。

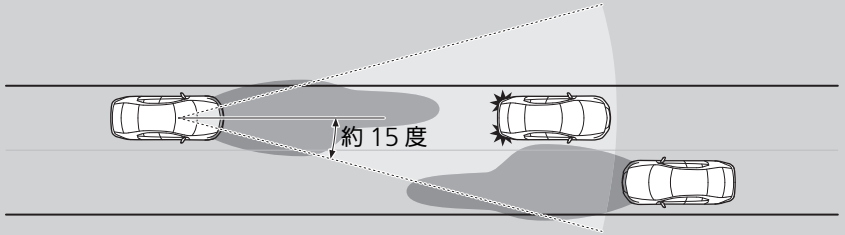
**作動条件**

- ライトスイッチが AUTO でレバーがロービームの位置
- システムが夜と判断してロービームが点灯
- 時速 30 km/h 以上で走行




**作動**

- 自車の前方に先行車や対向車がいないとき：ハイビームに切り換わります。
- 前方の先行車や対向車のランプ類を検知したとき：ロービームに切り換わります。




カメラが認識できる範囲は左右 ± 約 15 度(合計 30 度)です。
距離は周囲の状況により変化します。

**ハイビームサポートシステム**

**ハイビームサポートシステムは前方の発光する物体の明るさに応じてヘッドライトの切り換えを行います。次のような場合、タイミングが変化したり適切に切り換えが行われない場合があります。運転者の感覚に合わない場合は手動で操作を行ってください。**

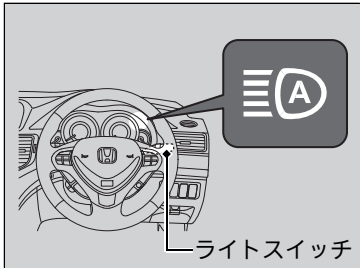
- 対向車や先行車のランプが明るい場合や暗い場合
- 天候の状況(雨、雪、霧、フロントガラスの霜など)
- 周囲に街灯、電光掲示、信号機などの光源があるとき
- 周囲の明るさが連続的に変わるとき
- カーブが多い道、起伏の激しい道路を走行しているとき
- 前方の車両が突然現れたり、適切な方向を向いていないとき
- トランクに重い荷物を積んで車が傾いているとき





*：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

## ■作動させるには




夜間にスイッチを AUTO にしてライトスイッチのレバーをロービームの位置にします。

➡ **ライトスイッチ** P.104

ハイビームサポートシステム表示灯が点灯します。

### ■一時的に解除となる条件

以下の場合ハイビームサポートシステムは一時的に解除されます。解除の条件がなくなると自動的に復帰します。

- 車速が 24km/h 未満でしばらく走行したとき
- 車速が 10km/h 未満になったとき
- ワイパーが HI(高速)で数秒間動作したとき

### ■一時的に解除したいとき

以下の操作を行うと一時的に作動が解除され、ハイビームサポートシステム表示灯が消灯します。

- ライトスイッチレバーをハイビームの位置にしたときやパッシングしたとき
  ▶ハイビームサポートシステムを復帰させたい場合はレバーを数秒間引き続けてください。

ハイビームサポートシステム

**ハイビームサポートシステムを正しく動作させるために次のことをお守りください。**

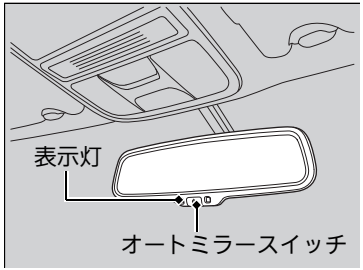
- インストルメントパネルの上に光を反射するものを置かない
- カメラ付近のガラスはきれいにしておく
- フロントガラスのお手入れのときは、ガラスクリーナーがレンズに付着しないようにする
- カメラ付近のガラスにアクセサリ、ステッカーやフィルムを取り付けない
- カメラのレンズに触れない

**カメラに強い衝撃が加わったときやルームミラー周辺の修理を行うときは Honda 販売店にご相談ください。**



次ページに続く

## ■機能を停止させたいとき




エンジンスイッチが II で車両が停止しているときに機能を停止することができます。

**停止状態(OFF) にする：**オートミラースイッチを約 20 秒以上押し続けます。このとき表示灯が 2 回点滅します。
**作動可能(ON) にする：**オートミラースイッチを約 18 秒以上押し続けます。このとき表示灯が 1 回点滅します。

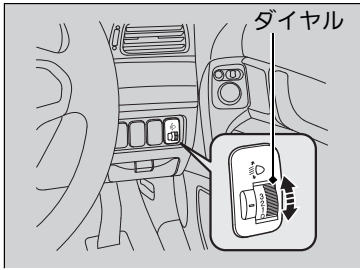
▶機能を停止させたいとき

**ハイビームサポートシステムが停止の状態のとき、エンジンを再始動しても停止の状態になっています。**

# ヘッドライトレベリングダイヤル*

ハロゲンヘッドライト装備車

エンジンスイッチが II のとき、ヘッドライトの照らす方向(光軸)を下向きに調節することができます。




光軸の調節はダイヤルを回して行います。

ダイヤルの数字が大きいほど光軸は下向きになります。

乗員の人数や荷物の量に応じて、下表を目安にダイヤル位置を選択してください。

| 乗員やトランクの積載状況 | ダイヤル位置 |
|---|---|
| 運転席のみ乗車時<br>運転席と助手席に乗車時 | 0 |
| 5名乗車時 | 1 |
| 5名乗車でトランク満載時 | 2 |
| 運転席のみ乗車でトランク満載時 | 3 |

» ヘッドライトレベリングダイヤル

ディスチャージヘッドライト装備車

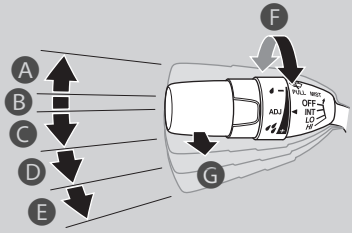
**重い荷物の積載時など、車両の姿勢の変化に応じてヘッドライト光軸の上下方向を自動的に調節するオートレベリング機能が付いています。**

ヘッドライト光軸の異常を感じたときは、Honda 販売店で点検を受けてください。



**✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。**

# ワイパー/ ウォッシャー




Ⓐ MIST：（レバーを操作している間作動）
Ⓑ OFF：停止
Ⓒ INT：間欠（雨量が少ないとき）
Ⓓ LO：低速（普通の雨量のとき）
Ⓔ HI：高速（雨量が多いとき）
Ⓕ 間欠時間の調節
Ⓖ ウォッシャー

エンジンスイッチが II のときに使用できます。

## ■MIST

レバーを押し上げている間、高速で作動します。
霧や小雨のときに使用します。

## ■ワイパースイッチ（OFF、INT、LO、HI）

雨量に応じてワイパースイッチを切り換えて使用します。

## ■間欠時間の調節

リングを回して、ワイパーの間欠時間を調節します。




間欠間隔が長い

間欠間隔が短い

≫ワイパー/ ウォッシャー

## ⚠注意

**寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射させない。**
ウォッシャー液が凍りついて視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

**間欠作動中は、車速が速くなると間隔が停止時より数秒短くなります。また、発進時にワイパーが 1 回作動します。**
間欠時間を短いほうにいっぱいに回っている状態で車速が速くなると、ワイパーが間欠から低速作動に切り換わります。

アドバイス

**ワイパーを乾拭きさせないでください。**
ガラスが傷付いたりブレードラバーを傷めたりします。

**ウォッシャー液が出ないときは、スイッチを切ってください。**
ポンプ故障の原因となります。

**寒冷時、凍結によりワイパーブレードがガラスに張りつくことがあります。**
ワイパー故障の原因となりますので、デフロスターでフロントガラスを暖めてから、ワイパーを作動させてください。

### ■ウォッシャースイッチ

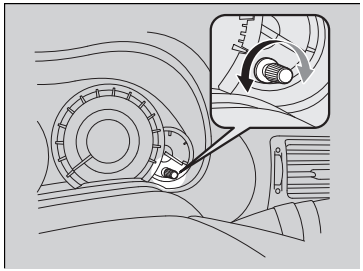
レバーを手前に引くと、ウォッシャー液が噴射します。
レバーを引いている間はワイパーが作動し、レバーを離すと数回ワイパーが作動して止まります。

ワイパー/ ウォッシャー

**ワイパー作動中に雪などがたまりワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してください。**
ワイパースイッチを OFF、エンジンスイッチを I または 0 にしてから、ワイパーが作動できるように障害物を取り除いてください。

**ワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。**
ワイパーモーターの負荷が大きい状態が続いたときなどは、ブレーカーが作動し一時的にワイパーが停止することがあります。
数分経過すると、ブレーカーが復帰し、通常通り使用できるようになります。

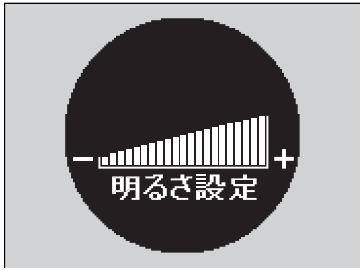
# イルミネーションコントロール



エンジンスイッチがIIで、ライトスイッチがOFF以外のとき(ライトスイッチをAUTOにしているときは、車幅灯やヘッドライトが点灯しているとき)、イルミネーションコントロールノブでインストルメントパネルの明るさを調節することができます。

**明るくする**：ノブを右に回す
**暗くする**：ノブを左に回す

明るさが最大 / 最小になると電子音が鳴ります。また、明るさの調節後、数秒経過するとマルチインフォメーションディスプレイが元の表示に戻ります。




### ■明るさ調節表示

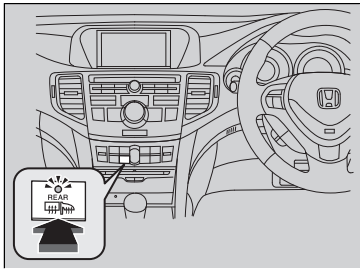
イルミネーションコントロールノブを回すとマルチインフォメーションディスプレイが明るさ調節表示に切り換わります。
■■■が右に増えていくほど、メーター照明が明るく表示されます。

**イルミネーションコントロール**

**車幅灯が点灯しているときと消灯しているときでは、インストルメントパネル照明の明るさは異なります。**
ライトスイッチをまたはにすると、まぶしさを軽減するためにインストルメントパネル照明が暗くなります。

- 明るさ調節中にSEL/RESETまたはインフォメーション(ⓘ)スイッチ(▲/▼)を押すと、マルチインフォメーションディスプレイは元の表示になります。
- 車幅灯点灯時に■■■が全て表示されるまでノブを右に回すと、「ピッ」という音がして車幅灯点灯時の減光が解除されます。

# リヤデフロスター/ ヒーテッドドアミラースイッチ




エンジンスイッチが II のときに、リヤガラスとドアミラーを暖め、曇りをとりたいときに使用します。

スイッチを押すと表示灯が点灯し、リヤデフロスターとヒーテッドドアミラーがONになります。

外気温に応じて約 10 ～ 30 分経過すると、リヤデフロスターとヒーテッドドアミラーは自動的に停止します。ただし、外気温が 0 ℃以下のときは自動的に停止しません。

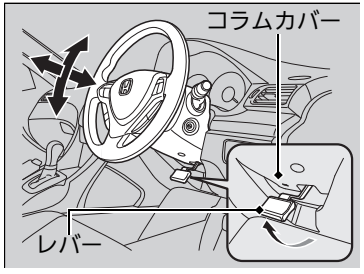
リヤデフロスター/ ヒーテッドドアミラースイッチ

**リヤガラスの内側を清掃するときは、電熱線を傷付けないよう注意してください。**
必ず、デフロスターの電熱線とアンテナ線に沿って左右方向に拭いてください。

**この装置は消費電力が大きいので、曇りが取れたら OFF にしてください。**
また、エンジンの回転数が低いときに長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

# ハンドルの調節

適切な運転姿勢で無理なくハンドルを握れるように、ハンドルの位置を調節することができます。




**1.** ハンドル位置調節レバーを引き上げる。
▶ハンドル位置調節レバーは、コラムカバーの下にあります。
**2.** ハンドルの位置を調節する。
▶調節した位置で、メーターや表示灯が見えることを確認してください。
**3.** ハンドル位置調節レバーを押し下げ、ハンドルを固定する。

▩ハンドルの調節

**⚠注意**

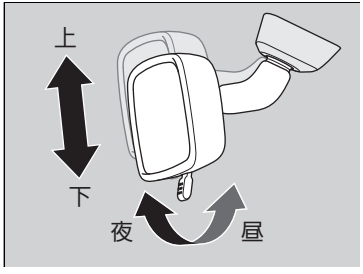
**走行中にハンドル位置を調節しない。**
走行中に調節すると、ハンドル位置が動き、正確なハンドル操作ができないことがあり、衝突して重大な傷害を負うおそれがあります。ハンドルの調節は、必ず停車中に行ってください。

位置調節後、ハンドルに上下前後方向の力を加え、ハンドルがしっかり固定されていることを確認してください。

# ルームミラー

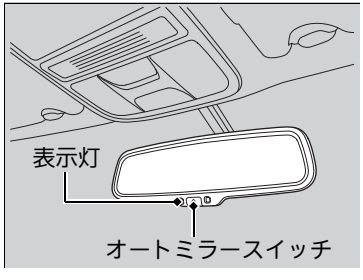
ルームミラーの角度は、正しい運転姿勢ですわった位置でミラーを調節してください。

## ■手動式防眩ミラー*




夜間走行時、後続車のヘッドライトの反射を弱くするための切り換えができます。

## ■自動式防眩ミラー*




夜間走行時、後続車のヘッドライトの反射を自動的に弱くできます。

エンジンスイッチが II で、オートミラースイッチがONのときに作動します。スイッチを押すごとにON、OFFが切り換わります。ONにすると表示灯が点灯します。

**»ミラー類の調節**

**ミラー類の調節は走行前に行ってください。**

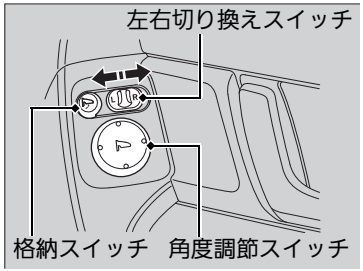
**»自動式防眩ミラー**

**セレクトレバーを R に入れているときは、自動式防眩ミラーは解除されます。**



**✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。**

# ドアミラー




エンジンスイッチが II のときに、ドアミラーの操作を行えます。

## ■角度調節

**左右切り換えスイッチ：**右か左を選択するスイッチです。角度調節後、中央の位置に戻します。

**角度調節スイッチ：**上下左右に鏡面を動かすスイッチです。

## ■格納

格納スイッチを押すごとに ON と OFF が切り換わります。

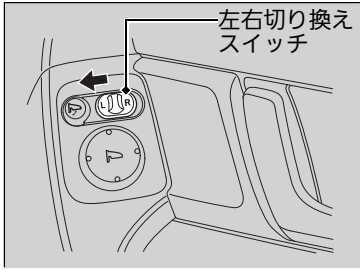
| | 格納スイッチの状態 | ミラーの状態 |
|---|---|---|
| ON |  |  |
| OFF |  |  |

▶ドアミラー

**エンジンスイッチが 0 または I のときは、手動で格納、開放をすることもできます。**

## ■リバース連動ドアミラー*

後退時、車両の左側面の視界をよりよく確保するため、セレクトレバーの R と連動して助手席側ドアミラーが自動的に下向きになります。




エンジンスイッチが II で、ドアミラーの左右切り換えスイッチが左側にあることを確認します。

セレクトレバーを R の位置にすると、助手席側ドアミラーが下向きになります。

セレクトレバーを R 以外の位置にすると元の位置に戻ります。

## ■アクアクリーンミラー

雨天時の視認性向上のため、ミラー表面に付着した雨滴を膜のように広げる親水効果を持つコーティングを施しています。

### ■親水効果の回復

ミラー表面に汚れなどが付着して親水効果が低くなったときは、以下の手順を行うことにより効果が回復します。

**1.** ミラー表面を水洗いし、汚れを落とす。
**2.** 水を含ませたきれいな布で拭き取る。
▶汚れが落ちない場合は純正ガラスクリーナーや家庭用中性洗剤を使用して洗浄後、十分な水で洗い流してください。
**3.** 5～9時間ほどミラー表面に太陽光を当てる。

**✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。**

### リバース連動ドアミラー

**次の場合にも、ミラーが元の位置に戻ります。**

- 左右切り換えスイッチを左側以外の位置にしたとき
- エンジンスイッチを II 以外にしたとき

リバース連動ドアミラーは、ドアミラーの左右切り換えスイッチが左側以外の位置にあるときは作動しません。作動させるには左右切り換えスイッチを左側にしてください。

### アクアクリーンミラー

**アドバイス**

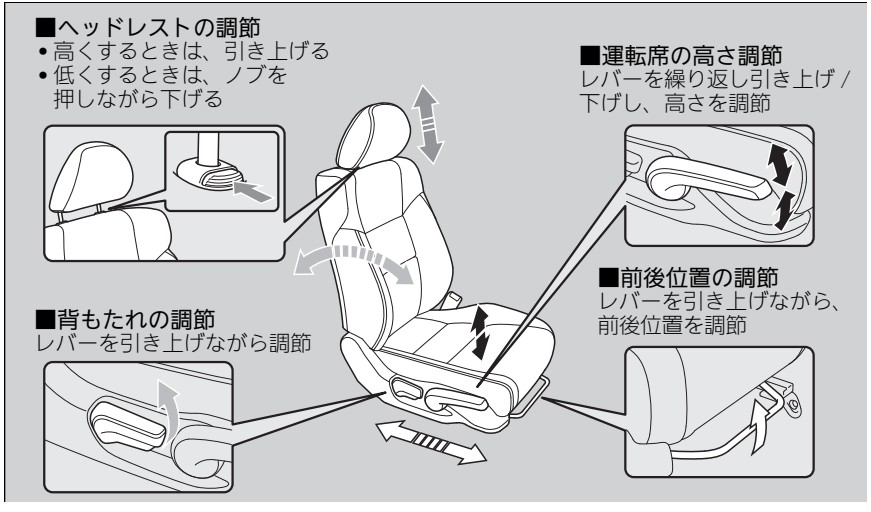
ミラーの親水効果が失われますので、以下の点にご注意ください。

- ミラー表面に撥水剤やワックスを付着させない
- 砂の付いた布や油膜取り剤(コンパウンドなど)でミラー表面をこすらない

## フロントシート

運転者は、正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節します。
正しい運転姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドル操作が楽にできる姿勢をいいます。

### ■フロントマニュアルシート*/ ヘッドレストの動かしかた




▶フロントマニュアルシート/ヘッドレストの動かしかた

**⚠注意**

**走行中にシートの調節はしない。**
走行中に調節するとシートが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行前に行い、確実に固定されていることを確認してください。

**シートを操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意する。**

**フロントシートの下にものを置かない。**
ものがはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロントシートは、エアバッグからなるべく離れた位置に調節してください。

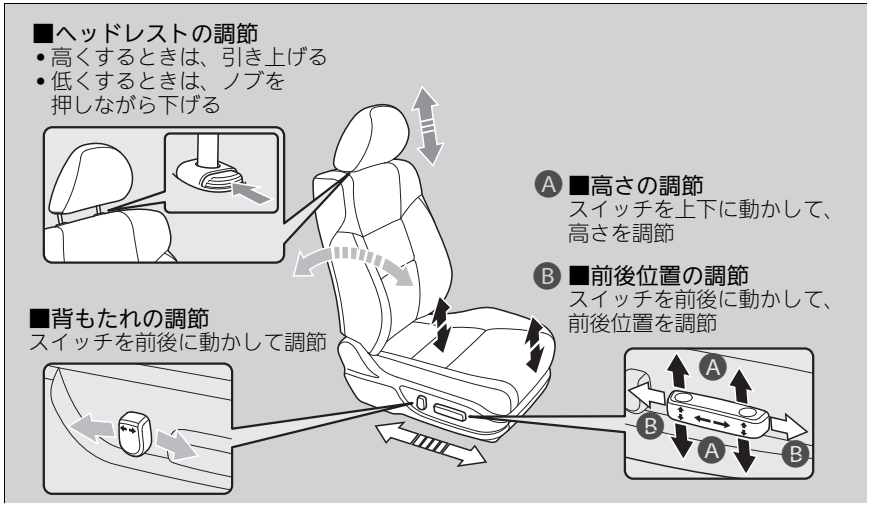
同乗者もシートに深く腰かけ、背もたれから背を離さないようにしてください。





*：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

## ■フロントパワーシート*/ ヘッドレストの動かしかた




»フロントパワーシート/ヘッドレストの動かしかた

### ⚠注意

**シートを操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意する。**

フロントシートは、エアバッグからなるべく離れた位置に調節してください。

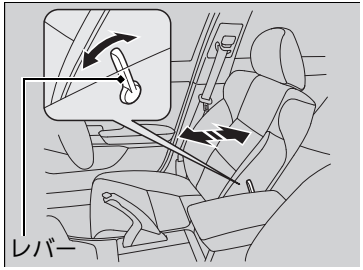
同乗者もシートに深く腰かけ、背もたれから背を離さないようにしてください。



次ページに続く

**✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。**

## ■運転席ランバーサポートの調節




シート腰部の固さを調節できます。

**硬くする**：レバーを前に倒す
**やわらかくする**：レバーを後に倒す

## ■フロントシートの調節




### ■シート位置の調節

運転者とハンドルとの間に十分な距離をとれるように、シートをできるだけ後ろに下げます。

助手席の同乗者のシートも同様に、ダッシュボードのSRSエアバッグからできるだけ離れた位置までシートを下げます。

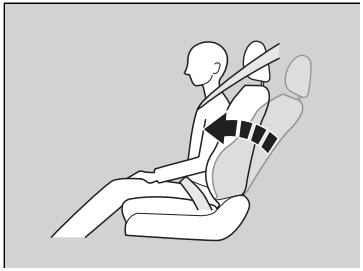
マニュアルシートは、シートの位置を調節したら、シートを前後に揺すり、固定されていることを確認します。

≫フロントシートの調節

**⚠警告**

**SRS エアバッグからできるだけ離れた位置までシートを下げる。**
ハンドルやダッシュボードに近づきすぎると、フロントエアバッグが膨らむ際に重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。

**背もたれを必要以上に倒さない。**
背もたれを必要以上に倒すと、衝突したときに重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。



### ■背もたれ角度の調節

シートに深く腰かけ、楽な姿勢ですわれるように背もたれを起こし調節します。

助手席の同乗者のシートも同様に、楽な姿勢ですわれるように背もたれ角度を調節します。

フロントシートの調節

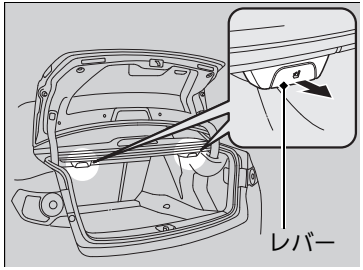
**⚠警告**

**背もたれと背中の間にクッションなどを入れない。**

正しい運転姿勢がとれません。また、シートベルトなどの効果が十分に発揮されません。

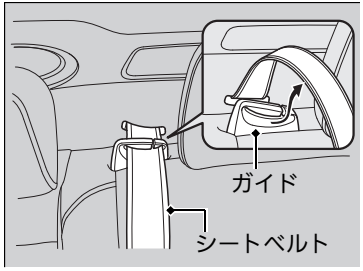
# リヤシート

## ■背もたれの倒しかた

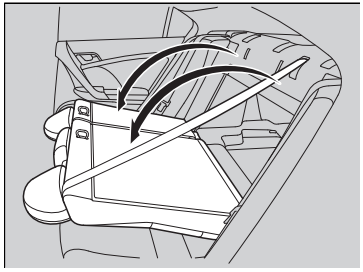



背もたれは、左右別々に倒すことができます。ヘッドレストがフロントシートに当たるときは、ヘッドレストを外してください。

**1.** トランク内のレバーを引き、ロックを解除する。




**2.** 中央席のシートベルトをガイドから外す。



**3.** 背もたれを倒す。

▩背もたれの倒しかた

**背もたれを倒し、トランクを開けたまま走行しないでください。**

**⚠注意**

**操作するときは、手などをはさまないように十分注意する。**

**背もたれを起こすときは、後ろに押しつけて固定します。**

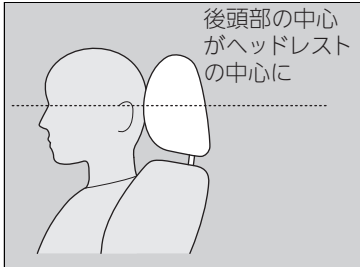
背もたれをもとの状態に戻すときは、背もたれを起こし、後ろにしっかり押しつけてください。また、リヤシートのシートベルトが背もたれの前にあり、中央部のシートベルトがガイドにはまっていることを確認してください。

アドバイス

背もたれを倒したときは、倒した背もたれが、フロントシートに触れていないことを確認してください。
助手席に背もたれが触れていると、センサーが誤作動することがあります。
サイドエアバッグ自動停止表示灯がついていないか、確認してください。

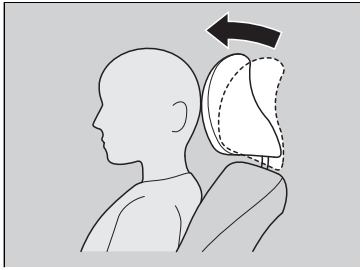
# ヘッドレスト

## ■フロントシート、リヤシート（外側）ヘッドレストの調節




後頭部の中心が、ヘッドレストの中心に来るようにヘッドレストの高さを調整します。

**高くするとき：**ヘッドレストを引き上げます。
**低くするとき：**ノブを押しながら下げます。



### ■アクティブヘッドレスト（フロントシート）

追突されたときに背もたれが乗員を受け止める力を利用して、ヘッドレストが瞬時に前方に移動し、頭部の過度な後方への傾きを防ぐことにより首への負担を軽減します。

» ヘッドレスト

**⚠警告**

**ヘッドレストは必ず正しい位置に調節する。**
ヘッドレストの高さが適切でないと、ヘッドレストの効果が低くなり、衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

**ヘッドレストを外した状態で走行しない。**
衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

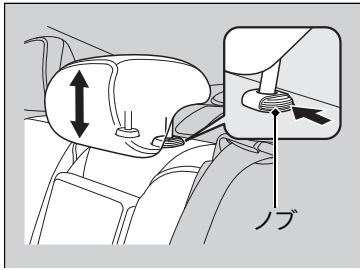
**⚠注意**

**ヘッドレストのステーにテーブル、テレビなどの用品を取り付けない。**
万一追突されたときにアクティブヘッドレストの機能が損なわれるおそれがあります。

**アクティブヘッドレストは、追突されたときのみ作動します。**
作動後は元の位置に戻ります。

次ページに続く

## ■リヤシート(中央)ヘッドレストの位置変更




乗車するときは、走行する前にヘッドレストを引き上げて、確実に固定します。

**高くするとき**：ヘッドレストを引き上げます。
**低くするとき**：ノブを押しながら下げます。

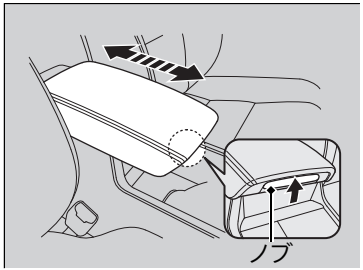
リヤシート ( 中央 ) ヘッドレストの位置変更

**⚠警告**

**ヘッドレストを下げた状態で走行しない。**
衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

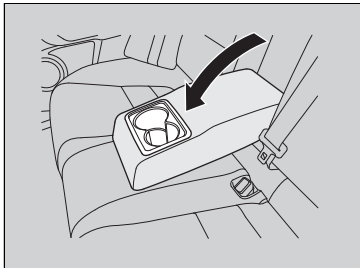
# アームレスト

## ■フロントシートアームレストの操作




センターコンソールボックス上部を前に動かして使うことができます。
ノブを引き上げながら位置を調節します。

## ■リヤシートアームレストの操作



前に倒して使用します。

»アームレスト

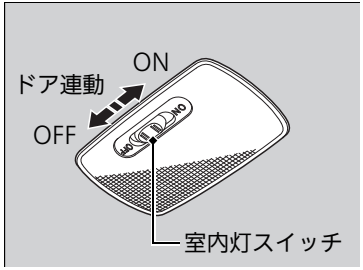
**⚠注意**

**シートベルト着用時にアームレストに引っかけない。**
万一のときにシートベルトの機能が発揮できないことがあります。

アドバイス
アームレストに腰をかけたり荷物を載せるなどの大きな力を加えないでください。
アームレストが破損するおそれがあります。

# 室内灯

## ■室内灯スイッチ




### ■ON
ドアの開閉に関係なく室内灯が点灯。

### ■ドア連動
以下のときに室内灯が点灯。
- いずれかのドアを開けたとき
- 運転席ドアを解錠したとき
- エンジンスイッチからキーを抜いたとき
- Honda スマートキーシステム装備車は、エンジンスイッチを 0 (プッシュオフ)にしたとき

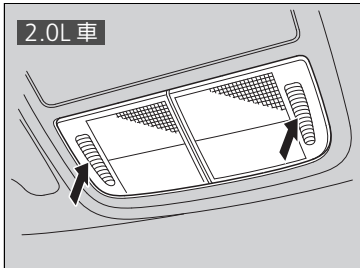
### ■OFF
ドアの開閉に関係なく室内灯が消灯。

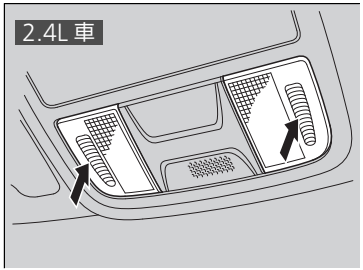
▶室内灯

**ドア連動で室内灯が点灯している場合は、ドアを閉めると約30秒後に減光しながら消灯します。**
また、以下の操作を行うと室内灯はすぐに消灯します。
- 運転席ドアを施錠したとき
- エンジンスイッチにキーが差し込まれた状態で運転席ドアを閉めたとき
- Honda スマートキーを使っているときは、エンジンスイッチが 0 (プッシュオフ)以外の状態でドアを閉めたとき
- エンジンスイッチを II にしたとき

**キーが差し込まれていない状態、Honda スマートキーシステム装備車の場合はエンジンスイッチが 0 (プッシュオフ)のときにいずれかのドアを開けたままにすると、約15分後に消灯します。**

## ■マップランプ

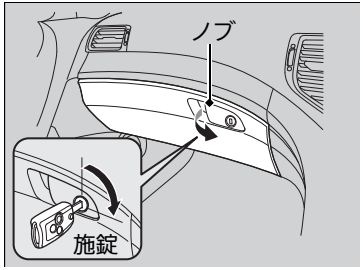


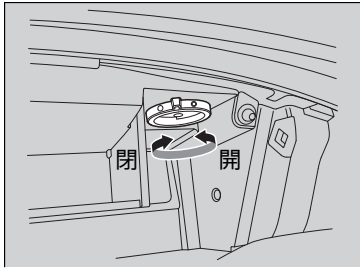

室内灯スイッチが ON 以外のときは、レンズを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

# 室内装備品

## ■グローブボックス




ノブを引くと開きます。
キーを差し込んで施錠することができます。




エアコン連動温調機能：グローブボックス内にエアコンの風を導入し、缶などの飲み物を入れて保冷や保温ができます。

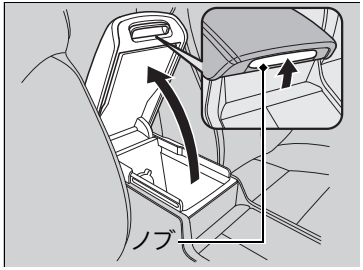
1. グローブボックス内の吹き出し口を “開” 方向に回す。
2. エアコンを作動させ、温度を調節する。

▩グローブボックス

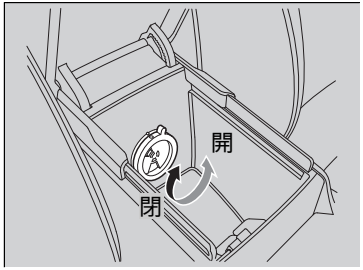
**⚠警告**

**走行中は必ずグローブボックスを閉める。**
グローブボックスが開いていると、衝突したときに同乗者が重大な傷害を負うおそれがあります。

## ■コンソールボックス




ノブを引くと開きます。




2.4L 車

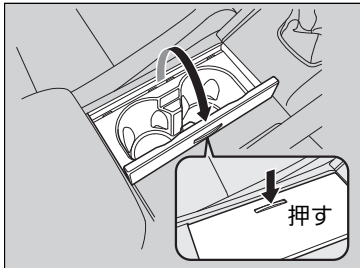
エアコン連動温調機能：コンソールボックス内にエアコンの風を導入し、缶などの飲み物を入れて保冷や保温ができます。

**1.** コンソールボックス内の吹き出し口を“開”方向に回す。
**2.** エアコンを作動させ、モード切り換えスイッチで または を選ぶ。
▶吹き出し口から風が出てきます。
**3.** 温度を調節する。

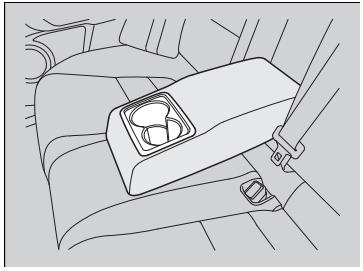


次ページに続く

## ■カップホルダー




### ■フロントシート用カップホルダー
矢印部を押すとフタが開きます。



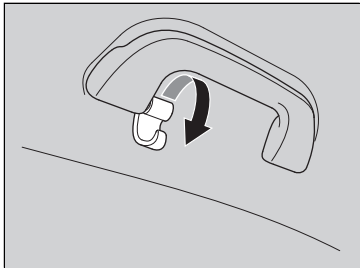
### ■リヤシート用カップホルダー
アームレストを前に倒して使います。

▶カップホルダー

**⚠注意**

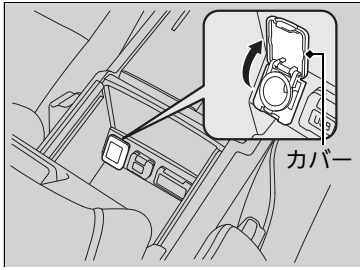
**飲みものなどを電装品にこぼさないように注意する。**
スイッチなどの電装品に飲みものがかかると故障の原因となったり車両火災につながったりするおそれがあります。

## ■コートフック



リヤシート左右のグラブレールに付いています。
回転させて使います。

## ■アクセサリーソケット




コンソールボックスの中にあります。エンジンスイッチが I または II のときに使用できます。

カバーを開けて使います。

### コートフック

**⚠注意**

**グラブレールにものをかけたり、コートフックに重いものやとがったものをかけたりしない。**
サイドカーテンエアバッグが正常に作動しなかったり、作動時にものが飛んだりしてけがをするおそれがあります。

### アクセサリーソケット

消費電力 120W(10A)以下のアクセサリーに、直流 12V の電源を供給します。

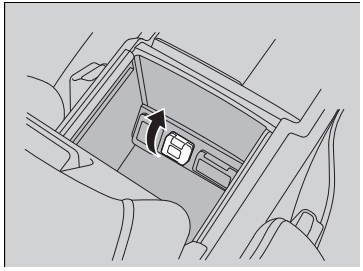
**シガレットライターは差し込まないでください。**
発熱するおそれがあります。

**バッテリーあがりを防ぐため、エンジンがかかっている状態でご使用ください。**



次ページに続く

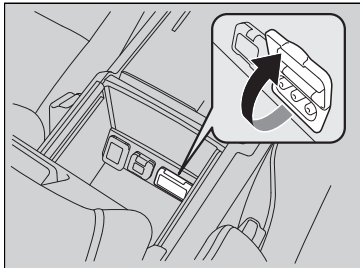
## ■ USB ジャック*



コンソールボックスの中にあります。

カバーを開けて使います。

## ■ AV 入力端子*



コンソールボックスの中にあります。

使用するときはカバーを開けて、入力端子にビデオ機器などの端子を差し込みます。

▨USB ジャック

**詳しい操作については、別冊の「Hondaインターナビシステム」取扱説明書をご覧ください。**

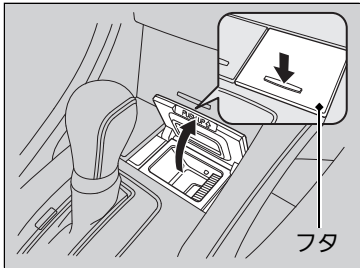
▨AV 入力端子

**詳しい操作については、別冊の「Hondaインターナビシステム」取扱説明書をご覧ください。**

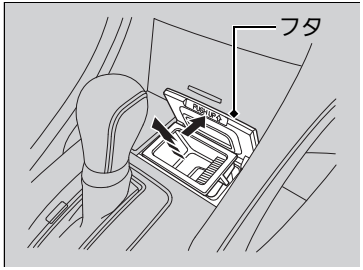


**✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。**

## ■灰皿




矢印部を押すとフタが開きます。




### ■灰皿を取り出すとき

フタを開けて前へ押します。

灰皿が浮き上がり取り出すことができます。

≫灰皿

**⚠注意**

**タバコ、マッチなどは確実に火を消して、灰皿は必ず閉める。**

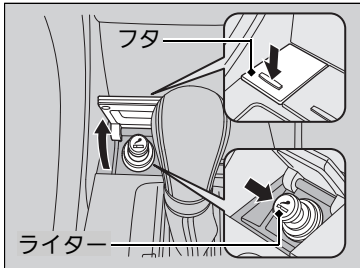
吸がらをためすぎたり、紙くずなどの燃えやすい物を入れないでください。

タバコの火が燃え広がるおそれがあります。



次ページに続く

## ■シガレットライター

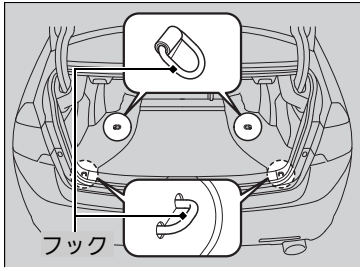



エンジンスイッチが I または II のときに使えます。

矢印部分を押すとフタが開きます。
ライターを押し込んで手を離し、元の位置に戻るまで待ちます。

▶ヒーター部が赤熱すると自動的に戻ります。

## ■カーゴフック



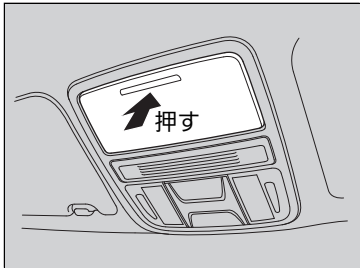

荷物を固定するときに使います。

▶▶シガレットライター

**⚠注意**

**シガレットライターの金属部分に触れない。**
やけどをするおそれがあります。

## ■サングラスボックス




矢印部を押すと開きます。
もう一度押すと格納されます。

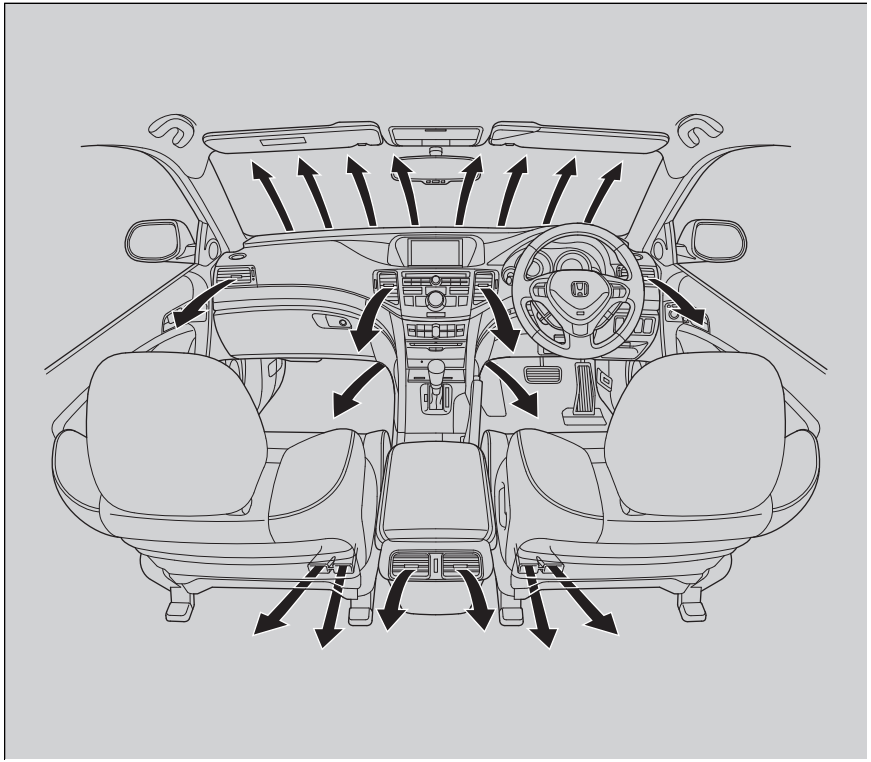
サングラスなどを入れることができます。

### サングラスボックス

**炎天下での駐車は高温になりますので、メガネなどを入れたままにしないでください。**
レンズやフレームが、変形やひび割れをおこすことがあります。

**開閉は停車中に行い、走行中は必ず閉めておいてください。**

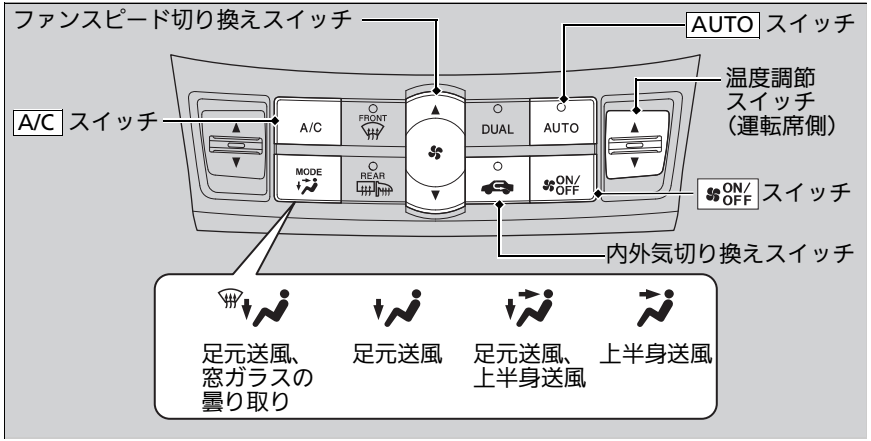
## エアコンの吹き出し口



エアコン

音声操作の詳細は、別冊の「Honda インターナビシステム」取扱説明書をご覧ください。

# オートエアコンの使いかた




エンジンをかけた状態で使用します。

**1.** AUTO を押す。

**2.** 運転席側の温度調節スイッチを上下に動かして室内の温度を設定する。

**3.** 停止するときは、ON/OFF を押す。

### ■内気 / 外気の切り換え

状況に合わせて を押して、内気 / 外気を切り換えます。

- 内気（表示灯点灯）：トンネルや渋滞などで、汚れた空気を車内に入れたくない場合
- 外気（表示灯消灯）：換気を行う場合

### ■除湿暖房

暖房中に A/C を押すと、除湿暖房となります。

次ページに続く

**オートエアコンの使いかた**

**オート（AUTO）で使用中いずれかのスイッチを押すと、押したスイッチの機能が優先されます。**
このとき「AUTO」の表示灯は消灯しますが、押したスイッチ以外の機能は自動制御されます。

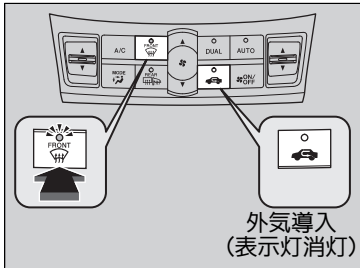
**外気温が低いときは、冷風の吹き出しを防ぐため、AUTO を押してもすぐにファンが回転しないことがあります。**

**炎天下に駐車していたときは、窓を開けて熱気を追い出しながら、冷房を開始してください。**

**設定温度表示で「Lo」は最大冷房を、「Hi」は最大暖房を示します。**

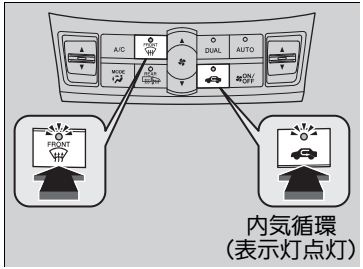
**ON/OFF を押すたびに ON や OFF に切り換わります。ON すると OFF する前の状態に戻ります。**

## ■前面・側面ガラスの曇り止め ( デフロスター) の使いかた




FRONTを押すとエアコンが作動し、自動的に外気導入に切り換わります。

FRONTをもう一度押すと曇り止めが停止し、前の状態に戻ります。




### ■急速に霜を取りたいとき

1. FRONTを押す。
2. を押す。

▶前面・側面ガラスの曇り止め(デフロスター)の使いかた

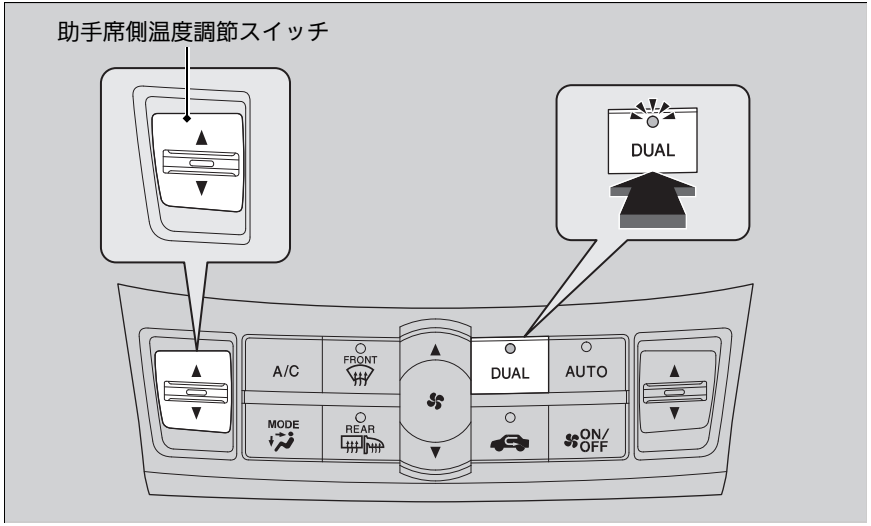
**設定温度を最大冷房付近にしないでください。**
冷風が前面ガラスに当たると、ガラスの外側が曇ることがあります。

**側面ガラスが曇ったときは、吹き出し風が側面ガラスに当たるよう、側面吹き出し口を調節してください。**

▶急速に霜を取りたいとき

**霜が取れたら、ただちに外気導入に切り換えてください。**
内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。

## ■独立作動(デュアル)モード




エアコンの設定温度を運転を運転席側と助手席側で個別に設定することができます。

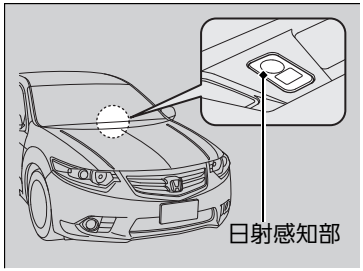
**1.** DUAL または助手席側温度調節スイッチを押す。
▶独立作動モードに切り換わります。
**2.** 運転席側または助手席側の温度調節スイッチで温度を調節する。

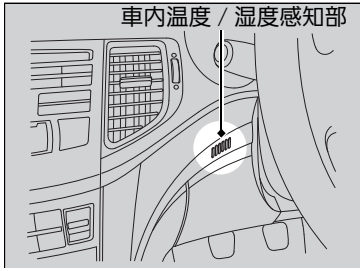
連動モードに戻すときは、 DUAL を押します。

▨独立作動(デュアル)モード

**FRONT を押すと、連動モードに切り換わります。連動モードに戻すと、運転席側の設定温度に切り換わります。**

# オートエアコンのセンサー




オートエアコンには、センサー(日射感知部、車内温度/湿度感知部)が付いています。センサーの上にものを置いたり、水をかけたりしないでください。

# オーディオ

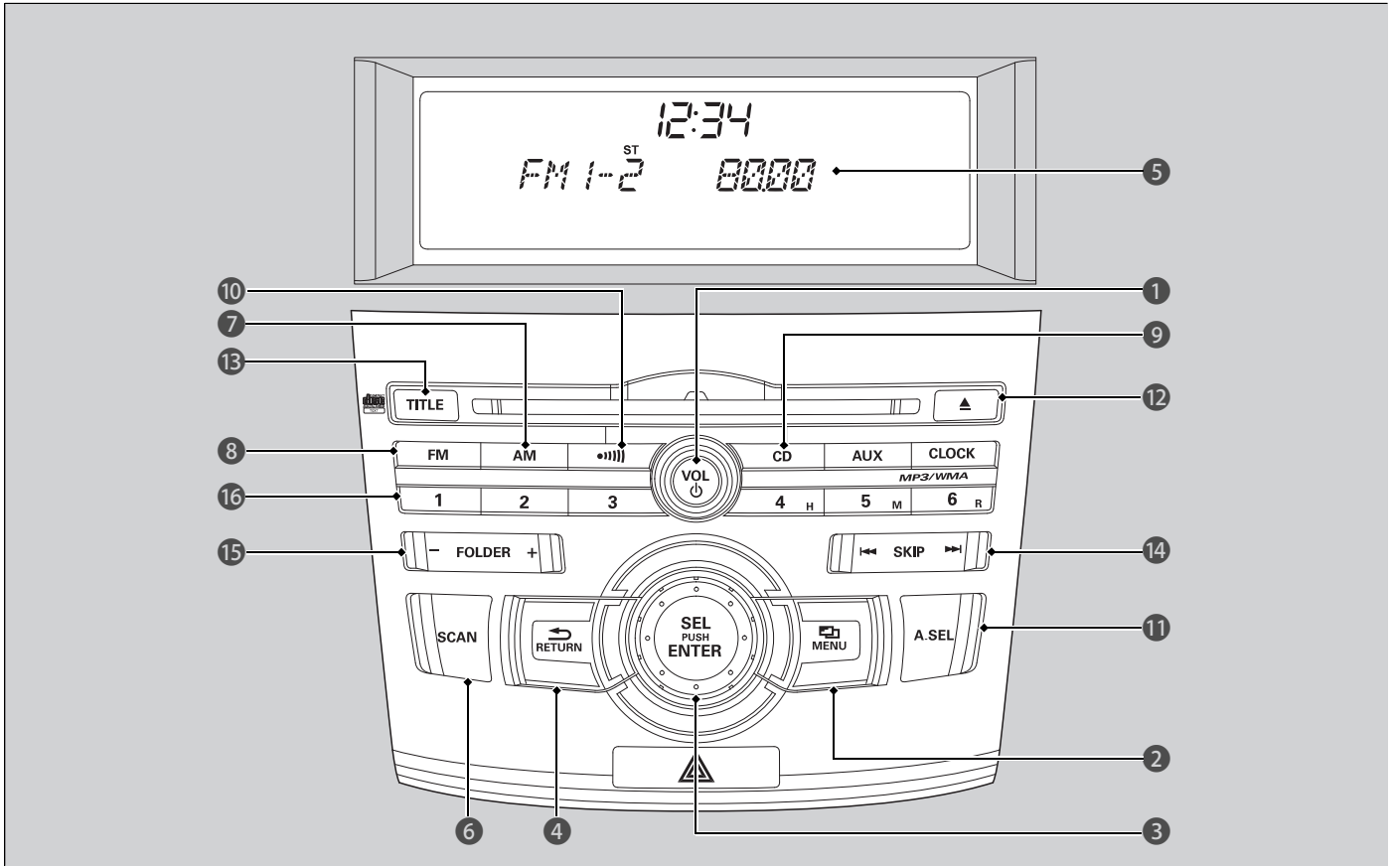
この章では、ラジオやCDプレイヤーなどの操作方法について記載しています。




**オーディオ装置*** ..... 142
取り扱いについて ..... 144
**ラジオ** ..... 147
**CD プレイヤー** ..... 151
CD プレイヤーのエラーメッセージ ... 157
**オーディオリモートコントロール スイッチ*** ..... 158
**リヤカメラシステム*** ..... 159
リヤカメラシステムのカスタマイズ .. 160
カメラ画像について ..... 163


*：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

## オーディオ装置の各部の名称








✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

**❶ ⏻/VOL ツマミ**
⏻：オーディオ装置の電源を入れるときに押します。
VOL：音量を調節するときに回します。

**❷ MENU スイッチ**
メニュー画面を開くときに押します。

**❸ SEL/ENTER ツマミ**
メニュー画面を操作しているときは、項目の選択・決定するときに押します。ラジオや CD などを聴いているときは、選局、曲の頭出し、早送り、早戻しをするときに押します。

**❹ RETURN スイッチ**
メニュー画面操作時に 1 つ前の画面に戻るときに押します。

**❺ 画面**
選択中のラジオ局、再生中の CD などの情報と、時計が表示される画面です。

**❻ SCAN スイッチ**
ラジオ局を探すときや、聴いている CD の聴きたい曲を探すときに押します。

**❼ AM スイッチ**
AM 放送を選択するときに押します。

**❽ FM スイッチ**
FM 放送を選択するときに押します。

**❾ CD スイッチ**
CD を聴くときに押します。

**❿ ●▮▮▮▮ スイッチ**
交通情報を聴くときに押します。

**⓫ 自動選局スイッチ**
放送局の違う地域へ出かけたときや、セットした放送局が聴けなくなったときに押します。

**⓬ ⏏ スイッチ**
CD を取り出すときに押します。

**⓭ TITLE スイッチ**
画面に CD の情報などを表示させるときに押します。

**⓮ SKIP スイッチ**
ラジオの選局や、CD の曲を選ぶときなどに押します。

**⓯ FOLDER スイッチ**
MP3 や WMA、USB フラッシュメモリーのフォルダーを選ぶときに押します。

**⓰ ワンタッチ選局スイッチ 1 ～ 6**
ラジオ局をあらかじめ設定しておき、ワンタッチで選局するためのスイッチです。



次ページに続く

Hondaインターナビシステム装備車のオーディオ・テレビ・DVDの取り扱いについては、別冊の「Honda インターナビシステム」取扱説明書をご覧ください。

# 取り扱いについて

- 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態では安全の妨げとなります。
- 運転中のオーディオ操作は、安全に支障がないようにしてください。
- 車内や車の近くで携帯電話や無線機を使うと、オーディオに雑音が入ることがあります。



## ■ラジオの受信状態について

ラジオの受信は、車の走行にともない受信状態が刻々と変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

## ■ディスクについて




ディスクの取り扱いにあたっては、以下の点にご注意ください。

- 左記マークのついているディスクを使用してください。
- ディスクは円形のものを使用してください。
- ディスクの信号面(記録面)を、直接手で触れないでください。
- 直射日光の当たるところを避けて保管してください。

### ≫ディスクについて

**CD-R/CD-RW をご使用の場合、以下の点にご注意ください。**

- CD-R/CD-RWは、録音に使用したレコーダーやディスクの状態により、再生できない場合があります。
- セッションの追加が可能なCD-R/CD-RWも再生できます。
- ビデオCDやDVDのディスクには対応していないため、再生できません。

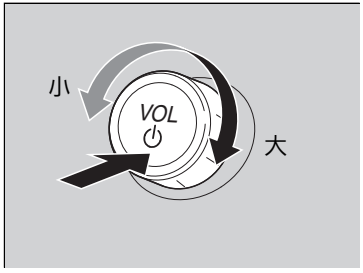
**寒いときや雨天のときにプレーヤーの内部が結露して、正しく動作しないことがあります。**
その場合、ディスクを取り出し、換気または除湿してからお使いください。

**悪路走行などで激しく振動した場合、音とびすることがあります。**

# オーディオ装置の使いかた

## ■オーディオ装置の基本操作

オーディオ装置はエンジンスイッチが I または II のときに使用できます。

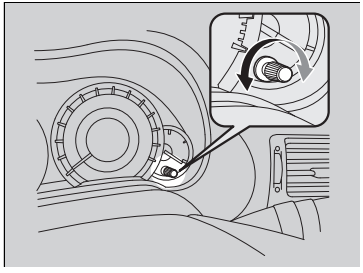



### ■オーディオ装置の ON/OFF

⏻/VOL ツマミを押すと電源が ON になり、もう一度押すと OFF になります。

### ■音量の調節

⏻/VOL ツマミを回して、音量を調節します。



### ■イルミネーションの明るさ調節

インストルメントパネルの明るさをイルミネーションコントロールノブを回して、調節します。

➲ **イルミネーションコントロール** P.112

オーディオ装置の基本操作

**AM や FM を押しても電源が ON になります。**

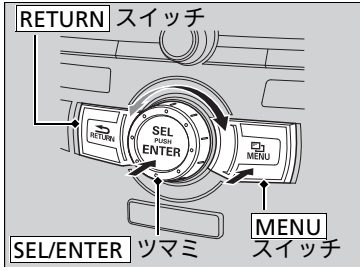
電源が入っていない状態で、AM や FM を押すとラジオが ON の状態になります。

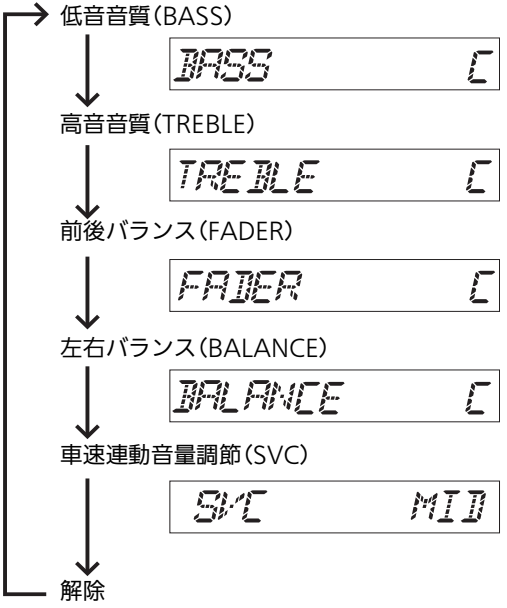


次ページに続く

## ■音質 / バランス / 車速連動音量の調節

**1.** MENU を押し、 SEL/ENTER を回す。
▶回すたびに項目が下図のように切り換わります。
**2.** 調節したい項目を選び、 SEL/ENTER を押す。
**3.** SEL/ENTER を回して、レベルを調節する。




▶▶オーディオ装置の基本操作

**調節レベルが中央のときにディスプレイに「C」が表示されます。**

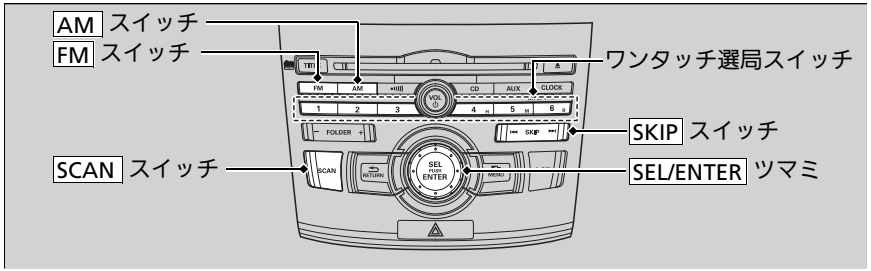
**調節後約５秒後に、自動的に調節モードが終了します。**

**車速連動音量調節(SVC)は、車の速度に応じて音量を自動調節する機能です。**

- HIGH ：車速に応じた音量変化を大きくするとき
- MID ：工場出荷時の設定
- LOW ：車速に応じた音量変化を小さくするとき
- OFF ：機能を解除するとき

# ラジオの使いかた

## ■ラジオの受信




**1.** AM もしくは FM を押し、バンドを選ぶ。
**2.** 放送局を選択する。

### ラジオの受信

**FM ステレオ放送が感度よく受信できたときは、ディスプレイに「ST」と表示されます。**
AM 放送はステレオ受信できません。

放送局の選局方法は、以下のとおりです。

- SEL/ENTER **で選局：**ツマミを回して受信周波数を調節します。
- SKIP **で選局：** ►►| または |◄◄ を押して、放送局を選局します。
- SCAN **で選局：**スイッチを押すと、電波の強い放送局が周波数の低い順から選局され、約 10 秒間次々と受信します。現在受信している放送局を聴くには、スイッチをもう一度押します。
- **ワンタッチで選局：** 1 ～ 6 のワンタッチ選局スイッチを押すと、設定されている放送局が選局されます。

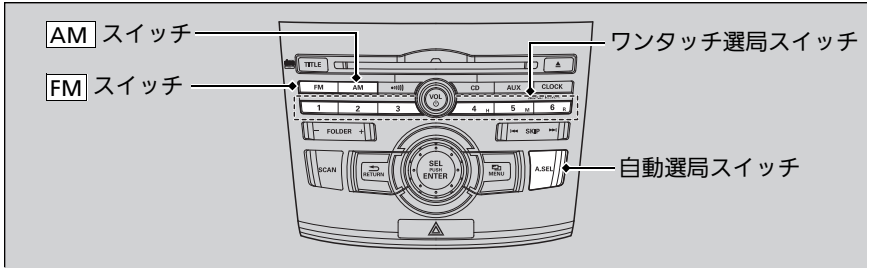
➔ **ワンタッチ選局の設定** P.148



次ページに続く

## ■ワンタッチ選局の設定

ワンタッチ選局スイッチに放送局を設定します。AM でも 6 局、FM1/FM2 で 12 局を設定することができます。




## ■ワンタッチ選局を手動で設定

**1.** AM もしくは FM を押し、バンドを選ぶ。
**2.** 放送局を選択する。
**3.** 設定するワンタッチ選局スイッチを選び、電子音が鳴るまで押し続ける。
▶1 ～ 3 の手順で、 1 ～ 6 のワンタッチ選局スイッチに設定できます。

## ■ワンタッチ選局を自動で設定

**1.** 自動選局スイッチを押す。

▶最大6局のAM局と12局のFM局が、ワンタッチ選局スイッチに自動的に設定されます。

### ワンタッチ選局を自動で設定

**自動選局をやめて、もとの設定に戻るにはもう一度自動選局スイッチを押します。**

ワンタッチ選局スイッチに設定した放送局は、手動設定で変更することもできます。

強い周波数の放送局がなかったために放送局が設定されなかった場合にワンタッチ選局スイッチを押すと、ディスプレイに 0 と表示されます。

## ■ラジオの受信周波数について

ラジオは AM バンド、FM バンドの全域を受信することができます。

| バンド | 周波数 |
|---|---|
| AM バンド | 522 ～ 1629kHz |
| FM バンド | 76.0 ～ 90.0MHz |

**AM バンドの放送局：**9kHz おきに周波数が割り当てられています(522、531、540…1629)。

**FM バンドの放送局：**0.1MHz おきに周波数が割り当てられています(76.0、76.1、76.2…90.0)。

### ラジオの受信周波数について

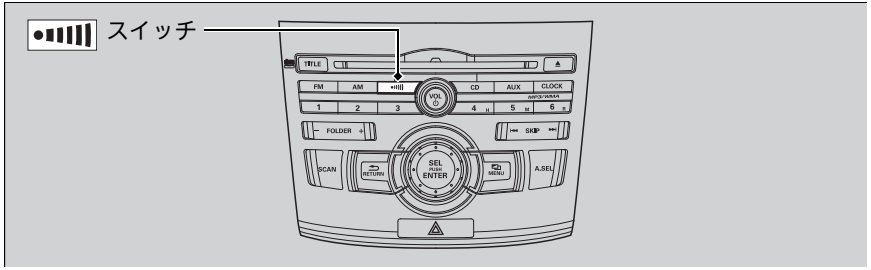
**FM 局の受信状態が悪くなると、「ST」マーク(ステレオインジケーター)が点灯したり消えたりします。**

ラジオの受信状態は、放送局の送信施設からの距離、近くの大きな建物、大気の状態などさまざまな要因により変化します。
送信施設から遠く離れるほど、信号が弱くなります。



次ページに続く

## ■交通情報の受信




**1.** [•▮▮▮▮▮] を押す。
▶周波数(1620kHz/1629kHz)の切り換えは、ワンタッチ選局スイッチの [1] と [2] または I◀◀ / ▶▶I で行います。

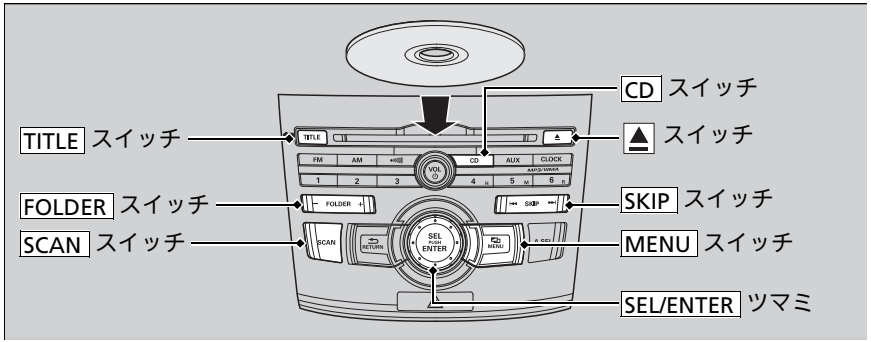
**2.** 解除するときは、もう一度 [•▮▮▮▮▮] を押す。
▶他のモードに切り換えたときも解除されます。

▨交通情報の受信

**[•▮▮▮▮▮] を押して交通情報を受信しているときは、[1] ～ [6] によるワンタッチ選局はできません。**
交通情報を解除してから [1] ～ [6] を押してください。

# CD プレイヤーの使いかた

オーディオ CD のほかに、CD-R や CD-RW を再生することができます。




## ■ CD を聴く（再生）

**1.** CD を押す。

**2.** CD 挿入口に CD を入れる。

▶CD を途中まで入れると、CD が引き込まれます。画面に現在のトラック番号と経過時間が表示され、再生が開始します。

## ■ CD を止める（停止）

**1.** ▲ を押す。

**2.** CD を取り出す。

▶押し出されたCDを取り出さないでいると、約10秒後にCDが引き込まれ再生が開始されます。

次ページに続く



**⚠注意**

**粘着性ラベルの貼られた CD は使用しない。**

ラベルがはがれ、CD が取り出せなくなるおそれがあります。

**ビデオ CD、DVD、8cmCD には対応していません。**

これらのデータは再生することができません。

**DRM により著作権が保護された MP3 形式、WMA形式のファイルは再生することができません。**

画面に「UNSUPPORTED」という表示が出て、次のファイルに進みます。

**CD 再生中にエンジンスイッチを 0 にしたり、オーディオ装置を OFF にすると、CD が挿入されたまま停止します。**

オーディオ装置をONにすると、停止されたときの続きから再生されます。

## ■再生中の操作

### ■曲名やファイル名などの表示

再生中に、CD に記録されている情報を表示させることができます。

TITLE を押すたびに下記の内容が表示されます。

- **CD の場合：**アルバムタイトル→アーティスト名→トラック名
- **MP3、WMA の場合：**フォルダーとファイル名→アーティスト名→アルバム名→トラックタグ

### ■早送り / 早戻し、スキップ / リプレイ

再生中に、 SKIP を押します。スイッチを押す長さによって、以下のようになります。

- I◀◀ / ▶▶I を長く押す：早送り / 早戻し
- I◀◀ / ▶▶I を短く押す：スキップ（次の曲の先頭へ進む）/ リプレイ（再生中の曲または前の曲の先頭へ戻る）

また、 SEL/ENTER で曲の選択をすることができます。

- SEL/ENTER を右に回す：次の曲の先頭へ進む
- SEL/ENTER を左に回す：再生中の曲または前の曲の先頭へ戻る

≫再生中の操作

**画面に表示されるのは、最大で 16 文字です。**
17 文字以上の場合は、 TITLE を押し続けてください。残りの文字が表示されます。

以下の場合も、画面に文字が表示されます。

- 新しいフォルダー、トラック、ファイルを選んだとき
- 他のモードから CD モードに切り換えたとき
- CD を入れたとき

### ■フォルダーや聴きたい曲を選択する（MP3、WMA 再生時のみ）

FOLDER や SEL/ENTER を使ってフォルダーや曲を選ぶことができます。

フォルダーを選択するときは FOLDER を使います。

- ＋ を押す：次のフォルダーへ進む
- － を押す：前のフォルダーへ戻る

聴きたい曲を選択するときは SEL/ENTER を使います。

**1.** SEL/ENTER を押してフォルダーリストを表示させる。
**2.** SEL/ENTER を回してフォルダーを選ぶ。
**3.** SEL/ENTER を押して決定し、ファイルリストを表示させる。
**4.** SEL/ENTER を回して聴きたいファイルを選び、 SEL/ENTER を押して決定する。

# CD のさまざまな再生方法

MENU や SEL/ENTER を使ってリピートやランダム、スキャン再生をすることができます。

- MENU ：メニュー画面をひらくときに押す。
- SEL/ENTER ：メニュー項目を選ぶときに回す。また、選んだメニュー項目を決定するときは押す。

## ■リピート再生（再生中の曲を繰り返し聴くとき）

### ■トラックリピート

**1.** MENU を押す。
**2.** SEL/ENTER で「PLAY MODE」を選び、決定する。
**3.** SEL/ENTER で「REPEAT ONE TRK」を選び、決定する。
▶再生中の曲を繰り返し再生します。解除するときは SKIP を押します。

### ■フォルダーリピート（MP3、WMA 再生時のみ）

**1.** MENU を押す。
**2.** SEL/ENTER で「PLAY MODE」を選び、決定する。
**3.** SEL/ENTER で「REPEAT ONE FLD」を選び、決定する。
▶再生中のフォルダー内のファイルを繰り返し再生します。解除するときは FOLDER を押します。

» リピート再生（再生中の曲を繰り返し聴くとき）

リピート再生は「PLAY MODE」から「NORMAL PLAY」を選んで解除することもできます。

## ■ランダム再生(曲順をランダムに再生するとき)

### ■トラックランダム

**1.** MENU を押す。
**2.** SEL/ENTER で「PLAY MODE」を選び、決定する。
**3.** SEL/ENTER で「RANDOM IN DISC」を選び、決定する。
▶ディスク内のすべてのトラックをランダムに再生します。解除するときは「PLAY MODE」から「NORMAL PLAY」を選びます。

### ■フォルダーランダム(MP3、WMA 再生時のみ)

**1.** MENU を押す。
**2.** SEL/ENTER で「PLAY MODE」を選び、決定する。
**3.** SEL/ENTER で「RANDOM IN FLD」を選び、決定する。
▶再生中のフォルダーのすべてのファイルをランダムに再生します。解除するときは FOLDER を押します。

**»ランダム再生(曲順をランダムに再生するとき)**

フォルダーランダムは「PLAY MODE」から「NORMAL PLAY」を選んで解除することもできます。

次ページに続く

## ■スキャン再生(聴きたい曲を探すとき)

### ■トラックスキャン

SCAN を押します。
ディスク内(MP3、WMA の場合は再生中のフォルダー内)の各トラックの始めを約 10 秒間つぎつぎに再生します。
解除するときは SCAN を押し続けます。

### ■フォルダースキャン(MP3、WMA 再生時のみ)

トラックスキャン中に SCAN を押します。
各フォルダーの先頭のファイルの始めを約 10 秒間つぎつぎに再生します。
解除するときは SCAN を押し続けます。

### ■SEL/ENTER ツマミを使ったスキャン機能の選びかた

1. MENU を押す。
2. SEL/ENTER で「PLAY MODE」を選び、決定する。
3. SEL/ENTER で「SCAN TRK」(トラックスキャン)または「SCAN FLD」(フォルダースキャン)を選び、決定する。
   ▶解除するときは「PLAY MODE」から「NORMAL PLAY」を選びます。

▶スキャン再生(聴きたい曲を探すとき)

SCAN を使ったスキャン再生の場合、「PLAY MODE」から「NORMAL PLAY」を選んでも解除できます。

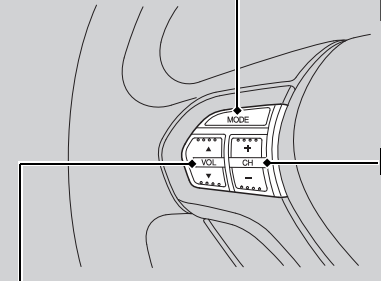
# CD プレイヤーのエラーメッセージ

画面にエラーコードが表示された場合は、下記にしたがって対処してください。

| ディスプレイ | エラー表示の意味 | 対処方法 |
|---|---|---|
| UNSUPPORTED | 読み取りエラーです。 | • 読み取りができないファイルがあります。<br>自動的に次の読み取り可能なファイルを再生します。 |
| BAD DISC<br>PLEASE CHECK<br>OWNER'S MANUAL<br>PUSH EJECT<br><br>BAD DISC<br>PLEASE CHECK<br>OWNER'S MANUAL | 機械的なエラーです。 | • ⏏を押してディスクを取り出し、エラーメッセージが消えるか確認してください。<br>• ディスクに傷や汚れがないか点検し、再度ディスクを挿入してください。<br>• ディスクが取り出せない場合やエラーメッセージが消えない場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。 |

## オーディオリモートコントロールスイッチの使いかた

オーディオリモートコントロールスイッチは、運転中にオーディオの操作をするためのスイッチです。




MODE スイッチ
スイッチを押すたびに以下のように切り換わります。

Honda インターナビシステム装備車
FM1 → FM2 → AM → CD/DVD → HDD（サウンドコンテナ）→ USB → TV1 → TV2 → VTR

AM/FM ラジオ一体式 CD ステレオ装備車
FM1 → FM2 → AM → CD

CH スイッチ
- ラジオを聴いているとき、テレビを見ているとき
  + を押す：プリセットされている次の放送局を選局します。
  − を押す：プリセットされている前の放送局を選局します。
  +、− を長く押す：電子音が鳴るまで押すと、自動選局になり放送局を受信すると止まります。
- CD、USB デバイス、HDD（サウンドコンテナ）、iPod を聴いているとき
  + を押す：次の曲に進みます。
  − を押す：再生中の曲の先頭に戻ります。
  +、− を長く押す：MP3/WMA、USB デバイス※ の場合、電子音が鳴るまで押すとフォルダーの選択ができます。
- DVD を見ているとき
  + を押す：次のチャプターに進みます。
  − を押す：再生中のチャプターの先頭に戻ります。

音量調節スイッチ
▲ を押す：音量が大きくなります。
▼ を押す：音量が小さくなります。





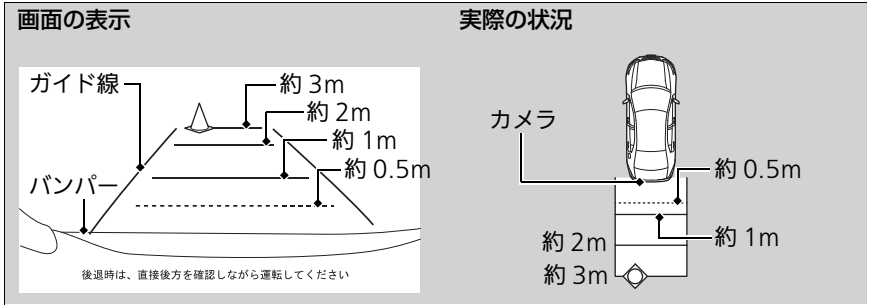
✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

# リヤカメラシステムについて

リヤカメラシステムは、ナビゲーションシステムの液晶画面に、車両後方の映像を表示させるシステムです。

セレクトレバーを R に入れると自動的に画面が切り換わります。

## ■画面に表示される映像の範囲




リヤカメラシステムのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に表示される映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
画面に表示される映像の範囲には限度があり、バンパーの両コーナー付近やバンパー下にあるものは表示されません。

»リヤカメラシステムについて

**⚠注意**

**後退時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認して運転する。**

**画面を見るときは、必要最小限にする。**
画面に表示される映像の範囲には限度があるため、画面だけを見て後退すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

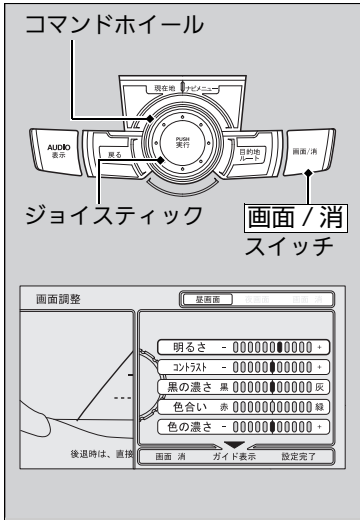
- リヤカメラシステムの映像は、ナビゲーション画面よりも優先して表示されます。
- エンジン始動直後は、セレクトレバーを R の位置に入れても、ナビゲーションシステムが起動するまでリヤカメラシステムのガイド線は表示されません。



✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

# リヤカメラシステムのカスタマイズ

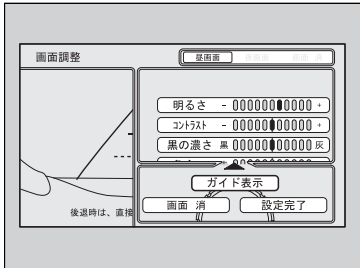
## ■ガイド線の表示 / 非表示




**1.** エンジンスイッチを II にして、セレクトレバーを R にする。

**2.** **画面 / 消** を押す。
▶調整項目選択画面が表示されます。

**3.** ジョイスティックを下げて調整項目画面を切り換える。

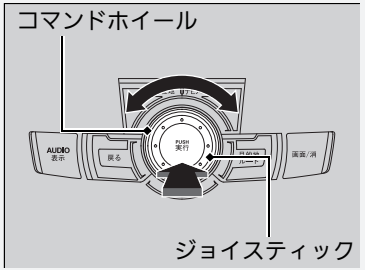



**4.** コマンドホイールを回して **ガイド表示** を選択し、ジョイスティックを押す。

**5.** コマンドホイールで **設定完了** を選択し、ジョイスティックを押す。

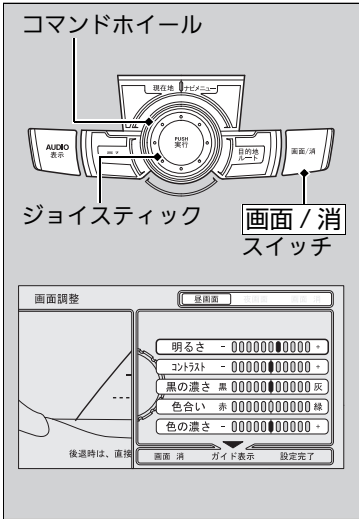
ガイド線を表示させるときは、再度手順 1 から 4 を行ってください。

### ガイド線の表示 / 非表示




項目を選択するには、コマンドホイールを回して項目を選び、ジョイスティックを押して確定させます。

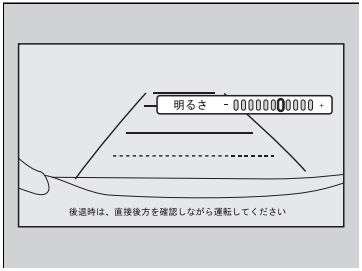
## ■画面調整のしかた




**1.** エンジンスイッチを Ⅱ にして、セレクトレバーを R にする。

**2.** 画面 / 消 を押す。
▶調整項目選択画面が表示されます。

**3.** コマンドホイールを回して調整したい項目を選び、ジョイスティックを押す。
▶調整項目が決定します。



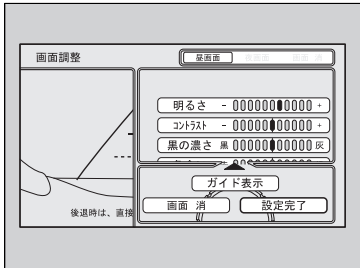

**4.** コマンドホイールを回して調整する。
明るさ ：－(暗い)←→＋(明るい)
コントラスト ：－(弱い)←→＋(強い)
黒の濃さ ：黒←→灰
色合い ：赤←→緑
色の濃さ ：－(薄い)←→＋(濃い)

≫画面調整のしかた

**安全のため、エンジンを停止した状態で操作してください。**

**パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。**

次ページに続く




**5.** 調整が完了したら、ジョイスティックを押す。
▶調整項目選択画面に戻ります。続けて調整することができます。
**6.** すべての調整が終了したらジョイスティックを下げて調整項目画面を切り換える。
**7.** コマンドホイールで **設定完了** を選択し、ジョイスティックを押す。

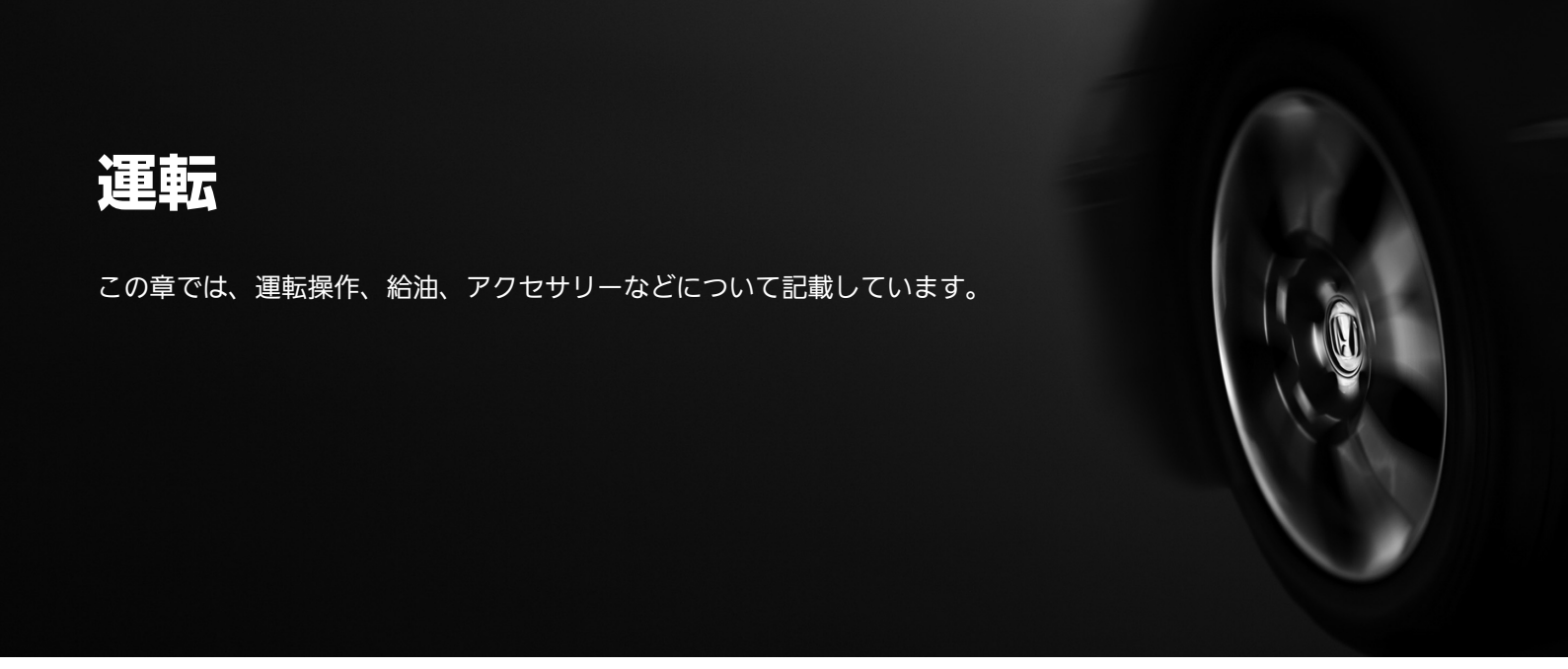
# カメラ画像について

| 状態 | 考えられる原因 | 対処のしかた |
|---|---|---|
| カメラの画像が見えにくい | • 夜間や雨の日、および暗い場所<br>• カメラが高温になっている場合<br>• 太陽の光など強い光がカメラに直接差し込んでいる場合※ | 気象条件などでカメラの画像が見にくいときは、目視やミラーで直接確認してください。 |
| | • カメラのレンズに水滴や虫などが付いている場合<br>• カメラのレンズが汚れている場合 | |

※：強い光がカメラに差し込んでいるときに、光源の周囲が白くぼやけるハレーション現象や、上下に光の筋ができるスミア現象が起きることがあります。

# 運転

この章では、運転操作、給油、アクセサリーなどについて記載しています。




**運転の前に**..... 165
**運転操作**
エンジンの始動..... 167
走行時の注意点..... 169
オートマチックについて ..... 171
シフト操作..... 172
クルーズコントロール✤..... 176
VSA（ビークルスタビリティアシスト）..... 179
**ブレーキ操作**
ブレーキシステム ..... 181
ABS（アンチロックブレーキシステム）..... 183
電子制御ブレーキアシスト ..... 184
CMBS（追突軽減ブレーキ）✤..... 185
**駐停車操作**..... 189
**給油**
指定燃料について ..... 191
給油のしかた ..... 192
**アクセサリーと改造** ..... 195




✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

## 運転の準備

運転を始める前に下記の項目を確認してください。

### ■車外での確認項目

- 窓やミラーの視界、灯火器類の光をさえぎるものがないか？
  ▶霜、雪、氷が付着している場合は取り除きます。
  ▶屋根に雪が積もっている場合は、走行時に滑り落ちて視界をさえぎる可能性があるため取り除きます。
  氷結しているときは、氷が溶けてから取り除いてください。
  ▶足回りに氷塊が付着している場合は、部品を損傷しないよう注意しながら取り除きます。
- ボンネットは完全に閉まっているか？
  ▶走行中にボンネットが開くと、視界がさえぎられて危険です。
- タイヤは正常か？
  ▶空気圧、亀裂、損傷や異常な摩耗がないか確認します。
  ➡ **タイヤの点検と整備** P.222
- 車の周囲に子供はいないか？
  車の周りに障害物はないか？
  ▶運転席から見えない死角や、バックミラーでは確認できない死角がありますので、乗車する前に確認します。

### ■車内での確認項目

- フロアマットがペダルに引っかかっていないか？
- フロアマットが固定されているか？
- フロアマットを重ねていないか？
  ▶ブレーキやアクセルの操作が確実にできないおそれがあり危険です。

次ページに続く

車外での確認項目

アドバイス

**ドアが凍結しているときは、無理にはがさずお湯をかけて溶かしてください。**
無理にはがすと、ドアまわりのゴムがはがれます。お湯をかけた後は、凍結防止のため、水分をよく拭き取ってください。

**ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。**
凍結すると、キーが差し込めなくなります。

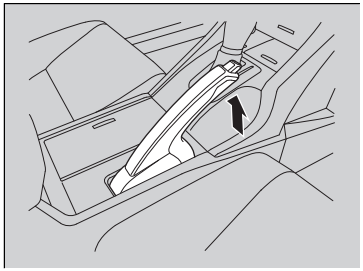
車内での確認項目

**運転者は、携帯電話を走行中に使用しないでください。**
運転者が運転中にハンズフリー以外の携帯電話を使用することは、法律で禁止されています。 運転中の使用により周囲の状況に対する注意が不十分になると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

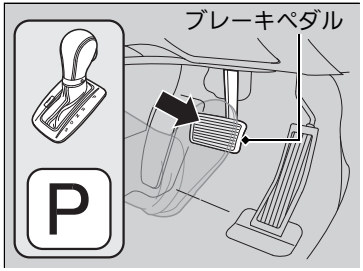
**車に合ったフロアマットをお使いください。**

- フロントシートの足元にものを置いていないか？
- 荷物はシートの高さを越えていないか？
  ▶後方視界を妨げたり急ブレーキのときに荷物が飛び出したりするおそれがあり危険です。
- 積み込んだ荷物が適切に固定されているか？
  ▶不適切な荷物の積み込みは、タイヤに負担をかけたり走行中のバランスを維持できず危険です。
- 動物を乗せるときは、動きまわらないようにしているか？
  ▶運転の妨げになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- シート位置などが適切に調節されているか？
  ▶不適切なシート位置での走行は危険です。
  ➔ **シートの調節** P.118
- ルームミラー、ドアミラー、ハンドルは適切に調節したか？
  ▶正しい運転姿勢ですわり、それぞれ適切な位置に調節します。
  ➔ **ミラー類の調節** P.115
  ➔ **ハンドルの調節** P.114
- すべての乗員がシートベルトを締めているか？
  ▶すべての乗員は必ずシートベルトを着用します。
  ➔ **シートベルトの着用** P.24
- ドア、トランクが確実に閉まっているか？
  ▶走行前にすべてのドア、トランクが完全に閉まり、正しく施錠されていることを確認します。
  ➔ **車内での施錠 / 解錠** P.87
- エンジンをかけたとき、メーターに異常を示す警告灯などが点灯していないか？
  ▶異常を示す警告灯の異常を解決してから走行します。
  ➔ **警告灯** P.53

## エンジンの始動



**1.** パーキングブレーキがかかっていることを確認する。




**2.** セレクトレバーが P であることを確認し、右足でブレーキペダルを踏む。
▶N でも始動できますが、安全のため駆動輪が固定される P で行ってください。

エンジンの始動

**⚠警告**

**バッテリー液が不足しているときは、エンジンを始動しない。**
バッテリーが破裂するおそれがあります。

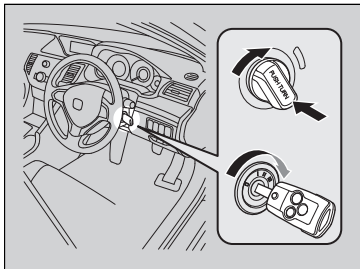
**⚠注意**

**エンジンを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏む。**

**寒いときのエンジンの始動は、すべての電気アクセサリーを OFF にしてから行います。**
寒いときのエンジンの始動は、バッテリーの消耗を防ぐためライト類、エアコン、リヤデフロスターなどの電気アクセサリーをすべて OFF にしてから行ってください。

**エンジンスイッチを 15 秒以上 III にしないでください。**
エンジンがかかったらすぐに、手を離してください。自動的に II に戻ります。
車を盗難から守るため、イモビライザーシステムのキーを採用しています。そのため、あらかじめ登録されたキーでないとエンジンの始動ができません。
➡ **イモビライザーシステム** P.93

次ページに続く



**3.** アクセルペダルを踏まずに、エンジンスイッチを III に回す。
▶エンジンがかかったら、エンジンスイッチを離します。

## ■発進時の操作

**1.** 右足でブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを D にする。
▶後退する場合は R にします。
**2.** パーキングブレーキを解除する。
▶ブレーキ警告灯が消灯したことを確認してください。
➡ **パーキングブレーキ** P.181
**3.** ブレーキペダルを徐々に離し、アクセルペダルをゆっくりと踏んで発進する。

≫エンジンの始動

**エンジンがかからない場合は、10 秒以上待ってから操作してください。**
エンジンがかからない、かかってもすぐに止まる場合は、10秒以上待ってからアクセルペダルを軽く踏みながら**手順 3** を繰り返してください。エンジンがかかったらアクセルペダルを離します。

アドバイス

**排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えないときは、排気系や燃料系の異常が考えられます。**
Honda 販売店で点検を受けてください。

≫発進時の操作

**⚠注意**

**アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しない。**
急発進して思わぬ事故の原因となります。

**坂道での発進時は、必ずパーキングブレーキを併用してください。**
車が後退しないよう、パーキングブレーキをかけたまま、先にブレーキペダルを離してアクセルペダルに踏みかえてから、パーキングブレーキを解除してください。

# 走行時の注意点

## ■霧が出たときは

霧が出たときは視界が悪くなります。昼間でもヘッドライトを下向きで点灯し、中央線、ガードレール、前走車のテールランプなどを目安にして、速度を落として走行してください。

## ■風が強いときは

風が強く車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、速度を徐々に落として進路を立て直します。
トンネルの出口、橋、土手の上、山を削った切り通しの走行時や大型トラックの追い越し時などには、特に横風の影響を受けやすいため、十分に注意してください。

走行時の注意点

**走行中はエンジンを止めないでください。**
下記のような状態になり危険です。
- ブレーキの倍力装置が作動しないため、ブレーキの効きが悪くなる
- パワーステアリングのパワー装置が作動しないためハンドル操作が重くなる

**走行中はセレクトレバーを N にしないでください。**
エンジンブレーキが全く効かず、思わぬ事故の原因となります。

**車を移動するときは、必ずエンジンをかけてください。**
下り坂を利用しての移動などは、思わぬ事故の原因となります。

**1,000km走行するまでは、エンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け、控えめな運転をしてください。**



次ページに続く

## ■雨が降っているときは

雨天時は路面が滑りやすくなっているため、急ブレーキ、急加速、急ハンドルを避け通常より注意深く運転してください。
わだちなどの水のたまりやすい場所ではハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

冠水路などの深い水たまりは走行しないでください。エンジンの破損や電装品の故障につながるおそれがあります。

## ■その他の注意点

走行中、床下に強い衝撃を受けたときは、思わぬ事故につながるおそれがあるため、ただちに安全な場所に停車してブレーキフルードや燃料の漏れ、各部に損傷がないかを確認してください。



≫雨が降っているときは

**ハイドロプレーニング現象に注意してください。**
ハイドロプレーニング現象とは、路面が水でおおわれているところを高速で走行したときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いてハンドルやブレーキが効かなくなる状態のことをいいます。

≫その他の注意点

**⚠注意**

**シフトダウンする際の車速には、十分注意する。**
滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。

**下記のような場合には、アンダースポイラーを損傷するおそれがあります。**

- 車止めのある場所への駐車
- 路肩に沿っての駐車
- 平坦路から上り坂・下り坂および上り坂・下り坂からの平坦路への乗り入れ
- 路肩等段差のある場所への乗り降り
- 凹凸やわだちのある道路の走行
- くぼみ(穴)のある個所の通過

# オートマチックについて

## ■クリープ現象

エンジンがかかっているとき、セレクトレバーが P N 以外に入っていると動力がつながった状態になり、クリープ現象によりアクセルペダルを踏まなくても、車がゆっくり動き出します。

### クリープ現象

**エンジン始動直後は、クリープ現象が強くなります。**
エンジン始動直後やエアコン作動時は、自動的にエンジン回転が上がりクリープ現象が強くなりますので、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

**上り坂での停車時、クリープ現象による前進の力よりも、後退しようとする力のほうが大きくなり、車が後退する場合があります。**
ブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキをかけてください。

## ■キックダウン

セレクトレバーが D や S で走行中にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、自動的に変速比が変わりエンジンの回転数が上がって、力強い加速を得ることができます。

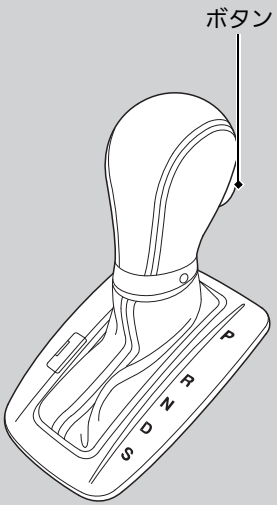
### キックダウン

**上り坂などでアクセルペダルを踏み込んだとき、キックダウンにより急にエンジン回転が上がり、速度が出すぎてしまうことがあります。**
アクセルペダルは慎重に操作してください。滑りやすい路面やカーブでは、特に注意が必要です。

# シフト操作

走行状態に応じてセレクトレバーで切り換えます。

## ■セレクトポジションの名称とはたらき




**P** パーキング
駐車またはエンジンの始動

**R** リバース
車を後退

**N** ニュートラル
アイドリング状態

**D** ドライブ
- 通常走行(1 速～ 5 速まで自動変速)
- 一時的にシーケンシャルモードにするとき

**S** ドライブ(S)
- 1 速～ 4 速の間で自動変速
(4 速は過回転時のみ)
- シーケンシャルモードにするとき

▶シフト操作

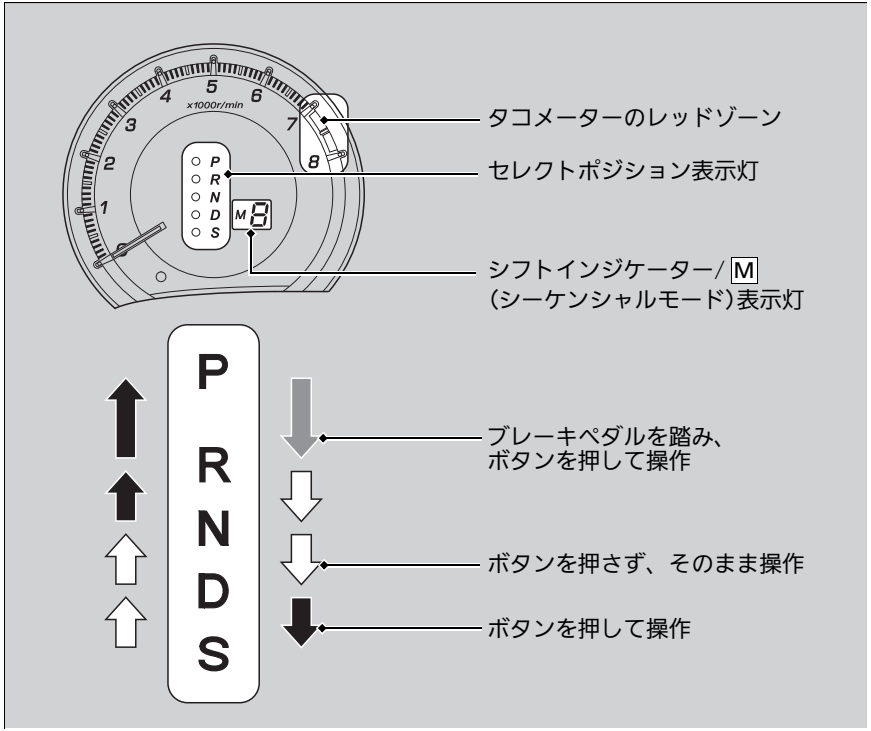
**セレクトレバーが P 以外のときは、エンジンスイッチが 0 まで回らないため、キーを抜くことはできません。**

**R のポジションのときは、チャイム音が鳴り運転者にセレクトレバーが R に入っていることを知らせます。**

**N のポジションのときでも、エンジンが冷えているときはトランスミッションフルードの粘性により、車がわずかに動き出すことがあります。**
ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。

## ■セレクトレバーの操作

セレクトポジションは、メーター部にあるセレクトポジション表示灯と連動し、現在のポジションを表示灯の点灯で表示します。
エンジンスイッチを II にすると、 D の表示灯が数秒点灯します。




次ページに続く

### セレクトレバーの操作

アドバイス

**前進から後退、後退から前進するときは車を完全に止め、ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーを操作してください。**
車が完全に止まっていない状態でレバーを操作すると、トランスミッションを破損するおそれがあります。

**車を発進させるときは、思い違いによる事故を防ぐためにセレクトポジション表示灯でもセレクトレバーの位置を確認してください。**

**走行中にセレクトレバーをどのポジションにしても D の表示灯が点滅しているときは、トランスミッションに異常があります。**
急加速を避け、Honda 販売店で点検を受けてください。

**エンジンの回転をあやまってタコメーターのレッドゾーン(限界回転数)以上で運転した場合、エンジン保護装置により燃料供給が停止されます。**
そのとき、軽い衝撃を感じることがありますが、異常ではありません。

**セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、セレクトレバーの操作ができないことがあります。**
先にブレーキペダルを踏んでください。

## ■シーケンシャルモードとは

ハンドルにあるシフトスイッチで、ハンドルから手を離さずに手動で 1 ～ 5 速まで変速することができます。走行中にシフトスイッチを引くと、シーケンシャルモードへ切り換わります。エンジンブレーキが必要なときにも、使用してください。

### ■セレクトポジションが D のとき

一時的にシーケンシャルモードとなり、シフトインジケーターが点灯します。
定速走行の状態になると、シーケンシャルモードは自動的に解除され、シフトインジケーターが消灯します。カーブの手前など、一時的に減速したいときに便利です。

### ■セレクトポジションが S のとき

シーケンシャルモードとなり、 M 表示灯とシフトインジケーターが点灯します。10km/h以下になると、自動的に1速にシフトダウンします。車速が上がっても自動的にシフトアップはしません。
発進は 1 速または 2 速でのみ行うことができます。
モードを解除する場合は、セレクトレバーを S から D に動かしてください。
シーケンシャルモードが解除され、 M 表示灯とシフトインジケーターが消灯します。

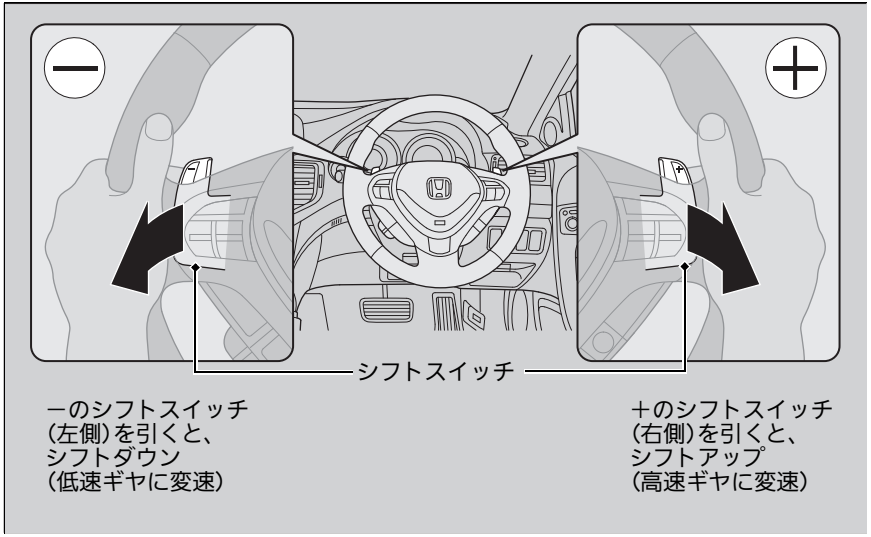
### ■2 速固定モード

セレクトポジションが S で停止または 10km/h 以下のときに、 + 側のシフトスイッチを引くと2速固定モードになり2速に固定されます。雪道などの滑りやすい路面で発進しやすくなります。
2 速固定モードを解除する場合は、 − 側のシフトスイッチを引くか、セレクトレバーを S から D に動かしてください。

**»シーケンシャルモードとは**

セレクトポジションが D のときで車速が各ギアの許容範囲外の場合は、一定時間シフトインジケーターが点灯し、その後消灯します。その場合は、シーケンシャルモードへは切り換わりません。

## ■シーケンシャルモードの操作




### シーケンシャルモードの操作

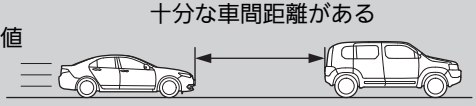
シフトスイッチを操作したとき、車速が各ギアの許容範囲外になる場合は、変速せず表示灯が点滅します。セレクトポジションが S のときでシフトアップ操作後に車速が各ギアの許容範囲外になる場合は、変速せず点滅もしません。

# クルーズコントロール*

高速道路のような加速 / 減速操作の少ない自動車道などで、定速運転をするときアクセルペダルを踏まなくても車速を一定に保つための装置です。

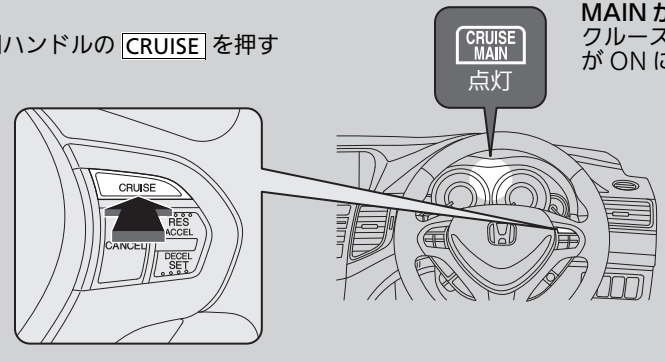
**こんなときに**

■使用できるシフトポジション
D または S で 2 速以上のとき
■使用できる車速
約 30km/h ～ 100km/h の希望値




**操作**

■ハンドルの CRUISE を押す




メーターの CRUISE MAIN が点灯
クルーズコントロールが ON になります。

エンジンスイッチを I または 0 にするとクルーズコントロールは自動的に OFF になります。

上り坂や下り坂では、条件により一定速度を保てない場合があります。

クルーズコントロール

**⚠警告**

**下記のような道路で、クルーズコントロールを使用しない。**
道路状況によっては、思わぬ事故につながります。

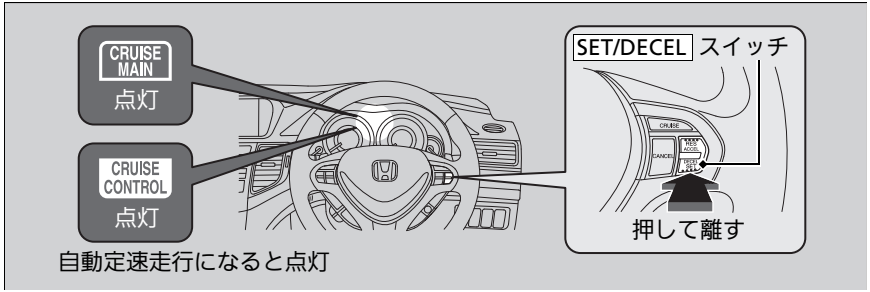
- **混んでいて、車間距離が十分にとれない道路**
  道路状況に合った速度で走行できません。
- **急な下り坂のある道路**
  エンジンブレーキが十分効かず、セットした速度を超えてしまうことがあります。
- **凍結や積雪などで滑りやすい道路**
  タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。





*：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

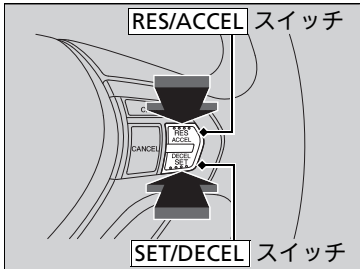
## ■車速をセットするには




希望の車速になったらペダルから足を離し、 SET/DECEL を押します。
SET/DECEL を離すと、離したときの車速にセットされ自動定速走行になります。 同時に、**CRUISE CONTROL** 表示灯が点灯します。

## ■車速を調節するには

手元の RES/ACCEL と SET/DECEL の操作で、車速を上げ / 下げすることができます。




**RES/ACCEL スイッチ**

- 1 回押すごとに約 1.5km/h ずつ車速が上がる
- 押し続けると車速が上がり、手を離したときの車速に固定

**SET/DECEL スイッチ**

- 1 回押すごとに約 1.5km/h ずつ車速が下がる
- 押し続けると車速が下がり、手を離したときの車速に固定

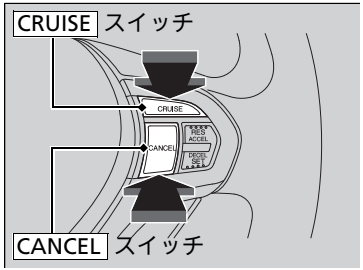
次ページに続く

車速をセットするには

**自動定速走行をしないとき**

安全のため CRUISE を押して OFF にしてください。
エンジンスイッチを I または 0 にすると、 CRUISE は自動的に OFF になります。

## ■解除するには



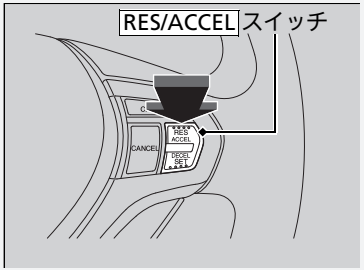

次の操作をすると、自動定速走行が解除されます。同時に、**CRUISE CONTROL** 表示灯が消灯します。

- CANCEL を押す
- CRUISE を押す
- ブレーキペダルを踏む
- セレクトレバーを N にする

▶解除するには

**解除前の設定車速に復帰させる**

自動定速走行を解除したあとでも、30km/h 以上の車速で走行中に RES/ACCEL を押すことで、解除前の設定車速の自動定速走行に戻すことができます。




ただし、下記の場合は復帰できません。

- 解除後、車速が 30km/h 未満になったとき
- CRUISE で OFF 操作をしたとき

**車速が 25km/h 以下になると**

自動的に自動定速走行が解除になります。

# VSA(ビークルスタビリティアシスト)

VSA とは、ABS 機能、TCS 機能および横滑り抑制機能を総合的に制御し、急激な車両の挙動変化を抑制しようとする装置です。

### ■ABS(アンチロックブレーキシステム)機能 P.183

### ■TCS(トラクションコントロールシステム)機能

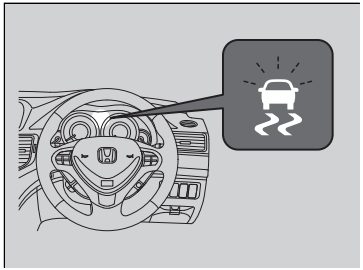
滑りやすい路面などでの駆動輪の無駄な空転を防止し、駆動力、操舵能力を確保しようとする機能です。

### ■横滑り抑制機能

急激なハンドル操作や滑りやすい路面などでの旋回時に、車輪の横滑りなどを抑制することで車両の安定性を確保しようとする機能です。
さらに、緊急制動時に運転者のブレーキ操作を補助する電子制御ブレーキアシストも装着しています。

**電子制御ブレーキアシスト** P.184

## ■ VSA の作動と警告灯



TCS 機能または横滑り抑制機能作動中は、VSA 警告灯が点滅します。

VSA(ビークルスタビリティアシスト)

**アドバイス**

種類やサイズの異なるタイヤが混在していると、VSA が正常に機能しないことがあります。タイヤは必ず、同一指定サイズ、同一種類のタイヤを指定空気圧で使用してください。

**VSA が作動した状態でも車両の安定性の確保には限界がありますので、無理な運転はしないでください。**

- カーブ手前では十分に速度を落とす
- 雪道、凍結路を走行するときは、スノータイヤまたはタイヤチェーンを装着し控えめな速度で運転する

**新雪やぬかるみから脱出したいときに、OFF で VSA を OFF にするとエンジントルク抑制機能が停止し、駆動輪が回転しやすくなるので効果的な場合があります。**

この際、TCS 機能と横滑り抑制機能が OFF になるため、走行には十分に気をつけてください。

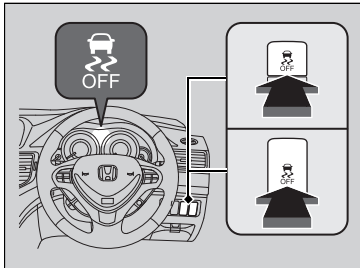
**VSA 警告灯が運転中に点灯するときは、システムの異常が考えられます。**

通常の運転には支障はありませんが、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。



次ページに続く

## ■ VSA の ON と OFF




VSAを停止(OFF)状態にするには、VSA OFFを「ピッ」とブザーが鳴るまで押してください。
VSA が停止状態になり VSA OFF 警告灯が点灯します。
再度使用(ON)するには、VSA OFFを「ピッ」とブザーが鳴るまで押します。

### VSA(ビークルスタビリティアシスト)

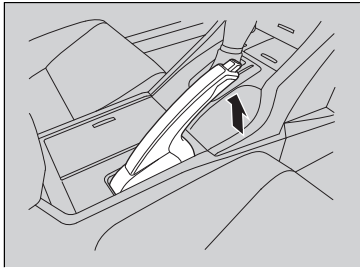
前回の走行時にOFFにした場合でも、再度エンジンを始動させると自動的に ON になります。

エンジン始動直後や走行中、システムチェックのためエンジンルームからモーター音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

# ブレーキシステム

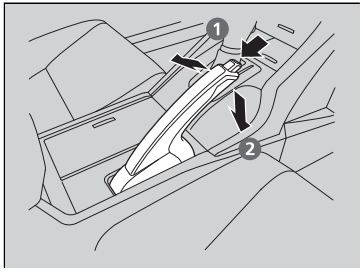
## ■パーキングブレーキ

主に停車中や駐車時に使用するブレーキです。パーキングブレーキレバーにより操作します。



### ■パーキングブレーキをかける

ボタンを押さずにレバーをいっぱいに引きます。




### ■パーキングブレーキを解除する

1. レバーを軽く引き上げながら、ボタンを押す。
2. ボタンを押したまま、レバーを下まで完全に下ろす。

≫パーキングブレーキ

アドバイス

パーキングブレーキをかけたまま走行すると、リヤブレーキと車軸が損傷するおそれがあります。パーキングブレーキは完全に解除した状態で、走行してください。

パーキングブレーキが完全に解除されていない状態で走行すると、パーキングブレーキ戻し忘れ警告ブザーが鳴り、マルチインフォメーションディスプレイに「パーキングブレーキを解除して下さい」と表示が出ます。
完全に解除すると、ブザーは止まります。
停車したときも、ブザーは止まります。

**駐車するときは、車が動き出さないように必ずパーキングブレーキをかけてください。**

**寒冷時は、凍結を防ぐためパーキングブレーキをかけないでください。**
セレクトレバーを P にして、石などで輪止めをしておきます。

次ページに続く

## ■フットブレーキ

車の減速や停止をするためのメインのブレーキです。ブレーキペダルで操作します。

ブレーキのロックを防止する ABS(アンチロックブレーキシステム)で、安全性の向上を図っています。

➔ **ABS(アンチロックブレーキシステム)** P.183

▩フットブレーキ

**水たまりを走行したときは、ブレーキの効き具合を確認してください。**
効きが悪いときは、効き具合が戻るまでブレーキペダルを何回か軽く踏んでください。

**ブレーキを踏んでいる間、絶えず金属的な摩擦音が聞こえる場合はブレーキパッドを交換する必要があります。**
Honda 販売店で点検を受けてください。

長い下り坂でブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱し、ブレーキの効きが悪くなり危険です。そのため、長い下り坂などではエンジンブレーキを使用します。
アクセルペダルから足を離し、シフトスイッチを引いてギヤを低速にシフトすると、エンジンの回転抵抗で速度が落ちます。

# ABS(アンチロックブレーキシステム)

## ■ ABS とは

ABS(アンチロックブレーキシステム)とは、急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとするための装置です。

### ■ABS の作動と警告灯

ブレーキペダルを踏んだとき、ブレーキペダルが小刻みに動くことがありますが、これは ABS の正常な動作です。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
なお、低速(車速約 10km/h 以下)では ABS は作動せず、通常のブレーキと同じ作動となります。



**ABS 警告灯**
エンジンスイッチを II にすると数秒間点灯し消灯するのが正常な状態。

ABS(アンチロックブレーキシステム)

**アドバイス**

種類やサイズの異なるタイヤが混在していると、ABSが正常に機能しないことがあります。タイヤは必ず、同一指定サイズ、同一種類のタイヤを指定空気圧で使用してください。

**ABS 警告灯が運転中に点灯するときは、システムの異常が考えられます。**

通常のブレーキ操作には支障はありませんが、ABS が作動していない可能性があります。
ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

**ABS は、制動距離を短くするためのものではありません。**

ABS を装備していない車両と同様に、路面が滑りやすいほど長い制動距離が必要になります。ABS が作動した状態でも車両の姿勢やハンドルの効きには限界がありますので、過信せず安全運転に心がけてください。また、次のような場合、ABS の装着されていない車両に比べ、制動距離が長くなることがあります。

- 砂利道、深い新雪、凸凹路などの悪路
- 舗装の継ぎ目やマンホールなどの段差
- タイヤチェーン装着時

エンジン始動直後や走行中、システムチェックのためエンジンルームからモーター音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

# 電子制御ブレーキアシスト

## ■電子制御ブレーキアシストとは

緊急制動時に、より大きな力を発生させ運転者のブレーキ操作を補助する装置です。

### ■電子制御ブレーキアシストの作動

ブレーキペダルを強く踏み込んだときに、ブレーキがより強く効くようになります。

ブレーキアシストが作動すると、ペダルが小刻みに動いたり、作動音が聞こえたりすることがあります。これはブレーキアシストが作動しているときの現象で異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。

➔ VSA(ビークルスタビリティアシスト) P.179

E- プリテンショナー装備車

ブレーキアシストの作動と同時に運転席と助手席のシートベルトが引き込まれます。

➔ E- プリテンショナー* P.24





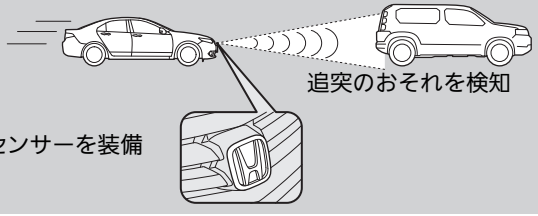
*：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

# CMBS(追突軽減ブレーキ)*

自車が前方の車両のほぼ真後ろから追突のおそれがあるとき、運転者のブレーキ操作を支援し、追突するときの衝撃を軽減する装置です。

**こんなときに**

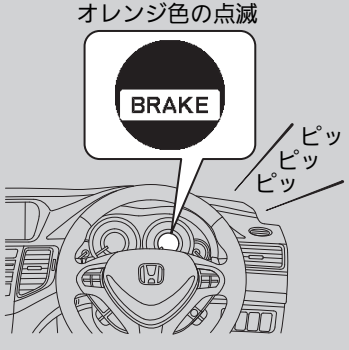
前方の車両と比べて時速差が
15km/h 以上速い場合




**作動**

追突警報
- ディスプレイに警告表示
- 警告ブザーが鳴る

**追突軽減ブレーキが作動します。**
- 弱いブレーキで注意をうながす
- E-プリテンショナーが作動
  同時に、運転席と助手席のシートベルトを巻き取り、拘束効果を高めます。
- 続いて、追突するときの衝撃を軽減するためのブレーキが作動
- CMBS によるブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。




CMBS が作動しないのは、下記の場合です。
- 前方の車両との車間距離が極端に短いとき
- 交差点などで、自車の前方に車が飛び出したとき
- 歩行者や動物に対して

次ページに続く

**✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。**

CMBS(追突軽減ブレーキ)

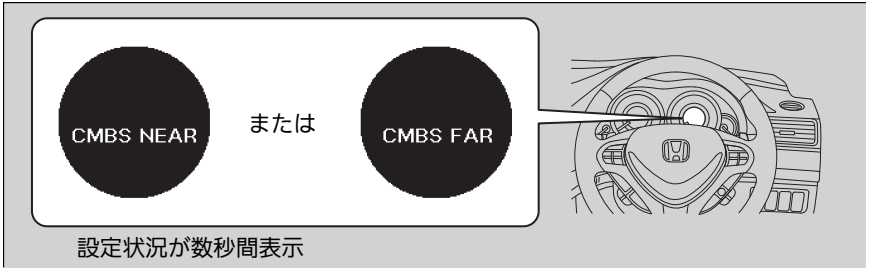
**⚠警告**

**CMBS(追突軽減ブレーキ)は、追突を自動的に回避したり、車を自動的に停止することはできません。**
正しく運転しないと追突などの事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。

次のような場合には、前方の車両を正しく検知できず、CMBSが作動しない場合があります。
- 自車の前方に別の車両が割り込み、急な減速を行ったとき
- 急加速を行い、前方の車両に接近しているとき
- 雨、霧、雪などの悪天候で、レーダーが検知しにくいとき
- カーブなどの道路状況により、レーダーで前方の車両を正しく検知できないとき
- 自転車や二輪車など、レーダーが検知しにくいとき
- フロントグリルのエンブレムが汚れているとき
- 衝突を回避しようとして、運転者がブレーキやハンドルを操作した場合

## ■ CMBS を使用(ON)する

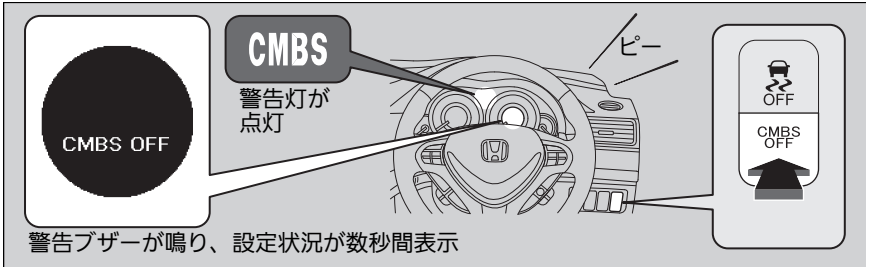
エンジンスイッチを II にすると、設定状況が数秒間表示され CMBS は ON になります。



設定状況が数秒間表示

## ■ CMBS を停止(OFF)する

CMBS を停止(OFF)状態にするには、ハンドル右横の CMBS OFF を「ピーッ」とブザーが鳴るまで押します。再度、使用(ON)するには CMBS OFF を「ピーッ」とブザーが鳴るまで押します。



警告ブザーが鳴り、設定状況が数秒間表示

### ▶CMBS(追突軽減ブレーキ)

**以下のような場合、CMBS が自動停止し、CMBS 警告灯が点灯します。**

CMBS

- タイヤの異常を検出したとき
- 山岳路や悪路を長時間走行したとき
- パーキングブレーキをかけたまま走行したとき
- 雨、霧、雪などの悪天候となったとき
- フロントグリルのエンブレムが汚れたとき

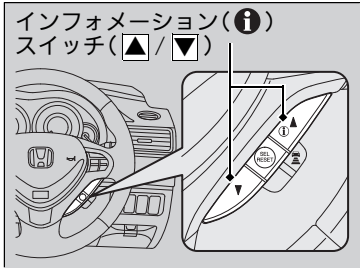
CMBS が作動できる状態になると、CMBS は自動復帰します。

**CMBS を停止(OFF)にした状態でエンジンを切ると、再始動時に CMBS は停止(OFF)となっています。**

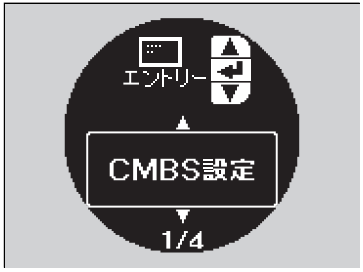
エンジンスイッチを II にするときは、車を静止させてください。駐車場のターンテーブル上など、車両が動いているときにエンジンスイッチを II にすると、ヨーレートセンサーが正しく機能しなくなり、走行中に前方の車両を正しく検知できないことがあります。

## ■追突警報距離の切り換え

道路状況に合わせて、追突警報距離を切り換えることができます。




**1.** インフォメーション(ⓘ)スイッチ(▲/▼)を数秒間押し続ける。
▶「エントリー」画面に切り換わります。

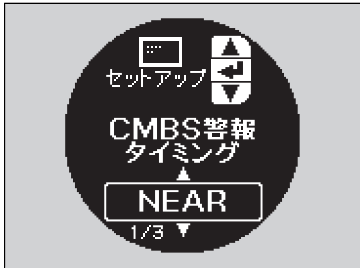


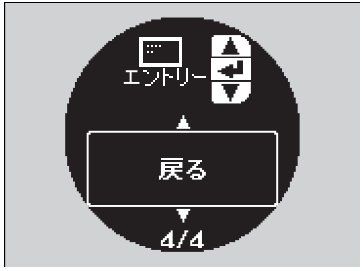

**2.** インフォメーション(ⓘ)スイッチ(▲/▼)を押して「CMBS 設定」を選択し、決定する。
▶「セットアップ」画面に切り換わります。

CMBS（追突軽減ブレーキ）

**NEAR、FAR どちらの場合も、ブレーキ作動開始は変わりません。**

次ページに続く




**3.** インフォメーション（ⓘ）スイッチ（▲/▼）を押して「NEAR」か「FAR」を選択し、決定する。
▶「NEAR（FAR）セットアップ」と数秒間表示された後、「エントリー」画面に戻ります。
▶走行中またはセレクトレバーがPに以外のときは、通常表示に戻ります。

**4.** インフォメーション（ⓘ）スイッチ（▲/▼）を押して「戻る」を選択し、決定する。
▶通常画面に切り換わります。

## ■追突以外での作動について

次のような場合、CMBS が作動することがあります。車間距離を確保し、適切な速度で走行してください。

- 追い越しや交差点などで前方の車両や対向車に接近して走行するとき
- 低いゲートや狭いゲートなどを規制速度を超えるような速度で通過しようとするとき

道路や自車の状況により、一時的にとなりの車線の車や周囲の設置物、道路の段差、落下物を検知して CMBS が作動することがあります。

### ▩CMBS（追突軽減ブレーキ）

**システムを正しく作動させるために、必ず次のことをお守りください。**

- エンブレムは常にきれいにしておく
- エンブレムのお手入れにベンジン、シンナー類、クレンザーなどの磨き粉類を使わない
- エンブレムにステッカーを貼らない
- エンブレムを交換しない

**次の場合は、Honda 販売店にご相談ください。**

- レーダーセンサーに衝撃が加わったとき
- フロントグリル周辺の修理を行うとき

**サスペンションの改造はしないでください。システムが正常に作動しないおそれがあります。**

**次のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。**

- トランクや後席に重い荷物を積んで、車が傾いているとき
- タイヤが指定空気圧に調整されていないとき

## 停車する

**1.** セレクトレバーは D のまま、ブレーキペダルをしっかり踏む。
▶停車時間が長い場合は N にします。
**2.** 上り坂などでは、必要に応じてパーキングブレーキをかける。

駐停車操作

**枯草や紙、油、木材など燃えやすいものがあるところには駐停車しないでください。**
排気管や排気ガスの熱により、着火するおそれがあります。

**植え込みなどの近くに駐停車するときは、排気ガスが植え込みに当たらないように車の向きを決めてください。**

停車する

**⚠注意**

**停車中の空ぶかしはしない。**
万一、セレクトレバーが P N 以外に入っていた場合、思わぬ急発進のもとになります。

アドバイス

**アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。また、上り坂で P N 以外に入れた状態で、アクセルを調節しながら車を停車させたりしないでください。**
トランスミッションが過熱し、故障の原因となります。

# 駐車する

**1.** セレクトレバーは D のまま、ブレーキペダルをしっかり踏む。
**2.** ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかける。
**3.** セレクトレバーを P に入れる。
**4.** エンジンを切る。
▶車から離れるときは必ず施錠してください。



≫駐車する

**⚠注意**

**駐車時はエンジンを止める。**
万一、セレクトレバーがP N以外に入っていた場合、クリープ現象により車が動き出したり、乗り込む際に誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するおそれがあります。

アドバイス

**車が完全に止まらないうちに P に入れないでください。**
トランスミッション破損の原因となります。

**仮眠するときは、エンジンを止めてください。**
無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

**車内の見えるところに貴重品などを置かないでください。**

**車内にライターや炭酸飲料缶を放置しないでください。**
車内温度上昇によりライターなどの可燃物が自然発火したり、缶などは破裂したりするおそれがあります。

**積雪時は、ワイパーアームを起こしてください。**
雪の重みでアームの取り付け部が破損することがあります。

# 指定燃料について

## ■指定燃料

2.0L 車 無鉛レギュラーガソリン
2.4L 車 無鉛プレミアムガソリン

## ■タンク容量

65 リットル

≫指定燃料について

**指定燃料以外の燃料(粗悪ガソリン、軽油、灯油等)を補給したり、不適切な燃料添加剤を使用しないでください。**
**以下のような状態になるおそれがあります。**

- 触媒装置などの損傷
- エンジンや燃料系などの損傷
- エンジンなどへの悪影響

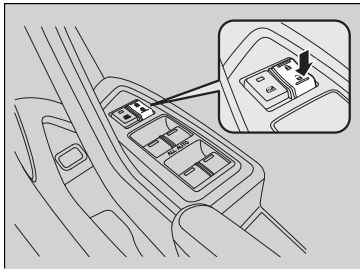
2.0L 車

プレミアムガソリンをお使いになることもできますが、この場合、本来のエンジン性能が大きく変わることはありません。

2.4L 車

プレミアムガソリンが入手できない場合には、一時的にレギュラーガソリンをお使いになることもできますが、この場合エンジン性能を十分に発揮できません。またエンジン始動時やアクセルペダルを踏み込んだ時に、異音が聞こえることがあります。無鉛レギュラーガソリンの長期使用はエンジン破損に結びつく場合があります。

# 給油のしかた



**1.** 助手席側にガソリンスタンドの給油機がくるように車を停める。
**2.** エンジンを停止させる。
**3.** マスタードアロックスイッチで運転席ドアを解錠する。
▶車の外側のフューエルリッドが解錠されます。

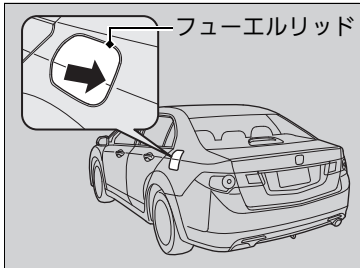
▨給油のしかた

**⚠警告**

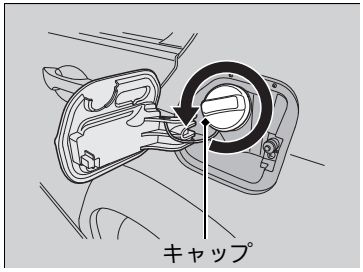
**燃料補給時は火気厳禁。**
燃料や燃料蒸気は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。燃料を扱っているときは下記の項目を厳守してください。

- エンジンは常に止める
- 炎、火花を近づけない
- たばこを吸わない
- 燃料の取り扱いは屋外で行う
- こぼれた燃料はすみやかに拭き取る

**ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。**




**4.** フューエルリッドの右端を「カチッ」と音がするまで押し、手を離す。
▶リッドが少し浮き上がります。




**5.** ツマミをゆっくり回し、フューエルキャップを開ける。

給油のしかた

**⚠警告**

**燃料補給作業は、フューエルキャップを開ける前に車体などの金属に触れて身体の静電気を除去してから行う。**
静電気の放電による火花により気化したガソリンに引火し、やけどを負うおそれがあります。

**⚠注意**

**キャップはゆっくり開ける。**
急激に開けると燃料補給口より吹き返しが発生し、火災になるおそれがあります。

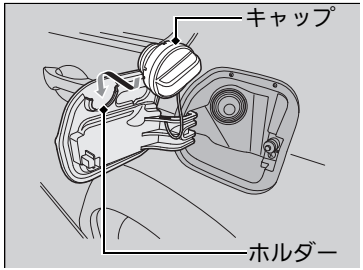
**「シュー」という音がする場合は、その音が止まってからゆっくり開けてください。**

**燃料補給は、静電気を放電した人のみで行ってください。**
燃料補給中に車内に戻ると、再び帯電することがあります。再度、静電気を放電してください。

**燃料蒸気を吸わないでください。**
燃料成分には有害物質を含んでいる場合があります。



次ページに続く




**6.** キャップをホルダーにかける。
**7.** 給油ノズルを奥まで差し込み、給油する。
▶満タンになると、給油ノズルの自動停止がはたらき、給油が停止します。
**8.** 給油後、「カチッ」という音が1回以上するまでキャップを締め付ける。
▶フューエルリッドは、手で押さえつけて閉めます。

給油のしかた

**⚠注意**

**給油ノズルの自動停止後は、追加補給しない。**
気温などの変化により燃料があふれ、火災になるおそれがあります。

**キャップが確実に閉まっていることを確認する。**
閉まっていないと燃料がもれ、火災になるおそれがあります。

**Honda 純正以外のキャップを使わないでください。**
純正品を使用しないと、火災などを起こすおそれがあります。

気温などの変化により燃料があふれないように、タンク容量に達すると燃料タンクに空間を残して給油ノズルの自動停止がはたらくようになっています。

自動停止後に追加補給をすると、燃料が満タン容量以上に入ることがあります。

## アクセサリー

アクセサリーを取り付ける場合は、下記の項目を確認してください。

- アクセサリーをフロントガラスに取り付けていないか？
  ▶アクセサリーの揺れる動きが車外の状況認識を遅らせることがあります。また、吸盤がレンズのはたらきをして、火災につながるおそれがあります。
- フロントガラス、ドアガラスやフロント、センター、リヤの各ピラーまわりにアクセサリーを取り付けていないか？
  ▶サイドカーテンエアバッグの作動の妨げになるので、上記の場所にはアクセサリーを取り付けないでください。

## 車の改造

Honda 純正部品以外の、車の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。

- 適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりします。
- Honda が国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、違反になることがあります。
- 車の改造はしないでください。不正改造は、法律に触れることはもちろん、思わぬ事故を起こす場合があります。
- 無線装置などの取り付けの際には、必ず Honda 販売店にご相談ください。装置や取り付け方法が適切でない場合、電子機器部品に悪影響をおよぼすことがあります。

車の改造

**車の性能、品質を維持するために、Honda 車に最も適した Honda 純正部品をお使いください。**
純正部品には下記のマークが付いています。

HONDA
GENUINE PARTS

お求め、装着に際しては、Honda 販売店にご相談ください。

# メンテナンス

この章では、基本的なメンテナンスについて記載しています。




**メンテナンスの前に**
- 点検整備について ..... 197
- メンテナンスを安全に行うために ..... 198
- メンテナンスに関する注意事項..... 198

**エンジンルーム内のメンテナンス**
- エンジンルーム内のメンテナンス項目...199
- ボンネットを開ける..... 201
- 推奨エンジンオイル..... 202
- ウィンドウォッシャー液の補給..... 202

**電球の交換**..... 203

**ワイパーブレードラバーの点検と整備** .. 219

**タイヤの点検と整備**
- タイヤの点検 ..... 222
- タイヤのローテーション ..... 224
- 冬期のタイヤ ..... 225

**リトラクタブルキー/Honda スマートキー**
- リトラクタブルキー/Honda スマートキーの取り扱いと電池交換 .... 226

**エアコンのお手入れ**
- エアクリーンフィルター ..... 228

**清掃**
- 日常のお手入れ..... 230
- 車内の清掃 ..... 230
- 車外の清掃 ..... 231

# 点検整備について

道路運送車両法により、法定点検と日常点検が義務づけられています。正しい点検整備で、車を安全・快適にお使いください。
普段と違う点(音、におい、ブレーキフルードの不足、地面に油のあとが残っているなど)に気づいたら、Honda 販売店で点検を受けてください。
点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートも併せてご覧ください。

## ■点検整備の種類

### ■日常点検
長距離走行前や洗車・給油時などに、お客様自身の判断で行う点検です。

### ■定期点検
12か月および24か月ごとに実施する点検です。法律で定められているものと、Honda が指定するものがあります。

### ■その他
新車時の無料点検や定期交換、厳しい使われかたをしたときの点検整備があります。

点検整備について

**作業に不慣れな場合や難しい場合は Honda 販売店にご相談ください。**

# メンテナンスを安全に行うために

メンテナンスを行う際は、メンテナンスノートと下記の安全に関する注意事項をよくお読みのうえ、安全を確保して行ってください。
お客さま自身でメンテナンスを実施したときは、メンテナンス点検整備記録簿のメンテナンスレコードに記録してください。

## ■メンテナンスを行う場所や備品についての安全事項

- 火災や爆発防止のため、タバコの火、火花、炎を引火性の液体やガスから遠ざける。

## ■車についての安全事項

- エンジンの排気ガスに含まれる一酸化炭素の毒作用に注意する。
  ▶エンジンをかけるときは必ず十分な換気を行ってください。
- 熱くなった部品によるやけどに注意する。
  ▶部品に触れる前に、エンジンと排気システムを十分に冷やしてください。
- 可動部品によるけがに注意する。
  ▶指示されたとき以外は、エンジンをかけないでください。

# メンテナンスに関する注意事項

## ■メンテナンスサービスで使用する部品やオイル

メンテナンスサービスを受けるときは、Honda 純正部品やオイル類を使用することをおすすめします。Honda 純正部品は、車で使われている部品と同じ高品質の基準に基づいて製造されているため、性能と耐久性の面で安心です。

メンテナンスを安全に行うために

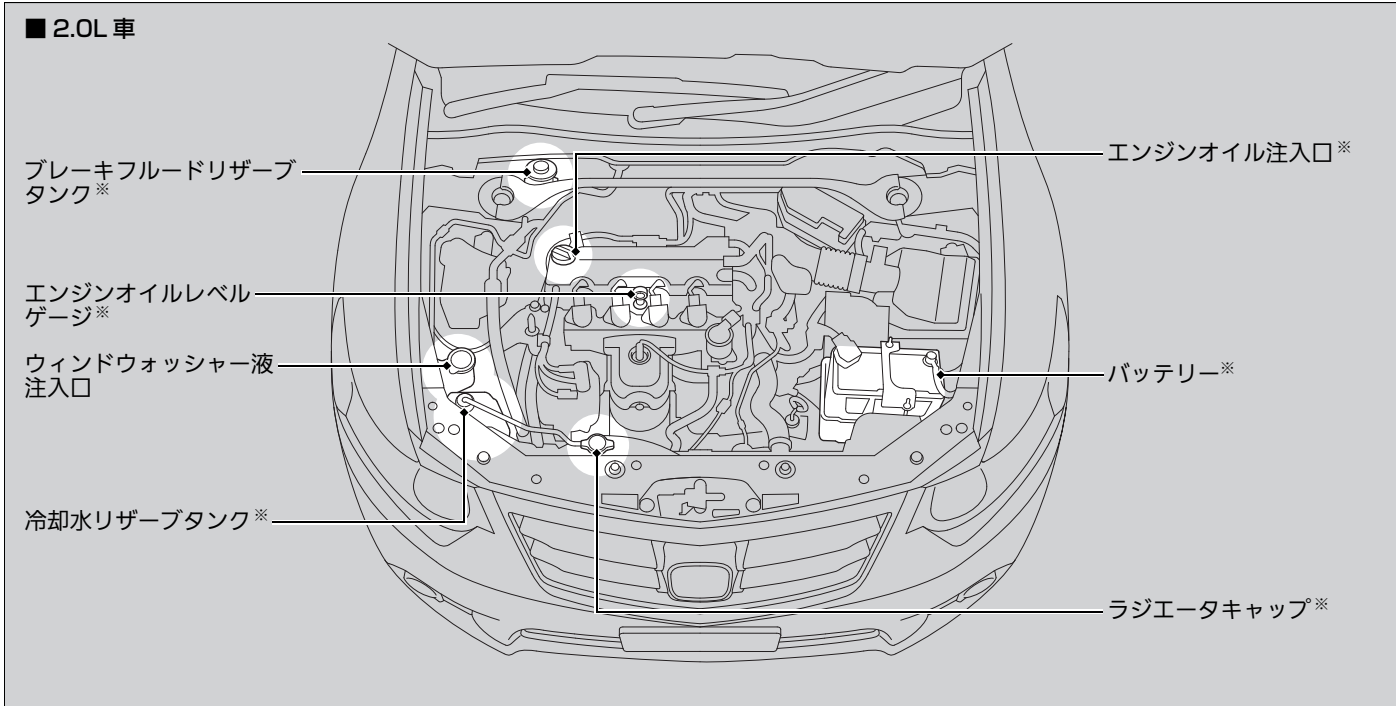
**⚠警告**

**適切なメンテナンスを行い、走行前に故障がないようにする。**
走行時に故障がある状態や、適切なメンテナンスがなされていないと、重大な傷害や死亡に至る事故を引き起こす可能性があります。
必ず、この取扱説明書に記載されている点検とメンテナンスに関する注意事項や別冊のメンテナンスノートに記載の点検時期を守ってください。

**メンテナンスは、指示と注意事項を守って行う。**
メンテナンスの指示と注意事項を守らないと重大な傷害や死亡のおそれがあります。
必ず、この取扱説明書に記載されている手順と注意事項を守ってください。

## エンジンルーム内のメンテナンス項目

■ 2.0L 車

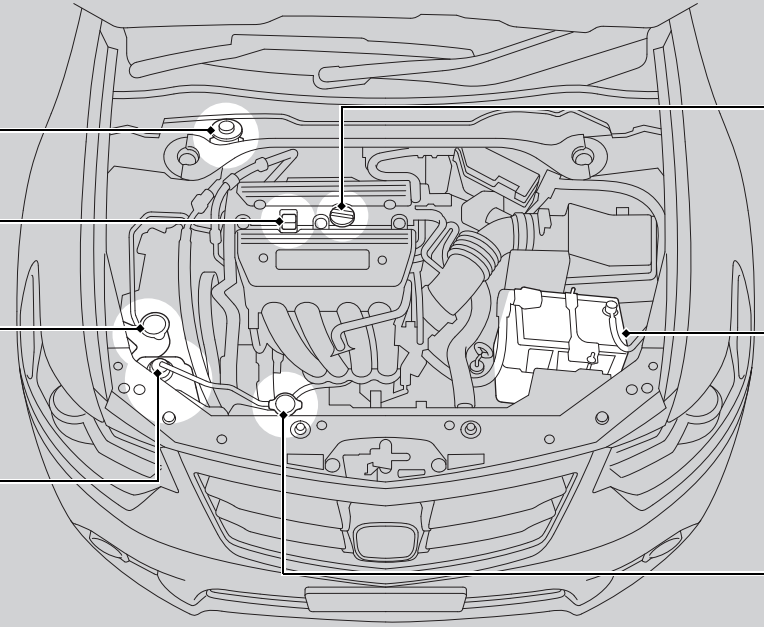



※：点検整備については、別冊の「メンテナンスノート点検整備について」をご覧ください。



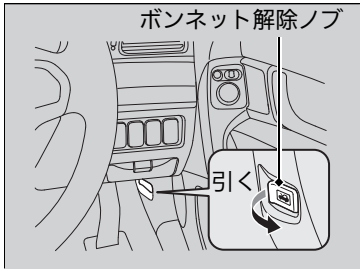
次ページに続く

■ 2.4L 車

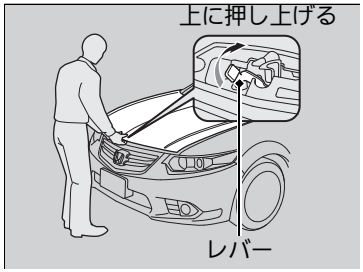



※：点検整備については、別冊の「メンテナンスノート点検整備について」をご覧ください。

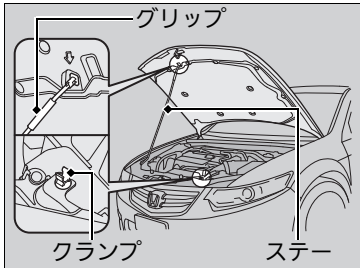
# ボンネットを開ける




**1.** 車を停め、パーキングブレーキをかける。
**2.** 運転席足元にある、ボンネット解除ノブを引く。
▶ボンネットが少し浮き上がります。




**3.** ボンネット中央のレバーを上に押し上げロック機構を解除し、ボンネットを開ける。




**4.** グリップを持ってステーをクランプから取り外し、ステーをボンネットにかける。

閉めるときは、ステーを外しクランプに納めてからボンネットを静かに下げて、約30cm の高さから手を離します。

▶ボンネットを開ける

**⚠注意**

**ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意する。**

**ワイパーアームを起こした状態で、ボンネットを開けないでください。**
ボンネットがワイパーに当たり、ボンネットやワイパーが損傷することがあります。

**ボンネットを閉めたときは、ボンネットが確実にロックされていることを確認してください。**

# 推奨エンジンオイル

エンジンオイルは、量が少なかったり劣化したものを使用していると、エンジンの不調や破損につながることがあります。




**推奨エンジンオイル：**

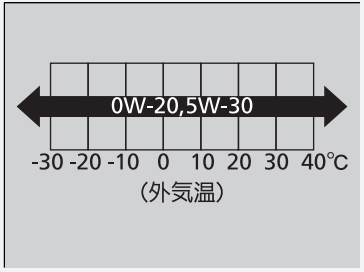
Honda 純正エンジンオイル

➡ Honda 純正エンジンオイル P.270, 272

API SM 級以上かオイル缶に API CERTIFICATION(エーピーアイサーティフィケーション)マークの入ったエンジンオイル

## ▶推奨エンジンオイル

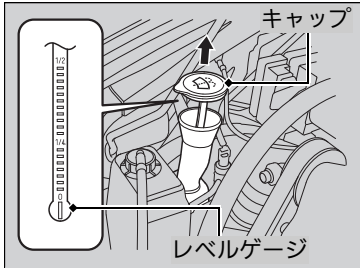
**市販のエンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを下表にもとづきお使いください。**




冬期はエンジンオイルの劣化が激しくなります。冬期に主として短距離、市街地を運転する場合は、早めに交換してください。

# ウィンドウォッシャー液の補給

ウォッシャー液の量は、キャップに付いているウォッシャー液レベルゲージにより確認します。




減っていた場合は、ウォッシャー液キャップを外し、ウォッシャータンクに補給します。

## ▶ウィンドウォッシャー液の補給

**ウォッシャー液以外の液体を、タンクに入れないでください。**

冬期はウォッシャー液の凍結を防ぐため、ウォッシャー液の濃度を上げてください。

## ヘッドライト電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

2.0L 車

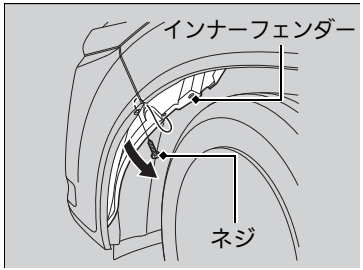
| | |
|---|---|
| ロービームヘッドライト ハロゲンヘッドライト装備車 | : 12V−55W |
| ロービームヘッドライト ディスチャージヘッドライト装備車 | : 12V−35W |
| ハイビームヘッドライト | : 12V−60W |

2.4L 車

| | |
|---|---|
| ハイ / ロービームヘッドライト | : 12V−35W |

2.0L 車

### ■ロービームヘッドライト ハロゲンヘッドライト装備車




1. 交換する側と反対にハンドルをいっぱいに切る。
   **右側**：ハンドルを左に切る
   **左側**：ハンドルを右に切る
2. ネジを外し、インナーフェンダーをめくる。

» ヘッドライト電球

ヘッドライト、制御灯などのランプは、雨天走行や洗車などによりレンズ内面が一時的に曇ることがありますが、機能上の問題はありません。
ただし、レンズ内面に大粒の水滴が付いていたり、水がたまっていたりしている場合はHonda 販売店で点検を受けてください。

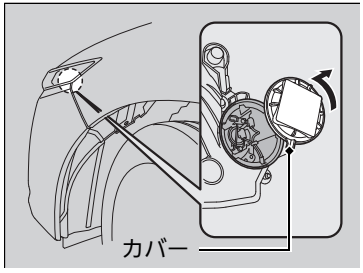
» ロービームヘッドライト

扱うときは口金の部分を持ち、ガラスが肌や固いものに触れないようにしてください。
ガラスに汚れがついたときは、中性洗剤の薄い水溶液を含ませたきれいな布で拭いてください。

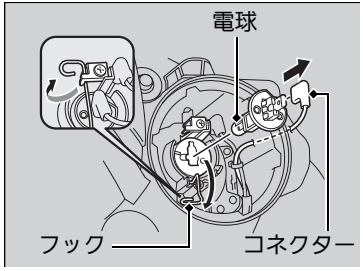
アドバイス

ハロゲン球は非常に熱くなります。取り扱うときは、熱が冷めてから行ってください。また、ガラスに油、汗、傷がつくと、電球が過熱し割れるおそれがあります。

次ページに続く




**3.** カバーを左に回して外す。




**4.** フックを外し、コネクターを抜き取る。
**5.** 古い電球を抜き取り、新しい電球を差し込む。
**6.** コネクターを電球に差し込む。

2.0L 車

## ■ロービームヘッドライト ディスチャージヘッドライト装備車

電球の点検や交換は必ず Honda 販売店に依頼してください。

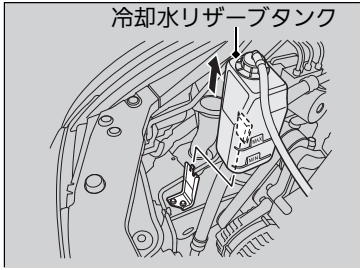
»ロービームヘッドライト

**⚠注意**

**ディスチャージヘッドライトは高電圧を使用しています。**
不適切な取り扱いや分解を行うと感電するおそれがあります。

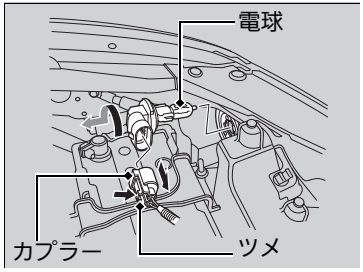
2.0L 車

## ■ハイビームヘッドライト




右側ハイビームヘッドライト

**1.** 冷却水リザーブタンクを取り外す。




右側・左側ハイビームヘッドライト

**2.** カプラーを外す。
▶カプラーはツメを押しながら外します。
**3.** 古い電球を左に回して抜き取る。
**4.** 新しい電球を右に回して固定する。
**5.** カプラーを押し込み、電球に取り付ける。

2.4L 車

## ■ハイ / ロービームヘッドライト ディスチャージヘッドライト装備車

電球の点検や交換は必ず Honda 販売店に依頼してください。

### ハイビームヘッドライト

扱うときは口金の部分を持ち、ガラスが肌や固いものに触れないようにしてください。
ガラスに汚れがついたときは、中性洗剤の薄い水溶液を含ませたきれいな布で拭いてください。

アドバイス

ハロゲン球は非常に熱くなります。取り扱うときは、熱が冷めてから行ってください。
また、ガラスに油、汗、傷がつくと、電球が過熱し割れるおそれがあります。

### ハイ / ロービームヘッドライト

**⚠注意**

**ディスチャージヘッドライトは高電圧を使用しています。**
不適切な取り扱いや分解を行うと感電するおそれがあります。

# 前面方向指示器 / 前面非常点滅表示灯電球

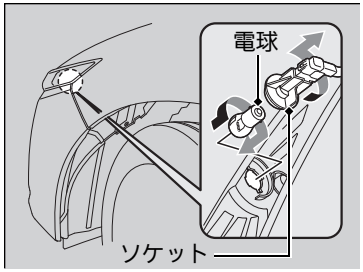
交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

**前面方向指示器 / 前面非常点滅表示灯**：12V−21W(橙色)

2.0L 車

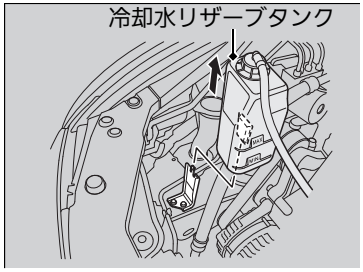
ロービームヘッドライトの電球交換と同様に、ハンドルを切ってネジを外し、インナーフェンダーをめくってください。

➔ **ロービームヘッドライトの電球の交換のしかた** P.203



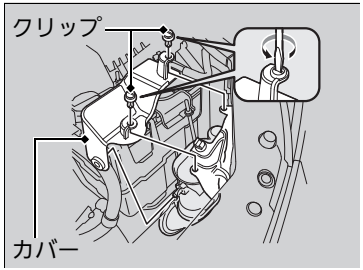

**1.** ソケットを左に回して外す。
**2.** 古い電球を押し込み、ロックが外れるまで左に回して取り外す。
**3.** 新しい電球を押し込む。

2.4L 車



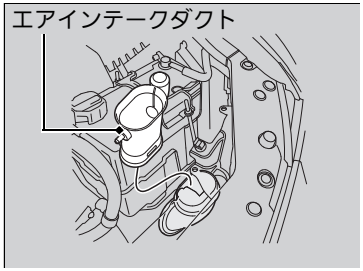

右側前面方向指示器 / 前面非常点滅表示灯

**1.** 冷却水リザーブタンクを取り外す。



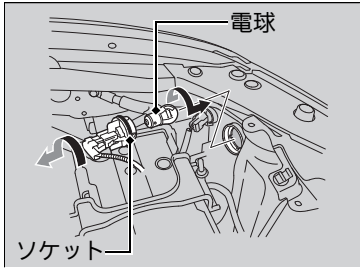

左側前面方向指示器 / 前面非常点滅表示灯

**1.** マイナスドライバーでクリップを外し、カバーを取り外す。




左側前面方向指示器 / 前面非常点滅表示灯

**2.** エアインテークダクトを取り外す。




右側・左側前面方向指示器 / 前面非常点滅表示灯

**3.** ソケットを左に回して外す。

**4.** 古い電球を押し込み、ロックが外れるまで左に回して取り外す。

**5.** 新しい電球を押し込む。

# 車幅灯電球

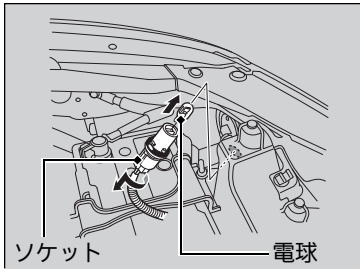
交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

**車幅灯**：12V−5W

2.0L 車

右側の車幅灯電球を交換する場合は、ハイビームヘッドライトの電球交換と同様にエンジン冷却水リザーブタンクを外してください。

➔ **ハイビームヘッドライトの電球の交換のしかた** P.205



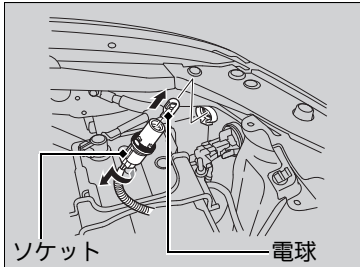

**1.** ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。

**2.** 新しい電球を差し込む。

2.4L 車

前面方向指示器 / 前面非常点滅表示灯の電球交換と同様に、交換する電球のある側に応じてエンジン冷却水リザーブタンク、またはエアインテークダクトとカバーを外してください。

➡ **前面方向指示器 / 前面非常点滅表示灯の電球の交換のしかた** P.206




**1.** ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。
**2.** 新しい電球を差し込む。

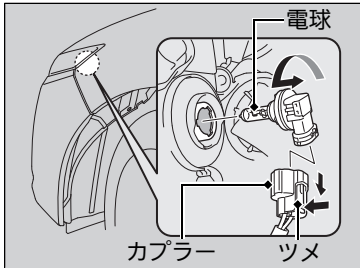
# アクティブコーナリングライト電球*

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

**アクティブコーナリングライト**：12V−35W

ロービームヘッドライトの電球交換と同様に、ハンドルを切ってネジを外し、インナーフェンダーをめくってください。

**➔ ロービームヘッドライトの電球の交換のしかた** P.203




1. カプラーを外す。
   ▶カプラーはツメを押しながら外します。
2. 古い電球を左に回して抜き取る。
3. 新しい電球を右に回して固定する。
4. カプラーを押し込み、電球に取り付ける。

**アクティブコーナリングライト電球**

扱うときは口金の部分を持ち、ガラスが肌や固いものに触れないようにしてください。
ガラスに汚れがついたときは、中性洗剤の薄い水溶液を含ませたきれいな布で拭いてください。

**アドバイス**

ハロゲン球は非常に熱くなります。取り扱うときは、熱が冷めてから行ってください。また、ガラスに油、汗、傷がつくと、電球が過熱し割れるおそれがあります。



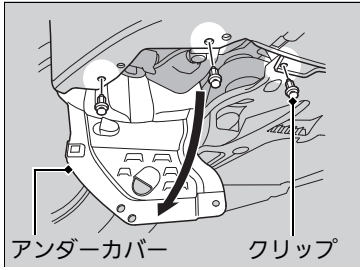


✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

# フォグライト電球*

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

**フォグライト**：12V−55W




**1.** 交換する側と反対にハンドルをいっぱいに切る。
**2.** マイナスドライバーでクリップを外し、アンダーカバーを下げる。

フォグライト電球

**フォグライトはハロゲン球です。**
扱うときは口金の部分を持ち、ガラスが肌や固いものに触れないようにしてください。
ガラスに汚れがついたときは、中性洗剤の薄い水溶液を含ませたきれいな布で拭いてください。

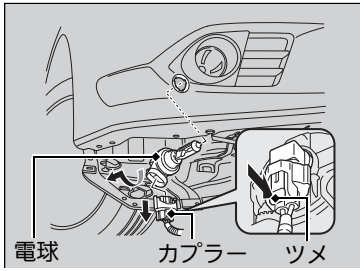
アドバイス

ハロゲン球は非常に熱くなります。取り扱うときは、熱が冷めてから行ってください。また、ガラスに油、汗、傷がつくと、電球が過熱し割れるおそれがあります。

次ページに続く



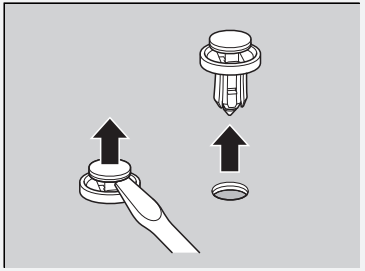
**✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。**



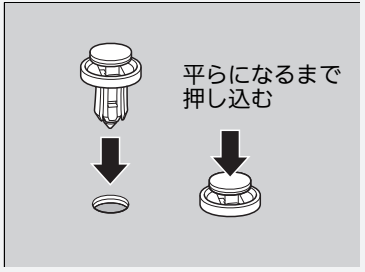

**3.** カプラーを外す。
▶カプラーはツメを押しながら外します。
**4.** 古い電球を左に回して抜き取る。
**5.** 新しい電球を右に回して固定する。
**6.** カプラーを押し込み、電球に取り付ける。

### フォグライト電球

クリップを外すときは、マイナスドライバーを差し込んで、中央部のピンを起こして取り外します。



クリップを取り付けるときは、クリップ中央部のピンを起こしたまま差し込み、ピンを平らになるまで押してください。



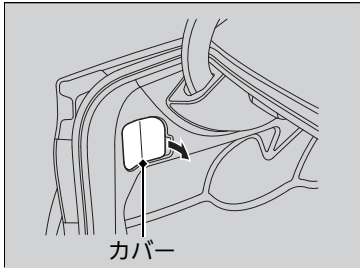
## 側面方向指示器 / 側面非常点滅表示灯電球

側面方向指示器 / 側面非常点滅表示灯は LED を使用しています。電球の点検、交換は Honda 販売店に依頼してください。

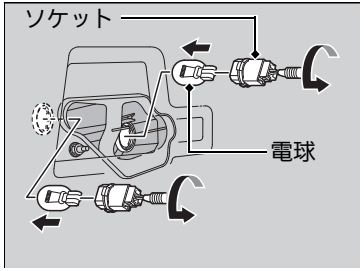
## 制動灯 / 尾灯、後面方向指示器 / 後面非常点滅表示灯電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

| | |
|---|---|
| **制動灯 / 尾灯** | : 12V−21/5W |
| **後面方向指示器 / 後面非常点滅表示灯** | : 12V−21W(橙色) |




**1.** カバーを引いて外す。

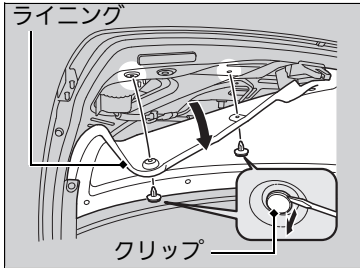


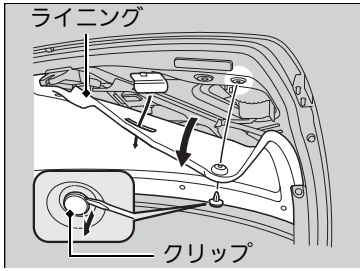

**2.** ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。
**3.** 新しい電球を差し込む。

# 後退灯電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

**後退灯**　：12V−21W

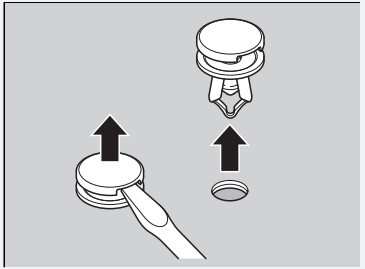


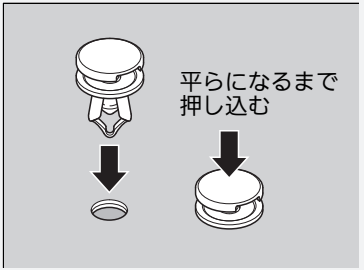

**1.** マイナスドライバーでトランク内のクリップを外す。
**2.** ライニングをめくる。

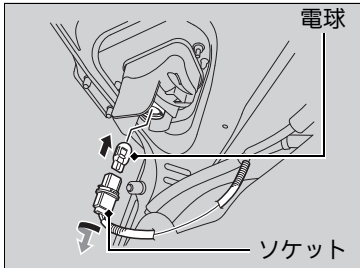
## 後退灯電球

クリップを外すときは、クリップの切り欠き部にマイナスドライバーを差し込んで、中央部のピンを起こして取り外します。



クリップを取り付けるときは、クリップ中央部のピンを起こしたまま差し込み、ピンを平らになるまで押してください。






**3.** ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。
**4.** 新しい電球を差し込む。

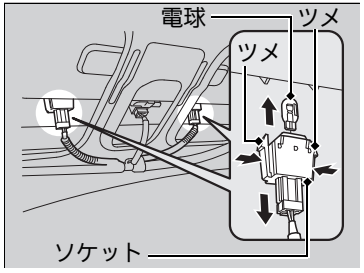
## 番号灯電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

**番号灯**：12V−5W

後退灯の電球交換と同様に、トランク内のクリップを外し、ライニングをめくってください。

**後退灯の電球の交換のしかた** P.214

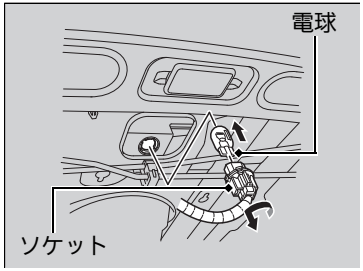



**1.** ツメを押しながらソケットを取り外す。
**2.** 古い電球を抜き取る。
**3.** 新しい電球を差し込む。

# ハイマウントストップランプ電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

**ハイマウントストップランプ**：12V−21W



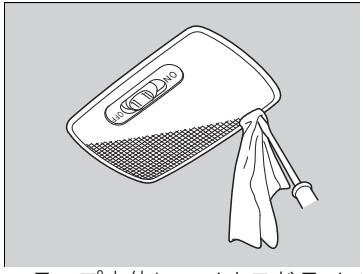

**1.** トランクを開ける。
**2.** ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。
**3.** 新しい電球を差し込む。

# その他の電球

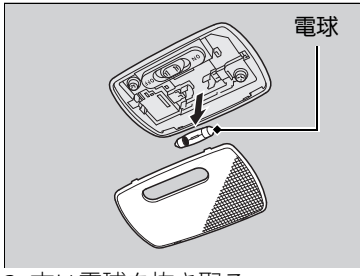
## ■室内灯電球

下記の電球をご使用ください。

**室内灯**：12V−8W



**1.** ランプ本体にマイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。
▶ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

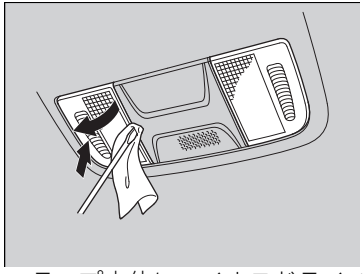



**2.** 古い電球を抜き取る。
**3.** 新しい電球を差し込む。

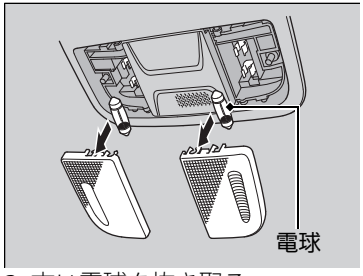
## ■マップランプ電球

下記の電球をご使用ください。

**マップランプ**：12V−8W



**1.** ランプ本体にマイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。
▶ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

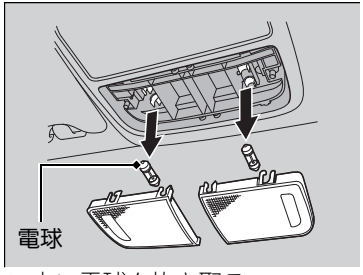



**2.** 古い電球を抜き取る。
**3.** 新しい電球を差し込む。

## ■マップランプ電球*



**1.** ランプ本体にマイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。
▶ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。




**2.** 古い電球を抜き取る。
**3.** 新しい電球を差し込む。

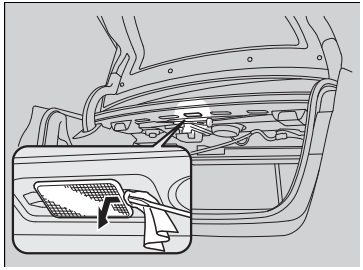
**✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。**

次ページに続く

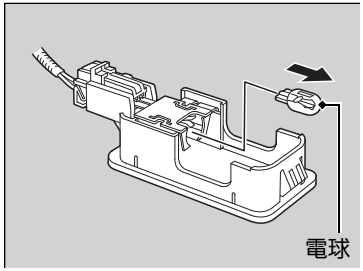
## ■トランク照明灯電球

下記の電球をご使用ください。

**トランク照明灯**：12V−5W



**1.** ランプ本体にマイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。
▶ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

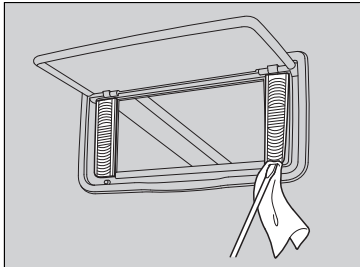



**2.** 古い電球を抜き取る。
**3.** 新しい電球を差し込む。

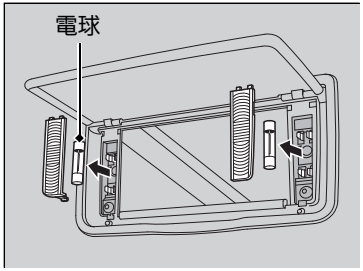
## ■バニティミラー照明灯電球

下記の電球をご使用ください。

**バニティミラー照明灯**：12V−2W



**1.** ランプ本体にマイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。
▶ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

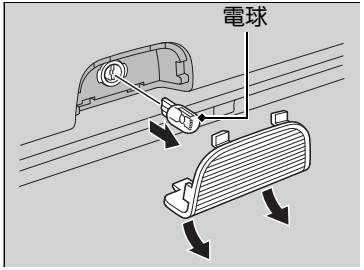



**2.** 古い電球を抜き取る。
**3.** 新しい電球を差し込む。

## ■ドア開閉灯電球

下記の電球をご使用ください。

**ドア開閉灯**：12V−2CP(3.8W)

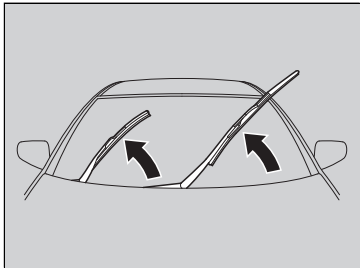



**1.** レンズの下側を押しながら、レンズを引いて外す。
**2.** 古い電球を抜き取る。
**3.** 新しい電球を差し込む。

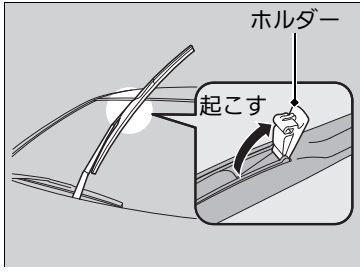
## ワイパーブレードラバーの点検

ワイパーブレードラバーが傷んでいると、拭きムラになったり、ウィンドーガラスを傷つけたりします。定期的にワイパーブレードの状態を点検し、傷んでいる場合は交換してください。

## ワイパーブレードラバーの交換



**1.** 運転席側、助手席側の順にワイパーアームを起こす。




**2.** ホルダーを起こす。

»ワイパーブレードラバーの交換

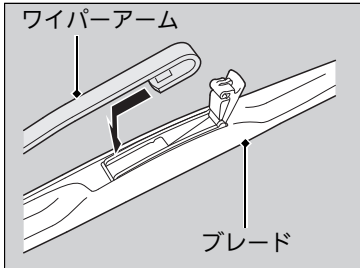
**アドバイス**

ワイパーアームを起こした状態でボンネットを開けたりワイパーを作動させたりすると、ボンネットとワイパーアームを損傷します。

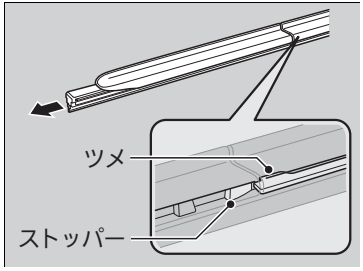
ブレードを外した状態でワイパーアームが倒れると、ガラスが損傷するおそれがあります。



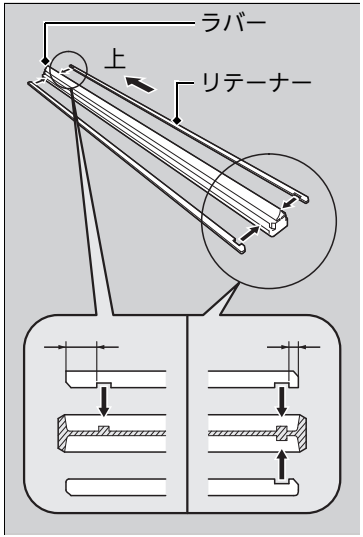
次ページに続く



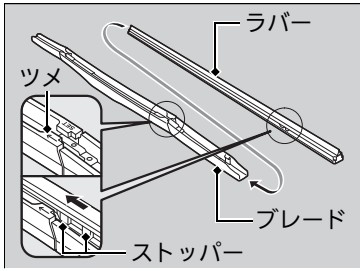

**3.** ブレードをスライドさせ、ワイパーアームから取り外す。




**4.** ラバーのストッパーがブレードのツメから外れるまで引き、そのままラバーをブレードから引き抜く。




**5.** 引き抜いたラバーからリテーナーを外し、新しいラバーに取り付ける。
▶ラバーの突起部とリテーナーの溝を正しく合わせてください。




**6.** ラバーをストッパーがない側からブレードに沿って差し込む。
▶ラバーのストッパーがブレードのツメに挿入されるまで差し込み、確実に固定します。その後、ブレードをワイパーアームに取り付けてホルダーを閉じます。

ワイパーブレードラバーの交換

**ワイパーアームを戻すときは、助手席側、運転席側の順に戻してください。**

# タイヤの点検

## ■タイヤの点検について

タイヤが摩耗・損傷していたり、適正な空気圧でないと、安全な走行ができないばかりか乗り心地も損なわれます。
安全な走行のために求められるタイヤの条件は下記のとおりです。

- 種類とサイズが適正であること
- 接地面の状態が良好であること
- 空気圧が適正であること
- 摩耗、傷、亀裂、異物などがないこと

これらの条件を満たすために下記の点検を行い、常にタイヤを最適な状態に保ってください。

### ■日常的な点検

乗車前に必ず行う点検です。下記の項目を確認し、状況によってはメンテナンスをしてください。

- タイヤがつぶれているように見えないか？
  ▶つぶれているように見えたら、すぐに空気圧をチェックしてください。
- 激しい摩耗、傷、亀裂、異物はないか？
  ▶状況に応じて、タイヤを交換してください。



タイヤの点検について

**⚠警告**

**摩耗が激しいタイヤ、空気圧が適正でないタイヤを使用しない。**
不適切なタイヤを使用すると、重大な傷害や死亡に至る事故につながるおそれがあります。

**必ず、サイズと種類が適切なタイヤを使用する。**
不適切なタイヤを使用すると、重大な傷害や死亡に至る事故につながるおそれがあります。

**指定空気圧は、運転席横の車体に貼ってあるラベルにも記載されています。**
この取扱説明書が手元にない場合は、車のラベルをご覧ください。

**タイヤは、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。**
サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると、ABS、VSA、CMBS✤、ACC✤などが正常に機能しなくなったり、動力伝達装置に悪影響を与えたりします。



✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

### ■空気圧測定器による点検

すべてのタイヤの空気圧を測定してください。空気圧が下がっている場合は、パンクを入念に調べます。

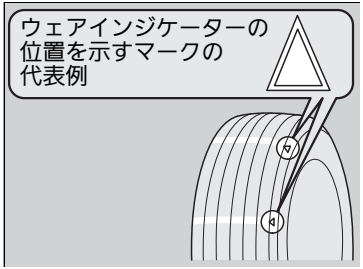
タイヤの指定空気圧は、巻末の資料を参照してください。

➡ **仕様** P.270, 272

### ■損傷、異物、摩耗の点検

下記の項目を点検してください。

- タイヤの接地面と側面の突起、膨らみが正常か？
  ▶異常が見られた場合は、タイヤを交換する必要があります。
- タイヤ側面に、裂け目、亀裂がないか？
  ▶裂け目や亀裂がある場合は、タイヤを交換する必要があります。
- 接地面とウェアインジケーターが同じ高さになっていないか？




**ウェアインジケーター( 摩耗限界表示 )**

ウェアインジケーターはタイヤの接地面にあり、他の部分より溝が 1.6mm 浅くなっています。

接地面が摩耗して、ウェアインジケーターと同じ高さになったら、タイヤを交換してください。

タイヤの点検について

**タイヤの空気圧は、タイヤ温度が低いときに測定してください。**

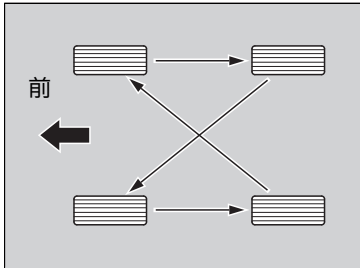
必要な場合は、指定空気圧になるまで空気を注入または排出してください。

タイヤが高温のときに空気圧を測っても、低温のときより高めになるため正しく測定できません。

# タイヤのローテーション

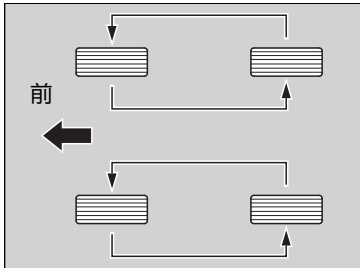
5,000km 走行したごとにタイヤローテーションをしてください。
タイヤローテーションを行うのは、特定のタイヤが摩耗するのを防ぐためです。

## ■回転指示マークがないタイヤの場合




左図のように、タイヤをローテーションさせます。

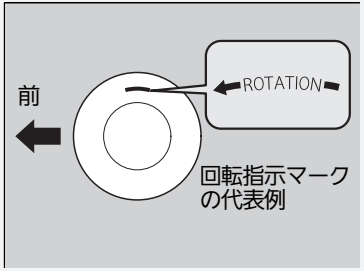
## ■回転指示マークがあるタイヤの場合




左図のように、タイヤをローテーションさせます。

▶タイヤのローテーション

**タイヤ回転方向が指定されているタイヤには、タイヤ回転指示マークがあります。**
下図のように回転指示マークが前へ向くように取り付けてください。




**締め付けトルク**
108 N・m (11 kgf・m)

# 冬期のタイヤ

雪道や凍結した道路を走行する場合は、スノータイヤやタイヤチェーンを装着し、速度を落として十分に車間距離をとって運転してください。
また、横滑りの原因となりますのでハンドルやブレーキの操作は、特に慎重に行ってください。

タイヤチェーンおよびスノータイヤは、走行条件や法令により装着が必要とされた場合に使用します。
装着する場合は、下記のポイントを参照してください。

## ■スノータイヤ

- 四輪とも同じ種類のタイヤを選ぶ
- 四輪すべてにスノータイヤを装着する

## ■タイヤチェーン

- Honda 純正スチールチェーンを、付属の取扱説明書にしたがって前輪に装着する
- タイヤサイズに適合したチェーンを装着する
- ブレーキラインやサスペンションと接触していないか確認する
- ゆっくり走行する

冬期のタイヤ

アドバイス

サイズが不適切なチェーンを装着したり、装着のしかたが不適切だと、車のブレーキライン、サスペンション、ボディー、ホイールを損傷するおそれがあります。
チェーンが車のどこかに当たる場合、ただちに走行をやめてください。

**タイヤチェーンは前輪に装着します。**
後輪には、タイヤチェーンを装着しないでください。

**タイヤチェーンを装着したときは、30km/h以下の速度で走行してください。**
なお、乾燥路面ではタイヤチェーンを装着したまま走行するのは避けてください。タイヤチェーンの摩耗を早めます。

# リトラクタブルキー/Honda スマートキーの取り扱いと電池交換

## ■お取り扱いについて

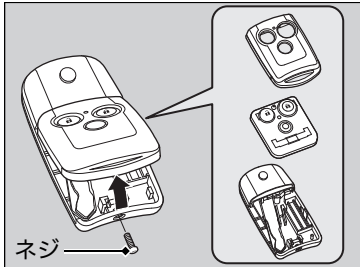
リトラクタブルキー/Hondaスマートキーの取り扱いは、下記の点に注意してください。

- 発信器を落としたり投げたりしない
- 温度が極端に高い / 低い場所に置かない
- 液体にひたさない

## ■電池交換のしかた

作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられます。
ボタンを押したときにインジケーターが点灯しない場合は、電池切れです。電池を交換してください。

### ■リトラクタブルキー✤




**ボタン電池CR1616**

**1.** 発信器のネジを外し、カバーを開く。

⩙お取り扱いについて

**リトラクタブルキー/Honda スマートキーをなくした場合は、Honda 販売店へご連絡ください。**

⩙電池交換のしかた

**⚠注意**

**電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意する。**
飲み込むと傷害を受けるおそれがあります。

アドバイス

電池交換の際は、破損などのおそれがあるため、Honda 販売店での交換をおすすめします。

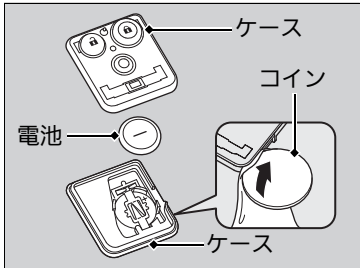
**電池交換の際は、カバーを確実に取り付けてください。**
確実に取り付けられていないと、耐水性能の低下や故障の原因となります。

電池は Honda 販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。



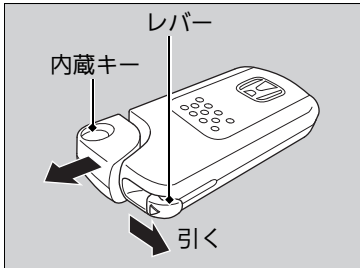


✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。



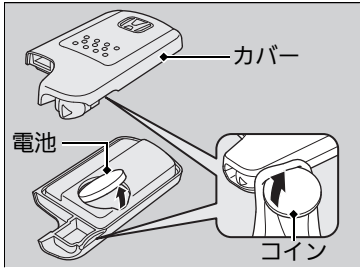

**2.** ケースを開ける。
▶ケースに傷が付かないように、コインに布などを巻いてケースを開けます。
**3.** ⊕と⊖を間違えないよう、電池を交換する。

## ■Honda スマートキー✤




**ボタン電池 CR2032**

**1.** レバーを引きながら、内蔵キーを取り出す。




**2.** カバーを外す。
▶カバーに傷が付かないように、コインに布などを巻いてカバーを取り外します。
**3.** ⊕と⊖を間違えないよう、電池を交換する。

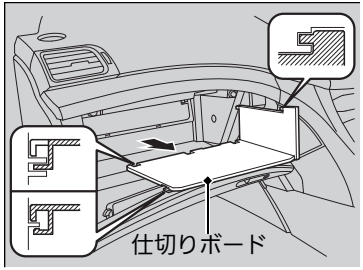
✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

# エアクリーンフィルター

## ■エアクリーンフィルターの交換時期

エアクリーンフィルターは、通常 1 年または 15,000km/h ごとに交換してください。
粉じんなどの多い場所で使用される場合は、早めの交換をおすすめします。

## ■エアクリーンフィルターの交換



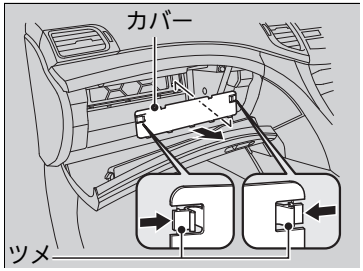

**1.** グローブボックスを開け、仕切りボードを引き出す。

≫エアクリーンフィルター

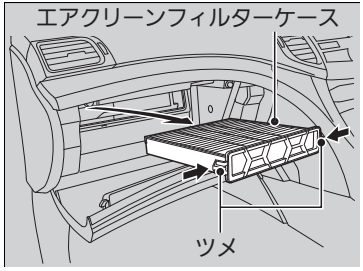
芳香剤を使用すると脱臭効果が弱くなり、脱臭寿命が短くなることがあります。

**エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときは、フィルターの目詰まりが考えられます。フィルターを交換してください。**

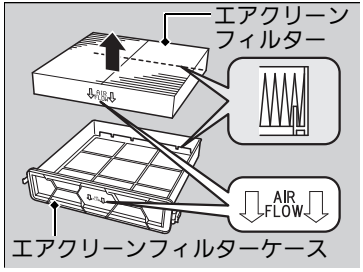
エアコンには、空気中の花粉・ちり・ほこり・粉じんなどを集じんし、ディーゼル排ガス臭、タバコ臭などに脱臭効果のあるエアクリーンフィルターが取り付けられています。




**2.** 左右にあるツメを押しながら、カバーを外す。




**3.** 左右にあるツメを押しながら、エアクリーンフィルターケースを引き出す。




**4.** エアクリーンフィルターケースからエアクリーンフィルターを取り出す。

**5.** ケースの外わくと仕切りの間に、フィルターの端を差し込むようにして交換する。
▶「AIR FLOW」マークの矢印が、同じ方向（下向き）になるように取り付けます。

# 日常のお手入れ

## ■走行後のお手入れ

走行後は、塗装面に付着したほこりなどを毛はたきなどで払い落としてください。飛び石などによる塗装面の傷は錆の原因になります。見つけたら早めに補修してください。

## ■洗車について

月に一度は洗車をするようにしてください。
以下の場合は、必ず洗車をしてください。

- 凍結防止剤を散布した道路を走行したとき
- 海岸地帯を走行したとき
- コールタール、ばい煙、鳥のふん、虫、樹液などが付いたとき

# 車内の清掃

内装の清掃は、掃除機で塵やほこりを取り除いてから汚れを落としてください。ぬるま湯に中性洗剤を溶かしたものを柔らかい布に軽く含ませ、固く絞って汚れを落とします。その後、真水を含ませたきれいな布で、洗剤分をきれいに落としてください。

## ■シートベルトの清掃

ぬるま湯に中性洗剤を溶かしたものをブラシにつけて清掃し、その後空気乾燥させます。

洗車について

アドバイス

**凍結防止剤を散布した道路や、海岸地帯を走行したときの洗車は、フェンダーの内側を念入りに洗ってください。**

車内の清掃

**室内に水をかけないでください。**
オーディオやスイッチなどの電装品に水がかかると故障の原因となります。

**オーディオ、スイッチなどの電装品にシリコン系のスプレーを塗布しないでください。**
故障や車両火災の原因となるおそれがあります。万一、電装品にシリコン系のスプレーを塗布したときは、Honda 販売店にご相談ください。

**ケミカル類、液体芳香剤は成分により、樹脂部品、布材の変色、しみ、ひび割れなどを起すことがあります。**
ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤、酸、アルカリ性の溶剤は使用しないでください。

**ケミカル類を使用したあとは、必ず乾いた布で軽く拭き取ってください。**
使用した布をそのまま樹脂部品、布材の上に長時間放置しないでください。

**液体芳香剤は、こぼさないよう確実に固定してください。**

### ■本革* のお手入れ

本革シートなどは、ウール用中性洗剤の 10% 水溶液を柔らかい布に軽く含ませ汚れを落とします。その後、真水を含ませた柔らかい布で洗剤分を拭き取り、風通しをよくして乾燥させます。
汚れが付着したらすぐに拭き取ってください。

## 車外の清掃

洗車は、十分に水をかけながら、下回り、足回りの汚れを落とします。塗装面は、屋根から順に下のほうへ水をかけながら、スポンジかセーム革のような柔らかいもので洗います。
汚れがひどい場合は、中性洗剤で洗い、水で完全に洗剤を落としてから水が乾かないうちに拭き取ります。

### ■自動洗車機を使うとき

- ドアミラーを格納する

### ■高圧洗浄機を使うとき

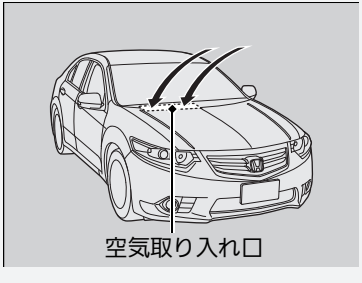
- 洗車ノズルと車体の距離を十分に離す
- ウィンドーまわりは、近づけすぎると室内に水が入ることがあるため、特に注意して行う
- エンジンルームには水をかけない

本革のお手入れ

**助手席を湿った状態で使用すると、サイドエアバッグの乗員姿勢検知システムが正しく作動しないことがあります。**
よく乾かしてからお使いください。

車外の清掃

**故意に空気取り入れ口や、エンジンルームに水をかけないでください。**
故障の原因になります。




**洗車するときは、運転席ドア(フューエルリッド)を施錠してください。**
フューエルリッド付近に水をかけるとフューエルリッドが勢いよく開いて、車体に傷を付けるおそれがあります。

次ページに続く

**✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。**

## ■ワックスをかけるとき

ワックスは、月に1回程度または水をはじかなくなったときにかけてください。洗車した後や、車体表面温度が体温以下に下がっているときにかけるようにしてください。

## ■バンパーなどの樹脂塗装部品のお手入れ

樹脂塗装部品に、ガソリン、オイル、ラジエーター液、バッテリー液などが付着するとしみや塗膜はがれの原因となります。付着した場合は、すぐに柔らかい布で拭き取ってください。

### ワックスをかけるとき

**みがき粉(コンパウンド)入りのワックスは、使わないでください。塗装面に細かい傷が残ることがあります。**

ワックスは Honda 純正ケミカル用品をお使いください。

### バンパーなどの樹脂塗装部品のお手入れ

**樹脂塗装部品の補修をする場合は、Honda 販売店にご相談ください。**

不適当な塗料を使うと塗膜を傷めます。

## ■ガラスのお手入れ

ガラスクリーナーなどで拭いてください。

### ■はっ水ガラスについて

前席ウィンドー(ドアガラス)にはっ水膜がコーティングしてあり、水滴をはじきます。水洗いするか、柔らかい湿った布などで拭き取ってください。

ガラスクリーナーを使うと一時的に水はじきが悪くなることがありますが、水洗いをすれば元に戻ります。水はじきが悪くなったときは、Honda 販売店にご相談ください。

## ■アルミホイール* のお手入れ

アルミは塩分や汚れを嫌います。道路凍結防止剤や海水が付いたときは、スポンジに中性洗剤を含ませ汚れを早めに落としてください。

**✤：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。**

### ガラスのお手入れ

**リヤガラスは、ガラスの内側に電熱線やアンテナ線が装着されています。**
傷付けないよう、これに沿って柔らかい布で拭いてください。

**水滴をはじく効果の持続時間には限りがあります。長持ちさせるために次のことをお守りください。**

- 泥などの汚れがひどいときは、開閉をなるべく行わない
- みがき粉(コンパウンド)入りガラスクリーナーやワックス、洗剤等は使わない
- 金属製のもので霜取りなどを行わない
- 自動洗車機を使うときは、先に泥などの汚れを落とす

### アルミホイールのお手入れ

**この車専用のホイールをお使いください。**
専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。
ホイール交換は、Honda 販売店にご相談ください。

**硬いブラシやコンパウンド(研磨剤)の入った洗剤などは使わない。**
変色やしみの原因になったり、傷をつけるおそれがあります。

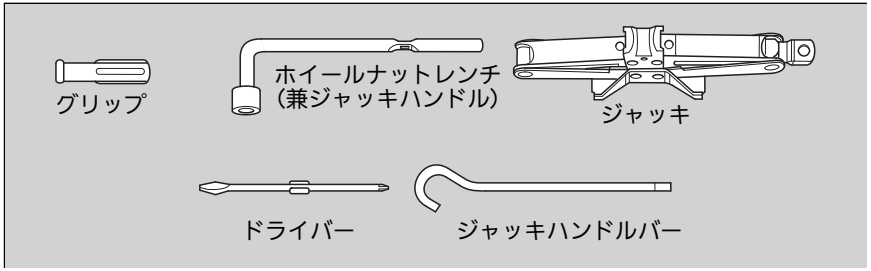
# 万一の場合には

この章では、万一の場合の対応方法について記載しています。




**工具、発炎筒** ..... 235
**パンクしたとき** ..... 236
**ジャッキの取り扱い**
ジャッキのかけかた ..... 244
**エンジンが始動しない**
エンジンの状態の確認 ..... 246
内蔵キーの差し込みかた ..... 247
**ジャンプスタート** ..... 248
**セレクトレバーが動かない** ..... 250
**オーバーヒート** ..... 251
**警告灯の点灯 / 点滅** ..... 253
**ヒューズ**
ヒューズの設置場所 ..... 256
各ヒューズの装備と容量 ..... 258
ヒューズの点検と交換 ..... 261
**けん引** ..... 263
**フューエルリッドが解錠できないとき** ..... 266
**トランクが開かないとき** ..... 267

## 工具の種類




## 発炎筒

高速道路や踏切などの危険な場所で故障したときに使います。
発炎筒に記載されている次のことをよく読んであらかじめ確認しておいてください。

- 使いかた
- 使用上の注意
- 発炎時間
- 有効期限

工具の種類

**ジャッキのかけかた** P.244

発炎筒

**⚠警告**

**ガソリンなどの燃えやすいもののそばで使わない。**
火災や爆発のおそれがあります。

**⚠注意**

**発炎筒を使うときは、以下のことに注意する。**

- お子さまにさわらせないでください。いたずらなどにより発炎筒が発火して思わぬ事故ややけどの原因になります。
- 顔や身体に向けないでください。思わぬ事故ややけどの原因になります。
- トンネル内では視界を悪くするので使用しないでください。トンネル内では非常点滅表示灯を使ってください。

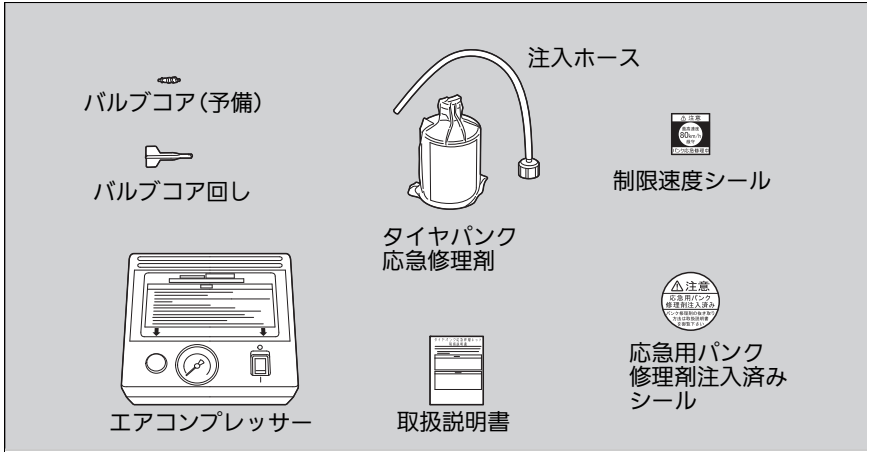
# パンクしたタイヤの応急修理

運転中にタイヤがパンクしたときは、ハンドルをしっかり握り徐々にブレーキをかけてスピードを落とし安全な場所に停車してください。その後、特殊な薬剤でタイヤの内側から損傷を一時的に補修するタイヤパンク応急修理キットで応急修理をします。

## ■走行中、パンクに気がついたときは

**1.** 地面が固く、滑らない、水平なところに車を停める。
**2.** セレクトレバーを P に入れる。
**3.** パーキングブレーキをかける。
**4.** 非常点滅表示灯を点滅させ、エンジンスイッチを 0 にする。

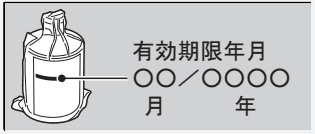
## ■タイヤ修理の準備



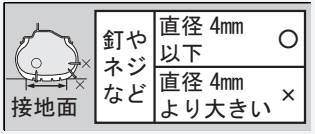

▶▶パンクしたタイヤの応急修理

**以下のような場合、タイヤパンク応急修理キットは使用できません。Honda 販売店またはロードサービスにご連絡ください。**

- 応急修理剤の有効期限が切れているとき（梱包のアルミ袋が破れている場合、有効期限は通常より最大 2 年短くなります）



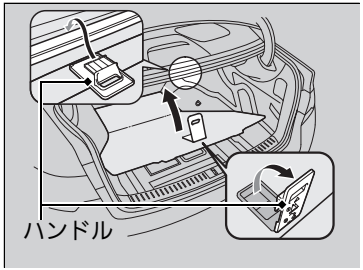

- タイヤが 2 本以上パンクしているとき
- 約 4mm 以上の切り傷や刺し傷によるパンクのとき
- 路面接地部以外が損傷を受けパンクしたとき



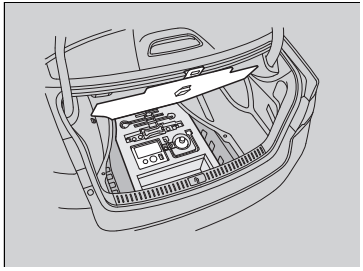

- ほとんど空気が抜けた状態で走行したとき
- タイヤがホイールから外れているとき
- ホイールが破損しているとき

**タイヤに刺さったクギなどは抜かないでください。**
抜いてしまうと、タイヤパンクの応急修理キットでは応急修理が不可能になる場合があります。

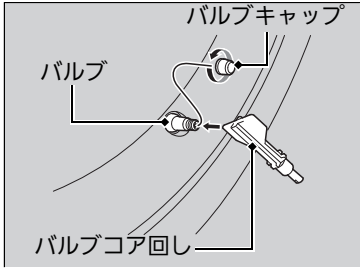
## ■応急修理剤の注入




**1.** ハンドルを持って、トランクリッドを開ける。
**2.** トランク開口部にハンドルをかける。



**3.** タイヤパンク応急修理キットを取り出す。




**4.** バルブからバルブキャップを取り外す。
**5.** バルブコア回しの突起部分をバルブに押し当てて、タイヤの空気を完全に抜く。

▩応急修理剤の注入

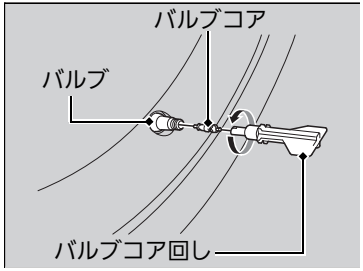
**⚠注意**

**タイヤの空気は完全に抜く。**
タイヤに空気が残っていると、バルブコアが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

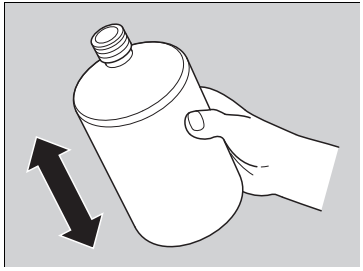
応急修理をスムーズに行うため、タイヤパンク応急修理キットに付属の説明書をお読みください。

応急修理剤が衣類などに付着すると、落ちないおそれがありますのでご注意ください。

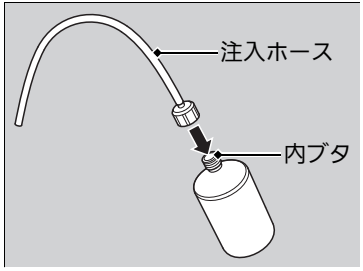
次ページに続く




**6.** バルブコア回しで、バルブコアを回して外す。
▶外したバルブコアは、汚れないようきれいなところに保管します。



**7.** アルミ袋を破って、応急修理剤のボトルを取り出す。
**8.** 応急修理剤のボトルをよく振る。




**9.** 応急修理剤の内ブタを付けたままの状態で、ボトルに注入ホースを取り付ける。
▶注入ホースをねじ込むと、内ブタが破れます。

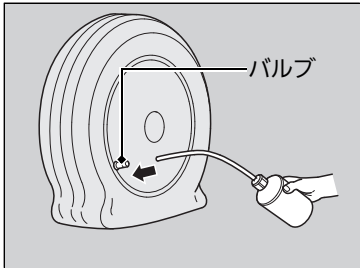
≫応急修理剤の注入

## ⚠注意

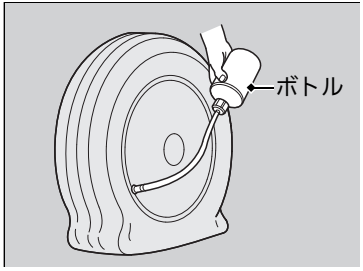
**応急修理剤の取り扱いに注意する。**

- 誤って飲用した場合は、できるだけたくさんの水を飲み、ただちに医師の診察を受けてください。
- もし目に入ったり皮膚に付いた場合は、水でよく洗い流してください。異常を感じたときはただちに医師の診察を受けてください。
- お子さまが誤って手を触れないよう、保管、取り扱いに注意してください。

**注入ホースを取り付けたあと、応急修理剤のボトルを振らない。**
修理剤が注入ホースから飛び出るおそれがあります。

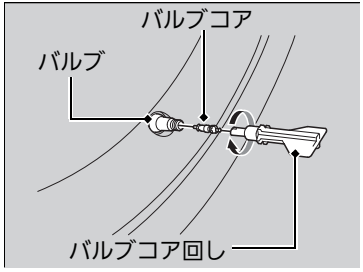



**10.** 注入ホースをバルブに差し込む。




**11.** 応急修理剤のボトルを逆さまに持ち、ボトル内の修理剤を全てタイヤの中に注入する。
▶全ての修理剤がタイヤの中に入るよう、手でボトルを何回も圧迫してください。

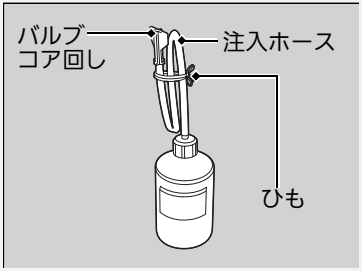
**12.** 注入後、注入ホースをバルブから引き抜く。




**13.** バルブコアをバルブに取り付け、バルブコア回しで右に回し、しっかりねじ込む。

### 応急修理剤の注入

**注入が終わった空ボトルから修理剤がもれないよう、バルブコア回しで注入ホースに栓をして、ひもなどで束ねてください。**

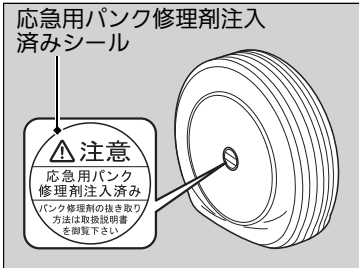



**注入後の空ボトルは、タイヤ修理時に使用済み応急修理剤の回収に使用します。捨てずに、Honda 販売店か専門修理工場までお持ちください。**

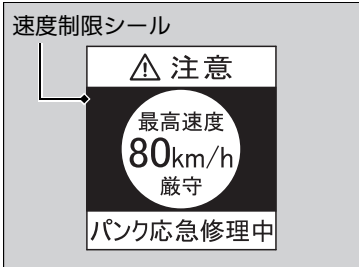


次ページに続く

## ■シールの貼付




**1.** 修理中のタイヤに、応急用パンク修理剤注入済みシールを貼る。
▶タイヤのホイールの平らな部分に貼ってください。




**2.** 速度制限シールを、運転者のよく見える位置に貼る。

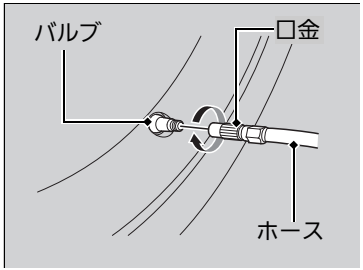
▶シールの貼付

**⚠注意**

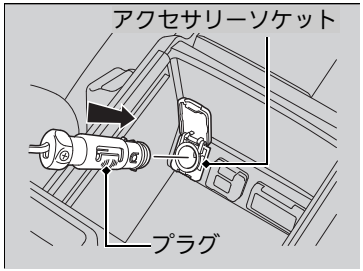
**ハンドルのパッドにシールを貼らない。**
SRSエアバッグが正常に機能しなくなります。

**警告灯やスピードメーターが見えない位置に貼らない。**
安全運転の妨げとなります。

## ■エアの注入



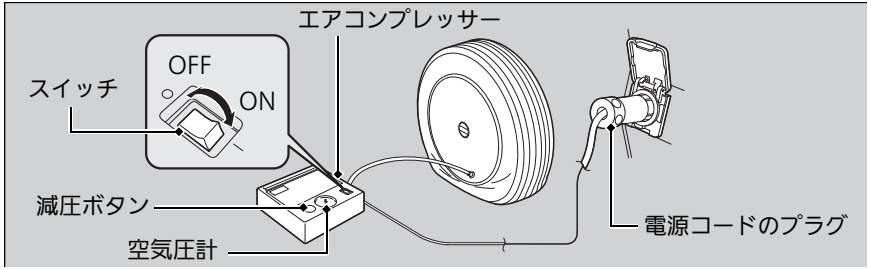

**1.** エアコンプレッサーを準備する。
**2.** 口金を回して、バルブにエアコンプレッサーのホースを確実に取り付ける。




**3.** エアコンプレッサーの電源コードのプラグを、アクセサリーソケットに差し込む。
**4.** エンジンスイッチを [I] にする。



次ページに続く




**5.** エアコンプレッサーのスイッチを ON にして、指定の空気圧まで高める。

**指定空気圧** P.270, 272

▶エアコンプレッサーに付属の空気圧計で、空気圧を点検、調整します。

▶空気を入れすぎたときは、減圧ボタンを押して空気を抜きます。

**6.** エアコンプレッサーの電源を OFF にする。

エアの注入

**タイヤの空気圧を空気圧計で確認するときは、エアコンプレッサーの電源を OFF にしてください。**

**10 分以内に指定空気圧にならないときは、応急修理剤による応急修理はできません。Honda 販売店やロードサービスに連絡してください。**

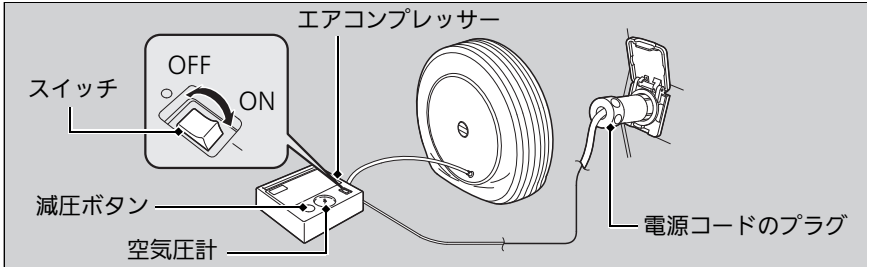
備え付けのコンプレッサーは、乗用車タイプの空気充填用です。取り扱いの際には、以下の点にご注意ください。

- エアコンプレッサーの電源は自動車用12V専用です。他の電源は使用しないでください。
- 使用中、エアコンプレッサーの表面が熱くなります。15 分以上は連続して使用しないでください。また、再使用する場合は、エアコンプレッサーが冷えてからお使いください。

## ■点検走行

応急修理剤および空気の注入後も、しばらくの間はパンク穴から空気が漏れています。法定速度を守って注意深く運転しながら空気圧を点検し、応急修理を完了させます。

なお、応急修理は特殊な薬剤でタイヤの内側から損傷を一時的に補修したものです。応急修理完了後も慎重に運転し、できるだけ早く Honda 販売店または専門修理工場で、タイヤの修理、交換を行ってください。




**1.** 点検走行を開始する。
▶法定速度を守ってください。高速道路では80km/h以下を厳守してください。
**2.** 10 分または 5km 走行したあと安全な場所に車を停める。
**3.** エアコンプレッサーに付属の空気圧計で空気圧を点検する。
**4.** 空気圧が低下していたら、エアコンプレッサーを使って指定の空気圧まで高める。
**5.** さらに 10 分または 5km 走行して、同様の点検を繰り返す。
▶空気圧の低下が見られなければ、応急修理は完了です。
▶このときにタイヤの空気圧が指定空気圧より低下していた場合は、運転を中止して Honda 販売店またはロードサービスに連絡してください。



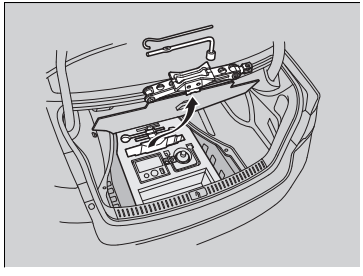
**⚠注意**

**走行中異常を感じたら、ただちに運転を中止する。**
応急修理剤での補修が不完全な場合、空気圧が低下して安定性を損なうおそれがあります。運転をやめ、Honda 販売店またはロードサービスに連絡してください。

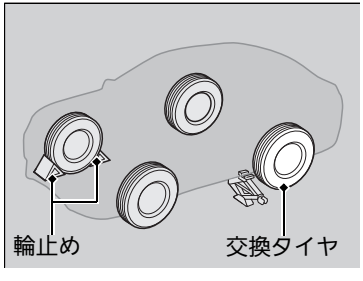
**空気圧点検時は、最小空気圧に注意する。**
空気圧が最小空気圧※より低くなっていたら、応急修理剤では修理できません。Honda 販売店またはロードサービスに連絡してください。
※ 最小空気圧＝ 130kPa(1.3kgf/cm²)

**走行前に、エアコンプレッサー、空ボトルなどの積み忘れがないか、しっかりと確認してください。**

## ジャッキのかけかた



1. パーキングブレーキをかける。
2. トランクを開けて、ジャッキ、ジャッキハンドルバー、ジャッキハンドルを取り出す。




3. 交換するタイヤの対角線上にあるタイヤの前後に、石などで輪止めをする。
4. 交換するタイヤに最も近いジャッキポイントの下にジャッキを置く。

▶▶ジャッキのかけかた

**⚠警告**

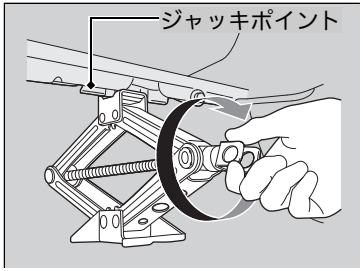
**車がジャッキだけで支えられているときは、車の下に入らない。**
車がジャッキから外れて、車の下にいる人が重大な傷害を負うおそれがあります。

**⚠注意**

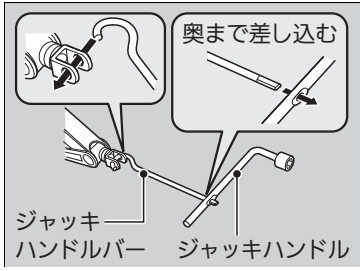
**ジャッキを使うときは安全のため、次のことを必ず守る。**

- エンジンをかけたままにしない
- 地面が固い平らなところ以外では使用しない
- ジャッキポイント以外にかけない
- 人や荷物を乗せたままにしない
- ジャッキ使用中に車内に入らない
- ジャッキの上や下にものを入れたりしない

**この車に搭載されているジャッキをお使いください。**
他のジャッキでは支えられる重量(呼荷重)が不足したり、形状が合わないことがあります。



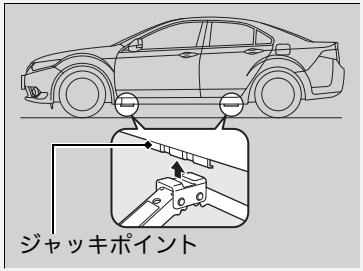

**5.** ジャッキの上部がジャッキポイントに接触するまで図の部分を矢印の方向に回す。
▶ジャッキの溝にジャッキポイントがはまったことを確認します。




**6.** タイヤが地面から離れるまで車体を上げる。

## ジャッキのかけかた

**ジャッキをかける位置は、下記の通りです。**



## エンジンの状態の確認

エンジンが始動しない場合、エンジンスイッチを III にして、スターターの状態を確認してください。

エンジンの状態の確認

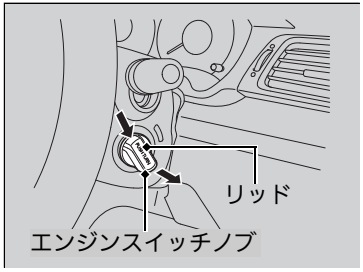
**すぐに車を動かす必要がある場合は、ブースターバッテリーを利用してジャンプスタートさせます。**
**➔ ジャンプスタートの方法** P.248

| スターターの状態 | 確認項目 |
|---|---|
| **スターターが全く回らない！**<br>**スターターの回転が非常に遅い！**<br><br>バッテリーがあがっていることなどが考えられます。右記の項目をチェックして適切な対応をしてください。 | **室内灯などの明るさを確認する**<br>室内灯などを点灯し、明るさを確認します。<br>• 室内灯などが非常に暗い、または全く点灯しない場合<br>• 室内灯などの明るさに問題がない場合 **➔ヒューズの点検と交換** P.261 |
| **スターターは正常に回るが …**<br><br>ヒューズに問題があることなどが考えられます。右記の項目をチェックして適切な対応をしてください。 | **エンジン始動の手順を実行する**<br>もう一度、正しいエンジン始動操作をしてみてください。 **➔エンジンの始動** P.167<br>**イモビライザーシステム表示灯を確認する**<br>イモビライザーシステム表示灯が点滅しているときは、エンジンの始動ができません。<br>**➔ イモビライザーシステム** P.93<br>**燃料の量を点検する**<br>燃料が入っているか確認してください。 **➔燃料計** P.66<br>**ヒューズを点検する**<br>全てのヒューズを確認してください。 **➔ヒューズの点検と交換** P.261 |

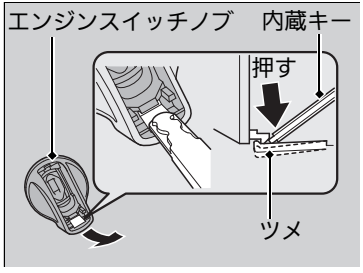
以上の確認をしてもエンジンが始動しない場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

# 内蔵キーの差し込みかた

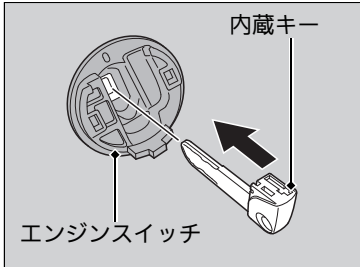
Honda スマートキーによるエンジンスイッチの操作や始動ができない場合、内蔵キーを使ってください。




**1.** エンジンスイッチノブのリッドを外す。
▶リッド上端を押しながらリッドを外します。




**2.** エンジンスイッチノブを外す。
▶内側のツメを、内蔵キーの先端で押して外します。

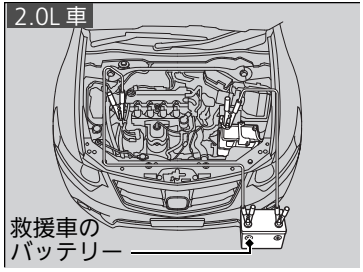


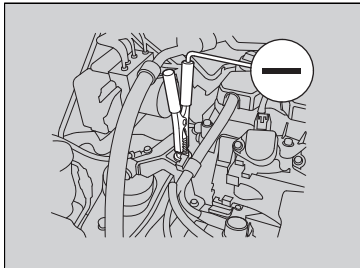

**3.** エンジンスイッチに内蔵キーを差し込む。

# ジャンプスタートの方法

## ■処置のしかた

まず、ボンネットを開け、バッテリーの状態を確認します。バッテリー液が凍っている場合はバッテリー液が溶けるまでジャンプスタートはできません。
次に、オーディオやライトなどの電源を OFF にしてください。
ブースターケーブルのクリップは、エンジンの振動などで外れないように確実に固定してください。また、ケーブルの巻き込みに注意してください。



1. 自車と救援車のエンジンスイッチを 0 にする。
2. ブースターケーブルを、自車のバッテリーの ⊕ 端子に接続する。
3. ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの ⊕ 端子に接続する。
   ▶救援車には、12V のバッテリーを装着している車を使用してください。
4. もう1本のブースターケーブルを、救援車のバッテリーの ⊖ 端子に接続する。
5. ケーブルの反対側を、自車のエンジンのアース端子に接続する。

≫ジャンプスタートの方法

**⚠警告**

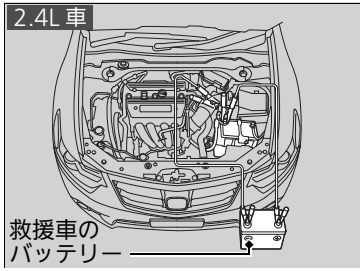
**ジャンプスタートは、正しい手順で慎重に行う。**
ジャンプスタートの操作を間違えると、バッテリーが爆発し、重大な傷害を受けるおそれがあります。
タバコの火、火花、炎をバッテリーから遠ざけ、正しい手順で行ってください。

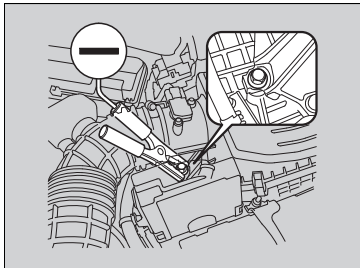
**寒冷時は、バッテリーの性能が低下します。**
エンジン始動に支障をきたすことがありますので、液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や補充電をしてください。

アドバイス

金属どうしがきちんと接続されているか確認してください。ケーブルをエンジンのアース以外の端子に接続しないでください。
バッテリー液が不足しているときは、使用しないでください。バッテリー内部の劣化が進むおそれがあります。

気温が極端に低い場所にバッテリーを長時間にわたって置くと、内部のバッテリー液が凍結するおそれがあります。バッテリー液が凍結したバッテリーでジャンプスタートすると、バッテリーが壊れることがあります。



## ■エンジン始動後の作業

自車のエンジンが始動したら、下記の手順でブースターケーブルを取り外します。

**1.** 自車のエンジンのアース端子からケーブルを外す。
**2.** ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの ⊖ 端子から外す。
**3.** 自車のバッテリーの ⊕ 端子からケーブルを外す。
**4.** ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの ⊕ 端子から外す。

Honda 販売店や最寄りのガソリンスタンドなどで点検を受けてください。

**6.** 救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにする。
**7.** 自車のエンジンをかける。

エンジン始動後の作業

**⚠警告**

**バッテリーを扱うときは、火気を近づけない。**
バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると、バッテリーが爆発し、重大な傷害を受けたり死亡したりするおそれがあります。
バッテリーを扱うときは、保護衣・保護面を着用するか、Honda 販売店でバッテリーのメンテナンスを受けてください。

**バッテリー液の取り扱いに注意する。**
バッテリー液は希硫酸です。目や皮ふに付くとその部分が侵されますので十分注意してください。
- 万一、付着したときはすぐに多量の水で少なくとも 5 分間以上洗浄する
- 飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲む

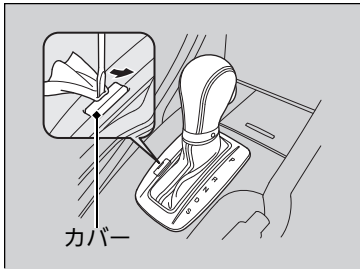
応急処置後は、専門医の診察を受けてください。

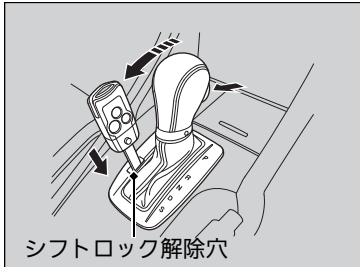
**ブースターケーブルの端子どうしが接触しないよう注意してください。**

# セレクトレバーが動かない

セレクトレバーが、 P の位置でロックされて動かなくなったら、下記の方法で解除してください。

## ■ロックを解除する




**1.** パーキングブレーキをかける。
**2.** エンジンスイッチからキーを抜く。
▶Hondaスマートキーシステム装備車はエンジンスイッチを 0 (プッシュオフ)にします。
**3.** 細いマイナスドライバーの先端に布を巻き、シフトロック解除穴のカバーを外す。
▶マイナスドライバーの先端を、図のように切り欠きに入れて外します。
**4.** シフトロック解除穴にキーを差し込む。
▶Honda スマートキーシステム装備車は内蔵キーを差し込みます。
**5.** キーを押しながらセレクトレバーのボタンを押し、セレクトレバーを N に入れる。
▶ロックが解除されました。Honda 販売店で、早めに点検を受けてください。

## オーバーヒートしたときの対処方法

次のようなときは、オーバーヒートです。
- 水温計の針が H の目盛に入ったり、エンジンの力が急に落ちる
- エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている

### ■最初にすること

**1.** ただちに車を安全な場所に停める。
▶セレクトレバーを P に入れ、パーキングブレーキをかけます。すべてのアクセサリーの電源を切り、非常点滅表示灯を点滅させます。

**2.** **蒸気が出ていない場合**：エンジンをかけたままボンネットを開ける。
**蒸気が出ている場合**：エンジンを止め、蒸気が出なくなってからボンネットを開ける。

≫オーバーヒートしたときの対処方法

**⚠警告**

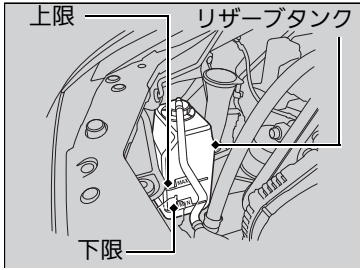
**オーバーヒートしたエンジンは、冷えるまでボンネットを開けない。**
ラジエーターから噴き出る蒸気や熱湯に触れると、重大な傷害を受けるおそれがあります。

**エンジンが熱いうちにラジエーターキャップを外さない。**
冷却水が噴き出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずラジエーターが十分に冷えてからキャップを外してください。

アドバイス
水温計の針が H の目盛りまで上がった状態で運転すると、エンジンを著しく損傷するおそれがあります。

次ページに続く

## ■次にすること




**1.** 冷却ファンの作動を確認し、水温計の針が下がってきてからエンジンを止める。
▶冷却ファンが作動していない場合は、すぐにエンジンを止めます。

**2.** エンジンが冷えてから冷却水量、ホースなどからの水漏れを点検する。
▶冷却水量が不足していたら、ラジエーターとリザーブタンクに冷却水を補給します。冷却水がない場合は、応急的に水を補給します。

## ■最後にすること

- 十分にエンジンが冷えたら、エンジンを始動し水温計を確認する。
  水温計の針が下がった場合は、運転を再開します。下がらないときは、Honda 販売店に修理を依頼します。

▶▶オーバーヒートしたときの対処方法

**冷却水がもれている場合は、Honda 販売店に修理を依頼してください。**

## 油圧警告灯が点灯した



**■点灯の理由**
エンジン内部を潤滑しているオイルの油圧が低下すると点灯します。

**■点灯したらすぐにすること**
**1.** ただちに車を安全な場所に停車する。
**2.** 非常点滅表示灯を点滅させる。

**■車を停車してからすること**
**1.** エンジンを止め、1 分間ほど放置する。
**2.** ボンネットを開け、エンジンオイルの量を確認する。
▶必要に応じて、エンジンオイルを補給してください。
**3.** エンジンを始動し、油圧警告灯を確認する。
▶**消灯した**：運転を再開してください。
▶**10 秒以内に消灯しない**：エンジンを止めて、ただちに Honda 販売店に修理を依頼してください。

» 油圧警告灯が点灯した

アドバイス
油圧が低い状態でエンジンを回転させると、エンジンが破損するおそれがあります。

## 充電警告灯が点灯した



**■点灯の理由**
バッテリーが充電されていないと点灯します。

**■点灯したらすること**
電気の消費を減らすため、エアコン、リヤデフロスターなどを OFF にして、ただちに Honda 販売店に修理を依頼してください。

» 充電警告灯が点灯した

アドバイス
一時的に停車する場合は、エンジンを止めないでください。エンジンを始動すると、バッテリーが急速に放電します。

# PGM-FI 警告灯が点灯 / 点滅した



## ■点灯 / 点滅の理由

エンジンの排気ガス制御システムが異常のとき点灯します。エンジン各気筒の失火状態を検知したときに点滅します。

## ■点灯したときは

高速走行を避けて、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

## ■点滅したときは

枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10 分以上エンジンを止めて冷えるまでお待ちください。

» PGM-FI 警告灯が点灯 / 点滅した

アドバイス

**PGM-FI警告灯が点灯したまま運転すると、排気ガス制御システムとエンジンを損傷する場合があります。**

**エンジン再始動後再び点滅するときは、50km/h以下の速度で最寄りのHonda販売店まで走行し点検を受けてください。**

# ブレーキ警告灯が点灯した



## ■点灯の理由

- ブレーキフルードが減っているときに点灯します。
- ブレーキ配分機能が異常のときに点灯します。

## ■走行中に点灯したらすること

- ブレーキペダルを軽く踏んで、ペダルの圧力を確認する。
- ブレーキフルード量を確認する。

» ブレーキ警告灯が点灯した

**ただちに、Honda 販売店に修理を依頼してください。**
ブレーキフルードが減っている状態で運転することは危険です。

**ブレーキペダルに抵抗がない場合は、ただちに安全な場所に車を停めてください。必要に応じて、ギヤを落とします。**
ブレーキ警告灯と ABS 警告灯が同時に点灯する場合は、ブレーキ力の配分機能も作動しないため急ブレーキ時に車両が不安定になる可能性があります。高速走行や急ブレーキをさけてください。

# EPS 警告灯が点灯した



## ■点灯の理由

- EPS が異常のときに点灯します。
- エンジンスイッチを II にしたときの点灯は異常ではありません。
- 停車中にエンジンの空ぶかしを行うと点灯し、ハンドルが重くなる場合があります。

## ■点灯したらすること

- 安全な場所に停車し、エンジンを再始動する

その後も走行中に点灯する場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

EPS 警告灯が点灯した

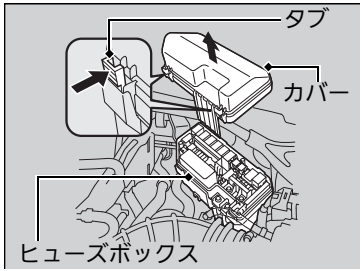
アドバイス

停車中や極低速のときハンドル操作を繰り返したり、ハンドルに力をかけ保持するなどしてシステムの温度が上昇すると、システム保護のためパワー装置のはたらきを制限するので、ハンドル操作が徐々に重くなります。
システムの温度が下がると復帰しますが、システム保護がはたらくような使いかたを断続的に繰り返すと、システム破損の原因となります。

## ヒューズの設置場所

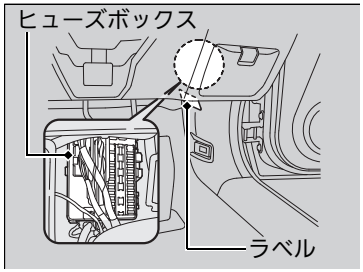
電気装置が作動しない場合、エンジンスイッチを 0 にして、ヒューズが切れていないか確認します。ヒューズは、3 つのヒューズボックスに入っています。

### ■エンジンルーム内のヒューズボックス




エンジンルーム内の助手席側に付いているエアクリーナーボックスの隣にあります。タブを押して開けてください。

### ■室内運転席側のヒューズボックス




アクセルペダルの上にあります。

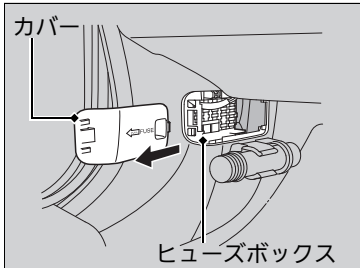
**»エンジンルーム内のヒューズボックス**

ヒューズボックスのカバーに、ヒューズの場所が表示してあります。
ヒューズ番号とフタの番号で、該当するヒューズの位置を確認してください。

**»室内運転席側のヒューズボックス**

ヒューズボックスの下に、ヒューズの場所が表示してあります。
ヒューズ番号とラベルの番号で、該当するヒューズの位置を確認してください。

## ■室内助手席側のヒューズボックス




助手席の足元にあります。カバーを引いて開けてください。

### ≫室内助手席側のヒューズボックス

ヒューズボックスのカバーに、ヒューズの場所が表示してあります。
ヒューズ番号とラベルの番号で、該当するヒューズの位置を確認してください。

# 各ヒューズの装備と容量

## ■エンジンルーム

容量に（ ）がついているヒューズは、装備が無い場合でもヒューズが入っている場合があります。

| | 表示 | 装備 | 容量 |
|---|---|---|---|
| 1 | | バッテリー | 100A |
| | | 助手席側ヒューズボックス | 60A※1 |
| | | 助手席側ヒューズボックス | 40A |
| 2 | | EPS | 70A |
| | | 助手席側ヒューズボックス | (40A) |
| | | VSA | 30A |
| | — | — | — |
| | | VSA モーター | 30A |
| | — | — | — |
| 3 | | イグニッション | 50A |
| | | 運転席側ヒューズボックス | (40A)※2 |
| | | 助手席側ライトメイン | 50A |
| | | 運転席側ヒューズボックス | (60A)※3 |
| | | 運転席側ライトメイン | 40A |
| | | メインファン | 30A |
| | — | — | — |
| | | ワイパーモーター | 30A |
| 4 | | リヤデフロスター | 40A |
| 5 | | サブファン | 20A |
| 6 | — | — | — |
| 7 | — | — | — |
| 8 | | ヒーターモーター | 40A |
| 9 | | 非常点滅表示灯 | 15A |
| 10 | | ホーン | 10A |
| 11 | — | — | — |
| 12 | | 制動灯 | 15A |
| 13 | | イグニッションコイル | 15A |
| 14 | | PGM-FI サブ | 15A |
| 15 | | バックアップ | 10A |
| 16 | | 室内灯 | 7.5A |
| 17 | | PGM-FI メイン | 15A |
| 18 | | ドライブバイワイヤ | 15A |
| 19 | — | — | — |
| 20 | | MG クラッチ | 7.5A |
| 21 | | — | — |

※1 ：ACC 装備車
※2 ：パワーシート非装備車
※3 ：パワーシート装備車

## ■室内運転席側

容量に( )がついているヒューズは、装備が無い場合でもヒューズが入っている場合があります。

| | 表示 | 装備 | 容量 |
|---|---|---|---|
| 1 | | E-プリテンショナー | (7.5A)※1 |
| 2 | | オプション | (7.5A) |
| 3 | | ウォッシャー | 15A |
| 4 | | ワイパー | 10A |
| 5 | | メーター | 7.5A |
| 6 | | ABS/VSA | 7.5A |
| 7 | | 発電機 | 15A |
| 8 | | STS | 7.5A |
| 9 | | フューエルポンプ | 20A |
| 10 | | VB SOL 2 | (10A) |
| 11 | | SRS エアバッグシステム | 10A |
| 12 | | 乗車姿勢検知システム | 7.5A |
| 13 | | オプション | (7.5A) |
| 14 | — | — | — |
| 15 | — | — | — |
| 16 | | エアコン | 7.5A |
| 17 | | キーロック | 7.5A |
| 18 | | アクセサリー | 7.5A |
| 19 | | 運転席パワーシート前後スライド / 高さ調節(前側) | (20A)※2 |
| 20 | — | — | — |
| 21 | | 運転席パワーシートリクライニング / 高さ調節(後側) | (20A)※2 |
| 22 | | 後席右側パワーウィンドー | 20A |
| 23 | | シガレットライター | 20A |
| 24 | | 運転席パワーウィンドー | 20A |
| 25 | | 右側ドアロック | 15A |
| 26 | | 右側フォグライト | (10A)※3 |
| 27 | | 右側車幅灯 / 尾灯 | 10A |
| 28 | | 右側ヘッドライトハイビーム | 10A |
| 29 | — | — | — |
| 30 | | 右側ヘッドライトロービーム | 15A |
| 31 | — | — | — |

※1 : ACC 装備車
※2 : パワーシート装備車
※3 : フォグライト装備車

## ■室内助手席側

容量に( )がついているヒューズは、装備が無い場合でもヒューズが入っている場合があります。

| | 表示 | 装備 | 容量 |
|---|---|---|---|
| 1 | | 左側ヘッドライトハイビーム | 10A |
| 2 | | 左側車幅灯 / 尾灯 | 10A |
| 3 | | 左側フォグライト | (10A)※1 |
| 4 | | 左側ヘッドライトロービーム | 15A |
| 5 | | — | — |
| 6 | | 室内イルミネーション | 7.5A |
| 7 | | アクティブコーナリングライト | (15A)※2 |
| 8 | — | — | — |
| 9 | — | — | — |
| 10 | | 左側ドアロック | 10A |
| 11 | | 後席左側パワーウィンドー | 20A |
| 12 | | アクセサリーソケット(コンソール) | 20A |
| 13 | | 助手席パワーウィンドー | 20A |

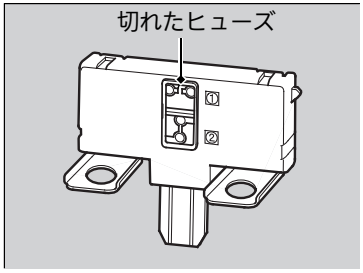


次ページに続く

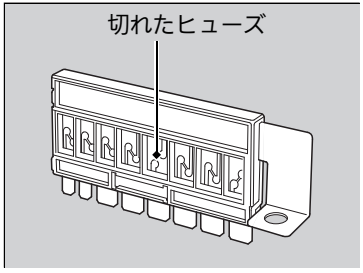
| | 表示 | 装備 | 容量 |
|---|---|---|---|
| 14 | — | — | — |
| 15 | — | — | — |
| 16 | — | — | — |
| 17 | — | — | — |
| 18 | — | — | — |
| 19 | — | — | — |
| 20 |  | 運転席E-プリテンショナー | (30A)※3 |
| 21 |  | 助手席E-プリテンショナー | (30A)※3 |
| 22 | — | — | — |

※1 ：フォグライト装備車
※2 ：アクティブコーナリングライト装備車
※3 ：ACC 装備車

# ヒューズの点検と交換




**1.** エンジンスイッチを 0 にし、ヘッドライトとすべてのアクセサリーを OFF にする。
**2.** ヒューズボックスのフタを取り外す。




**3.** エンジンルーム内の大きいヒューズを点検する。
▶切れているヒューズがあったら、プラスドライバーでネジを外し、新しいものと交換してください。

» ヒューズの点検と交換

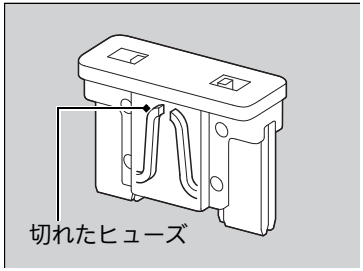
**ヒューズは同じ規定容量のヒューズと交換してください。**
➡ **各ヒューズの装備と容量** P.258

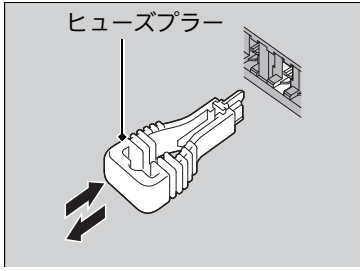
アドバイス

規定容量より大きいヒューズに交換すると、電気系統を損傷する危険性が高くなります。
交換したあと、すぐにヒューズが切れるような場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

**エンジンルーム内のヒューズボックスには、フタの裏にヒューズプラーがついています。**
ヒューズプラーは、切れている小さいヒューズを引き抜くときに使います。

次ページに続く



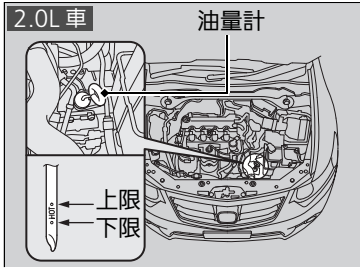

**4.** エンジンルーム内と、室内の小さいヒューズを点検する。
▶切れているヒューズがあったら、ヒューズプラーで引き抜き、新しいものと交換してください。

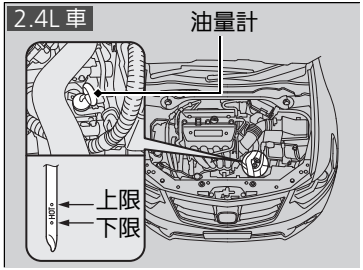
# 非常時のけん引

けん引は、専門業者に依頼して四輪または前輪を持ち上げて行ってください。

## ■やむをえずけん引される場合

やむをえず四輪を接地させてロープでけん引を行う場合、次の方法で行ってください。




**1.** トランスミッションフルードの量が、油量計の目盛りの上限と下限の間にあることを確認する。

▶下限より下がっている場合は、四輪または前輪を接地させてのけん引は行わないでください。

≫非常時のけん引

アドバイス

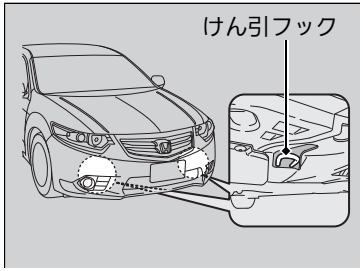
**車輪が動かないときなど動力伝達装置に異常があると思われるときは、四輪または前輪を持ち上げてけん引してください。**

**ロープやチェーンなどを使ってけん引されるときは、車体に当たる部分に布を巻いてください。**

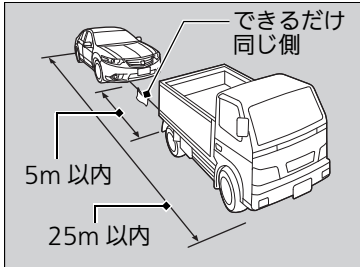
そのままけん引されると、車体に傷が付くことがあります。

バンパーで車を持ち上げたり、けん引すると、バンパーがいちじるしく損傷します。バンパーは車の重量を支えるようにはできていません。

次ページに続く




**2.** ロープをけん引フックにかける。




**3.** ロープ中央部に白い布(0.3m 平方以上)を付ける。

**4.** エンジンをかけてセレクトレバーを D にし、約 5 秒間保持する。

▶エンジンがかからないときは、エンジンスイッチ I または II にします。

**5.** セレクトレバーを N にする。

**6.** パーキングブレーキを解除する。

**7.** 速度30km/h以下、走行距離80km以内でけん引する。

▶けん引中は、前の車の制動灯に注意してロープをたるませないようにしてください。

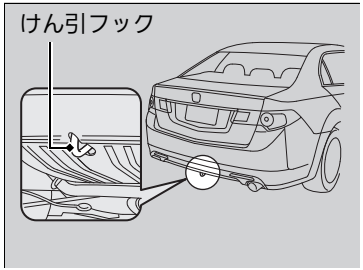
非常時のけん引

**エンジンが停止している状態でのけん引は、以下のことに注意してください。**

- ブレーキの倍力装置が作動しないため、ブレーキの効きが悪くなる
- パワーステアリングのパワー装置が作動しないためハンドル操作が重くなる

長い下り坂では、ブレーキの温度が上がりブレーキが効かなくなるおそれがありますので、レッカー車にけん引してもらってください。

## ■やむをえず他車をけん引する場合




やむをえず他車をけん引するときはけん引フックにロープをかけて行ってください。

### やむをえず他車をけん引する場合

**けん引フック以外のところにロープをかけないでください。**
車体が破損、変形する場合があります。

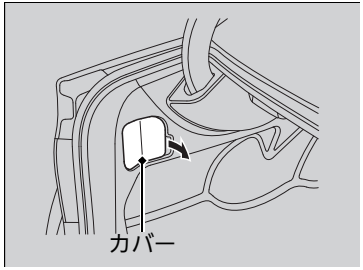
アドバイス

**ロープやチェーンなどを使ってけん引するときは、車体に当たる部分に布を巻いてください。**
そのままけん引すると、車体に傷が付くことがあります。

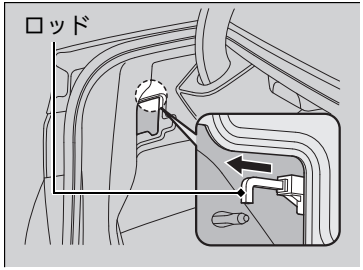
**自車より重い車のけん引は避けてください。**

## ■解錠できないときの対処方法

万一、フューエルリッドが解錠できなくなったときは、応急処置として次の方法で解錠してください。




**1.** トランクを開け、左側面にあるカバーを引いて取り外す。



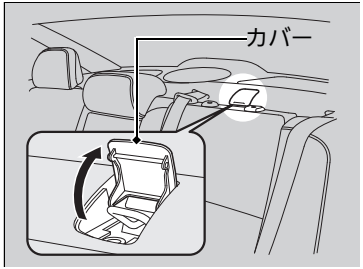

**2.** アクチュエーターのロッドを後方に引く。
▶ロッドを引くと解錠し、元の位置に戻すと施錠します。

≫解錠できないときの対処方法

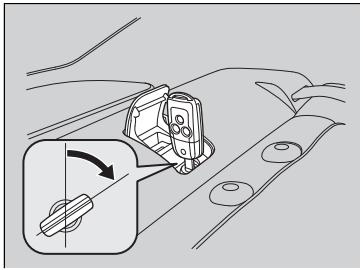
**応急処置後は、Honda 販売店で点検を受けてください。**

## ■開かないときの対処方法

万一、トランクを開けることができなくなったときは、応急処置として次の方法で開けてください。




**1.** 助手席側のリヤシートのヘッドレストを外し、カバーを開ける。



**2.** リトラクタブルキーまたは内蔵キーをシリンダーに差し込み、キーを右に回す。

≫開かないときの対処方法

**応急処置後は、Honda 販売店で点検を受けてください。**

# 資料

この章には、仕様に関する情報が記載されています。




**仕様：2.0L 車**..... 269
**仕様：2.4L 車**..... 271

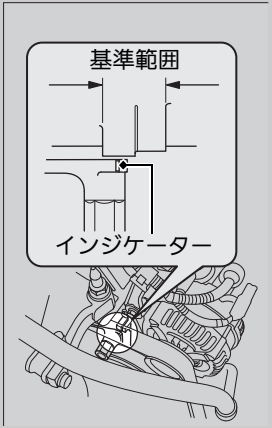
# 仕様：2.0L 車

## ■仕様

| | |
|---|---|
| 名称 | アコードセダン |
| 排気量 | 1,997 cm³ |
| 車体形状 | 4 ドアセダン |
| 乗車定員 | 5 名 |

## ■調整

ベルトのたわみ量




| | | |
|---|---|---|
| 点火プラグ | NGK | IZFR6K11NS |
| | DENSO | SKJ20DR-M11S |
| 電極のすき間 | 基準値 | 1.0-1.1mm |

点火プラグは、イリジウムプラグを使用しています。
・交換時期は「メンテナンスノート」をご覧ください。

## ■確認

| | | |
|---|---|---|
| ブレーキペダル | 遊び | 1.0-5.0mm |
| | 床板とのすき間 | 122mm 以上 { 約 196N(20kgf)の力 } |
| | カーペットとのすき間(参考値) | 105mm 以上 { 約 196N(20kgf)の力 } |
| パーキングブレーキ | 引きしろ | 6～8 ノッチ { 約 196N(20kgf)の力 } |

## ■燃料

| | |
|---|---|
| 燃料種類 | 無鉛レギュラーガソリン |
| 燃料タンク容量 | 65 ℓ |

## ■エアクリーナーエレメント

| | |
|---|---|
| タイプ | 湿式 |

## ■バッテリー

| | |
|---|---|
| 容量 / タイプ | 36AH(5) /55B24L |

## ■ウォッシャー液

| | |
|---|---|
| タンク容量 | 4.5 ℓ |

## ■電球

| | |
|---|---|
| ヘッドライト(ロービーム) | 12V-35W※1<br>12V-55W※2 |
| ヘッドライト(ハイビーム) | 12V-60W※2 |
| フォグライト | 12V-55W※2 |
| 前面方向指示器 /<br>前面非常点滅表示灯 | 12V-21W(橙色) |
| 車幅灯 | 12V-5W |
| 側面方向指示器 /<br>側面非常点滅表示灯 | LED |
| 制動灯 / 尾灯 | 12V-21/5W |
| 後面方向指示器 /<br>後面非常点滅表示灯 | 12V-21W(橙色) |
| 後退灯 | 12V-21W |
| ハイマウント<br>ストップランプ | 12V-21W |
| 番号灯 | 12V-5W |
| トランク照明灯 | 12V-5W |
| マップランプ | 12V-8W |
| 室内灯 | 12V-8W |
| バニティミラー照明灯 | 12V-2W |
| ドア開閉灯 | 12V-2CP※3<br>(3.8W) |

※1 ： ディスチャージヘッドライト装備車
※2 ： ハロゲンバルブ
※3 ： CP… キャンドルパワー(光度の単位)

# 仕様：2.0L 車

## ■ブレーキフルード

| | |
|---|---|
| 指定液 | Honda 純正ウルトラ<br>ブレーキフルード DOT3/DOT4 |

## ■トランスミッションフルード

| | | |
|---|---|---|
| 指定液 | Honda 純正<br>ウルトラ ATF-DW1 | 2.5 ℓ (交換時) |

## ■推奨エンジンオイル

| | | |
|---|---|---|
| Honda 純正<br>エンジンオイル | ウルトラ<br>LEO SM | API SM/GF4 級<br>SAE 0W-20※4 |
| | ウルトラ<br>LTD SM | API SM/GF4 級<br>SAE 5W-30 |
| 規定量 | オイル交換時 | 3.5 ℓ |
| | オイル、オイルフィルター同時交換時 | 3.7 ℓ |

※4 ： 最も省燃費性に優れたオイルです。

## ■冷却水

| | |
|---|---|
| 指定液 | Honda 純正ウルトラ e クーラント |
| 規定濃度 | 50% |
| 規定量 | 5.4 ℓ (交換時：リザーブタンク 0.74 ℓ 含む) |

## ■タイヤ

| | | |
|---|---|---|
| サイズ | 205/60R16 92V※5 | |
| | 225/50R17 94V※6 | |
| 空気圧<br>(kPa[kgf/cm²]) | 220 (2.2)※5 | |
| | 230 (2.3)※6 | |
| リムサイズ | スチールホイール | 16×6 1/2J※5 |
| | アルミホイール | 17×7 1/2J※6 |

※5 ： 20TL
※6 ： スマートスタイル

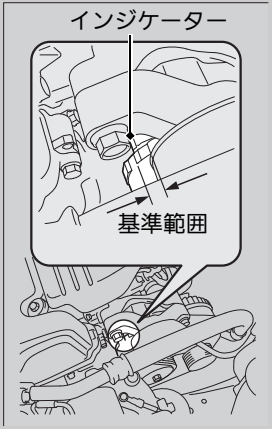
# 仕様：2.4L 車

## ■仕様

| | |
|---|---|
| 名称 | アコードセダン |
| 排気量 | 2,354 cm$^3$ |
| 車体形状 | 4 ドアセダン |
| 乗車定員 | 5 名 |

## ■調整

ベルトのたわみ量




| | | |
|---|---|---|
| 点火プラグ | NGK | ILZKR7B-11S |
| | DENSO | SXU22HCR11S |
| 電極のすき間 | 基準値 | 1.0-1.1mm |

点火プラグは、イリジウムプラグを使用しています。
・交換時期は「メンテナンスノート」をご覧ください。

## ■確認

| | | |
|---|---|---|
| ブレーキペダル | 遊び | 1.0-5.0mm |
| | 床板とのすき間 | 123mm 以上 { 約 196N(20kgf)の力 } |
| | カーペットとのすき間(参考値) | 106mm 以上 { 約 196N(20kgf)の力 } |
| パーキングブレーキ | 引きしろ | 5 ～ 7 ノッチ { 約 196N(20kgf)の力 } |

## ■燃料

| | |
|---|---|
| 燃料種類 | 無鉛プレミアムガソリン |
| 燃料タンク容量 | 65 ℓ |

## ■エアクリーナーエレメント

| | |
|---|---|
| タイプ | 湿式 |

## ■バッテリー

| | |
|---|---|
| 容量 / タイプ | 36AH(5) /55B24L |

## ■ウォッシャー液

| | |
|---|---|
| タンク容量 | 4.5 ℓ |

## ■電球

| | |
|---|---|
| ヘッドライト | 12V-35W |
| フォグライト | 12V-55W※1 |
| 前面方向指示器 / 前面非常点滅表示灯 | 12V-21W(橙色) |
| 車幅灯 | 12V-5W |
| アクティブコーナリングライト | 12V-35W※1 |
| 側面方向指示器 / 側面非常点滅表示灯 | LED |
| 制動灯 / 尾灯 | 12V-21/5W |
| 後面方向指示器 / 後面非常点滅表示灯 | 12V-21W(橙色) |
| 後退灯 | 12V-21W |
| ハイマウントストップランプ | 12V-21W |
| 番号灯 | 12V-5W |
| トランク照明灯 | 12V-5W |
| マップランプ | 12V-8W |
| 室内灯 | 12V-8W |
| バニティミラー照明灯 | 12V-2W |
| ドア開閉灯 | 12V-2CP※2 (3.8W) |

※1 ： ハロゲンバルブ
※2 ： CP… キャンドルパワー(光度の単位)

# 仕様：2.4L 車

## ■ブレーキフルード

| | |
|---|---|
| 指定液 | Honda 純正ウルトラ<br>ブレーキフルード DOT3/DOT4 |

## ■トランスミッションフルード

| | | |
|---|---|---|
| 指定液 | Honda 純正<br>ウルトラ ATF-DW1 | 2.5 ℓ (交換時) |

## ■推奨エンジンオイル

| | | |
|---|---|---|
| Honda 純正<br>エンジンオイル | ウルトラ<br>LEO SM | API SM/GF4 級<br>SAE 0W-20※3 |
| | ウルトラ<br>LTD SM | API SM/GF4 級<br>SAE 5W-30 |
| 規定量 | オイル交換時 | 3.8 ℓ |
| | オイル、オイルフィルター同時交換時 | 4.0 ℓ |

※3 ： 最も省燃費性に優れたオイルです。

## ■冷却水

| | |
|---|---|
| 指定液 | Honda 純正ウルトラ e クーラント |
| 規定濃度 | 50% |
| 規定量 | 6.2 ℓ (交換時：リザーブタンク 0.74 ℓ 含む) |

## ■タイヤ

| | | |
|---|---|---|
| サイズ | 235/45R18 94W | |
| 空気圧<br>(kPa[kgf/cm²]) | 230 (2.3) | |
| リムサイズ | アルミホイール | 18×8J |

## A

A/C(エアコン) ..... 137
ABS(アンチロックブレーキシステム) ..... 183
ABS警告灯 ..... 55, 183
ACC(アダプティブクルーズコントロール)
警告灯 ..... 55
AT(オートマチックトランスミッション) .. 171
AV入力端子 ..... 132

## C

CDプレーヤー ..... 151
CMBS(追突軽減ブレーキ) ..... 185
CMBS警告灯 ..... 57
CRUISE CONTROL
(クルーズコントロール) ..... 176

## E

EPS警告灯 ..... 57
ETC車載器 ..... 別冊

## H

Hondaインターナビシステム ..... 別冊
Hondaスマートキー ..... 80, 82
Hondaスマートキーシステム警告灯 ..... 54
Hondaスマートキー電池消耗警告 ..... 64
Hondaスマートキー持ち去り警告 ..... 101
エンジンスイッチ ..... 99
電池交換のしかた ..... 227
Hondaスマートキーシステム警告灯 ..... 54

## I

ISOFIX ..... 44, 47

## M

MIST ..... 110
M(シーケンシャルモード)表示灯 ..... 61, 173

## P

PGM-FI警告灯 ..... 53, 254

## S

SEL/RESETスイッチ ..... 67
SRSエアバッグ ..... 28
エアバッグシステム警告灯 ..... 56

## U

USBジャック ..... 132

## V

VSA(ビークルスタビリティアシスト) ..... 179
VSA OFF警告灯 ..... 56
VSA OFFスイッチ ..... 180
VSA警告灯 ..... 56

## W

W(ワット数) ..... 269, 271

## ア

アクアクリーンミラー ..... 117
アクセサリー ..... 195
アクセサリーソケット ..... 131
アクティブコーナリングライト ..... 103
電球の交換 ..... 210
安全に関する表示 ..... 18
安全のための確認事項 ..... 21
アンチロックブレーキシステム(ABS) ..... 183
ABS警告灯 ..... 55, 183

## イ

一酸化炭素の危険性 ..... 51
イモビライザーシステム ..... 93
イモビライザーシステム表示灯 ..... 59
イルミネーションコントロールノブ ..... 112
インフォメーション表示灯 ..... 59

## ウ

ウィンカースイッチ(方向指示器) ..... 102
ウィンドーの開閉 ..... 95

**ウィンドウォッシャー**
ウィンドウォッシャー液の補給 ..... 202
ウィンドウォッシャースイッチ ..... 111
**ウェアインジケーター** ..... 223
**運転**
エンジンの始動 ..... 167
クルーズコントロール ..... 176
シフト操作 ..... 172
ブレーキ操作 ..... 181

## エ

**エアコン** ..... 136, 228
エアクリーンフィルター ..... 228
エアコンの使いかた ..... 137
窓の曇りや霜の取りかた ..... 138
モード切り換えスイッチ ..... 137
**エアバッグ** ..... 28
SRSエアバッグ ..... 28
エアバッグシステム警告灯/表示灯 ..... 36
エアバッグシステム故障診断記録装置 ..... 18
エアバッグのお手入れ ..... 38
サイドエアバッグ ..... 31
サイドエアバッグ自動停止システム ..... 33
サイドカーテンエアバッグ ..... 34
**エアバッグシステム故障診断記録装置** ..... 18
**エンジンオイル** ..... 202
推奨エンジンオイル ..... 202
油圧警告灯 ..... 53
**エンジンスイッチ** ..... 98, 99
エンジンスイッチ警告ブザー ..... 100
**エンジンの始動** ..... 167
エンジンが始動しない ..... 246
ジャンプスタート ..... 248
**エンジンルーム内のメンテナンス** ..... 199
ウィンドウォッシャー液の補給 ..... 202
エンジンルーム内のメンテナンス項目 ... 199
推奨エンジンオイル ..... 202
ボンネットを開ける ..... 201
冷却水の点検と補給 ..... 252
**エンジン冷却水** ..... 270, 272
**エンブレム** ..... 185

## オ

**追越合図(パッシング)** ..... 104
**応急修理剤(タイヤパンク)** ..... 236
**オーディオ装置** ..... 142
**オーディオリモートコントロールスイッチ** ..... 158
**オートエアコン** ..... 137
**オーバーヒート** ..... 251
**オドメーター** ..... 67, 68
**温度センサー** ..... 69

## カ

**カーゴフック** ..... 134
**外気温表示** ..... 67, 69
**鍵(かぎ)** ..... 79
**カスタマイズ機能** ..... 71
**ガソリン** ..... 191, 269, 271
**カップホルダー** ..... 130

## キ

**キー**
Hondaスマートキー ..... 79, 80, 82
キーが 0 から I に回らない ..... 16
キーが I から 0 に回らない ..... 16
キー閉じ込み防止装置 ..... 86
キーナンバータグ ..... 81
キーの種類と機能 ..... 79
キーレスエントリー ..... 83
キーレスエントリーでドアが開かない ..... 17
後席ドアが開かない ..... 16
電池交換のしかた ..... 226
内蔵キー ..... 79, 247
リトラクタブルキー ..... 79, 80
**キー閉じ込み防止装置** ..... 86
**キーナンバータグ** ..... 81
**キーレスエントリー** ..... 83
電池交換のしかた ..... 226
**キックダウン** ..... 171
**給油** ..... 191
給油のしかた ..... 192
指定燃料 ..... 191, 269, 271
燃料計 ..... 66

燃料残量警告灯 ..... 55

## ク

**空気圧** ..... 270, 272
**グラブレール** ..... 5
**クリープ現象** ..... 171
**クルーズコントロール** ..... 13, 176
クルーズコントロール表示灯 ..... 60
クルーズメイン表示灯 ..... 60
**車の改造** ..... 195
**グローブボックス** ..... 128

## ケ

**経過時間表示** ..... 67, 70
**計器** ..... 52
**警告灯** ..... 53
ABS警告灯 ..... 55
ACC警告灯 ..... 55
CMBS警告灯 ..... 57
EPS警告灯 ..... 57, 255
Hondaスマートキーシステム 警告灯 ..... 54
PGM-FI警告灯 ..... 53, 254
VSA OFF警告灯 ..... 56
VSA警告灯 ..... 56
エアバッグシステム警告灯 ..... 56
シートベルト非着用警告灯 ..... 54
充電警告灯 ..... 54, 253
ドア/トランク開閉警告灯 ..... 57
トランスミッション警告灯 ..... 54
燃料残量警告灯 ..... 55
ブレーキ警告灯 ..... 53, 254
油圧警告灯 ..... 53, 253
**けん引** ..... 263

## コ

**交換**
アクティブコーナリングライト電球 ..... 210
後退灯電球 ..... 214
後面方向指示器/
後面非常点滅表示灯電球 ..... 213
室内灯電球 ..... 217
車幅灯電球 ..... 208
制動灯/尾灯電球 ..... 213
前面方向指示器/
前面非常点滅表示灯電球 ..... 206
側面方向指示器/
側面非常点滅表示灯電球 ..... 213
ドア開閉灯電球 ..... 218
トランク照明灯電球 ..... 218
ハイマウントストップランプ電球 ..... 216
バニティミラー照明灯電球 ..... 218
番号灯電球 ..... 215
フォグライト電球 ..... 211
ヘッドライト電球 ..... 203
マップランプ電球 ..... 217
ワイパーブレードラバー ..... 219
**工具** ..... 235
**航続可能距離表示** ..... 67, 70
**後退灯** ..... 214
**後面方向指示器/後面非常点滅表示灯** ..... 213
**コートフック** ..... 131
**コンソールボックス** ..... 129

## サ

**サービス診断記録装置** ..... 18
データの開示について ..... 18
**サイドエアバッグ** ..... 31
サイドエアバッグ自動停止システム ..... 33
サイドエアバッグ自動停止表示灯 ..... 37
**サイドカーテンエアバッグ** ..... 34
**サングラスボックス** ..... 135
**サンバイザー** ..... 5

## シ

**シーケンシャルモード** ..... 174
シフトインジケーター/M
（シーケンシャルモード）表示灯 ..... 61, 173
**シートの調節**
アームレスト ..... 125
フロントシート ..... 118
ヘッドレスト ..... 123
リヤシート ..... 122
**シートベルト** ..... 22
E-プリテンショナー ..... 24
シートベルトの着用 ..... 24

シートベルトの点検 ..... 27
シートベルト非着用警告灯 ..... 54
シートベルトプリテンショナー ..... 23
シートベルトリマインダー ..... 22
妊娠中のかたのシートベルト
着用のしかた ..... 26
**シガレットライター** ..... 134
**時刻の設定** ..... 78
**室内装備品** ..... 128
**室内灯** ..... 126
**シフトインジケーター** ..... 61, 173
**シフトスイッチ** ..... 175
**シフト操作** ..... 172
**車外の清掃** ..... 231
**ジャッキ** ..... 235, 244
**ジャッキハンドルバー** ..... 235, 245
**ジャッキハンドル**
**（ホイールナットレンチ）** ..... 235, 245
**車内の清掃** ..... 230
**車幅灯** ..... 208
**ジャンプスタート** ..... 248
**充電警告灯** ..... 54, 253
**瞬間燃費表示** ..... 67, 70
**仕様** ..... 269, 271
**ショルダーアンカー** ..... 26

## ス

**水温計** ..... 66
**スイッチ操作**
アクティブコーナリングライト ..... 103
イルミネーションコントロール ..... 112
エンジンスイッチ ..... 98, 99
ヒーテッドドアミラースイッチ ..... 113
フォグライトスイッチ ..... 105
方向指示器(ウィンカー)スイッチ ..... 102
リヤデフロスタースイッチ ..... 113
ワイパー/ウォッシャースイッチ .... 110, 111
**ステアリング** ..... 114
**スノータイヤ** ..... 225
**スパークプラグ** ..... 269, 271
**スピードメーター** ..... 66

## セ

**清掃** ..... 230
**制動灯** ..... 213
**セキュリティシステム** ..... 93
イモビライザーシステム ..... 93
セキュリティアラームシステム ..... 93
**セレクトポジション** ..... 172
セレクトポジション表示灯 ..... 61, 173
**セレクトレバー**
セレクトレバーが動かない ..... 250
セレクトレバーの操作 ..... 173

## ソ

**側面方向指示器/側面非常点滅表示灯** ..... 213

## タ

**タイヤ** ..... 222
ウェアインジケーター ..... 223
指定空気圧 ..... 270, 272
タイヤの点検 ..... 222
タイヤのローテーション ..... 224
タイヤパンク応急修理キット ..... 236
冬期のタイヤ ..... 225
パンク ..... 236
**タイヤチェーン** ..... 225
**タコメーター** ..... 66

## チ

**チェーン** ..... 225
**チャイルドシート** ..... 39
ジュニアシート ..... 50
乳児のチャイルドシート ..... 40
幼児のチャイルドシート ..... 41
**チャイルドプルーフ** ..... 88
**駐停車操作** ..... 189

## ツ

**追突軽減ブレーキ(CMBS)** ..... 185
CMBS警告灯 ..... 57

## テ


**デフロスター**
リヤデフロスタースイッチ ..... 113
**点火プラグ** ..... 269, 271
**電子制御ブレーキアシスト** ..... 184
**電池交換** ..... 226


## ト


**ドアの施錠と解錠**
Hondaスマートキー ..... 79, 80
キー閉じ込み防止装置 ..... 86
キーナンバータグ ..... 81
キーの種類と機能 ..... 79
キーレスエントリー ..... 83
キーレスエントリーでドアが開かない ..... 17
後席ドアが開かない ..... 16
車外でのドアの施錠/解錠 ..... 83
車内での施錠/解錠 ..... 87
チャイルドプルーフ ..... 88
ドア/トランク開閉警告灯 ..... 57
リトラクタブルキー ..... 79, 80
**ドアミラー** ..... 116
**ドアミラーウィンカー** ..... 3
**冬期のタイヤ** ..... 225
スノータイヤ ..... 225
タイヤチェーン ..... 225
**時計** ..... 78
**トップテザーアンカレッジ** ..... 48
**トップテザーストラップ** ..... 48
**トラブルシューティング**
運転席ドアを開けるとブザーが鳴る ..... 17
エンジンが始動しない ..... 246
オーバーヒートした ..... 251
キーが 0 から I に回らない ..... 16
キーが I から 0 に回らない ..... 16
キーレスエントリーでドアが開かない ..... 17
警告灯が点灯/点滅した ..... 253
けん引してもらいたい ..... 263
後席ドアが開かない ..... 16
ジャンプスタートしたい ..... 248
セレクトレバーが動かない ..... 250
走行するとブザーが鳴る ..... 17
ハイオクガソリンは使える？ ..... 17
パンクした ..... 236
ヒューズが切れた ..... 256
ブレーキを踏むと音がする ..... 17
ブレーキを踏むと振動する ..... 16
レギュラーガソリンは使える？ ..... 17
**トランクの開閉** ..... 90
ドア/トランク開閉警告灯 ..... 57
トランクが開かないとき ..... 267
**トランスミッション警告灯** ..... 54
**トランスミッションフルード** ..... 270, 272
**トリップメーター** ..... 67, 68


## ナ


**内蔵キー** ..... 79, 247


## ネ


**燃料** ..... 191
燃料計 ..... 66
燃料残量警告灯 ..... 55


## ハ


**パーキングブレーキ** ..... 181
**排気ガスの危険性** ..... 51
**灰皿** ..... 133
**ハイビーム** ..... 104
電球の交換 ..... 203
ハイビーム表示灯 ..... 58
**ハイビームサポートシステム** ..... 106
ハイビームサポートシステム表示灯 ..... 60
**ハイマウントストップランプ** ..... 216
**ハザードスイッチ** ..... **表紙ウラ**
**発炎筒** ..... 235
**パッシング** ..... 104
**バッテリー**
ジャンプスタート ..... 248
充電警告灯 ..... 54
容量 ..... 269, 271
**発話スイッチ** ..... 1
**バニティミラー** ..... 5

**パワーウィンドーの開閉** ..... 95
**パンク** ..... 236
**番号灯** ..... 215
**ハンドル** ..... 114
**ハンドル位置調節レバー** ..... 114
**ハンドルロック** ..... 98, 99
**汎用型ISOFIX チャイルドシート** ..... 47

## ヒ

**ヒーテッドドアミラー** ..... 113
**非常点滅表示灯スイッチ** ..... **表紙ウラ**
**尾灯** ..... 213
**ヒューズ**
各ヒューズの装備と容量 ..... 258
ヒューズの設置場所 ..... 256
ヒューズの点検と交換 ..... 261
**表示灯** ..... 58
ACC表示灯 ..... 60
イモビライザーシステム表示灯 ..... 59
インフォメーション表示灯 ..... 59
クルーズコントロール表示灯 ..... 60
クルーズメイン表示灯 ..... 60
サイドエアバッグ自動停止表示灯 ..... 58
シフトインジケーター/M
（シーケンシャルモード）表示灯 ..... 61
セキュリティアラームシステム
作動表示灯 ..... 60
セレクトポジション表示灯 ..... 61
ハイビーム表示灯 ..... 58
ハイビームサポートシステム表示灯 ..... 60
フォグライト点灯表示灯 ..... 58
方向指示器表示灯 ..... 58
ライト点灯表示灯 ..... 58

## フ

**ブースターケーブル** ..... 248
**フォグライト** ..... 105
電球の交換 ..... 211
フォグライト点灯表示灯 ..... 58
**ブザー**
運転席ドアを開けるとブザーが鳴る ..... 17
走行するとブザーが鳴る ..... 17
**フューエルリッドが解錠できないとき** ..... 266
**フューエルリッドの開けかた** ..... 192
**ブレーキフルード** ..... 270, 272
ブレーキ警告灯 ..... 53
**ブレーキシステム** ..... 181
ABS（アンチロックブレーキシステム） ... 183
CMBS（追突軽減ブレーキ） ..... 185
電子制御ブレーキアシスト ..... 184
パーキングブレーキ ..... 181
フットブレーキ ..... 182
ブレーキ警告灯 ..... 53
ブレーキを踏むと音がする ..... 17
ブレーキを踏むと振動する ..... 16
**フロントシート** ..... 118
フロントシート
ヘッドレスト ..... 118, 119, 123
フロントパワーシート ..... 119
フロントマニュアルシート ..... 118

## ヘ

**平均車速表示** ..... 67, 70
**平均燃費表示** ..... 67, 70
**ヘッドライト** ..... 104
追越合図（パッシング） ..... 104
電球の交換（ハイビーム） ..... 205
電球の交換（ハイ/ロービーム） ..... 205
電球の交換（ロービーム） ..... 203, 204
ハイビーム ..... 104
ハイビーム表示灯 ..... 58
ハイビームサポートシステム表示灯 ..... 60
ライト点灯表示灯 ..... 58
ロービーム ..... 104
**ヘッドライトレベリングダイヤル** ..... 109
**ヘッドレスト**
フロントシート ..... 118, 119, 123
リヤシート ..... 123, 124

## ホ

**ホーンスイッチ** ..... 1
**ホイールナットレンチ**
**（ジャッキハンドル）** ..... 235, 245

**防眩式ルームミラー**..... 115
**方向指示器(ウィンカースイッチ)**..... 102
方向指示器表示灯 ..... 58

## マ

**マイナスドライバー**..... 235
**マスタードアロックスイッチ**..... 87
**マップランプ**..... 127
電球の交換..... 217
**マルチインフォメーションディスプレイ**..... 67
警告メッセージ..... 62

## ミ

**ミラー**..... 115
自動式防眩ミラー ..... 115
手動式防眩ミラー ..... 115
ドアミラー..... 116
バニティミラー..... 5
ルームミラー ..... 115

## メ

**メーター**..... 66
水温計 ..... 66
スピードメーター ..... 66
タコメーター ..... 66
燃料計 ..... 66
マルチインフォメーションディスプレイ .. 67
**メンテナンス** ..... 196
エアコンのお手入れ..... 228
エンジンルーム内のメンテナンス ..... 199
清掃..... 230
タイヤの点検と整備..... 222
メンテナンスに関する注意事項 ..... 198
メンテナンスを安全に行うために ..... 198
ライト類の点検と整備 ..... 203
リトラクタブルキー/
Hondaスマートキー..... 226
ワイパーブレードラバーの点検と整備 ... 219

## モ

**モード切り換え(エアコン)**..... 137

## ユ

**油圧警告灯**..... 53, 253

## ラ

**ライトスイッチ**..... 104
追越合図(パッシング) ..... 104
ハイビーム ..... 104
ハイビームサポートシステム表示灯..... 60
ハイビーム表示灯 ..... 58
フォグライト ..... 105
ライト点灯表示灯 ..... 58
ロービーム ..... 104
**ライト類の点検と整備** ..... 203
アクティブコーナリングライト電球 ..... 210
後退灯電球..... 214
後面方向指示器/
後面非常点滅表示灯電球..... 213
室内灯電球..... 217
車幅灯電球..... 208
制動灯/尾灯電球 ..... 213
前面方向指示器/
前面非常点滅表示灯電球..... 206
側面方向指示器/
側面非常点滅表示灯電球..... 213
ドア開閉灯電球 ..... 218
トランク照明灯電球 ..... 218
ハイマウントストップランプ電球..... 216
バニティミラー照明灯電球..... 218
番号灯電球..... 215
フォグライト電球..... 211
ヘッドライト電球..... 203
マップランプ電球..... 217
**ラジエーター**..... 251
**ラジオ** ..... 147

## リ

**リザーブタンク**..... 252
**リトラクタブルキー**..... 79, 80
**リバース連動ドアミラー**..... 117
**リムサイズ**..... 270, 272

**リヤカメラシステム**..... 159
**リヤデフロスタースイッチ**..... 113

## ル

**ルームミラー**..... 115

## レ

**冷却水**..... 252
オーバーヒート..... 251
水温計..... 66
補給..... 252

## ロ

**ロアアンカレッジ**..... 47
**ロービーム**..... 104
電球の交換..... 203, 204

## ワ

**ワイパー/ウォッシャー**..... 110
**ワイパーブレードラバー**..... 219

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず、Honda 販売店にお気軽にご相談ください。
下記アドレスより最新の Honda 販売店を検索することが可能です。
Honda ホームページ　http://www.honda.co.jp/
（Honda ホームページにある検索ボックスに『販売店』と入力してください）

携帯電話からは、携帯電話用 Honda ホームページをご覧ください。
http://dream.honda.co.jp/dealerlocator/
※：QR コード読み取り機能付きの携帯電話をお持ちの場合は、右の QR コードをご利用ください。
ご利用にあたっては、お持ちの携帯電話取扱説明書をご確認ください。
QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社　お客様相談センター

フリーダイヤル　0120-112010（イイフレアイオ）

受付時間　9:00～12:00　13:00～17:00
〒351-0188　埼玉県和光市本町8ー1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

① 車検証記載事項：車両型式、車台番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日
② 車種名、タイプ名、走行距離　③ ご購入年月日　④ 販売店名